Canon

PRO-1100 PRO-510
オンラインマニュアル - 取扱説明書 -

日本語 (Japanese)

目次

本文中の記号. 15
商標. 16
ライセンス. 17
基本操作. 43
各部の説明. 44
前面. 45
背面・側面. 47
操作パネル. 49
製品の操作方法. 50
電源を入れる／切る. 51
プリント. 53
パソコンから印刷する（macOS）. 54
かんたんな設定で印刷する. 55
プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）. 58
プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）. 61
いろいろな印刷. 63
部数と印刷順序を設定する. 64
フチなし全面印刷を行う. 66
拡大/縮小印刷を行う. 68
割り付け印刷を行う. 69
はがきに印刷する. 71
クリアコートの設定を変更する. 72
用紙の縦横サイズを設定する（カスタム用紙サイズ）. 74
長尺印刷を行う. 75
とじしろを設定する. 76
用紙サイズに合わせて印刷する. 78
目的に合わせて給紙方法を切り替える. 80
印刷品質の変更や画像データの補正. 81
印刷品質を設定する（ユーザー設定）. 82
モノクロ印刷を行う. 83
色補正の方法を指定する. 85
画像データに適した写真印刷を行うには. 87
プリンタードライバーで色の補正を行う. 88

ICC プロファイルを使用して印刷する（アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定する）. 90
ICC プロファイルを使用して印刷する（プリンタードライバーで ICC プロファイルを指定する）. 92
ICC プロファイルの見かた. 94
モノクロの色調を調整する. 95
カラーバランスを調整する. 97
明るさを調整する. 99
コントラストを調整する. 100
AirPrint で印刷する. 101
macOS プリンタードライバー. 104
プリンタードライバーの概要. 105
Canon IJ プリンタードライバー. 106
プリンタードライバーの設定画面の開きかた. 107
ページ設定ダイアログ. 108
プリントダイアログ. 109
Canon IJ Printer Utility2. 111
Canon IJ Printer Utility2 の開きかた. 112
印刷の進行状況を確認する. 113
使用上の注意（プリンタードライバー）. 114
不要になった印刷ジョブを削除する. 115
プリントダイアログの画面説明. 116
品位と用紙の種類. 117
カラーオプション. 119
用紙の詳細設定. 121
ページ加工. 123
プリンタードライバーの更新. 124
プリンタードライバーをインストールする. 125
最新のプリンタードライバーを入手する. 126
不要になった Canon IJ プリンターをプリンターリストから削除する. 127
プリンタードライバーをインストールする前に. 128
本体から印刷する. 129
レポート用紙や方眼紙などの定型フォームを印刷する. 130
スマートフォン／タブレットから印刷する. 132
iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）. 133
用紙の取り扱い. 137

用紙をセットする. 138
用紙のセットについて. 139
上トレイに用紙をセットする. 140
手差しトレイに用紙をセットする. 145
用紙情報を登録する. 149
用紙に関する情報. 152
使用できる用紙について. 153
用紙の最大積載枚数. 157
用紙の取り扱いについて. 160
アート紙に印刷する前に. 161
各種設定. 163
プリンターの操作パネルから設定を変更する. 164
液晶モニター画面と操作パネルの使いかた. 165
プリンターの操作パネルで設定できる項目. 168
メンテナンス. 170
ジョブ管理. 172
LAN 設定. 173
セキュリティ設定. 179
印刷設定. 180
その他の本体設定. 182
言語選択. 183
ファームウェアのアップデート. 184
用紙関連の設定. 185
電源管理. 186
夜間利用モード. 187
自動メンテナンス設定. 188
メンテナンスの用紙サイズ. 189
設定リセット. 190
Web サービス設定. 191
プリンター情報. 192
プリンターの操作パネルで管理者パスワードを設定する. 193
パソコンで設定を変更する（macOS）. 195
変更した印刷設定を登録する. 196
プリンターの設定を変更する. 197
プリンタードライバーの用紙情報を更新する. 198
プリンタードライバーの用紙情報を適正化する（共有環境でのご使用の場合）. 200
アカウンティングを設定する. 201

プリンターの動作音を抑える. 202
ウェブブラウザーからプリンターの設定を変更する. 203
リモート UI を起動する. 204
リモート UI で設定できる項目. 207
セキュリティ. 209
LAN 設定. 211
リモート UI でパスワードを設定する. 213
SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をウェブブラウザーに登録する. 215
SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をローカルコンピューターに登録する. 219
サーバー証明書を生成する. 225
ネットワークの設定. 227
プリンターの接続方法. 228
Wi-Fi 接続. 230
WPS で接続. 233
WPS（PIN コード）で接続. 235
プリンターで手動接続. 237
PC/スマホでかんたん接続. 241
無線ダイレクト接続. 243
有線 LAN 接続. 247
USB 接続. 250
工場出荷時初期値（ネットワーク）. 251
同じ名前のプリンターを検出したときは. 253
プリンターのネットワーク設定情報を印刷する. 254
不正アクセス防止対策について. 255
ネットワークの状態と対処方法. 257
ネットワーク環境でプリンターを共有する（macOS）. 259
プリントサーバー機での設定. 260
クライアント機での設定. 261
プリンター共有に関する制限. 262
メンテナンス. 263
画質の調整と改善. 265
お手入れの手順について. 266
ノズルのつまりをチェックする. 268
プリントヘッドをクリーニングする. 271
プリントヘッドを強力クリーニングする. 274
システムクリーニングを行う. 277

縦線のゆがみや色ずれを調整する. 280
縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する. 281
縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する. 283
色の管理. 286
色を管理する. 287
カラーキャリブレーションを行う. 289
カラーキャリブレーションの調整タイプ. 291
消耗品の交換. 294
インクタンクを交換する. 295
インク残量を確認する. 301
プリントヘッドを交換する. 302
メンテナンスカートリッジを交換する. 309
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する. 312
プリンターの清掃. 313
プリンターの外装を清掃する. 314
給紙ローラーをクリーニングする. 315
インクふき取りクリーニングを行う. 317
パソコンからメンテナンス機能を実行する（macOS）. 319
メンテナンスのためにリモート UI を開く. 320
プリントヘッドをクリーニングする. 321
パソコンでインクの状態を確認する. 323
ノズルチェックパターンを印刷する. 324
その他のメンテナンス. 325
本製品を移動する. 326
本製品を輸送する. 327
プリンターを再設置する. 330
ファームウェアをアップデートする. 332
よくあるご質問. 333
印刷品質のトラブル. 336
印刷がかすれる／白いスジが入る. 337
色味の違うスジが入る／色ムラが発生する. 339
印刷面が汚れる／こすれる／インクがにじむ／用紙が反る. 341
用紙の裏面が汚れる. 345
色味が違って印刷される. 346
モノクロで印刷される. 349
線がずれる／ゆがむ. 350

罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）. 352
画像が欠ける／最後まで印刷できない. 353
画像の横に縦線パターンが印刷される. 354
ネットワーク上でセットアップできない. 355
ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された. 356
［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）. 357
［Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました］と表示された. 359
Wi-Fi ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった. 361
Wi-Fi ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能について 363
スマートフォン／タブレットを使用してセットアップをしたい. 364
ネットワーク上にプリンターが見つからない. 365
ネットワークにプリンターが見つからない. 366
セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する. 370
ネットワーク環境で印刷できない. 374
AirPrint で印刷できない. 375
スマートフォン／タブレットから印刷できない. 376
ネットワーク設定のトラブル. 380
ネットワークについてよくあるご質問. 381
プリンターの診断機能でネットワークトラブルを解決する. 382
プリンターのネットワークや各種機器との接続を切り替える. 389
ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない. 390
Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）／パスワードを確認したい. 392
ネットワークに関する設定を調べたい. 393
プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す. 396
スマートフォン／タブレットを Wi-Fi ルーターに接続できない. 397
スマートフォン／タブレットが選んでいる Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）を確認したい 398
本体のトラブル. 399
電源が入らない. 400
電源が自動的に切れてしまう. 401
USB 接続トラブル. 402
液晶モニターの表示が消えている. 404
プリンター状態の確認画面が表示されない（Windows）. 405
メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない. 406
カラーキャリブレーションしたら警告画面が表示される. 407
プリンターのファームウェアをアップデートしたい. 408
インストール／ダウンロードに関するトラブル. 409
プリンタードライバーがインストールできない（Windows）. 410

ネットワーク環境でプリンタードライバーをアップデートする（Windows） 411
プリンター使用状況の送信を停止したい. 412
セットアップアプリで管理者ユーザー名とパスワードを聞かれた（Windows） 415
印刷できるパソコン／スマートフォン／タブレットを追加したい. 416
ネットワーク接続していないパソコンにプリンタードライバーをインストールしたい（Windows） 417
Canon PRINT をダウンロードしたい. 418
印刷のトラブル. 419
印刷が始まらない. 420
印刷が途中で止まる. 423
通常使うプリンターが勝手に変わる（Windows） 424
オフラインになる（Windows）／通信できない（Windows） 425
Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows） 427
用紙がうまく給排紙されない. 428
用紙がつまったときの対処方法. 429
用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する. 435
プリンタードライバーで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない（Windows） 437
正常に給紙／排紙されないときの対処方法. 438
用紙設定のトラブル. 440
このプリンターで使用できる用紙の種類が知りたい. 441
インクに関連するトラブル. 442
インクが出ない. 443
インクが異常に消費される. 444
エラー発生時のサポート番号一覧. 445
トラブルが発生したときは. 447
1000. 449
1006. 450
1062. 451
1200. 453
1201. 454
1204. 455
1205. 456
1206. 457
1207. 458
1208. 459
1209. 460

1250. 461
1261. 462
1293. 463
1300. 464
1340. 465
1401. 466
1403. 467
1405. 468
1406. 469
1407. 470
1408. 471
1409. 472
140A. 473
140B. 474
140C. 475
140D. 476
140E. 477
140F. 478
1410. 479
1411. 480
1412. 481
1413. 482
1414. 483
1415. 484
1416. 485
1417. 486
1418. 487
1419. 488
141A. 489
141B. 490
1466. 491
1467. 492
1491. 493
1493. 494

1500. 495
1551. 496
1552. 497
1570. 498
15A1. 499
15A2. 500
15A3. 501
1600. 502
1660. 503
1681. 504
1684. 505
1720. 506
1721. 507
1722. 508
1730. 509
1751. 510
1752. 511
1753. 512
1880. 513
1881. 514
2102. 515
2103. 516
2114. 517
2115. 519
2500. 521
2501. 522
2502. 523
2503. 524
3000. 525
3250. 526
3306. 527
3310. 528
3311. 529
3312. 530

3313. 531
3314. 532
3315. 533
3316. 534
3317. 535
3318. 536
3319. 537
3413. 538
3440. 539
3441. 540
3446. 541
3447. 542
3454. 543
3455. 544
4103. 545
4109. 546
410E. 547
4111. 548
495A. 549
5100. 550
5110. 551
5200. 552
520A. 553
520B. 554
520C. 555
520D. 556
5250. 557
5400. 558
5403. 559
5700. 560
5701. 561
5B16. 562
5C00. 563
5C01. 564

5C10. 565
5C11. 566
5C12. 567
5C13. 568
5C14. 569
5C20. 570
6000. 571
6500. 572
6502. 573
6503. 574
6700. 575
6701. 576
6800. 577
6801. 578
6830. 579
6831. 580
6832. 581
6833. 582
6900. 583
6901. 584
6902. 585
6910. 586
6920. 587
6921. 588
6930. 589
6931. 590
6932. 591
6933. 592
6940. 593
6941. 594
6942. 595
6943. 596
6944. 597
6945. 598

6946. 599
6F00. 600
7400. 601
7401. 602
7402. 603
7500. 604
7501. 605
7600. 606
7601. 607
7700. 608
7701. 609
7800. 610
7801. 611
8100. 612
8200. 613
B400. 614
B505. 615
B506. 616
B507. 617
B600. 618
B801. 619
B802. 620
C100. 621
C101. 622
製品情報. 623
安全ガイド. 624
安全にお使いいただくために. 625
法規制情報. 628
取り扱い上のご注意. 629
プリンターの修理依頼・貸与・譲渡・破棄をするときの注意. 630
原稿を印刷するときの注意事項. 631
インクについて知っておきたいこと. 632
仕様. 634
仕様. 635

印刷領域. 638
印刷できる範囲について. 639
定型サイズの用紙. 641
余白 25 mm の用紙サイズ. 643
付録. 645
オンラインマニュアルについて. 646

本文中の記号

⚠警告

取り扱いを誤った場合に、死亡・重傷または財産の損害を負う可能性がある内容が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。

⚠注意

取り扱いを誤った場合に、傷害または財産の損害を負う可能性がある内容が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。

重要

製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、守っていただきたい重要事項が書かれています。かならずお読みください。

参考

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

基本

ご使用の製品の基本的な操作について説明しています。

参考

- ご使用の製品によって、アイコンは異なる場合があります。

商標

- Microsoft、Excel、Internet Explorer、Microsoft Edge、Microsoft Store、OneDrive、PowerPoint、Windows および Windows Vista は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
- 本製品には、Microsoft 社より使用を許諾された exFAT ファイルシステムの技術が組み込まれています。
- Mac、Mac OS、macOS、OS X、AirMac、App Store、AirPrint、AirPrint ロゴ、Bonjour、iPad、iPad Air、iPad mini、iPadOS、iPhone、iPod touch および Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- The Mopria® word mark and the Mopria® Logo are registered and/or unregistered trademarks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.
- IOS は、米国およびその他の国で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- Google Cloud Print、Google Chrome、Chrome OS、Chromebook、Android、Google Drive、Google Apps および Google Analytics は、Google LLC の登録商標または商標です。
  Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。
- Adobe、Acrobat、Flash、Photoshop、Illustrator、Adobe RGB および Adobe RGB (1998) は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Acrobat、Flash、Photoshop、Photoshop Elements、Lightroom および Adobe RGB、Adobe RGB (1998) は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Amazon, Echo および Alexa は、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- Google、Google Home、YouTube は、Google LLC の商標です。
- 「LINE」は LINE ヤフー株式会社の商標または登録商標です。
- LINE Clova は LINE ヤフー株式会社の登録商標です。
- Google ドキュメント、Google ドライブ は Google LLC の商標です。
- App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- Autodesk、AutoCAD は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの日本とそれ以外の国における商標です。
- HP-GL、HP-GL/2 は、HP Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mozilla Firefox は Mozilla Foundation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Wi-Fi、WPA、WPA2 および WPA3 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- その他、本マニュアル中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

ライセンス

Copyright (c) 2003-2015 Apple Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apache License

Version 2.0, January 2004

http://www.apache.org/licenses/
TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

   "License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

   "Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

   "Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

   "You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

   "Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
    1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
    2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
4. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

   You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License.

However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.
END OF TERMS AND CONDITIONS

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) -----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF

SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright c 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2003-2012, Sparta, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003 oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz <bernhard.penz@fabasoft.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 8: Apple Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2007 Apple Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 9: ScienceLogic, LLC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2009, ScienceLogic, LLC

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of ScienceLogic, LLC nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 10: Lennart Poettering copyright notice (BSD-like) -----

Copyright 2010 Lennart Poettering

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

---- Part 11: IETF copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2013 IETF Trust and the persons identified as authors of the code. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Internet Society, IETF or IETF Trust, nor the names of specific contributors, may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,

PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 12: Arista Networks copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2013, Arista Networks, Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Arista Networks, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 13: VMware, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2016, VMware, Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of VMware, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 14: USC/Information Sciences Institute copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2017-2018, Information Sciences Institute

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Information Sciences Institue nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,

EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright 2000 Computing Research Labs, New Mexico State University

Copyright 2001-2015 Francesco Zappa Nardelli

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COMPUTING RESEARCH LAB OR NEW MEXICO STATE UNIVERSITY BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Written by Joel Sherrill <joel@OARcorp.com>.

COPYRIGHT (c) 1989-2000.

On-Line Applications Research Corporation (OAR).

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, THE AUTHOR MAKES NO REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

(1) Red Hat Incorporated

Copyright (c) 1994-2009 Red Hat, Inc. All rights reserved.

This copyrighted material is made available to anyone wishing to use, modify, copy, or redistribute it subject to the terms and conditions of the BSD License. This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY expressed or implied, including the implied warranties of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. A copy of this license is available at http://www.opensource.org/licenses. Any Red Hat trademarks that are incorporated in the source code or documentation are not subject to the BSD License and may only be used or replicated with the express permission of Red Hat, Inc.

(2) University of California, Berkeley

Copyright (c) 1981-2000 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by

David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

==========

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

o We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)

o You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)

o You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products.

We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

"""

Portions of this software are copyright © <year> The FreeType

Project (www.freetype.org). All rights reserved.

"""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

==========

0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'.

This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive.

If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

o Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.

o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it.

Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

o freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution.

If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

o freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

http://www.freetype.org

--- end of FTL.TXT ---

The TWAIN Toolkit is distributed as is. The developer and distributors of the TWAIN Toolkit expressly disclaim all implied, express or statutory warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, noninfringement of third party rights and fitness for a particular purpose. Neither the developers nor the distributors will be liable for damages, whether direct, indirect, special, incidental, or consequential, as a result of the reproduction, modification, distribution or other use of the TWAIN Toolkit.

JSON for Modern C++

Copyright (c) 2013-2017 Niels Lohmann

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (c) 2011 - 2015 ARM LIMITED

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2014, Kenneth MacKay

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2006, CRYPTOGAMS by <appro@openssl.org> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain copyright notices, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the CRYPTOGAMS nor the names of its copyright holder and contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

ALTERNATIVELY, provided that this notice is retained in full, this product may be distributed under the terms of the GNU General Public License (GPL), in which case the provisions of the GPL apply INSTEAD OF those given above.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ISC License

Copyright (c) 2013-2017

Frank Denis <j at pureftpd dot org>

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Copyright (c) 2008 The NetBSD Foundation, Inc.

All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation
by Lennart Augustsson (lennart@augustsson.net) at
Carlstedt Research & Technology.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2000 Intel Corporation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Lua

Copyright © 1994–2014 Lua.org, PUC-Rio.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated
documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the
rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the

Software, and to
permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of
the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED,
INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN
ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH
THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

LuaSocket

LuaSocket 2.0.2 license
Copyright © 2004-2007 Diego Nehab

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

LuneScript

Copyright (c) 2018 ifritJP

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY,

FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (c) 2002-2019, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 2019, Broadcom Corporation. All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION

OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The certificate files "Amazon Root CA 1", "Amazon Root CA 2", "Amazon Root CA 4" are licensed under a Creative Commons Attribution-NoDerivatives 4.0 International License.

下記は Wi-Fi に対応している製品にのみ該当します。

(c) 2009-2013 by Jeff Mott. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation or other materials provided with the distribution.
* Neither the name CryptoJS nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS," AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright 2008, Google Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS AS IS AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR

A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1998-2010, Brian Gladman, Worcester, UK. All rights reserved.

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:
source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation.

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its operation, including, but not limited to, correctness and fitness for purpose.

Disclaimer: IMPORTANT: This Apple software is supplied to you, by Apple Inc. ("Apple"), in your
capacity as a current, and in good standing, Licensee in the MFi Licensing Program. Use of this Apple software is governed by and subject to the terms and conditions of your MFi License, including, but not limited to, the restrictions specified in the provision entitled "Public Software", and is further subject to your agreement to the following additional terms, and your agreement that the use, installation, modification or redistribution of this Apple software constitutes acceptance of these additional terms. If you do not agree with these additional terms,
please do not use, install, modify or redistribute this Apple software.

Subject to all of these terms and in consideration of your agreement to abide by them, Apple grants
you, for as long as you are a current and in good-standing MFi Licensee, a personal, non-exclusive
license, under Apple's copyrights in this original Apple software (the "Apple Software"), to use, reproduce, and modify the Apple Software in source form, and to use, reproduce, modify, and redistribute the Apple Software, with or without modifications, in binary form. While you may not
redistribute the Apple Software in source form, should you redistribute the Apple Software in binary
form, you must retain this notice and the following text and disclaimers in all such redistributions
of the Apple Software. Neither the name, trademarks, service marks, or logos of Apple Inc. may be
used to endorse or promote products derived from the Apple Software without specific prior written
permission from Apple. Except as expressly stated in this notice, no other rights or licenses, express or implied, are granted by Apple herein, including but not limited to any patent rights

that
may be infringed by your derivative works or by other works in which the Apple Software may be
incorporated.

Unless you explicitly state otherwise, if you provide any ideas, suggestions, recommendations, bug
fixes or enhancements to Apple in connection with this software ("Feedback"), you hereby grant to
Apple a non-exclusive, fully paid-up, perpetual, irrevocable, worldwide license to make, use,
reproduce, incorporate, modify, display, perform, sell, make or have made derivative works of,
distribute (directly or indirectly) and sublicense, such Feedback in connection with Apple products
and services. Providing this Feedback is voluntary, but if you do provide Feedback to Apple, you
acknowledge and agree that Apple may exercise the license granted above without the payment of
royalties or further consideration to Participant.

The Apple Software is provided by Apple on an "AS IS" basis. APPLE MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS OR
IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION THE IMPLIED WARRANTIES OF NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY
AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, REGARDING THE APPLE SOFTWARE OR ITS USE AND OPERATION ALONE OR
IN COMBINATION WITH YOUR PRODUCTS.

IN NO EVENT SHALL APPLE BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE, REPRODUCTION, MODIFICATION
AND/OR DISTRIBUTION OF THE APPLE SOFTWARE, HOWEVER CAUSED AND WHETHER UNDER THEORY OF CONTRACT, TORT
(INCLUDING NEGLIGENCE), STRICT LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF APPLE HAS BEEN ADVISED OF THE
POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 2009 Apple Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2012-2013 Apple Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2013 Apple Inc. All Rights Reserved.

下記はクラウドサービス（旧 : PIXUS Cloud Link、PIXMA Cloud Link、MAXIFY Cloud Link）に対応している製品にのみ該当します。

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS

Written by: Philip Hazel
Email local part: ph10
Email domain: cam.ac.uk
University of Cambridge Computing Service, Cambridge, England.

Copyright (c) 1997-2012 University of Cambridge
All rights reserved.

PCRE JUST-IN-TIME COMPILATION SUPPORT

Written by: Zoltan Herczeg
Email local part: hzmester
Emain domain: freemail.hu
Copyright(c) 2010-2012 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

STACK-LESS JUST-IN-TIME COMPILER

Written by: Zoltan Herczeg
Email local part: hzmester
Emain domain: freemail.hu
Copyright(c) 2009-2012 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

Contributed by: Google Inc.
Copyright (c) 2007-2012, Google Inc.
All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE

----------Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE

LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

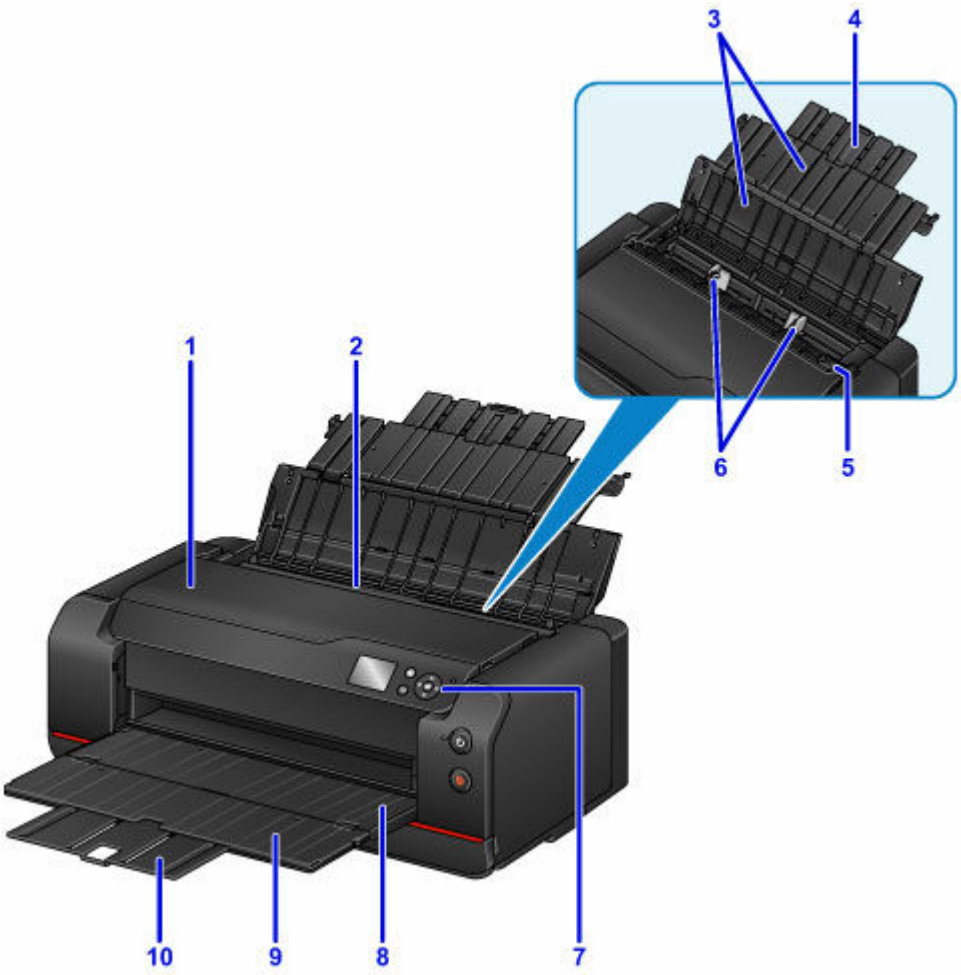
基本操作

- **各部の説明**
  - 前面
  - 背面・側面
  - 操作パネル
- **製品の操作方法**
  - 電源を入れる／切る
  - 液晶モニター画面と操作パネルの使いかた
  - 上トレイに用紙をセットする
  - 手差しトレイに用紙をセットする

各部の説明

- 前面
- 背面・側面
- 操作パネル

前面



(1) トップカバー

内部につまった用紙を取り除くときや、プリントヘッドを交換するときに開きます。

(2) 上トレイ

一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に 1 枚ずつ給紙されます。

➡ 上トレイに用紙をセットする

(3) 用紙サポート

上トレイに用紙をセットするときに開きます。

(4) 補助サポート

上トレイに用紙をセットするときに引き出します。

(5) 給紙口カバー

給紙口に物が落ちるのを防ぎます。

用紙ガイドを動かすときは開き、印刷する前に閉じてください。

(6) 用紙ガイド

用紙の両端に合わせます。

(7) 操作パネル

プリンターの設定や操作をするときに使用します。

➡ 操作パネル

(8) 排紙トレイ

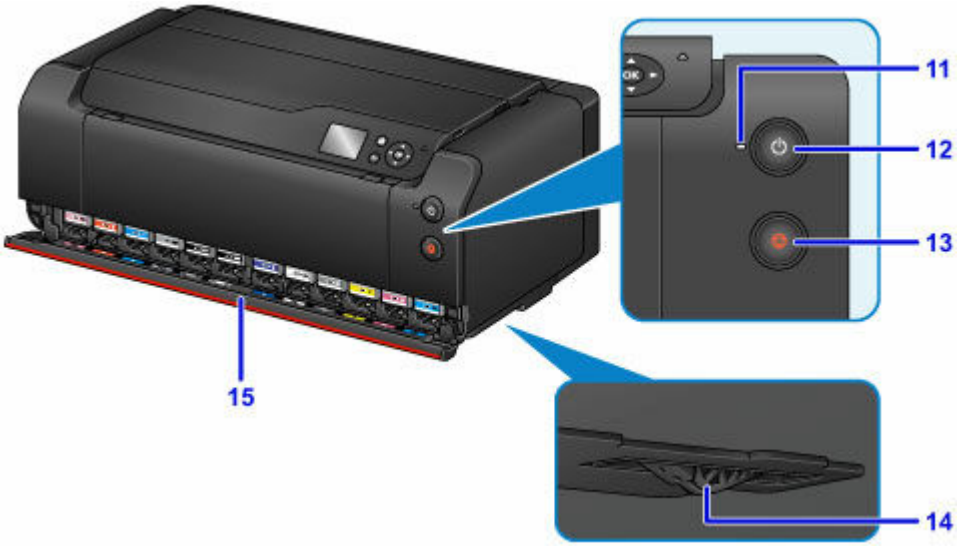
印刷された用紙が排紙されます。印刷する前に開いてください。

(9) 補助トレイ

排紙された用紙を支えるために手前に開きます。

(10) 排紙サポート

排紙された用紙を支えるために手前に引き出します。



(11) 電源ランプ

電源を入れると点滅した後、点灯します。

(12) 電源ボタン

電源を入れる／切るときに押します。

➡ 電源を入れる／切る

(13) ストップボタン

印刷を中止するときなどに押します。

(14) インク供給ストッパー

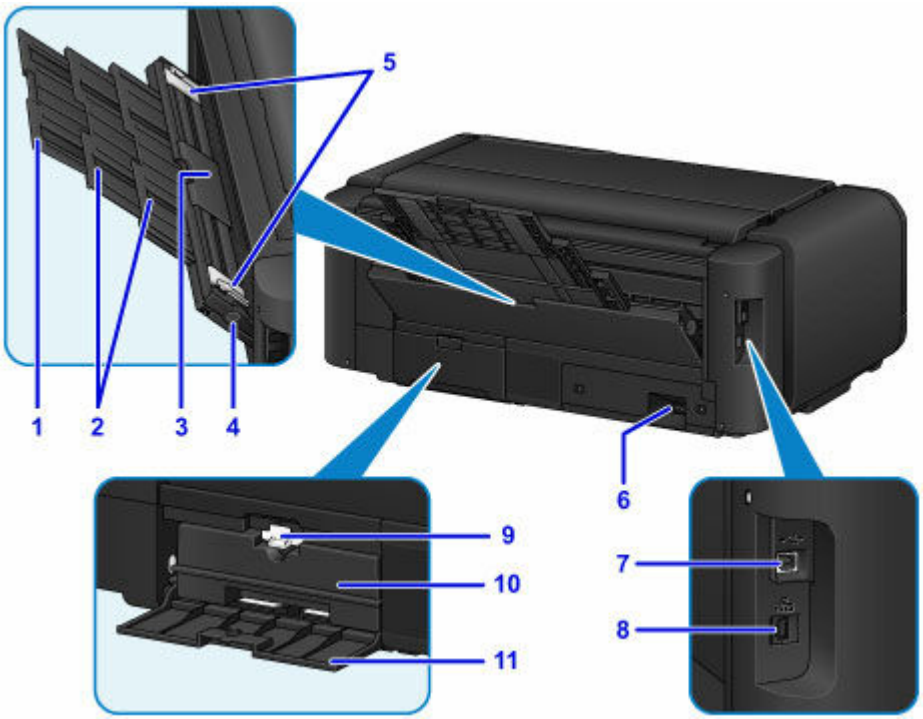
プリンターの底面にあるインク供給ストッパーが突き出した状態だとエラーメッセージが表示され、プリンターが動作しません。インク供給ストッパーに注意して平らな場所に設置してください。

(15) タンクカバー

インクタンクを交換するときに、開きます。

➡ インクタンクを交換する

背面・側面



(1) 補助サポート
手差しトレイに用紙をセットするときに、引き出します。

(2) 用紙サポート
手差しトレイに用紙をセットするときに、引き出します。

(3) 手差しトレイ
六切、A4 以上の大きなサイズの用紙や厚い用紙などを 1 枚ずつセットできます。

➡ 手差しトレイに用紙をセットする

(4) 紙づまり処理用ボタン
紙づまりのときに押し、手差しトレイにつまった用紙を取り除きます。

(5) 用紙ガイド
用紙の両端に合わせます。

(6) 電源コード接続部
付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

(7) USB ケーブル接続部
USB ケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

(8) LAN ケーブル接続部
LAN ケーブルでネットワーク接続するためのコネクタです。

(9) ロックレバー
メンテナンスカートリッジが外れないように固定します。通常はロック状態にしてください。

(10) メンテナンスカートリッジ
クリーニングなどで使用したインクを吸収します。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

重要

- メンテナンスカートリッジをご購入の際は、以下の型番のものをご指定ください。

メンテナンスカートリッジ MC-20

(11) メンテナンスカバー

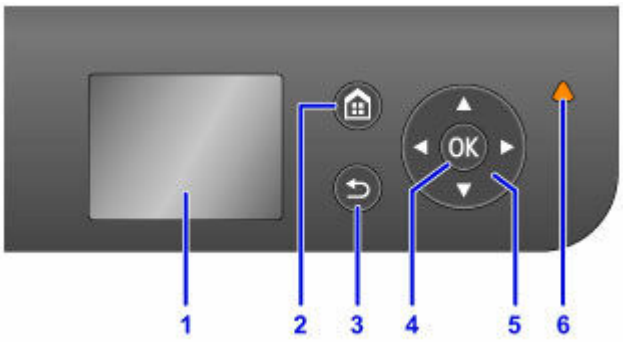
メンテナンスカートリッジを交換するときに、開きます。

重要

- 金属部分に触れないでください。
- パソコンにプリンターを接続して印刷しているときに、USB ケーブルや LAN ケーブルを抜き差ししないでください。故障の原因になります。

操作パネル

※下の図は、操作パネルのランプがすべて点灯している状態です。



(1) 液晶モニター

メッセージやメニュー項目、動作状況などが表示されます。

(2) ホームボタン

ホーム画面を表示するときに押します。

➡ 液晶モニター画面と操作パネルの使いかた

(3) 戻るボタン

前の画面に戻ります。

(4) OK ボタン

メニュー項目や設定項目を確定するときに押します。また、エラーを解除するときも押します。

(5) ▲ ▼ ◀ ▶ ボタン

メニュー項目や設定項目などを選ぶときに使用します。

➡ 液晶モニター画面と操作パネルの使いかた

(6) エラーランプ

エラーが発生したときに点灯または点滅します。

製品の操作方法

- 電源を入れる／切る
- 液晶モニター画面と操作パネルの使いかた
- 上トレイに用紙をセットする
- 手差しトレイに用紙をセットする

電源を入れる／切る

- 電源が入っているか確認する
- 電源を入れる
- 電源を切る

電源が入っているか確認する

電源が入っているときは、電源ランプが点灯します。

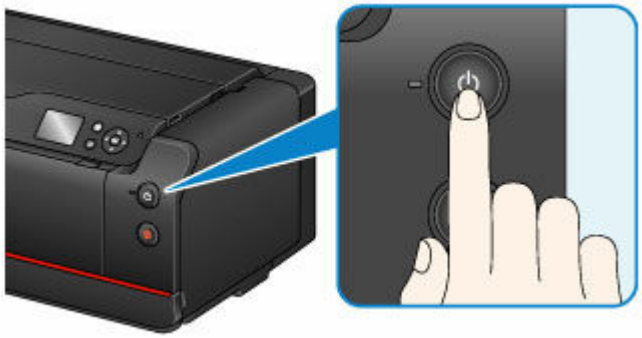
電源ランプが点灯しているときは、液晶モニターが消えていても、電源が入っている状態です。

参考

- 約 3 分間操作をしないと、液晶モニターの表示が消えます。そのときは、操作パネルのボタンを押すか、印刷の操作をすると画面の表示が復帰します。

電源を入れる

プリンターの電源ボタンを押して、電源を入れる



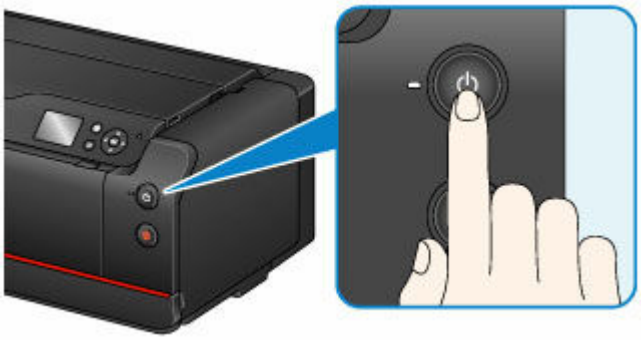
参考

- 電源を入れた直後は、印刷が開始されるまで少し時間がかかります。
- USB 接続またはネットワーク経由で印刷を開始したとき、自動的にプリンターの電源が入るように設定することができます。ご利用開始時は、自動で電源が入る設定にはなっていません。

  ➡ 電源管理

電源を切る

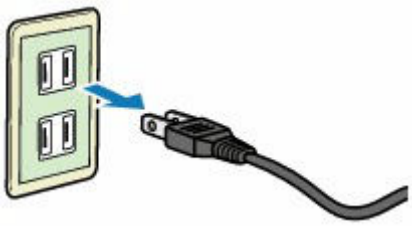
1. プリンターの電源ボタンを押して、電源を切る



2. 電源ランプが消灯し、液晶モニターの表示が消えたことを確認する

重要

- 電源プラグは、電源ボタンを押して電源ランプが消えたことを確認してから抜いてください。電源ランプが点灯または点滅中に電源プラグを抜くと、プリントヘッドの乾燥や目づまりの原因となり、きれいに印刷できなくなる場合があります。



プリント

- **パソコンから印刷する（Windows）**
  - かんたんな設定で印刷する 基本
  - 基本の操作（基本設定シート）
  - 用紙や印刷品質などを設定する（用紙・品質シート）
  - 印刷物のレイアウトを設定する（ページ設定シート）
  - もっと見る…
- **パソコンから印刷する（macOS）**
  - かんたんな設定で印刷する 基本
  - いろいろな印刷
  - 印刷品質の変更や画像データの補正
  - もっと見る…
- **Chromebook で印刷する**
- **本体から印刷する**
  - レポート用紙や方眼紙などの定型フォームを印刷する
- **スマートフォン／タブレットから印刷する**
  - Canon PRINT でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷
  - iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）
  - Mopria®について
  - Canon Print Service を利用して印刷する
- **クラウドサービスを利用する**

パソコンから印刷する（macOS）

- かんたんな設定で印刷する 基本
- いろいろな印刷
- 印刷品質の変更や画像データの補正
- AirPrint で印刷する

かんたんな設定で印刷する

プリンターで適切な印刷を行うための、かんたんな設定手順を説明します。

1. **プリンターの電源が入っていることを確認する**

2. **プリンターに用紙をセットする**

3. **プリンターを選ぶ**

   プリントダイアログの［プリンタ］でお使いの機種名を選びます。

4. **用紙サイズを選ぶ**

   ［用紙サイズ］で使用する用紙サイズを選びます。
   必要に応じて、部数や印刷するページ、方向を設定します。

5. **［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ**

6. 用紙の種類を選ぶ

［用紙の種類］で、プリンターにセットしている用紙の種類と同じものを選びます。

重要

- ［プリセット］で［現在の設定をプリセットとして保存...］をクリックすると、設定した内容を登録できます。

7. 給紙方法を選ぶ

［給紙方法］で目的に合ったものを選びます。

8. 印刷品質を選ぶ

［印刷品質］で、［最高］、［きれい］、［標準］から目的に合ったものを選びます。

重要

- 印刷設定によっては、選べる印刷品質が異なります。

9. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、用紙の種類やサイズに合った印刷を行います。

重要

- 長尺印刷を行う場合は、残量の十分なインクタンクで印刷してください。
- 手差しトレイを使用して印刷する場合は、画面に表示された指示に従って操作してください。

参考

- プリンタードライバーやプリンター本体で登録する用紙情報については、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）

プリンターを使用するときは、最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙の種類と用紙サイズを選んでください。
使用する用紙の種類に応じて、プリンタードライバーやプリンターの操作パネルで、以下のように用紙の種類の設定を行ってください。

キヤノン純正紙（書類の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの[用紙の種類]	プリンター本体で登録する用紙情報
キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>	[普通紙]	[普通紙]
キヤノン普通紙・ホワイト両面厚口 <SW-201>	[普通紙]	[普通紙]
キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>	[普通紙]	[普通紙]

キヤノン純正紙（写真の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの [用紙の種類]	プリンター本体で登録する用紙情報
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>	[写真用紙 光沢ゴールド A]	[光沢ゴールド A]
キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］ <PT-201>	[光沢プロ プラチナグレード]	[プラチナグレード]
キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>	[写真用紙 微粒面光沢 ラスター]	[微粒面光沢 ﾗｽﾀｰ]
キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>	[写真用紙 絹目調]	[絹目調]
マットフォトペーパー <MP-101>	[マットフォトペーパー]	[マットフォト]
キヤノン写真用紙・光沢プロ ［クリスタルグレード］ <CR-101>	[光沢プロ クリスタルグレード]	[ｸﾘｽﾀﾙｸﾞﾚｰﾄﾞ]
プレミアムファインアート・スムース <FA-SM1>	[プレミアムファインアート・スムース]	[ﾌｧｲﾝｱｰﾄ ｽﾑｰｽ]
プレミアムファインアート・ラフ <FA-RG1>	[プレミアムファインアート・ラフ]	[ﾌｧｲﾝｱｰﾄ ﾗﾌ]
キヤノン写真用紙・プレミアムマット <PM-101>	[写真用紙 プレミアムマット A]	[ﾌﾟﾚﾐｱﾑﾏｯﾄ A]

キヤノン純正紙（オリジナルグッズ作り）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの［用紙の種類]	プリンター本体で登録する用紙情報
ピクサスプチシール（16 面光沢フォトシール） <PS-101>	[写真用紙 光沢ゴールド A]	[光沢ゴールド A]

ピクサスプチシール・フリーカット <PS-201>	［写真用紙 光沢ゴールド A］	［光沢ゴールド A］
フォトシールセット（2 面/4 面/9 面/16 面）<PSHRS>	［写真用紙 光沢ゴールド A］	［光沢ゴールド A］

市販の用紙

キヤノン純正紙以外の用紙を使用する場合は、プリンタードライバーやプリンターの操作パネルに用意されている既存の設定を使用して簡易的に印刷することができます。

用紙の名称	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
普通紙（再生紙を含む）	［普通紙］	［普通紙］
バライタ紙 *3	［バライタ紙］	［バライタ紙］
和紙	［和紙］ *2	［和紙］
はがき／年賀はがき	通信面：［はがき］ あて名面：［すべてのはがき(あて名面)］ または［はがき］	通信面：［はがき］ あて名面：［はがき(あて名面)］ または［はがき］
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	通信面：［インクジェットはがき(通信面)］ あて名面：［すべてのはがき(あて名面)］ または［はがき］	通信面：［ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄはがき］ あて名面：［はがき(あて名面)］ または［はがき］
往復はがき	［はがき］	［はがき］
フォト用紙(薄口)（約 0.1mm 以上 0.3mm 未満）	［フォト用紙(薄口)］ *2	［フォト用紙(薄口)］
フォト用紙(厚口)（約 0.3mm 以上 0.6mm 未満）	［フォト用紙(厚口)］ *2	［フォト用紙(厚口)］
フォト用紙(長尺)	［フォト用紙(長尺印刷)］ *2	［フォト用紙(長尺印刷)］
ファインアート紙(厚口)（約 0.1mm 以上 0.3mm 未満）	［ファインアート紙(厚口)］ *2	［アート紙(厚口)］
ファインアート紙(特厚)（約 0.3mm 以上 0.6mm 未満）	［ファインアート紙(特厚)］ *2	［アート紙(特厚)］
ファインアート紙(高濃度) *1	［ファインアート紙(高濃度)］ *2	［ﾌｧｲﾝｱｰﾄ(高濃度)］
ファインアート紙(長尺)	［ファインアート紙(長尺印刷)］ *2	［ﾌｧｲﾝｱｰﾄ紙(長尺印刷)］
キャンバス	［キャンバス］ *2	［キャンバス］

*1 ファインアート紙の中でも特に厚手で、インクの受容量が大きい紙を使用する場合は、［ファインアート紙(高濃度)］を設定してください。通常よりも多くのインクを使用し、紙によっては濃度を濃くすることができます。
ただし、お客様のお使いの紙によっては、用紙がにじんだり、こすれて汚れたりして、プリントヘッドを破損する場合があります。

*2 キヤノン純正紙以外の用紙の印刷品質や搬送性などを向上させたい場合は、Media Configuration Tool でカスタム用紙を作成してプリンターに追加してください。
これらの用紙の種類を、カスタム用紙の基準として使用できます。

*3 インクジェット用バライタ紙を使用する場合は、［バライタ紙］を設定してください。
発色と光沢均一性を向上させ、奥行き感のある高品位な印刷結果を得ることができます。

参考

- Media Configuration Tool を使用して新しい用紙の種類を追加した場合は、Canon IJ Printer Utility2 の［用紙情報］から［用紙情報更新］（［用紙情報適正化］）を選んでプリンタードライバーの用紙情報を更新してください。
  追加した新しい用紙の種類で印刷を行う場合、プリンタードライバーでの用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報を、追加した新しい用紙に変更してください。
- プリントダイアログの［プリンタオプション］から表示される［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］で、［マットフォトペーパー］、［プレミアムファインアート・スムース］、［プレミアムファインアート・ラフ］または［写真用紙 プレミアムマット A］を選んでいる場合は、プリンタードライバーの［用紙サイズ］で［4 x 6］、［L 判］、または「XXX 余白 25mm」を選ぶことをお勧めします。
  印刷できる範囲については、「印刷できる範囲について」を参照してください。

プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

プリンターを使用するときは、最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙サイズを選んでください。プリンターでは以下の用紙サイズが使用できます。

プリンタードライバーでの［用紙サイズ］	プリンター本体で登録する用紙情報
［2L］	［2L/13x18cm(5x7)］
［4 x 6］	［KG/10x15cm(4x6)］
［7 x 10］	［7x10］
［8 x 10］	［六切］
［210x594mm］	［210x594mm］
［A2］	［A2］
［A2 (余白 25mm)］	［A2］
［A3］	［A3］
［A3 (余白 25mm)］	［A3］
［A3 ノビ］	［A3 ノビ］
［A3 ノビ (余白 25mm)］	［A3 ノビ］
［A4］	［A4］
［A4 (余白 25mm)］	［A4］
［A5］	［A5］
［ANSI C］	［17x22］
［C (余白 25mm)］	［17x22］
［JIS B3］	［B3］
［JIS B4］	［B4］
［JIS B5］	［B5］
［L 判］	［L 判］
［US フォト 16 x 20］	［USﾌｫﾄ (16"x20")］
［はがき］	［はがき］
［スクエア 305x305mm］	［12x12］
［スーパー B］	［13"x19"(Super B)］
［タブロイド］	［11x17］
［タブロイド (余白 25mm)］	［11x17］

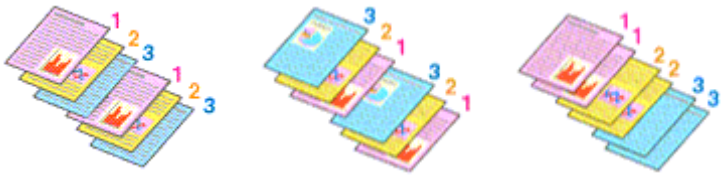
［リーガル］	［リーガル］
［レター］	［レター］
［レター (余白 25mm)］	［レター］
［半切］	［半切］
［四切］	［四切］
［往復はがき］	［往復はがき］
ユーザー定義用紙	［すべてのサイズ］

いろいろな印刷

- 部数と印刷順序を設定する
- フチなし全面印刷を行う
- 拡大/縮小印刷を行う
- 割り付け印刷を行う
- はがきに印刷する
- クリアコートの設定を変更する
- 用紙の縦横サイズを設定する（カスタム用紙サイズ）
- 長尺印刷を行う
- とじしろを設定する
- 用紙サイズに合わせて印刷する
- 目的に合わせて給紙方法を切り替える

部数と印刷順序を設定する

［丁合い］＋［逆送り］　［丁合い］＋［通常］　　［逆送り］

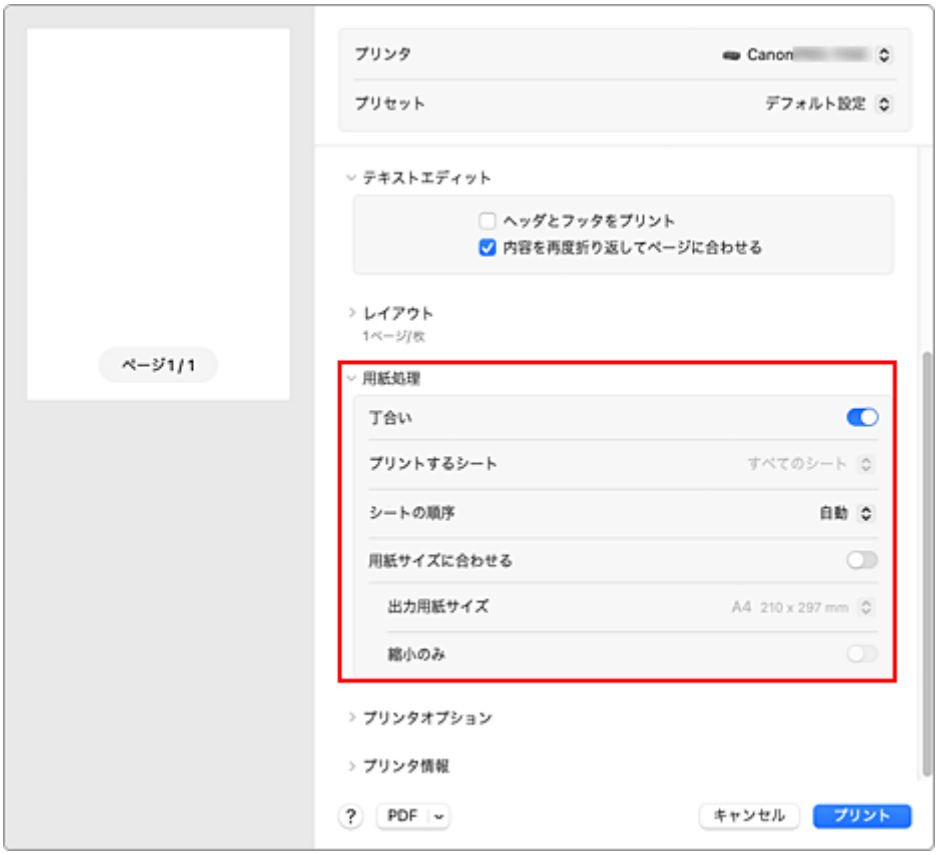


部数と印刷する順序を設定する手順を説明します。

1. 部数を設定する

プリントダイアログの［部数］で印刷する部数を設定します。

2. ［用紙処理］を選ぶ



3. ［部数］を 2 部以上に設定した場合は、［丁合い］を設定する

1 部ずつまとまるように印刷したいときは、［丁合い］をオンにします。
同一ページでまとまるように印刷したいときは、オフにします。

4. 印刷順序を設定する

［シートの順序］を確認します。

［逆送り］を選んだ場合は、最終ページから印刷されます。
［自動］、または［通常］を選んだ場合は、最初のページから印刷されます。

5. 設定を完了する

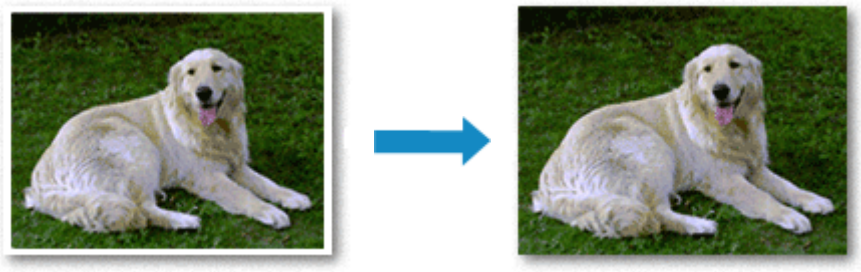
［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、設定した部数や印刷順序で印刷されます。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーで設定を行ってください。印刷結果が思わしくない場合は、アプリケーションソフトで設定を行ってください。両方で設定すると、印刷枚数が 2 つの設定をかけた数になったり、印刷順序の指定が無効になったりすることがあります。

フチなし全面印刷を行う

フチなし全面印刷は、用紙からわずかにはみ出す大きさに原稿を拡大して、紙面いっぱいに印刷する機能です。通常の印刷は原稿の周囲に余白ができますが、フチなし全面印刷ではこの余白ができません。写真などを用紙の全面に印刷したいときに設定してください。



フチなし全面印刷の手順を説明します。

参考

- プリンターの操作パネルでも［フチなし時の画像拡大率］を設定することができますが、プリンタードライバーでの設定が優先されます。

フチなし全面印刷の設定

1. フチなし全面印刷用の用紙サイズを選ぶ

プリントダイアログの［用紙サイズ］で「XXX 縁なし」を選びます。

2. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

3. 用紙からはみ出す量を調整する

必要に応じて、［フチなしはみ出し量］を調整します。
スライドバーを右にドラッグするほどはみ出し量は多く、左にドラッグするほど少なくなります。
通常は、右から 2 番目に設定することをお勧めします。

重要

- ［フチなしはみ出し量］のスライドバーの位置を右端に設定した場合、用紙の裏面が汚れることがあります。

4. ［プリント］をクリック

印刷を実行すると、紙面いっぱいに原稿が印刷されます。

重要

- フチなし全面印刷は、使用できる用紙サイズが決められています。［用紙サイズ］から「縁なし」と表示されている用紙を選んでください。
- 用紙の種類によっては、フチなし全面印刷を行うと用紙の上端や下端の印刷品質が低下したり、汚れが発生したりすることがあります。
- 用紙サイズによっては、画像データとの縦横の比率が異なるため、画像の一部が用紙に収まらないことがあります。
  その場合は、用紙サイズに合わせてアプリケーションソフトで画像データをトリミングしてください。

- 拡大/縮小印刷や割り付け印刷の設定を行っている場合は、フチなし全面印刷は機能しません。

参考

- プリントダイアログの［プリンタオプション］から表示される［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］で、［普通紙］、［すべてのはがき(あて名面)］、［はがき］を選んでいる場合は、フチなし全面印刷は選べません。

印刷範囲を広げたいときは

確実にフチなし全面印刷を実行するためには、原稿のはみ出し量を多くしておけば安心ですが、はみ出した部分の原稿は紙面に印刷されません。そのため、端のほうにある被写体が用紙に収まらないことがあります。

フチなし全面印刷の結果に満足できなかった場合は、はみ出し量を少なくしてください。［フチなしはみ出し量］のスライドバーを左にドラッグするほど、はみ出し量が少なくなります。

重要

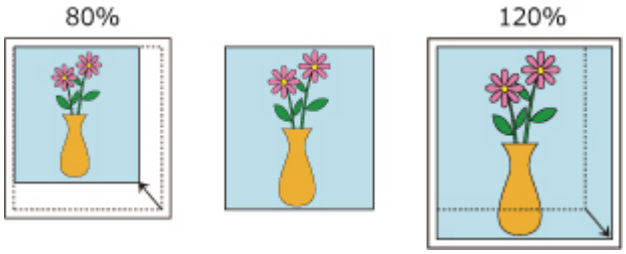
- はみ出し量を少なくした場合は、用紙のサイズによっては余白ができることがあります。

参考

- ［フチなしはみ出し量］のスライドバーを左端に設定すると、画像データは原寸で印刷されます。

拡大/縮小印刷を行う

原稿を拡大または縮小して印刷する手順を説明します。



1. プリンターを選ぶ

ページ設定ダイアログの［対象プリンタ］でお使いの機種名を選びます。

2. 拡大／縮小印刷を設定する

［拡大縮小］で倍率を設定し、［OK］をクリックします。

参考

- ［拡大縮小］に入力する数値によっては、エラーメッセージが表示される場合があります。

3. 設定を完了する

プリントダイアログを表示し、［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、拡大または縮小して印刷されます。

重要

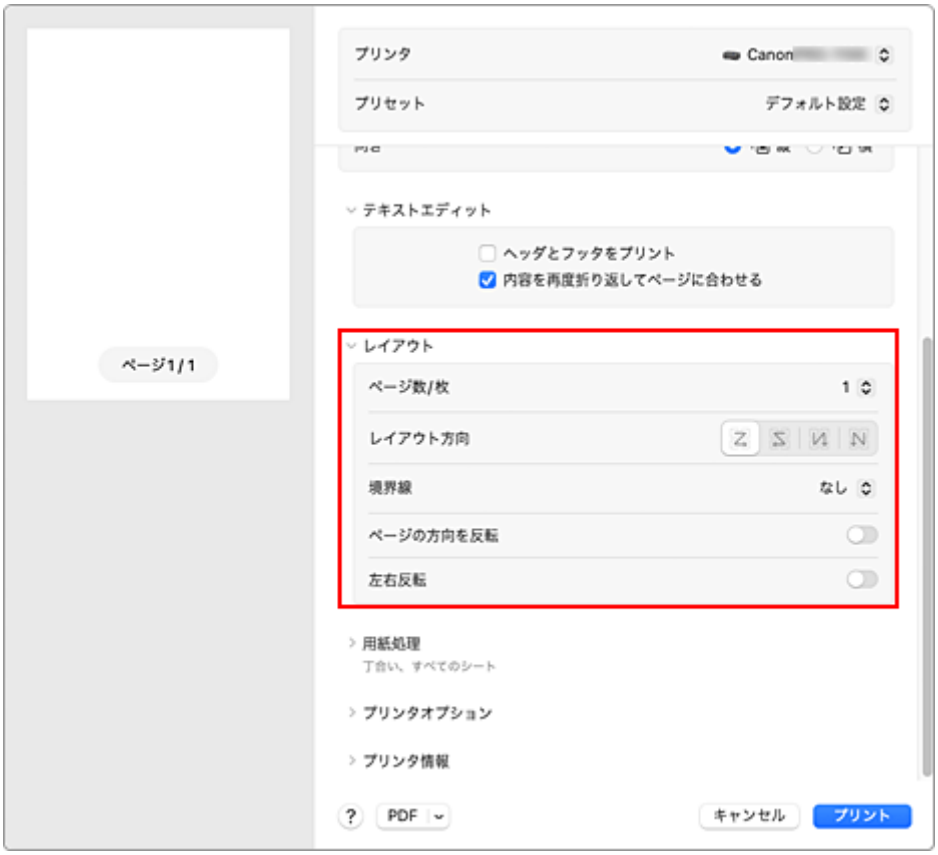
- 原稿を作成したアプリケーションソフトに拡大縮小印刷機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してください。ページ設定ダイアログで設定する必要はありません。

割り付け印刷を行う

1 枚の用紙に複数ページの原稿を並べて印刷します。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［レイアウト］を選ぶ



2. 1 枚の用紙に納めるページ数を設定する

［ページ数／枚］で、1 枚の用紙に納めるページ数を指定します。

3. 必要に応じて以下の項目を設定する

［レイアウト方向］

原稿を配置する順序を変えるときは、一覧から配置のしかたを選びます。

［境界線］

原稿のページのまわりを境界線で囲むときは、境界線の種類を選びます。

［ページの方向を反転］

用紙の向きを変更するときは、オンにします。

［左右反転］

原稿の左右を反転するときは、オンにします。

4. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、指定したページ数、ページ順序で原稿が割り付けられます。

はがきに印刷する

はがき印刷の手順を説明します。

1. プリンターにはがきをセットする

2. プリントダイアログで用紙サイズを選ぶ

［用紙サイズ］で［はがき］、または［往復はがき］を選びます。

重要

- 往復はがきは、パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 往復はがきに印刷するときは、お使いのアプリケーションソフトおよびプリンタードライバーで用紙サイズをかならず［往復はがき］に設定してください。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目が付くと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。

3. ［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

4. 用紙の種類を選ぶ

［用紙の種類］で、プリンターにセットしている用紙の種類と同じものを選びます。

重要

- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- はがきの両面に１面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。
- あて名面を印刷する場合と、通信面を印刷する場合では、プリントダイアログでの用紙設定が異なります。プリントダイアログやプリンター本体で登録する用紙情報については、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

5. ［プリント］をクリックする

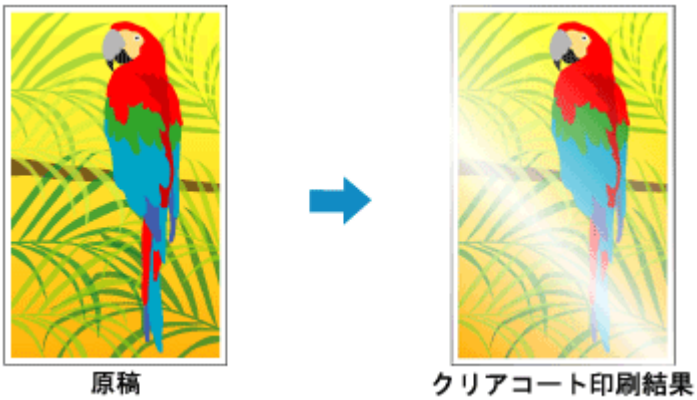
設定に従ってはがきに印刷されます。

重要

- 印刷開始前にガイドメッセージが表示された場合に、［次回から表示しない］にチェックマークを付けると、ガイドメッセージを再表示させることができなくなります。

クリアコートの設定を変更する

クリアコートを行うと、クロマオプティマイザー（CO）インクを印刷面に塗布して、光沢感の調整ができます。



クリアコートの設定を変更する手順を説明します。

1. **プリントダイアログの［プリンタオプション］から［用紙の詳細設定］を選ぶ**

2. **クリアコートの設定を行う**

   ［クリアコート］で、以下の項目から目的に合ったものを選びます。

   参考

   - 用紙の種類や印刷品質によって、選べるメニューは異なります。

［自動］

クリアコートする領域およびクリアコートを実行するかを自動的に設定します。

［全面］

画像領域外の余白を含む全面をクリアコートします。
全面にクリアコートをすることで、余白を含め全体の光沢感を改善します。
クロマオプティマイザー（CO）インクをもっとも使用します。

［白以外］

画像部分のみ光沢感を改善したい場合に使用します。白い領域（余白部分含む）はクリアコートしません。

［しない］

クリアコートは行わずに印刷します。
クリアコートする場合と比べて、画質が低下して見えたり、印刷面に傷がつきやすくなったりすることがあります。

参考

- 印刷後にラミネート加工する場合など、クリアコートが不要な場合は［しない］を選んでください。

重要

- ［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］で、［写真用紙 光沢ゴールド A］、［光沢プロ プラチナグレード］、［写真用紙 微粒面光沢 ラスター］、［写真用紙 絹目調］、［光沢プロ クリスタルグレード］、［フォト用紙(薄口)］、［フォト用紙(厚口)］、［フォト用紙(長尺印刷)］、［バライタ紙］以外を選んでいる場合は、［自動］のみ選べます。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、設定したクリアコートの効果を加えて印刷されます。

用紙の縦横サイズを設定する（カスタム用紙サイズ）

［用紙サイズ］で選べないサイズの用紙を使用する場合は、縦、横のサイズを任意に指定することができます。このような用紙サイズのことを「カスタム用紙サイズ」といいます。

カスタム用紙のサイズを設定する手順を説明します。

1. 新しいカスタム用紙サイズを作成する

プリントダイアログで［用紙サイズ］から［カスタムサイズを管理...］を選びます。
表示されたダイアログで［+］をクリックします。

一覧に新しく［名称未設定］が追加されます。

2. カスタム用紙サイズの詳細を設定する

［名称未設定］をダブルクリックし、登録する用紙サイズの名称を入力して、用紙の［幅］と［高さ］を指定します。
［余白］で［ユーザ定義］またはお使いの機種名を選びます。

3. カスタム用紙サイズを登録する

［OK］をクリックします。
カスタム用紙のサイズが登録されます。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに縦、横のサイズを指定する機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してください。アプリケーションソフトで設定できないときや、正常に印刷されないときは、プリンタードライバーから上記の手順で設定してください。

参考

- 登録した用紙サイズを複製したいときは、［カスタム用紙サイズ］ダイアログの一覧から複製したい用紙サイズを選んで、［複製］をクリックします。
- 登録した用紙サイズを削除したいときは、［カスタム用紙サイズ］ダイアログの一覧から削除したい用紙サイズを選んで、［-］をクリックします。
- プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なる場合、プリンター本体の操作パネルにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。

長尺印刷を行う

1.2m を超える長尺用紙に印刷する手順を説明します。

1. カスタム用紙サイズを登録する

［用紙サイズ］から［カスタムサイズを管理...］で使用したい用紙サイズを登録します。

2. 用紙の種類を選ぶ

プリントダイアログの［用紙サイズ］で登録したカスタム用紙サイズを選びます。

3. ［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

4. 用紙の種類を選ぶ

［用紙の種類］で［フォト用紙(長尺印刷)］または［ファインアート紙(長尺印刷)］を選びます。

5. プリンターに長尺用紙をセットする

参考

- 長尺用紙をセットする場合、用紙の重さによっては先端が浮き上がり、印刷がずれることがあります。トレイからはみ出している部分を手で保持するなど、用紙の先端が浮き上がらないようにしてください。

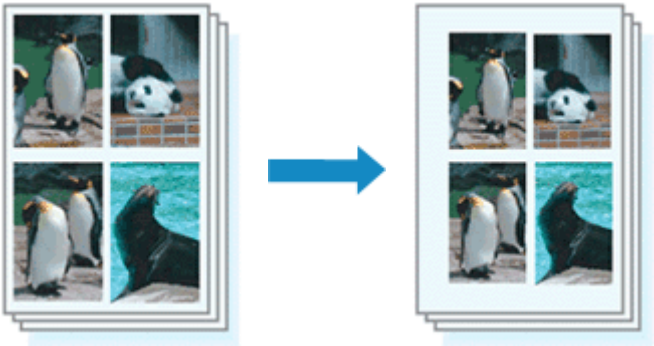
6. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、指定した用紙のサイズで印刷されます。

参考

- 長尺用紙に印刷する場合、排出された用紙を手で保持するか、用紙が落ちないような場所で使用してください。用紙が落下すると印字面が汚れたり、傷ついたりすることがあります。また、手で保持する場合、印刷中は無理に用紙を引っ張らないでください。
- 長尺用紙に印刷する場合、印刷の途中でインクがなくなると、印刷を中断して用紙が排出されます。印刷を開始する前に、インクが十分残っていることをご確認ください。

とじしろを設定する



とじしろの幅ととじ方向を設定する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

2. とじしろの幅ととじ方向を設定する

必要に応じて、［とじしろ］の幅を設定し、［とじ方向］からとじしろの位置を選びます。

参考

- とじしろの幅によって、印刷領域は自動的に縮小します。

3. ［プリント］をクリックする

印刷を実行すると、指定したとじしろの幅ととじ方向で印刷されます。

重要

- フチなし全面印刷の設定を行っている場合は、［とじしろ］と［とじ方向］はグレー表示となり、設定できません。

用紙サイズに合わせて印刷する

使用する用紙に合わせて原稿を自動的に拡大または縮小して印刷する手順を説明します。

1. 用紙サイズを確認する

プリントダイアログの［用紙サイズ］がアプリケーションソフトで設定した用紙サイズになっていることを確認します。

2. プリントダイアログから［用紙処理］を選ぶ

3. 印刷する用紙サイズを設定する

［用紙サイズに合わせる］にチェックマークを付け、［出力用紙サイズ］で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

4. 必要に応じて［縮小のみ］を設定する

チェックマークを付けると、原稿のサイズが用紙より大きい場合は、用紙に合わせて縮小して印刷されます。原稿のサイズが用紙より小さい場合は、元のサイズで印刷されます。

5. ［プリント］をクリックする

印刷を実行すると、原稿は用紙に合わせて拡大または縮小して印刷されます。

目的に合わせて給紙方法を切り替える

プリンターには、手差しトレイと上トレイの 2 つの給紙位置があります。
用紙の種類や目的に合わせて給紙方法を使い分けることによって、より便利に印刷することができます。

給紙方法を設定する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

2. 用紙の種類を選ぶ

［用紙の種類］で、プリンターにセットしている用紙の種類と同じものを選びます。

3. 給紙方法を選ぶ

［給紙方法］で、以下の項目から目的に合ったものを選びます。

［手差し］

背面の手差しトレイから給紙を行います。

重要

- ［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］で、［普通紙］、［すべてのはがき(あて名面)］、［インクジェットはがき(通信面)］、［はがき］を選んでいる場合、背面の手差しトレイからは給紙できません。
- プリントダイアログの［用紙サイズ］で［2L］、［4 x 6］、［7 x 10］、［A5］、［JIS B5］、［L 判］、［はがき］、［往復はがき］を選んでいる場合、背面の手差しトレイからは給紙できません。

［上トレイ］

上トレイから給紙を行います。

重要

- ［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］で、［フォト用紙(厚口)］、［バライタ紙］、［プレミアムファインアート・スムース］、［プレミアムファインアート・ラフ］、［写真用紙 プレミアムマット A］、［ファインアート紙(特厚)］、［ファインアート紙(高濃度)］を選んでいる場合、上トレイからは給紙できません。

4. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、設定した給紙方法で印刷されます。

参考

- プリントダイアログで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なる場合、エラーが発生することがあります。エラーが発生した場合の対処方法については、「用紙情報を登録する」を参照してください。プリンター本体で登録する用紙情報については、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

印刷品質の変更や画像データの補正

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- モノクロ印刷を行う
- 色補正の方法を指定する
  - 画像データに適した写真印刷を行うには
  - プリンタードライバーで色の補正を行う
  - ICC プロファイルを使用して印刷する（アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定する）
  - ICC プロファイルを使用して印刷する（プリンタードライバーで ICC プロファイルを指定する）
  - ICC プロファイルの見かた
- モノクロの色調を調整する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

印刷品質を設定する（ユーザー設定）

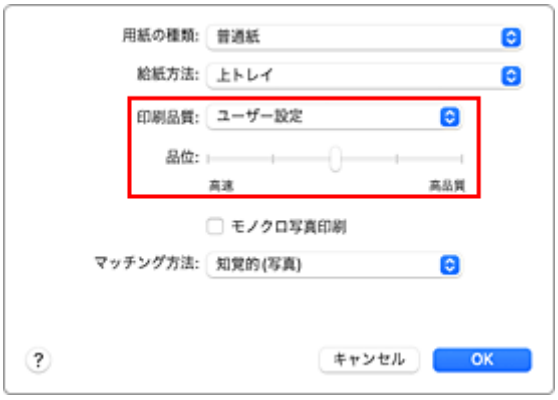
［ユーザー設定］で、印刷品質のレベルを設定することができます。

印刷品質のレベルを設定する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

2. 印刷品質を選ぶ

［印刷品質］で［ユーザー設定］を選びます。



3. 印刷品質のレベルを設定する

［品位］のスライドバーをドラッグし、印刷品質のレベルを選びます。

重要

- 用紙の種類の設定によっては、選べない印刷品質のレベルがあります。

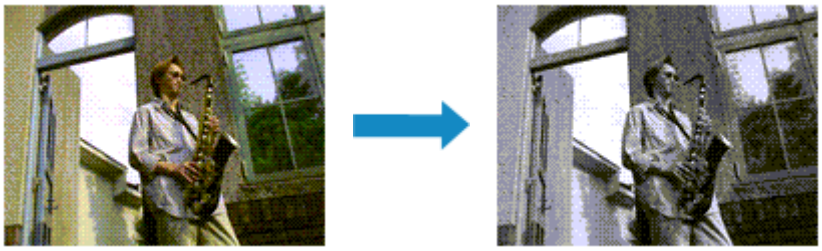
4. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、選んだ印刷品質のレベルで印刷されます。

関連項目

- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

モノクロ印刷を行う



カラーで作成した原稿やモノクロ写真をモノクロで印刷する手順を説明します。
モノクロ印刷は、微妙な色調の調整ができるようにカラーインクも使用する方法とこだわりのモノクロ写真が印刷できるようにブラックインク、グレーインクのみを使用する方法があります。
ブラックインク、グレーインクのみを使用するモノクロ印刷を行う場合、モノクロの色調は調整できません。

- カラーインクも使用するモノクロ印刷
- ブラックインク、グレーインクのみを使用するモノクロ印刷

カラーインクも使用するモノクロ印刷

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

2. モノクロ写真印刷を設定する

［モノクロ写真印刷］にチェックマークを付けます。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、原稿はモノクロのデータに変換され、カラーの原稿もモノクロで印刷されます。

ブラックインク、グレーインクのみを使用するモノクロ印刷

ブラックインク、グレーインクのみを使用するモノクロ印刷を行う場合は、事前に Media Configuration Tool を使用して［フォト用紙(モノクロ印刷)］や［ファインアート紙(モノクロ印刷)］を新しい用紙の種類として追加し、Canon IJ Printer Utility2 から［用紙情報更新］を選んでプリンタードライバーの用紙情報を更新する必要があります。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

2. 用紙の種類を選ぶ

［用紙の種類］で［フォト用紙(モノクロ印刷)］または［ファインアート紙(モノクロ印刷)］を選びます。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、原稿はモノクロのデータに変換され、カラーの原稿もモノクロで印刷されます。

関連項目

➡ モノクロの色調を調整する

色補正の方法を指定する

印刷する原稿の種類に合わせて、色補正の方法を指定することができます。
通常は、プリンタードライバーで色の補正が自動で行われて印刷されます。

画像データの色空間を有効活用して印刷する場合や、アプリケーションソフトで印刷用の ICC プロファイルを指定して印刷する場合は［ColorSync］を、プリンタードライバーで色を補正して印刷する場合は［Canon カラー・マッチング］を選んでください。

色補正の方法を指定する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーマッチング］を選ぶ

2. 色補正の方法を選ぶ

以下から目的に合ったものを選びます。

［ColorSync］

ColorSync による色補正を行います。

［Canon カラー・マッチング］

ドライバーで補正して印刷します。
ドライバー補正については、「プリンタードライバーで色の補正を行う」を参照してください。

重要

- モニターで表示されている色合いと印刷結果が異なると感じた場合は、［品位と用紙の種類］の［マッチング方法］で［色補正なし］を選んでください。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、指定した色補正の方法で印刷されます。

重要

- お使いのアプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフト側で印刷用の ICC プロファイルを指定した場合、［ColorSync］が選ばれているため、［Canon カラー・マッチング］は選べません。
- ［ColorSync］または［Canon カラー・マッチング］を選んでいても、［品位と用紙の種類］の設定は必要です。

関連項目

- 画像データに適した写真印刷を行うには
- プリンタードライバーで色の補正を行う
- ICC プロファイルを使用して印刷する（アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定する）
- ICC プロファイルを使用して印刷する（プリンタードライバーで ICC プロファイルを指定する）
- ICC プロファイルの見かた

画像データに適した写真印刷を行うには

デジタルカメラで撮影した画像を印刷すると、撮影したイメージや、モニターに表示される色と違う色で印刷されていると感じることがあります。
印刷結果を希望する色合いに近づけるには、使用するアプリケーションソフトや目的に応じて適切な印刷方法を選ぶ必要があります。

カラーマネジメントとは

デジタルカメラ、スキャナー、モニター、プリンターなど、それぞれの機器で取り扱える色が異なります。それぞれの機器ごとに持っている固有の「色」を、共通の色空間で管理するための方法がカラーマネジメント（カラーマッチング）です。

カラーマネジメントシステムは、macOS では「ColorSync」という名称で OS に内蔵されています。
共通の色空間として多く使用されているものに sRGB があります。

それぞれの機器の持つ固有の「色」を、共通の色空間に変換するのに必要なものが、ICC プロファイルです。ICC プロファイルを利用してカラーマネジメントを行うことで、画像データが持っている色空間をプリンターで表現できる色再現領域内で引き出すことが可能になります。

参考

- 通常、画像ファイルは JPEG 形式で保存されます。デジタルカメラによっては、RAW という形式で画像を保存することができます。RAW データとは、パソコンで現像処理を前提としたデータの保存形式で、専用のアプリケーションソフトで画像ファイルに入力 ICC プロファイルのタグをつけることができます。

画像データに適した印刷方法を選ぶ

画像データの色空間や使用するアプリケーションソフトによって、推奨する印刷方法が異なります。

代表的なものに次の 2 つの印刷方法があります。
画像データの色空間と使用するアプリケーションソフトを確認し、目的に合った印刷方法を選んでください。

プリンタードライバーで色の補正を行う

プリンタードライバーの色補正機能を指定して印刷する方法を説明しています。
印刷イメージをモニターで確認しながら色補正した場合など、モニターの表示に近い印象で印刷したいときに選びます。

ICC プロファイルを使用して印刷する（アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定する）

画像データの色空間を有効活用して印刷する方法を説明しています。
アプリケーションソフトやプリンタードライバーで画像データの入力 ICC プロファイルに合わせたカラーマネジメントを設定することで共通の色空間で印刷できます。
使用するアプリケーションソフトによって、プリンタードライバーでの設定方法が異なります。

関連項目

➡ ICC プロファイルの見かた

プリンタードライバーで色の補正を行う

プリンタードライバーで補正して印刷したい場合は、プリンタードライバーの色補正機能を指定します。モニターに表示されているデータの特性を正しく反映し、モニターの表示に近い印象の印刷結果を得ることができます。

重要

- プリンタードライバーで補正して印刷する場合は、モニターや環境光を次のように設定することをお勧めします。
  - モニター
    色温度：D50（5000K）
    輝度：100～120cd/m2
    ガンマ：2.2
  - 環境光
    D50 の色評価用蛍光灯（色温度 5000K、高演色性）
    印刷物を見るときの明るさ：500lx±125lx

参考

- ICC プロファイルを識別、指定できるアプリケーションソフトから印刷する場合は、アプリケーションソフトで印刷用の ICC プロファイルを使用してカラーマネジメントを行う設定項目を選んでください。

プリンタードライバーで色の補正を行う手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーマッチング］を選ぶ

2. 色補正を選ぶ

［Canon カラー・マッチング］を選びます。

3. ［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

4. マッチング方法を選ぶ

［品位と用紙の種類］の［マッチング方法］で［知覚的(写真)］を選びます。

5. そのほかの項目を設定する

［プリンタオプション］から［カラーオプション］を選び、必要に応じて、カラーバランス（［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］）や、［明るさ］、［コントラスト］を調整します。

6. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、プリンタードライバーで色を補正して印刷されます。

関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する

➡ コントラストを調整する

ICC プロファイルを使用して印刷する（アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定する）

Adobe Photoshop や Canon Digital Photo Professional などの、入力 ICC プロファイルを識別、指定できるアプリケーションソフトから、macOS に内蔵されているカラーマネジメントシステム（ColorSync）を利用して印刷します。アプリケーションソフトで編集、レタッチした結果を、画像データが持つ入力 ICC プロファイルの色空間を有効活用して印刷します。

この印刷方法では、お使いのアプリケーションソフトでカラーマネジメントする設定項目を選び、画像データに入力 ICC プロファイルと印刷用の ICC プロファイルを指定しておく必要があります。
個人で作成した印刷用の ICC プロファイルやキヤノン専用紙の印刷用の ICC プロファイルを使用して印刷する場合も、アプリケーションソフトでカラーマネジメントする設定項目を選んでください。
指定する方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーマッチング］を選ぶ

2. 色補正を選ぶ

［ColorSync］を選びます。
［プロファイル］は［自動］のままで構いません。

重要

- お使いのアプリケーションソフトによっては、［ColorSync］以外の設定項目が選べないことがあります。
- ［プロファイル］で［自動］または「印刷用紙の ICC プロファイル」以外を選ぶと、正しい色で印刷できません。
- モニターで表示されている色合いと印刷結果が異なると感じた場合は、［品位と用紙の種類］の［マッチング方法］で［色補正なし］を選んでください。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、画像データの色空間で印刷されます。

関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

ICC プロファイルを使用して印刷する（プリンタードライバーで ICC プロファイルを指定する）

入力 ICC プロファイルを識別・指定できないアプリケーションソフトから、データの入力 ICC プロファイル（sRGB）の色空間で印刷します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーマッチング］を選ぶ

2. 色補正を選ぶ

［ColorSync］を選びます。
［プロファイル］は［自動］のままで構いません。

重要

- ［プロファイル］で［自動］または「印刷用紙の ICC プロファイル」以外を選ぶと、正しい色で印刷できません。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、画像データの色空間で印刷されます。

重要

- プリンタードライバーで入力 ICC プロファイルを指定することはできません。

関連項目

➡ 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
➡ 色補正の方法を指定する

➡ カラーバランスを調整する
➡ 明るさを調整する
➡ コントラストを調整する

ICC プロファイルの見かた

プリンター用の ICC プロファイルを指定する場合は、印刷する用紙に応じて ICC プロファイルを指定してください。

プリンター用にインストールされている ICC プロファイルは、以下のように表示されます。

Canon XXXXX Photo Paper Plus Glossy II
(1) (2)

- (1)：プリンターの機種名
- (2)：用紙の種類
  この用紙名称は以下の用紙に対応しています。
  Baryta Photo Paper：バライタ紙
  Canvas：キャンバス
  Extra Heavyweight Fine Art Paper：ファインアート紙(特厚)
  Heavyweight Fine Art Paper：ファインアート紙(厚口)
  Heavyweight Photo Paper：フォト用紙(厚口)
  Highest Density Fine Art Paper：ファインアート紙(高濃度)
  Japanese Paper Washi -P：和紙
  Lightweight Photo Paper：フォト用紙(薄口)
  Matte Photo Paper -P：マットフォトペーパー
  Photo Paper Pro Luster：キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター
  Photo Paper Pro Platinum：キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］
  PhotoPaper Plus Semi-gloss：キヤノン写真用紙・絹目調
  PhotoPaperPro CrystalGrade：キヤノン写真用紙・光沢プロ ［クリスタルグレード］
  PhotoPprProPremiumMatte A：キヤノン写真用紙・プレミアムマット
  Plus Glossy II A：キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド
  Premium Fine Art Rough：プレミアムファインアート・ラフ
  Premium Fine Art Smooth：プレミアムファインアート・スムース

参考

- 用紙の種類の末尾に「-P」が表示される ICC プロファイルは、［マッチング方法］で［知覚的(写真)］を選んだ場合と同じ印刷結果になります。

モノクロの色調を調整する

白黒写真を印刷するときに、寒色系のクールな印象や暖色系の暖かい印象で仕上げることができます。

［冷黒調］に設定

［白黒］に設定

［温黒調］に設定

参考

- ［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］で［フォト用紙(モノクロ印刷)］または［ファインアート紙(モノクロ印刷)］を選んだ場合、モノクロ色調を調整できません。

モノクロの色調を調整する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

2. 用紙の種類を選ぶ

［用紙の種類］で、［写真用紙 光沢ゴールド A］、［光沢プロ プラチナグレード］、［写真用紙 微粒面光沢ラスター］、［写真用紙 絹目調］、［光沢プロ クリスタルグレード］、［フォト用紙(薄口)］、［フォト用紙(厚口)］、［フォト用紙(長尺印刷)］、［バライタ紙］、［プレミアムファインアート・スムース］、［プレミアムファインアート・ラフ］、［写真用紙 プレミアムマット A］、［ファインアート紙(厚口)］、［ファインアート紙(特厚)］、［ファインアート紙(高濃度)］、［ファインアート紙(長尺印刷)］、［キャンバス］または［和紙］を選びます。

3. モノクロ写真印刷を設定する

［モノクロ写真印刷］にチェックマークを付けます。

4. ［プリンタオプション］から［カラーオプション］を選ぶ

5. モノクロ色調を調整する

［モノクロ色調］から以下の項目のいずれかを指定します。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

[冷黒調]

寒色系の色合い（冷黒）に調整します。[冷黒調] を選ぶと、[X] に-30、[Y] に 0 の値が入力されます。

[白黒]

ニュートラルな色合いに調整します。[白黒] を選ぶと、[X] に 0、[Y] に 0 の値が入力されます。

[温黒調]

暖色系の色合い（温黒）に調整します。[温黒調] を選ぶと、[X] に 30、[Y] に 0 の値が入力されます。

[ユーザー設定]

調整領域で色合いを確認しながら、色調の調整をすることができます。
数値を直接入力するか、上下の矢印ボタンをクリックして調整を行います。入力する数値は [X] は-100～100 の範囲、[Y] は-50～50 の範囲で設定してください。
調整領域をマウスでクリックまたはドラッグして調整を行うこともできます。
他の色調を選んだあとに、再度 [ユーザー設定] を選んだ場合は、直前に [ユーザー設定] で設定していた数値が復元されます。

重要

- [品位と用紙の種類] の [モノクロ写真印刷] にチェックマークが付いているとき、[モノクロ色調] と、[X]、[Y]（モノクロ調整値）が表示されます。

6. 必要に応じて手動でモノクロ色調を調整する

[X]、[Y]（モノクロ調整値）に数値を直接入力するか、上下の矢印ボタンをクリックして調整を行います。
調整領域をマウスでクリックまたはドラッグして調整を行うこともできます。

7. 設定を完了する

[プリント] をクリックします。
印刷を実行すると、原稿は調整した色調でモノクロのデータに変換され、カラーの原稿もモノクロで印刷されます。

重要

- [カラーマッチング] で [ColorSync] を選んだとき、[モノクロ色調]、[X]、[Y] はグレー表示となり設定できません。

関連項目

- モノクロ印刷を行う
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

カラーバランスを調整する

印刷時にプリントの色合いを調整することができます。
各色のインク量のバランスを変更してカラーバランスの調整を行うため、原稿全体の色相が変化します。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。
下のサンプルでは、全体の色が均一に変化するようにシアンを強くし、イエローを弱くして印刷した場合を表示しています。

補正なし

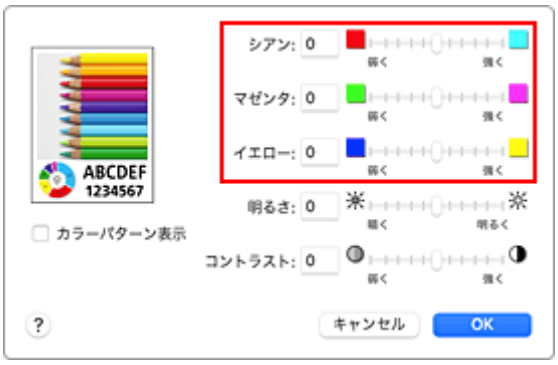
カラーバランスを調整

カラーバランスを調整する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーオプション］を選ぶ

2. カラーバランスを調整する

［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］の色別のスライドバーがあり、それぞれの色は右に動かすほど強く、左に動かすほど弱くなります。例えば、シアンを弱くすると補色であるレッドが強くなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。



3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、調整したカラーバランスで印刷されます。

関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する
- 明るさを調整する

➡ コントラストを調整する

明るさを調整する

印刷時に画像データ全体の色を明るくまたは暗くすることができます。
下のサンプルでは、明るさを暗く調整して印刷した場合を表示しています。

補正なし

明るさを暗く調整

明るさを調整する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーオプション］を選ぶ

2. 明るさを調整する

［明るさ］のスライドバーを右にドラッグするほど明るく、左にドラッグするほど暗くなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、調整した明るさで印刷されます。

関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- コントラストを調整する

コントラストを調整する

印刷時に画像のコントラストを調整することができます。
画像の明るい部分と暗い部分の差を大きく、はっきりさせたい場合はコントラストを強くします。反対に、明るい部分と暗い部分の差を縮めて、ぼんやりさせたい場合はコントラストを弱くします。

補正なし

コントラストを調整

コントラストを調整する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーオプション］を選ぶ

2. コントラストを調整する

［コントラスト］のスライドバーを右に動かすほどコントラストが強く、左に動かすほど弱くなります。スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、調整したコントラストで印刷されます。

関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する

AirPrint で印刷する

AirPrint では、プリンタードライバーをインストールしなくても、写真、E メール、ウェブページ、文書などを印刷することができます。

重要

- AirPrint での印刷には制限事項があります。あらかじめこれらの点に注意してください。プリンターのすべての機能を使用したい場合は、Canon IJ プリンタードライバーを使用してください。

お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- AirPrint の動作環境
  最新バージョンの OS がインストールされている Mac
- 使用条件
  Mac とプリンターが次のいずれかの方法で接続されていること
  - 同一のネットワーク上で LAN 接続されている
  - Wi-Fi ルーターを介さずに直接接続されている（ダイレクト接続）
  - USB 接続されている

お使いの Mac に本製品を AirPrint プリンターとして追加する

1. ［システム設定］の［プリンタとスキャナ］を選ぶ

2. ［プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加...］をクリックする

3. ［Bonjour］と表示されているお使いの機種名を選ぶ

4. ［ドライバ］からお使いのプリンターを選ぶ

5. ［追加］をクリックする

お使いの Mac に本製品が AirPrint プリンターとして追加されます。

Mac から AirPrint で印刷する

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

参考

- ［自動電源オン］を有効にしている場合、印刷ジョブを受信するとプリンターの電源は自動的に入ります。

2. プリンターに用紙をセットする

3. プリンターで用紙のサイズと用紙の種類を選ぶ

セットした用紙のサイズ、用紙の種類をプリンターの操作パネルで登録します。
登録方法については、「用紙情報を登録する」を参照してください。

4. お使いのアプリケーションソフトから印刷を開始する

プリントダイアログが表示されます。

5. プリンターを選ぶ

プリントダイアログの［プリンタ］でお使いの機種名を選びます。

6. 印刷設定を確認する

必要に応じて、用紙のサイズやそのほかの項目を設定します。
用紙の種類は、プリンター本体から設定してください。

重要

- 手差しトレイから給紙する場合は、［給紙トレイ］から［多目的トレイ］を選んでください。
- プリントダイアログで設定した用紙のサイズと、プリンター本体で設定した用紙のサイズが異なる場合、エラーが発生することがあります。印刷する用紙に合わせて、プリントダイアログとプリンター本体それぞれの正しい項目を選んでください。

参考

- プリントダイアログでは、レイアウトや印刷順序など印刷全般の設定ができます。
  印刷設定については、macOS のヘルプを参照してください。
- プリンター本体の操作パネルで［画質設定］（［カラーモード］、［クリアコート］）や［用紙設定］（［片方向印刷］）および［フチなし時の画像拡大率］を設定することができます。詳しくは「印刷設定」を参照してください。

7. ［プリント］をクリックする

設定に従って印刷されます。

参考

- プリンターの電源が入ってから無線 LAN 接続（Wi-Fi）で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。プリンターがネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を実行してください。
- プリンターの Bonjour 設定が無効の場合は、AirPrint を使用することができません。プリンターの LAN 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。
- AirPrint で印刷しているときのトラブルについては、「AirPrint で印刷できない」を参照してください。
- お使いのアプリケーションソフトによっては、設定画面の表示が異なる場合があります。

印刷ジョブを削除する

プリンターの［ストップ］ボタンを押して、印刷ジョブをキャンセルします。

AirPrint の制限事項

- Canon IJ プリンタードライバーで対応している用紙サイズの一部に、AirPrint では非対応のサイズがあります。このサイズを使用する場合は、「カスタム用紙サイズ」を設定してください。

macOS プリンタードライバー

参考

- macOS 15 以降をご使用の場合は、アプリケーションごとに、ローカルネットワーク上にあるデバイスを検索できるように設定してください。デバイスを検索できるように設定しないと、ソフトウェアの起動や機能の一部が制限されることがあります。
  設定方法については、「ローカルネットワークのデバイス検索を設定する」を参照してください。
  ［ローカルネットワーク］に表示されるアプリケーションの一覧には、使用状況によって下記のすべて、またはいずれかが表示されます。
  - Canon IJ Printer Setup2
  - Canon IJ Printer Utility2
- デバイスを検索できるように設定しても、プリンタードライバーの機能が正しく反映されない場合は、デバイスを検索できるように設定した状態で、プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーを追加してください。

プリンタードライバーの概要

プリントダイアログの画面説明

プリンタードライバーの更新

プリンタードライバーの概要

- Canon IJ プリンタードライバー
- プリンタードライバーの設定画面の開きかた
- ページ設定ダイアログ
- プリントダイアログ
- Canon IJ Printer Utility2
  - Canon IJ Printer Utility2 の開きかた
- 印刷の進行状況を確認する
- 使用上の注意（プリンタードライバー）
- 不要になった印刷ジョブを削除する

Canon IJ プリンタードライバー

Canon IJ プリンタードライバー（以下、プリンタードライバーといいます。）は、プリンターで印刷を行うためにパソコンにインストールするソフトウェアです。

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトが作成した印刷データを、プリンターが認識できるデータ形式に変換してプリンターに送ります。

印刷できるデータの形式はプリンターによって異なるため、使用するプリンターに対応するプリンタードライバーが必要になります。

プリンタードライバーのヘルプの使いかた

プリントダイアログから、ヘルプを表示することができます。

プリントダイアログの［プリンタオプション］から各設定項目を選んで、画面左下にある?をクリックすると、説明が表示されます。

プリンタードライバーのヘルプが表示されるのは、以下の［プリンタオプション］の項目が選ばれているときです。

- ［品位と用紙の種類］
- ［カラーオプション］
- ［用紙の詳細設定］
- ［ページ加工］

プリンタードライバーの設定画面の開きかた

プリンタードライバーの設定画面は、お使いのアプリケーションソフトから表示できます。

ページ設定ダイアログを開く

印刷する前にページ（用紙）設定を行う場合、この方法を使います。

1. **お使いのアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定...］または［用紙設定］を選ぶ**

   ページ設定ダイアログが表示されます。

プリントダイアログを開く

印刷する前に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1. **お使いのアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント...］を選ぶ**

   プリントダイアログが表示されます。

重要

- macOS のバージョンや使用するアプリケーションによっては、プリントダイアログの画面表示が異なる場合があります。
  また、機能についても一部制限が発生する場合があります。

ページ設定ダイアログ

ページ設定ダイアログでは、プリンターにセットしている用紙のサイズや拡大、または縮小などの、基本的な印刷設定を行います。

ページ設定ダイアログを開くには、一般的にアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定...］または［用紙設定］を選びます。

［対象プリンタ］

印刷に使用する機種名を選びます。

［用紙サイズ］

印刷に使用する用紙のサイズを選びます。

任意のサイズを設定するには、［カスタムサイズを管理...］を選びます。

［向き］

印刷する方向を選びます。

［拡大縮小］

拡大縮小率を設定します。

原稿のサイズを拡大、または縮小して印刷することができます。

プリントダイアログ

プリントダイアログでは、用紙の種類や給紙方法、印刷の品位などを設定し、印刷を開始することができます。

プリントダイアログを開くには、一般的にアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント...］または［印刷...］を選びます。

［プリンタ］

印刷に使用する機種名を選びます。

［プリンタを追加...］を選ぶと、プリンターを指定するためのダイアログが起動します。

［プリセット］

プリントダイアログの設定を保存したり、削除したりすることができます。

［部数］

印刷部数の設定ができます。

参考

- 丁合い印刷は［用紙処理］から設定することができます。

［ページ］

印刷するページの範囲を設定することができます。

［用紙サイズ］

印刷に使用する用紙のサイズを選びます。

任意のサイズを設定するには、［カスタムサイズを管理...］を選びます。

［向き］

印刷する方向を選びます。

[プリンタオプション]

プリントダイアログの表示は、[プリンタオプション] によって切り替わるようになっています。プリントダイアログを起動したアプリケーションソフトによって、最初に表示されるメニューは異なります。

[プリンタオプション] から以下の項目を選びます。

[カラーマッチング]

色補正の方法を選ぶことができます。

[品位と用紙の種類]

プリンターに合わせた基本的な印刷の設定ができます。

[カラーオプション]

印刷の色合いを好みに合わせて調整できます。

[用紙の詳細設定]

プリンターにセットしている用紙の種類に合わせて、詳細な印刷設定を行います。

[ページ加工]

フチなし全面印刷時に用紙からはみ出す原稿の量を調整したり、複数枚の用紙をとじるときのとじ方向ととじしろの設定を行ったりします。

[プリンタ情報]

[サプライのレベル]

インク残量の目安が表示されます。

[PDF]

原稿を PDF（Portable Document Format）形式で保存できます。
Canon imagePROGRAF Free Layout を起動して、複数の原稿の割り付けを行ったり、imagePROGRAF Preview で印刷結果を表示することもできます。

Canon IJ Printer Utility2

Canon IJ Printer Utility2（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）では、プリンターのメンテナンスを行ったり、プリンターの設定を変更したりすることができます。

参考

- macOS 15 以降をご使用の場合は、アプリケーションごとに、ローカルネットワーク上にあるデバイスを検索できるように設定してください。デバイスを検索できるように設定しないと、ソフトウェアの起動や機能の一部が制限されることがあります。
  設定方法については、「ローカルネットワークのデバイス検索を設定する」を参照してください。
  ［ローカルネットワーク］に表示されるアプリケーションの一覧には、使用状況によって下記のすべて、またはいずれかが表示されます。
  - Canon IJ Printer Setup2
  - Canon IJ Printer Utility2
- デバイスを検索できるように設定しても、プリンタードライバーの機能が正しく反映されない場合は、デバイスを検索できるように設定した状態で、プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーを追加してください。

Canon IJ Printer Utility2 でできること

Canon IJ Printer Utility2 の表示は、ポップアップメニューによって切り替わるようになっています。ポップアップメニューから以下の項目を選びます。

[用紙情報]

プリンターから最新の用紙情報を取得してプリンタードライバーの用紙情報を更新します。

[アカウンティング]

ジョブごと、ユーザーごとに ID を設定し、印刷履歴や印刷ジョブを管理することができます。

参考

- プリンターを共有して使用している場合、クライアント機では［アカウンティング］は設定できません。

[特殊設定]

プリンターの設定を変更します。

参考

- Canon IJ Printer Utility2 を操作するには、プリンターの電源をオンにする必要があります。
- 選んだ項目によっては、パソコンはプリンターの情報を取得するために通信を行います。通信できない状態の場合は、エラーメッセージが表示されることがあります。
  この場合、［キャンセル］をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

Canon IJ Printer Utility2 の開きかた

Canon IJ Printer Utility2 を開くには、次の手順で行います。

1. ［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選ぶ

2. Canon IJ Printer Utility2 を起動する

プリンターリストからお使いの機種名を選び、［オプションとサプライ...］をクリックします。

［ユーティリティ］タブの［プリンタユーティリティを開く］をクリックします。

Canon IJ Printer Utility2 が起動します。

印刷の進行状況を確認する

次の手順で印刷の進行状況を確認します。

1. 印刷状況の確認画面を起動する

- 印刷データがプリンターに送られている場合
  印刷状況の確認画面が自動的に起動します。Dock 上に表示されるプリンターのアイコンをクリックすると、印刷状況の確認画面が表示されます。
- 印刷データがプリンターに送られていない場合
  ［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選びます。
  プリンターリストからお使いの機種を選び、［プリントキュー...］をクリックすると、印刷状況の確認画面が表示されます。

2. 印刷状況を確認する

印刷中または印刷待ちのファイル名が確認できます。

指定した印刷ジョブを削除します。

指定した文書の印刷を一時停止します。

指定した文書の印刷を再開します。

すべての文書の印刷を一時停止します。

すべての文書の印刷を一時停止しているときのみ表示され、すべての文書の印刷を再開します。

重要

- エラーが発生した場合は、印刷状況の確認画面にエラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージの内容は OS のバージョンによって異なる場合があります。
- エラーメッセージ内で表示されるプリンター各部の名称は、本マニュアルの表記と異なる場合があります。
- エラーメッセージの内容がわかりにくい場合は、プリンター本体の操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認してください。

使用上の注意（プリンタードライバー）

このプリンタードライバーの使用および印刷に際しては、以下のような制限事項があります。使用にあたっては、あらかじめこれらの点に注意してください。

プリンタードライバーの制限事項

- ページ設定ダイアログの設定を行う場合は、かならず［対象プリンタ］でお使いの機種名を選んでから行ってください。ほかのプリンターを選んだ場合は、正常に印刷が行えないことがあります。
- Windows で使用できる以下の機能は、macOS では対応していません。
  - 両面印刷
  - 冊子印刷
  - ポスター印刷
  - スタンプ付き印刷
- macOS のバージョンや使用するアプリケーションによっては、プリントダイアログの画面表示が異なる場合があります。
  また、機能についても一部制限が発生する場合があります。
- プリンターと AirMac を USB ケーブルで接続して印刷を行う場合、AirMac の最新のファームウェアをインストールする必要があります。

プリンターを追加する際の注意事項

- macOS にキヤノンのプリンタードライバーをインストールし、［プリンタを追加］ダイアログでご使用の機種を選択、［ドライバ］→［ソフトウェアを選択...］から、Canon XXX（「XXX」は機種名）を選んでください。

不要になった印刷ジョブを削除する

印刷が開始されない場合、途中で印刷をやめたり、印刷に失敗したりしたときのデータが残っている可能性があります。
印刷状況の確認画面で、不要になった印刷ジョブを削除してください。

1. ［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選ぶ

2. お使いの機種を選んで、［プリントキュー...］をクリックする

印刷状況の確認画面が表示されます。

3. 不要な印刷ジョブを選んで、（削除）をクリックする

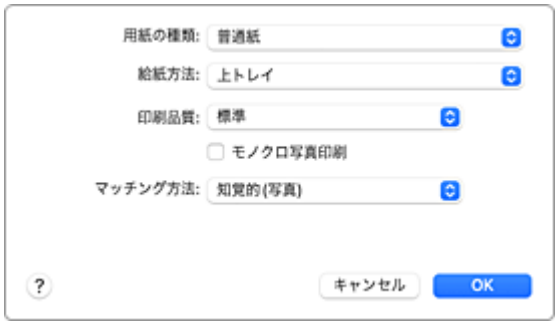
印刷ジョブが削除されます。

プリントダイアログの画面説明

- 品位と用紙の種類
- カラーオプション
- 用紙の詳細設定
- ページ加工

品位と用紙の種類

このダイアログでは、プリンターにセットしている用紙の種類に合わせて、基本的な印刷設定を行います。特殊な印刷をしない限り、このダイアログの項目を設定するだけで、印刷を実行できます。



[用紙の種類]

使用する用紙の種類を選びます。
実際にプリンターにセットしている用紙の種類を選んでください。その用紙の材質に合った印刷ができるようになります。

参考

- プリンターの用紙情報更新後は、Canon IJ Printer Utility2 を起動して、用紙情報を更新してください。

[給紙方法]

用紙の給紙方法を選びます。

[手差し]

背面の手差しトレイから給紙を行います。

[上トレイ]

上トレイから給紙を行います。

[印刷品質]

原稿の種類や目的に最も近いものを選びます。
いずれかを選ぶと、目的にふさわしい品位が自動的に設定されます。

[最高]

品位を最優先にして印刷します。

[きれい]

印刷のスピードよりも品位を優先して印刷します。

[標準]

標準的なスピードと品位で印刷します。

[ユーザー設定]

印刷品位を設定することができます。

[品位]

[印刷品質] で [ユーザー設定] を選ぶと、スライドバーを使用して印刷の品位レベルを調整できます。

[モノクロ写真印刷]

モノクロ写真印刷を設定します。モノクロ写真印刷とは、印刷時に原稿をグレースケールのデータに変換して、モノクロで印刷する機能です。
チェックマークを付けるとモノクロ写真印刷を行います。この場合は、カラーの原稿もモノクロで印刷されるようになります。通常のカラー印刷を行うときは、チェックマークを外してください。

［マッチング方法］

［カラーマッチング］で［Canon カラー・マッチング］を選んだときに使用するマッチング方法を指定します。

［知覚的(写真)］

一般的な写真を自然な色合いで再現します。滑らかな階調性が特長です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。

［色補正なし］

カラーマッチングを行わずに印刷します。

参考

- 往復はがきに印刷する場合は、用紙サイズを往復はがきに設定してから、印刷をやり直してください。
- はがき以外の用紙に印刷する場合は、その用紙の使用方法に従ってセットし、［OK］をクリックしてください。

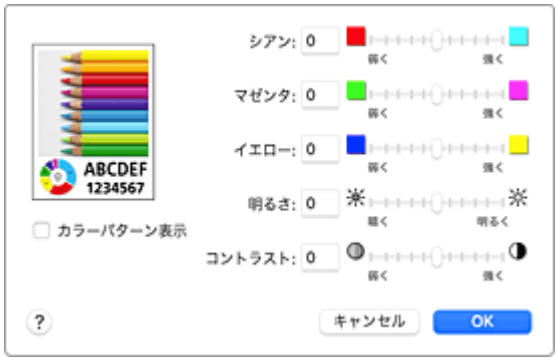
関連項目

- 目的に合わせて給紙方法を切り替える
- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- モノクロ印刷を行う
- プリンタードライバーで色の補正を行う

カラーオプション

このダイアログでは、印刷の色合いを好みのものに調整することができます。印刷した色合いが思いどおりにならなかった場合は、個別に各項目を調整して印刷してください。

ただし、ここでの調整は専用の画像編集アプリケーションソフトとは異なり、印刷データ自体の色を補正するものではありません。あくまで微調整にとどめてください。



プレビュー画像

現在の色調整の状態を表示します。
各項目を調整すると、色や明るさが反映されます。

[カラーパターン表示]

色調整による色の変化量が確認できるパターンを表示します。
サンプル画像をカラーパターンで表示するときは、チェックマークを付けてください。

参考

- [品位と用紙の種類] で [モノクロ写真印刷] にチェックマークが付いている場合、サンプル画像はモノクロで表示されます。

カラーバランス ([シアン]、[マゼンタ]、[イエロー])

必要に応じてそれぞれの色の強弱を調整します。スライドバーを右にドラッグするほど強く、左にドラッグするほど弱くなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。
調整を行うと、各色のインク量のバランスが変わるため、原稿全体の色相が変わります。
大きく色相を変えたい場合はアプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。

[モノクロ色調]

モノクロ写真印刷時の色調を設定します。
[冷黒調]、[白黒]、[温黒調]、[ユーザー設定] から選ぶことができます。
色合いを確認しながら [X]、[Y] に数値を入力したり、調整領域をマウスでクリックまたはドラッグしたりして調整を行うこともできます。

[冷黒調]

寒色系の色合い (冷黒) のグレーに調整します。[冷黒調] を選ぶと、[X] に-30、[Y] に 0 の値が入力されます。

[白黒]

ニュートラルなグレーに調整します。[白黒] を選ぶと、[X] に 0、[Y] に 0 の値が入力されます。

[温黒調]

暖色系の色合い (温黒) のグレーに調整します。[温黒調] を選ぶと、[X] に 30、[Y] に 0 の値が入力されます。

［ユーザー設定］

調整領域で色合いを確認しながら、色調の調整をすることができます。数値を直接入力するか、上下矢印ボタンをクリックして調整を行ってください。調整領域をマウスでクリック、またはドラッグして調整を行うこともできます。他の色調を選んだあと、再度［ユーザー設定］を選ぶと、直前に［ユーザー設定］で設定していた数値が復元されます。

［X］、［Y］（モノクロ調整値）

必要に応じて手動でモノクロ色調整を行います。数値を直接入力するか、上下矢印ボタンをクリックして調整を行ってください。調整領域をマウスでクリック、またはドラッグして調整を行うこともできます。入力する数値は［X］が-100～100 の範囲、［Y］が-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

重要

- ［品位と用紙の種類］の［モノクロ写真印刷］にチェックマークが付いているとき、［モノクロ色調］と、［X］、［Y］（モノクロ調整値）が表示されます。
- ［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］で［普通紙］、［マットフォトペーパー］、［すべてのはがき(あて名面)］、［インクジェットはがき(通信面)］、［はがき］を選んでいるとき、［モノクロ色調］、［X］、［Y］はグレー表示となり設定できません。

［明るさ］

印刷結果の明るさを調整します。完全な白と黒は変化せず、その中間の色の明るさが変わります。スライドバーを右にドラッグするほど明るく、左にドラッグするほど暗くなります。スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

［コントラスト］

画像の明暗の差を変えます。
明るい部分と暗い部分の差を大きく、はっきりさせたい場合はコントラストを強くします。反対に、明るい部分と暗い部分の差を縮めて、ぼんやりさせたい場合はコントラストを弱くします。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

関連項目

- 色補正の方法を指定する
- モノクロの色調を調整する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

用紙の詳細設定

このダイアログでは、プリンターにセットしている用紙の種類に合わせて、詳細な印刷設定を行います。

印刷時に用紙が汚れたり、印刷結果が思わしくない場合に設定すると、印刷結果が改善する場合があります。

[インク乾燥時間]

次ページの印刷開始までに、プリンターが休止する時間の長さを設定できます。
印刷面が完全に乾かないうちに次ページが排紙されて、用紙が汚れるような場合は、インク乾燥待ち時間を長く設定してください。

[プリントヘッドの高さ]

高濃度のページを印刷する場合に、プリントヘッドと用紙の間隔を広げて、用紙のこすれを改善することができます。用紙のこすれを改善するときは、[用紙とのこすれを回避] を選んでください。

[用紙の吸着]

印刷時の用紙の吸着力を変更できます。
厚い用紙や、カール、波打ちが起こりやすい用紙に印刷したときに、用紙の裏面が汚れる場合は、用紙の吸着力を変更してください。

[片方向印刷]

色のムラや罫線のズレを抑えて印刷します。
片方向印刷を行うときはチェックマークを付けてください。

[キャリブレーション調整値]

プリンター本体でカラーキャリブレーション設定を行った場合に、その結果を印刷時に適用できます。
キャリブレーションを適用する場合は [有効] を選んでください。

[クリアコート]

クリアコートを行う領域を設定します。

参考

- 用紙の種類や印刷品質によって、選べるメニューは異なります。

[自動]

クリアコートする領域およびクリアコートを実行するかを自動的に設定します。

[全面]

画像領域外の余白を含む全面をクリアコートします。
全面にクリアコートをすることで、余白を含め全体の光沢感を改善します。
クロマオプティマイザー（CO）インクをもっとも使用します。

[白以外]

画像部分のみ光沢感を改善したい場合に使用します。白い領域（余白部分含む）はクリアコートしません。

［しない］

クリアコートを行わずに印刷します。
クリアコートする場合と比べて、画質が低下して見えたり、印刷面に傷がつきやすくなったりすることがあります。

参考

- プリンターの性能を維持するための自動メンテナンス時には、クロマオプティマイザー（CO）インクを使用します。

［安全余白制限の解除］

プリントダイアログの［プリンタオプション］から表示される［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］で、［マットフォトペーパー］、［プレミアムファインアート・スムース］、［プレミアムファインアート・ラフ］または［写真用紙 プレミアムマット A］を選んでいるとき、安全余白の制限を解除します。
チェックマークを付けると、安全余白の制限を解除し、より広い印字領域での印刷やフチなし全面印刷が可能となり、すべての用紙サイズで印刷ができるようになります。
安全余白の制限を解除すると、お使いの用紙サイズや環境によっては、用紙が汚れたり印刷品質が低下したりする可能性があります。
その場合は、余白が大きいサイズで印刷することをお勧めします。

関連項目

➡ クリアコートの設定を変更する

ページ加工

このダイアログでは、フチなし全面印刷時に用紙からはみ出す原稿の量を調整したり、複数枚の用紙をとじるときのとじ方向ととじしろの設定を行ったりします。

[フチなしはみ出し量]

用紙からはみ出す原稿の量を［フチなしはみ出し量］のスライドバーで調整します。
スライドバーを右にドラッグするほどはみ出し量は多く、左にドラッグするほどはみ出し量は少なくなります。

[とじしろ]

用紙をとじるためのとじしろの幅を設定します。0mm - 30mm（0in. - 1.2in.）が入力可能な値になります。

[とじ方向]

用紙をとじる位置を設定します。

[長辺とじ(左)]／[長辺とじ(右)]

用紙の長いほうの辺でとじるときに選びます。
左右を選んでください。

[短辺とじ(上)]／[短辺とじ(下)]

用紙の短いほうの辺でとじるときに選びます。
上下を選んでください。

関連項目

- フチなし全面印刷を行う
- とじしろを設定する

プリンタードライバーの更新

- プリンタードライバーをインストールする
- 最新のプリンタードライバーを入手する
- 不要になった Canon IJ プリンターをプリンターリストから削除する
- プリンタードライバーをインストールする前に

プリンタードライバーをインストールする

インターネット経由で、キヤノンのホームページにアクセスすると、最新のプリンタードライバーをダウンロードすることができます。

入手したプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

1. ディスクをマウントする

ダウンロードしたディスクイメージファイルをダブルクリックします。
ファイルが解凍され、ディスクがマウントされます。

2. インストーラーを起動する

解凍されたディスクの中の「PrinterDriver_XXX_YYY.pkg」（「XXX」は機種名、「YYY」はバージョン）をダブルクリックします。

3. インストールを開始する

画面のメッセージに従って、インストールを行います。

使用許諾契約画面が表示されたら、内容を確認して［続ける］をクリックしてください。使用許諾契約に同意いただけない場合は、本ソフトウェアをインストールすることはできません。

4. インストール先を選ぶ

必要に応じて、インストール先を選んでから、［続ける］をクリックします。

5. インストールを続行する

［インストール］をクリックします。
認証画面が表示された場合は、管理者の名前とパスワードを入力し、［ソフトウェアをインストール］をクリックしてください。

6. インストールを完了する

インストール完了のメッセージに従って、［閉じる］をクリックします。

以上でプリンタードライバーのインストールが完了します。

重要

- インストーラーが正常に動作しない場合は、Finder の［インストーラ］メニューから［インストーラを終了］を選び、一度インストーラーを終了してから、インストールをやり直してください。
- プリンタードライバーは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

関連項目

- 最新のプリンタードライバーを入手する
- 不要になった Canon IJ プリンターをプリンターリストから削除する
- プリンタードライバーをインストールする前に

最新のプリンタードライバーを入手する

現在使用しているプリンタードライバーから、最新のプリンタードライバーにバージョンアップすると、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。

最新のプリンタードライバーを入手するには、キヤノンのホームページにアクセスし、お使いの機種のプリンタードライバーをダウンロードしてください。

重要

- プリンタードライバーは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

関連項目

- プリンタードライバーをインストールする前に
- プリンタードライバーをインストールする

不要になった Canon IJ プリンターをプリンターリストから削除する

使わなくなった Canon IJ プリンターはプリンターリストから削除することができます。
Canon IJ プリンターを削除する前に、プリンターとパソコンを接続しているケーブルを取り外してください。

不要になった Canon IJ プリンターをプリンターリストから削除する手順を説明します。

管理者の権限を持ったユーザーでログオンしていない場合は、Canon IJ プリンターの削除はできません。

1. ［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選ぶ

2. プリンターリストから Canon IJ プリンターを削除する

プリンターのリストから、削除したい Canon IJ プリンターを選び、［プリンタを削除...］をクリックします。

確認のメッセージが表示されたら、［プリンタを削除］をクリックします。

プリンタードライバーをインストールする前に

プリンタードライバーをインストールする前に、確認するべき内容を説明します。プリンタードライバーがインストールできない場合にも参照してください。

パソコンの設定を確認する

- 起動中のアプリケーションソフトはすべて終了してください。
- 管理者の権限を持つユーザーとしてログオンしてください。管理者の権限を持ったユーザーの名前とパスワードを入力する必要があります。macOS を複数のユーザーでお使いの場合は、最初に登録した管理者のアカウントでログオンしてください。

重要

- macOS をアップグレードすると、インストールしたプリンタードライバーはすべて削除されます。引き続きプリンターをお使いの場合は、最新のプリンタードライバーを再度インストールしてください。

関連項目

- 最新のプリンタードライバーを入手する
- プリンタードライバーをインストールする

本体から印刷する

- レポート用紙や方眼紙などの定型フォームを印刷する

レポート用紙や方眼紙などの定型フォームを印刷する

定型フォームの印刷方法について説明します。

➡ 印刷できる定型フォーム
➡ 定型フォームを印刷する

印刷できる定型フォーム

方眼紙、五線譜、チェックリストやスケジュール表などの定型フォームを印刷できます。

定型フォームを印刷する

以下の手順で印刷します。

1. ホーム画面で ［定型フォーム印刷］を選び、OK ボタンを押す

2. ▲▼ボタンで印刷したいフォームを選び、OK ボタンを押す

メッセージが表示された場合は、確認して OK ボタンを押します。

3. ◄ ►ボタンでフォームを選び、OK ボタンを押す

4. 必要に応じて▲▼ボタンで設定を変更し、OK ボタンを押す

- ［部数］

  ▲▼ボタンで部数を指定して、OK ボタンを押します。

- ［用紙サイズ］

  ▲▼ボタンで用紙サイズを選び、OK ボタンを押します。

  参考

  - フォームによっては、印刷できない用紙サイズがあります。この場合、液晶モニターに と［エラー詳細］が表示されます。液晶モニター左上の を選んでメッセージを確認し、設定を変更してください。

- ［用紙種類］

  ［定型フォーム印刷］を印刷するときの用紙種類は普通紙のみです。

5. 設定した用紙をセットする

➡ 上トレイに用紙をセットする

6. ［印刷開始］を選ぶ

印刷が開始されます。

スマートフォン／タブレットから印刷する

各種機器からの印刷方法については、お使いの機器やアプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

- **Canon PRINT でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷**
- **iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）**
- **Mopria®について**
- **Canon Print Service を利用して印刷する**

iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）

AirPrint では、特別なアプリをダウンロードしなくても、写真、E メール、ウェブページ、文書などを印刷することができます。

お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- AirPrint の動作環境
  最新バージョンの iOS／iPadOS がインストールされている iPhone、iPad、および iPod touch
- 使用条件
  iOS 機器とプリンターが次のいずれかの方法で接続されていること
  - 同一のネットワーク上で LAN 接続されている
  - Wi-Fi ルーターを介さずに直接接続されている（ダイレクト接続）

iOS 機器から AirPrint で印刷する

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

参考

- ［自動電源オン］を有効にしている場合、印刷ジョブを受信するとプリンターの電源は自動的に入ります。

2. プリンターに用紙をセットする

3. お使いの iOS 機器のアプリで操作アイコンをタップする

以下の画面は、iOS 12 の Safari から印刷するときに表示されるものです。機器やアプリによって印刷するときの画面は異なります。

メニューオプションが表示されます。

4. ［プリント］をタップする

5. ［オプション］の［プリンタ］から、お使いのプリンターを選ぶ

重要

- 一部のアプリでは、AirPrint に対応していないため、［オプション］が表示されない場合があります。プリンターオプションが利用できない場合は、そのアプリから印刷することはできません。

6. 印刷設定を確認する

必要に応じて、印刷部数や印刷オプションを設定します。

参考

- プリンター本体の操作パネルで［画質設定］（［カラーモード］、［クリアコート］）や［用紙設定］（［片方向印刷］）および［フチなし時の画像拡大率］を設定することができます。詳しくは「印刷設定」を参照してください。

7. ［プリント］をタップする

設定に従って印刷されます。

参考

- プリンターの電源が入ってから無線 LAN 接続（Wi-Fi）で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。プリンターがネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を実行してください。
- プリンターの Bonjour 設定が無効の場合は、AirPrint を使用することができません。プリンターの LAN 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。
- AirPrint で印刷しているときのトラブルについては、「AirPrint で印刷できない」を参照してください。

用紙のサイズ

AirPrint では、iOS 機器で使用しているアプリ、AirPrint を使用する地域に応じて、用紙サイズは自動的に選ばれます。

主に写真を扱うアプリでは、用紙サイズの初期設定は日本では L 判となり、それ以外の国や地域では 4"x6"または KG となります。
主に文書を扱うアプリでは、用紙サイズの初期設定は米国地域などではレターサイズとなり、日本や欧州などでは A4 となります。

印刷時の用紙設定とプリンター本体で登録する用紙情報が異なる場合は、プリンター本体の用紙設定で印刷されます。

重要

- 機器や OS によっては、用紙サイズの初期設定が上記と異なる場合があります。
  試し印刷することをお勧めします。
- お使いのアプリによって、使用できる用紙サイズが異なります。

印刷状況を確認する

AirPrint での印刷の進行状況は［プリントセンター］から確認することができます。
iOS 機器のマルチタスクモードで表示される［プリントセンター］をタップしてください。

印刷ジョブを削除する

AirPrint での印刷ジョブを削除するには、次の 2 つの方法があります。

- プリンターからの場合：プリンターのストップボタンを押して、印刷ジョブをキャンセルします。
- iOS 機器からの場合：マルチタスクモードで表示される［プリントセンター］をタップします。表示された画面で削除する印刷ジョブをタップし、［プリントをキャンセル］をタップします。

用紙の取り扱い

- **用紙をセットする**
  - 用紙のセットについて
  - 上トレイに用紙をセットする
  - 手差しトレイに用紙をセットする
  - 用紙情報を登録する
- **用紙に関する情報**
  - 使用できる用紙について
  - 用紙の最大積載枚数
  - 用紙の取り扱いについて
  - アート紙に印刷する前に
  - 「Media Configuration Tool」を使ってプリンターの用紙情報を管理

用紙をセットする

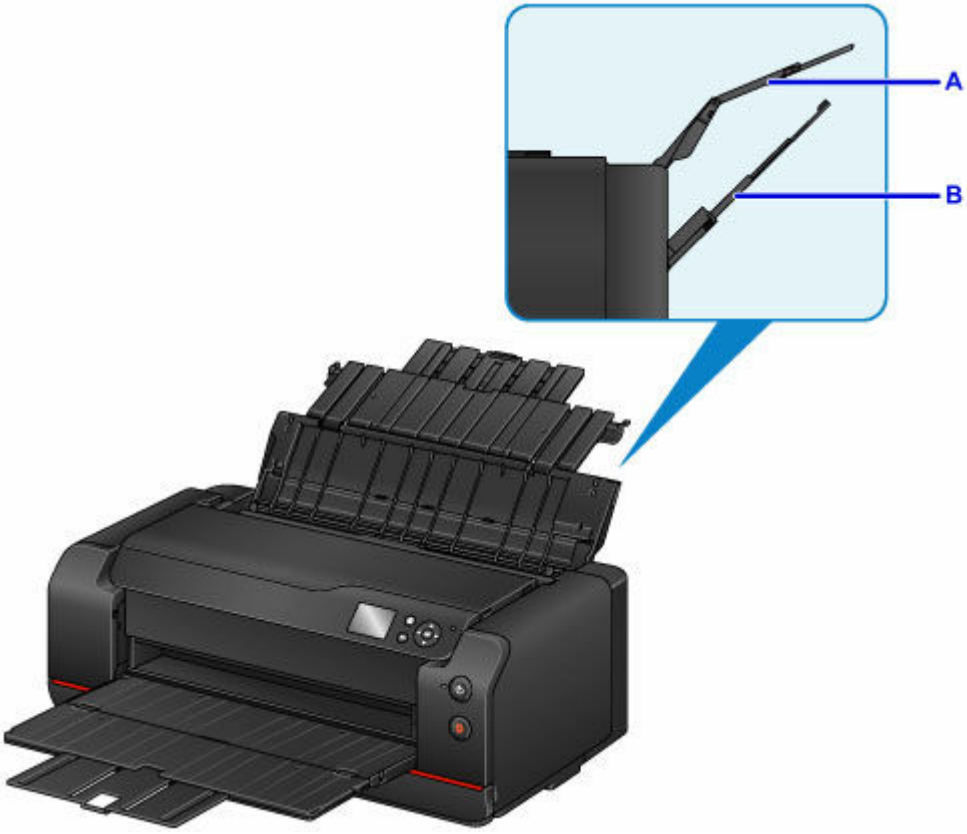
- 用紙のセットについて
- 上トレイに用紙をセットする
- 手差しトレイに用紙をセットする
- 用紙情報を登録する

用紙のセットについて

用紙は、上トレイ（A）と手差しトレイ（B）の 2 箇所にセットすることができます。

重要

- 用紙サイズや用紙の種類によって、セットする給紙箇所が決められています。
  - 使用できる用紙について
  - 用紙の最大積載枚数
- 印刷する際は、用紙サイズと用紙の種類、給紙方法などを正しく設定してください。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。



上トレイ

L 版から A2 までのサイズの用紙をセットできます。

一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に 1 枚ずつ給紙されます。

普通紙やはがきは上トレイにセットします。

- 上トレイに用紙をセットする

手差しトレイ

六切から A2 までのサイズの用紙をセットできます。

用紙は 1 枚ずつセットします。

アート紙などの厚い用紙は手差しトレイにセットします。

- 手差しトレイに用紙をセットする

上トレイに用紙をセットする

上トレイには、同じ種類、同じサイズの用紙を複数枚セットできます。

はがきに印刷するときは、「はがきに印刷するときの注意」の内容を確認してからはがきをセットしてください。

重要

- プリンターで使用できる用紙の種類（キヤノン純正紙）、サイズ、重さ／厚さについては、「使用できる用紙について」を参照してください。
- 普通紙を L 判、KG サイズ、2L 判、はがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

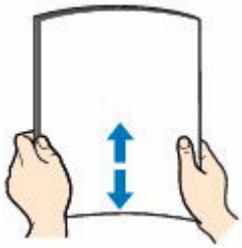
参考

- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイト、キヤノン普通紙・ビジネスが使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口がお勧めです。
- 使用する用紙に適した環境（温度や湿度）で印刷してください。キヤノン純正紙の温度・湿度条件については、用紙のパッケージまたは用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

用紙セットの操作

1. 用紙の準備をする

セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。



参考

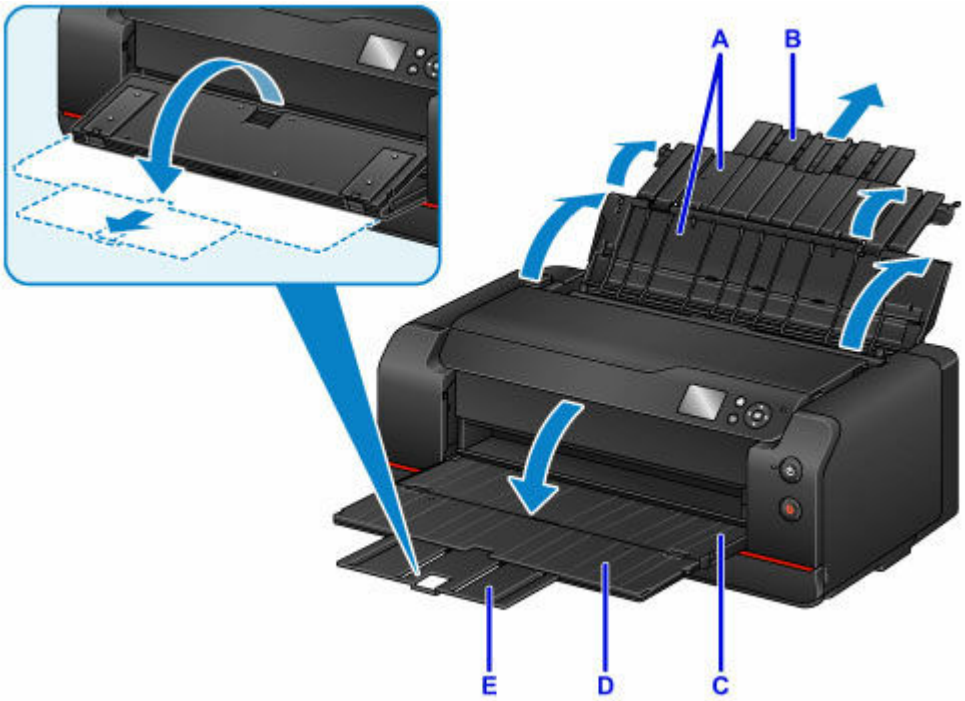
- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。

  反りの直しかたについては、「印刷面が汚れる／こすれる／インクがにじむ／用紙が反る」の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」を参照してください。
- キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま 1 枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

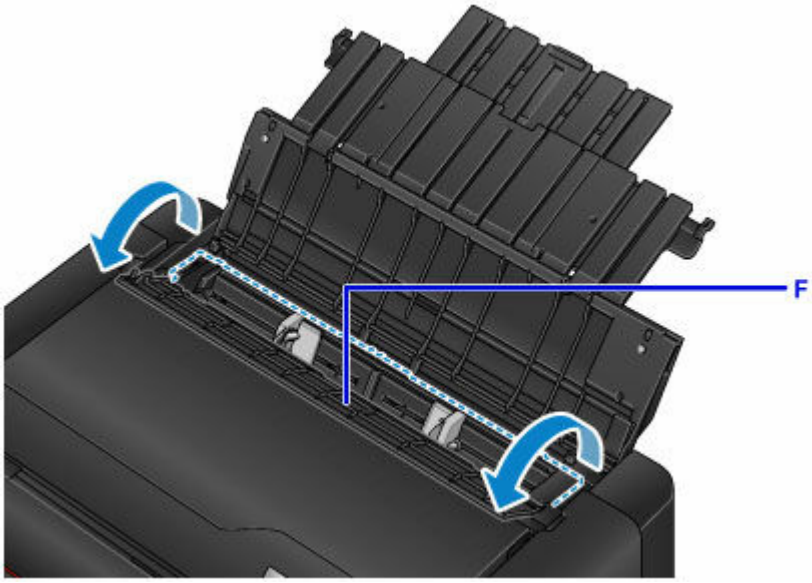
2. 上トレイの用紙サポート（A）を開き、補助サポート（B）を引き出す

3. 排紙トレイ（C）をゆっくり手前に開く

4. 補助トレイ（D）を開き、排紙サポート（E）を引き出す



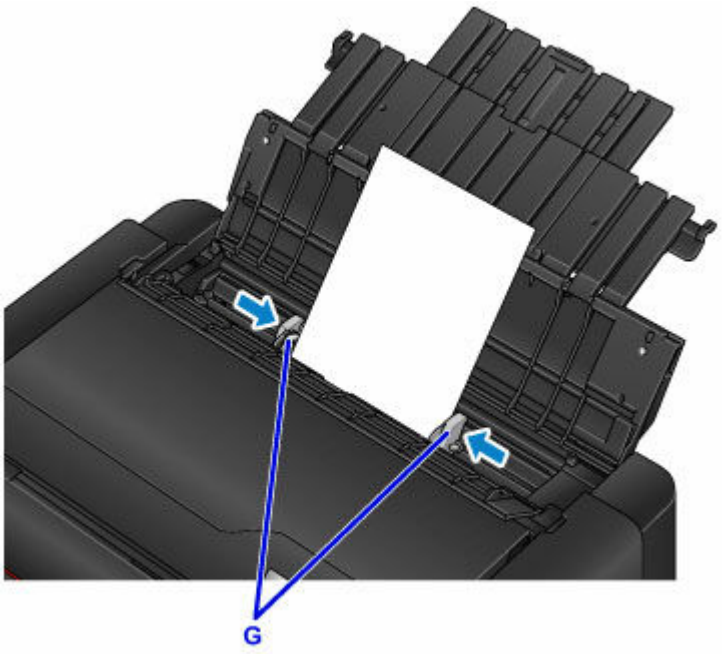
5. 給紙口カバー（F）を開く



6. 用紙ガイド（G）を広げ、用紙の印刷したい面を表にして、上トレイの中央にセットする

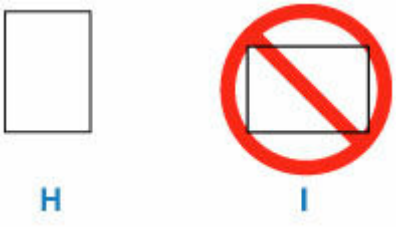
7. 用紙ガイド（G）を動かし、用紙の両端に合わせる

用紙ガイドを用紙に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



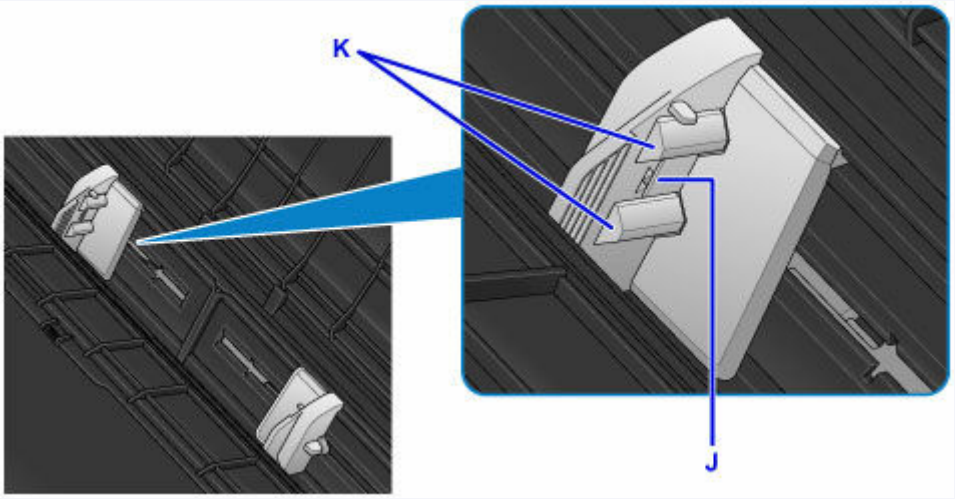
重要

- 用紙（往復はがきを除く）は縦方向（H）にセットしてください。横方向（I）にセットすると紙づまりの原因となります。



参考

- 用紙は最大用紙量のマーク（J）の線を超えないようにセットしてください。
- 用紙ガイドの突起（K）は、セットする用紙のサイズに応じて高さが変わります。この突起は指などで押し込まないでください。

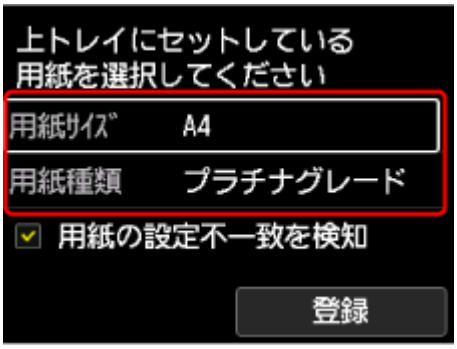


- 長尺用紙をセットする場合、用紙の重さによっては先端が浮き上がり、印刷がずれることがあります。トレイからはみ出している部分を手で保持するなど、用紙の先端が浮き上がらないようにしてください。

8. 給紙口カバーをゆっくり閉じる

液晶モニターに上トレイの用紙情報の登録画面が表示されます。

9. 上トレイにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［登録］を選ぶ



参考

- 用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。印刷の設定画面には、それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、あらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）が用意されています。用紙の設定が正しくないと、カラーの発色がよくないことや、印刷面がこすれることがあります。なお、インクのにじみや色むらが気になる場合は、印刷設定で画質を優先する設定を選んでお試しください。
- 印刷のミスを防ぐため、本製品には上トレイにセットした用紙の設定と印刷時の用紙の設定が一致するかどうかを検知する機能があります。上トレイの用紙の設定に合わせて印刷の設定を行ってください。この機能がオンになっている場合、設定が合っていないと、印刷ミスを防ぐためにエラーメッセージが表示されますので、用紙の設定を確認して正しく設定しなおしてください。
- 長尺用紙に印刷する場合、排出された用紙を手で保持するか、用紙が落ちないような場所で使用してください。用紙が落下すると印字面が汚れたり、傷つくことがあります。また、手で保持する場合、印刷中は無理に用紙を引っ張らないでください。

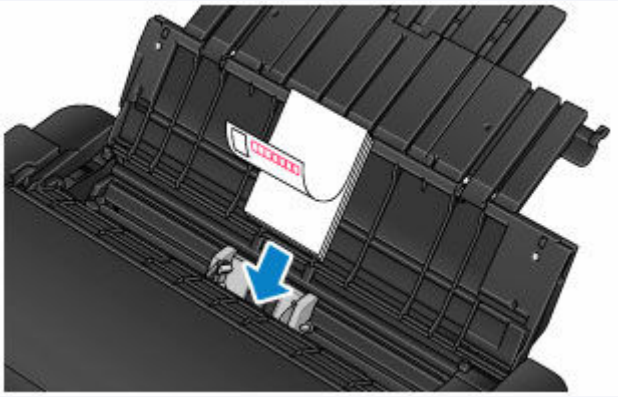
はがきに印刷するときの注意

重要

- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきはフチなし全面印刷には対応していません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目が付くと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。
- はがきの種類によっては、用紙サイズを検知できない場合があります。その場合は、用紙の幅を検知しない設定にしてください。

参考

- はがき、往復はがきに印刷するときは、印刷したい面を表にして、郵便番号を下に向けてセットしてください。



➡ はがきに印刷する（Windows）
➡ はがきに印刷する（macOS）

- はがきの両面に 1 面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。

手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイには、六切サイズ以上の用紙を 1 枚ずつセットできます。

重要

- プリンターで使用できる用紙の種類（キヤノン純正紙）、サイズ、重さ／厚さについては、「使用できる用紙について」を参照してください。

参考

- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。
- 使用する用紙に適した環境（温度や湿度）で印刷してください。キヤノン純正紙の温度・湿度条件については、用紙のパッケージまたは用紙に付属の取扱説明書を参照してください。
- 普通紙やはがきは手差しトレイから給紙できません。普通紙やはがきに印刷する場合は、上トレイにセットしてください。

1. 用紙の準備をする

用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

参考

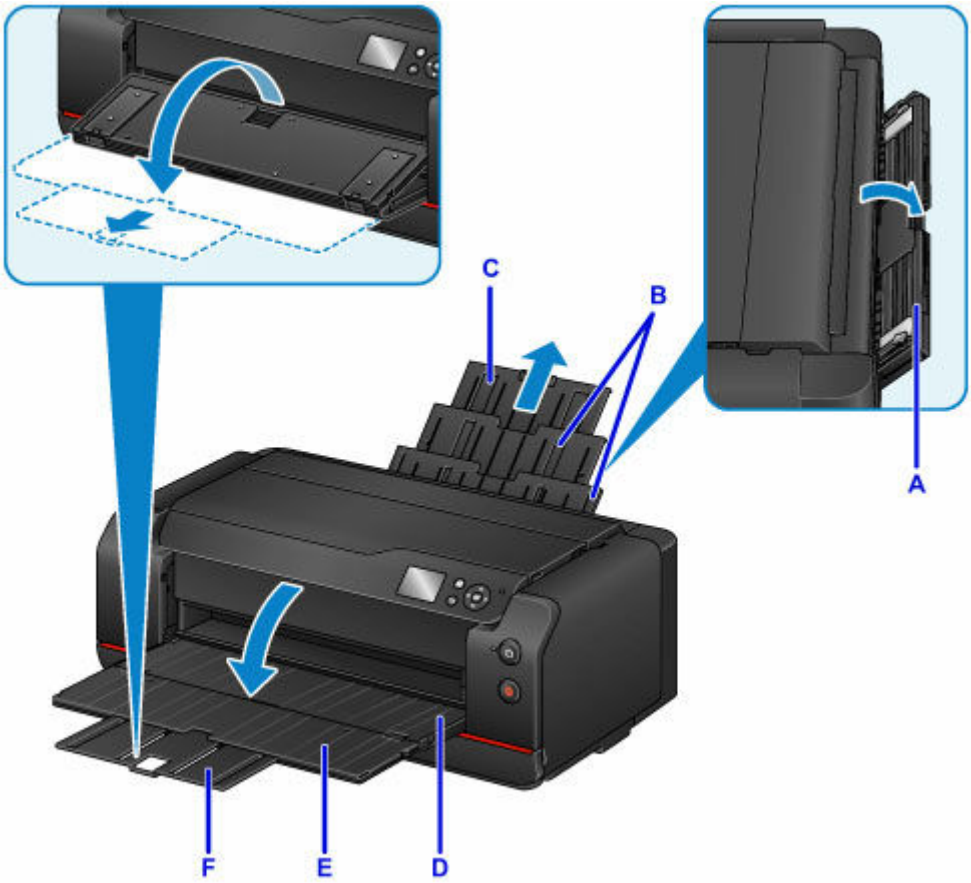
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。

  反りの直しかたについては、「印刷面が汚れる／こすれる／インクがにじむ／用紙が反る」の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」を参照してください。
- キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま 1 枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

2. 手差しトレイ（A）を開き、用紙サポート（B）と補助サポート（C）を引き出す

3. 排紙トレイ（D）をゆっくり手前に開く

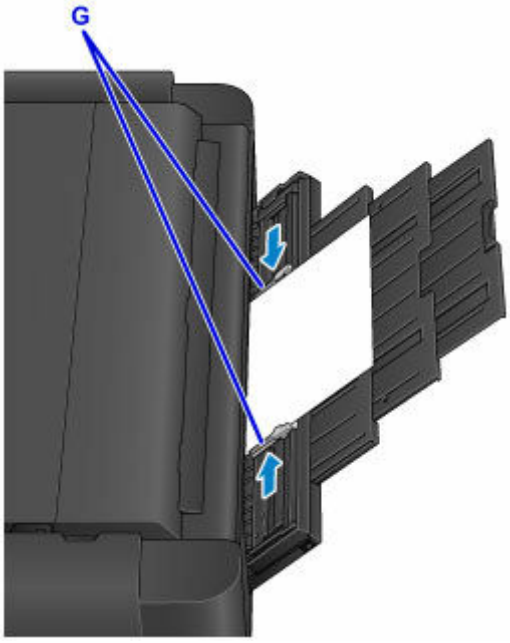
4. 補助トレイ（E）を開き、排紙サポート（F）を引き出す



5. 用紙ガイド（G）を広げ、用紙を 1 枚、用紙の印刷したい面を表にして、手差しトレイの中央にセットする

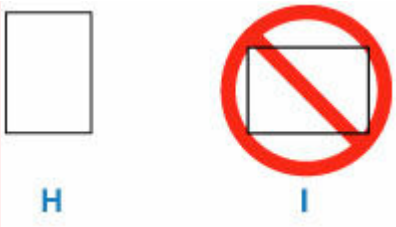
6. 用紙ガイド（G）を動かし、用紙の両端に合わせる

用紙ガイドを用紙に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



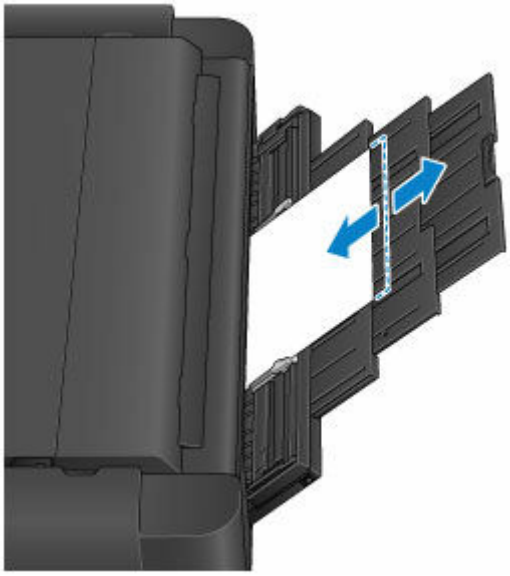
重要

- 用紙は縦方向（H）にセットしてください。横方向（I）にセットすると紙づまりの原因となります。

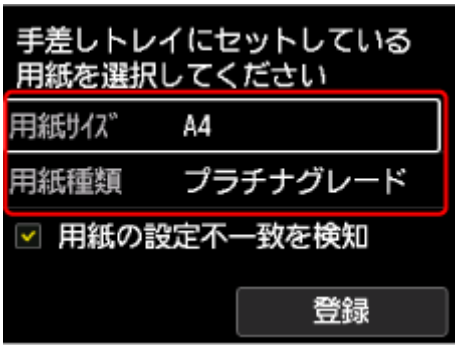


7. 用紙が正しくセットされているか確認する

用紙をつまんでわずかに上下させ、用紙の下端が手差しトレイの奥に突き当たっていること、用紙ガイドに正しく当たっていることを確認してください。



8. 手差しトレイにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［登録］を選ぶ



参考

- 引き続き手差しトレイから印刷する場合は、印刷が終了してから次の用紙をセットしてください。
- 用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。印刷の設定画面には、それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、あらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）が用意されています。用紙の設定が正しくないと、カラーの発色がよくないことや、印刷面がこすれることがあります。なお、インクのにじみや色むらが気になる場合は、印刷設定で画質を優先する設定を選んでお試しください。
- 印刷のミスを防ぐため、本製品には手差しトレイにセットした用紙の設定と印刷時の用紙の設定が一致するかどうかを検知する機能があります。手差しトレイの用紙の設定に合わせて印刷の設定を行って

ください。この機能がオンになっている場合、設定が合っていないと、印刷ミスを防ぐためにエラーメッセージが表示されますので、用紙の設定を確認して正しく設定しなおしてください。

- 長尺用紙をセットする場合、用紙の重さによっては先端が浮き上がり、印刷がずれることがあります。トレイからはみ出している部分を手で保持するなど、用紙の先端が浮き上がらないようにしてください。

  印刷する場合には、排出された用紙を手で保持するか、用紙が落ちないような場所で使用してください。用紙が落下すると印字面が汚れたり、傷つくことがあります。また、手で保持する場合、印刷中は無理に用紙を引っ張らないでください。

用紙情報を登録する

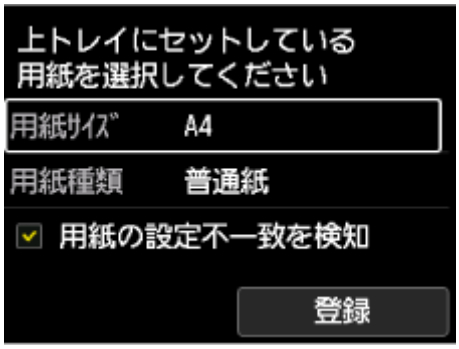
上トレイまたは手差しトレイにセットした用紙のサイズや種類をあらかじめプリンターに登録することによって、セットした用紙と印刷時に指定した用紙設定が合っていない場合に、印刷前にメッセージを表示して印刷ミスを防止することができます。

参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能の初期設定は、印刷方法によって異なります。
  - 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能の初期設定について

上トレイに用紙をセットし給紙口カバーを閉じる、または、手差しトレイに用紙をセットすると：

プリンターの液晶モニターに用紙情報登録画面が表示されます。



セットした用紙と液晶モニターに表示されている用紙情報が一致している場合は、［登録］を選んでください。

異なる場合は、［用紙サイズ］または［用紙種類］を選んで、正しい用紙情報を登録してください。

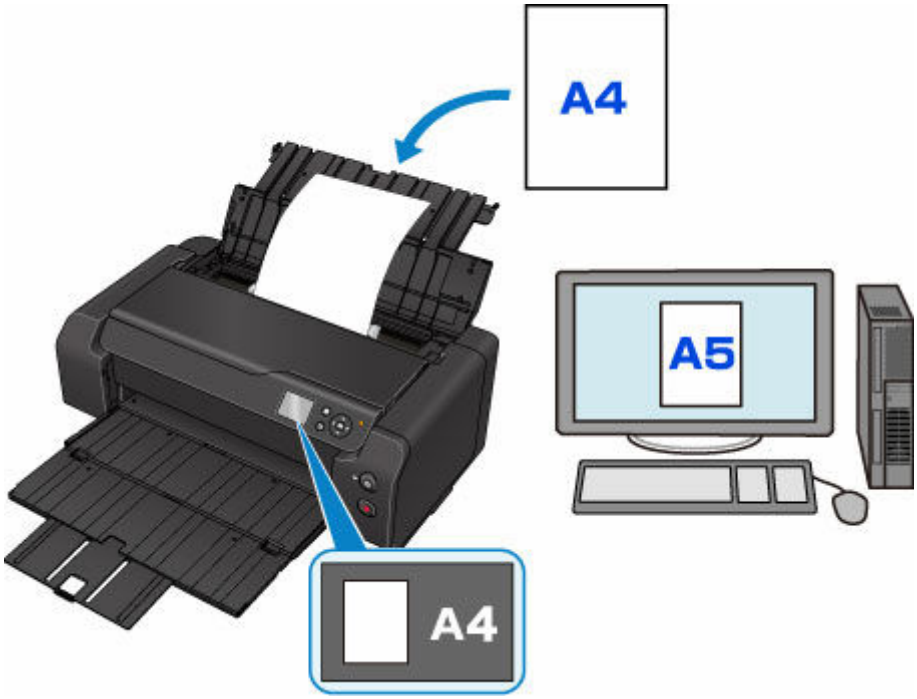
重要

- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（macOS）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（macOS）

印刷するときに指定した用紙設定が、プリンターに登録した用紙情報と異なっていると：

例：

- 印刷するときにプリンタードライバーで指定した用紙設定：A5
- プリンターに登録した上トレイの用紙情報：A4



印刷しようとすると、メッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って対処してください。

➡ 2114

印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能の初期設定について

- **プリンタードライバーを使用せずに印刷するとき（プリンターの操作パネルやスマホ／タブレットを使って印刷するときなど）は**

  初期設定で印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能が有効となっています。

  プリンタードライバーを使用せずに印刷する場合に、印刷ミスを防止するメッセージの表示／非表示を変更するには：

  ➡ 用紙関連の設定

- **プリンタードライバーを使用して印刷するときは**

  初期設定で印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能が無効となっています。

  プリンタードライバーを使用して印刷する場合に、印刷ミスを防止するメッセージの表示／非表示を変更するには：

  ➡ プリンターの設定を変更する（Windows）
  ➡ プリンターの設定を変更する（macOS）

重要

- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能を無効にしているときは：

印刷するときに指定した用紙設定とプリンターに登録した用紙情報が異なっていても、そのまま印刷が始まります。

用紙に関する情報

- 使用できる用紙について
- 用紙の最大積載枚数
- 用紙の取り扱いについて
- アート紙に印刷する前に
- 「Media Configuration Tool」を使ってプリンターの用紙情報を管理

使用できる用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、文書のための用紙はもちろん、写真やイラストなどの印刷に適したさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

- 用紙の種類
- サイズ
- 重さ／厚さ
- 使用できない用紙について

用紙の種類

キヤノン純正紙

参考

- 用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。
- 用紙の種類やサイズは、販売されている国や地域によって異なります。用紙の種類やサイズについて詳しくは、キヤノンのウェブサイトを参照してください。

文書やレポートの印刷に適する用紙：

- キヤノン普通紙・ホワイト
- キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口
- キヤノン普通紙・ビジネス

写真の印刷に適する用紙：

- キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［クリスタルグレード］
- キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］
- キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド
- キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター
- キヤノン写真用紙・絹目調
- マットフォトペーパー
- キヤノン写真用紙・プレミアムマット
- プレミアムファインアート・スムース
- プレミアムファインアート・ラフ

オリジナルグッズが作れる用紙：

- ピクサスプチシール（16 面光沢フォトシール）
- ピクサスプチシール・フリーカット
- フォトシールセット（2 面/4 面/9 面/16 面）

キヤノン純正紙以外の用紙

- 普通紙（再生紙を含む）
- はがき／年賀はがき

- インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき
- 往復はがき

➡ 用紙の最大積載枚数
➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（macOS）

参考

- アート紙をご使用になる場合は、「アート紙に印刷する前に」を参照してください。

サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

参考

- ご使用の OS により、使用できる用紙サイズや用紙の種類は異なります。

定型：

- 上トレイ
  - レター
  - リーガル
  - 11x17
  - 17x22
  - A5
  - A4
  - A3
  - A3 ノビ
  - A2
  - B5
  - B4
  - B3
  - KG/10x15cm(4"x6")
  - 13x18cm(5"x7")
  - 7x10
  - 9x13
  - 11"x14"
  - 13"x19"(Super B)
  - US フォト (16"x20")
  - 17x25
  - 六切
  - 四切
  - 半切

- 210x594mm
- L 判
- 2L 判
- 12x12
- はがき
- 往復はがき

- 手差しトレイ
  - レター
  - リーガル
  - 11x17
  - 17x22
  - A4
  - A3
  - A3 ノビ
  - A2
  - B4
  - B3
  - 9x13
  - 11"x14"
  - 13"x19"(Super B)
  - US フォト (16"x20")
  - 17x25
  - 六切
  - 四切
  - 半切
  - 210x594mm
  - 12x12

非定型：

以下の範囲内で、定型サイズ以外の用紙に印刷できます。

- 上トレイ
  - 最小サイズ：89.0 x 127.0 mm（3.50 x 5.00 in.）
  - 最大サイズ：432.0 x 3276.7 mm（17.00 x 129.00 in.）*1
- 手差しトレイ
  - 最小サイズ：203.2 x 254.0 mm（8.00 x 10.00 in.）
  - 最大サイズ：432.0 x 3276.7 mm（17.00 x 129.00 in.）*1

*1 1200 mm（47.24 in.）より長い用紙に印刷するときは、用紙種類で「フォト用紙（長尺印刷）」または「ファインアート紙（長尺印刷）」を選択してください。

➡ 長尺印刷を行う（Windows）

➡ 長尺印刷を行う（macOS）

重さ／厚さ

使用できる用紙の重さ／厚さは以下のとおりです。

※この範囲外の用紙は紙詰まりの原因となりますので使用しないでください。

- 上トレイ

  普通紙：64～105 g /m^2

  特殊な用紙：最大 300 g /m^2 / 0.1～0.3 mm（4～11.8 mil）

- 手差しトレイ

  特殊な用紙：最大 400 g /m^2 / 0.1～0.7 mm（4～27.6 mil）

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙
- 厚すぎる用紙
- 端がまっすぐになっていない用紙（裁断した用紙など）
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ホチキスや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

用紙の最大積載枚数

上トレイや手差しトレイ、排紙トレイに積載できる枚数は、以下のとおりです。

➡ 上トレイ／手差しトレイの最大積載枚数
➡ 排紙トレイの最大積載枚数

重要

- カラーキャリブレーションを行うときは、下の表の給紙箇所の指定に関わらず、すべての種類の用紙を上トレイにセットしてください。

参考

- 用紙の種類やサイズは、販売されている国や地域によって異なります。用紙の種類やサイズについて詳しくは、キヤノンのウェブサイトを参照してください。

上トレイ／手差しトレイの最大積載枚数

キヤノン純正紙

文書やレポートの印刷に適する用紙：

用紙の名称	上トレイ
キヤノン普通紙・ホワイト キヤノン普通紙・ビジネス	約 130 枚
キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口	約 100 枚

写真の印刷に適する用紙：

用紙の名称	上トレイ	手差しトレイ
キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［クリスタルグレード］*1	2L 判：20 枚 A4、A3、A3 ノビ：10 枚 A2：1 枚	1 枚
キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］*1 キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド*1 キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター*1 キヤノン写真用紙・絹目調*1 マットフォトペーパー	はがき、L 判、KG/10x15cm(4"x6")：20 枚 A4、A3、レター、A3 ノビ、2L 判、13x18cm(5"x7")、六切、四切、半切：10 枚 A2、17x22、7x10、9x13、11"x14"、13"x19"(Super B)、US フォト (16"x20")、17x25、12x12：1 枚	1 枚
キヤノン写真用紙・プレミアムマット プレミアムファインアート・スムース	使用不可	1 枚

プレミアムファインアート・ラフ		

オリジナルグッズ作りに適する用紙：

用紙の名称	上トレイ
ピクサスプチシール（16 面光沢フォトシール） ピクサスプチシール・フリーカット フォトシールセット（2 面/4 面/9 面/16 面）	1 枚

キヤノン純正紙以外の用紙

用紙の名称	上トレイ	手差しトレイ
普通紙（再生紙を含む）*2	約 150 枚（A2、B3：20 枚）	使用不可
はがき／年賀はがき インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき 往復はがき*2	40 枚	使用不可

*1 用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られなかったりする場合があります。その場合は、用紙を 1 枚ずつセットしてください。
*2 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を半分以下に減らしてください。

参考

- キヤノン純正紙以外の特殊な用紙をご使用の場合は、上トレイまたは手差しトレイに 1 枚ずつセットします。

排紙トレイの最大積載枚数

キヤノン純正紙

文書やレポートの印刷に適する用紙：

用紙の名称	排紙トレイ
キヤノン普通紙・ホワイト キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 キヤノン普通紙・ビジネス	約 50 枚

キヤノン純正紙以外の用紙

用紙の名称	排紙トレイ
普通紙（再生紙を含む）	約 50 枚（A2、B3：20 枚）
はがき／年賀はがき インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	40 枚

上記以外の用紙については、にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を排紙トレイから取り出すことをお勧めします。

用紙の取り扱いについて

- すべての用紙は、こすったり、傷をつけたりしないように丁寧に扱ってください。
- できるだけ用紙の端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。手についた汗や油分が印刷面に付くと、印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷後は、インクが十分に乾いてから取り扱ってください。また乾いたあとも、できるだけ印刷した面に触れないよう丁寧に扱ってください。顔料インクの特性上、こすったり、引っかいたりすると、インクがはがれる場合があります。
- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

写真用紙に印刷するときは

温度や湿度が低い環境で印刷した場合、静電気の影響により、用紙の余白部分などに霧状のインクの汚れが付着することがあります。

そのため、「温度 20℃以上、湿度 20%以上」の環境でのご使用をお勧めします。温度が 20℃未満の場合は、湿度 40%以上でのご使用をお勧めします。

アート紙に印刷する前に

アート紙は紙粉が発生しやすく、印刷面に微小な印刷ぬけが発生する場合があります。

印刷をする直前に用紙の紙粉除去を行うことをお勧めします。

用意するもの

OA 機器清掃用などに使用される柔らかい毛のハケもしくはブラシ

毛先が柔らかいもの

毛の材質：ポリプロピレン、ポリエチレン、馬毛、山羊毛など

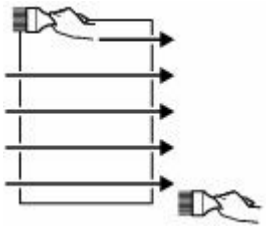
重要

- 以下のようなものは使用しないでください。印刷面を傷つける可能性があります。

紙粉除去を行う

1. ハケにゴミやほこりなどが付着していないこと、ハケが乾いていることを確認する

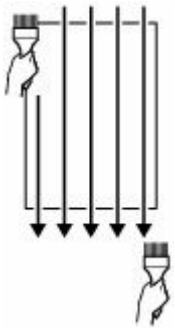
2. 用紙の左端から始め、印刷面全体を一方向にハケでていねいに払い落とす



重要

- かならず用紙の端から行ってください。用紙の途中から始めたり、途中で止めたりしないでください。
- 用紙はできるだけ端を持ち、印刷面には触れないようにご注意ください。

3. 用紙の上端から下端へ一方向にハケで払い落とす



各種設定

- **プリンターの操作パネルから設定を変更する**
  - 液晶モニター画面と操作パネルの使いかた
  - プリンターの操作パネルで設定できる項目
  - プリンターの操作パネルで管理者パスワードを設定する
- **ウェブブラウザーからプリンターの設定を変更する**
  - リモート UI を起動する
  - リモート UI で設定できる項目
  - リモート UI でパスワードを設定する
  - SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をウェブブラウザーに登録する
  - SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をローカルコンピューターに登録する
  - サーバー証明書を生成する
- **ネットワークの設定**
  - プリンターの接続方法
  - 同じ名前のプリンターを検出したときは
  - プリンターのネットワーク設定情報を印刷する
  - ネットワークの状態と対処方法
  - 「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認
  - ネットワーク環境でプリンターを共有する（Windows）
  - ネットワーク環境でプリンターを共有する（macOS）
- **セキュリティを設定／管理する**

プリンターの操作パネルから設定を変更する

- 液晶モニター画面と操作パネルの使いかた
- プリンターの操作パネルで設定できる項目
- プリンターの操作パネルで管理者パスワードを設定する

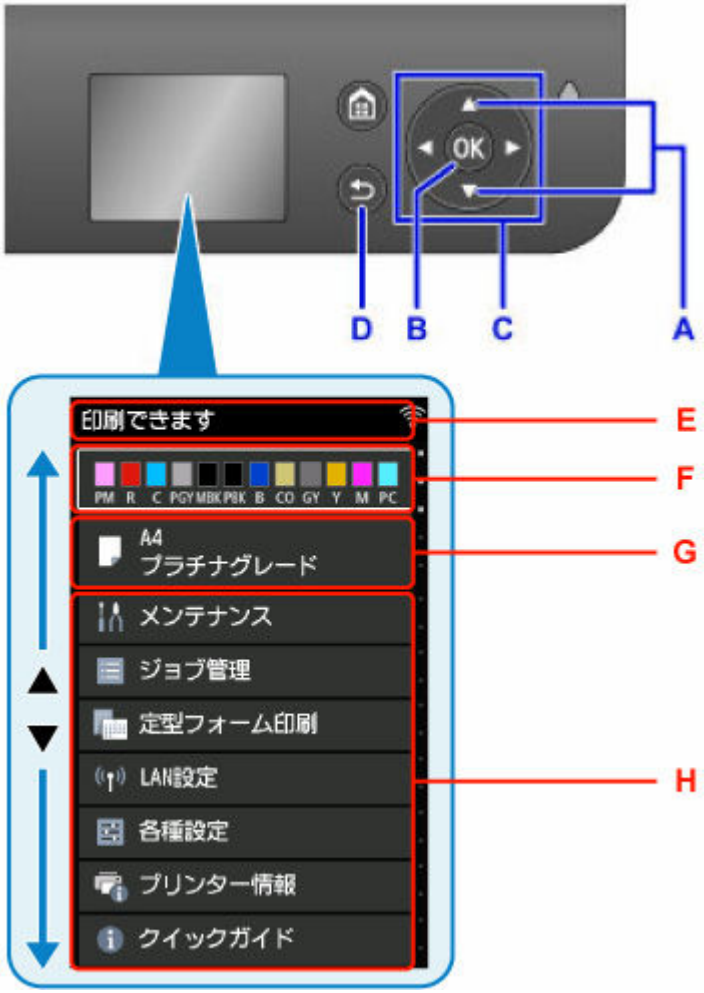
液晶モニター画面と操作パネルの使いかた

液晶モニターに表示されるホーム画面から、メンテナンスや各種設定などの機能を選びます。

ホーム画面の機能を選ぶときは、▲ ▼ ボタン（A）で選び、OK ボタン（B）を押します。

それぞれのメニュー画面や設定画面では、▲ ▼ ◄ ► ボタン（C）で項目や設定を選び、OK ボタン（B）を押して操作を進めます。

戻るボタン（D）を押すと、前の画面に戻ります。



E：プリンター情報表示部

プリンターの状態やメッセージなどが表示されます。

メッセージが表示されているときに ► ボタンを押すと、[お知らせ一覧] 画面が表示されて、メッセージを確認することや、詳細情報や操作の画面に進むことができます。

F：インク表示部

インクの状態が表示されます。この項目を選ぶと、インクの残量やインクの交換方法、インクタンクの型番などを確認できます。

G：用紙設定表示部

上トレイの用紙情報が表示されます。この項目を選ぶと、用紙サイズや用紙の種類などを設定できます。

H：そのほかのメニュー項目

メンテナンスや各種設定などを行うための項目が並んでいます。

メニューの選びかた

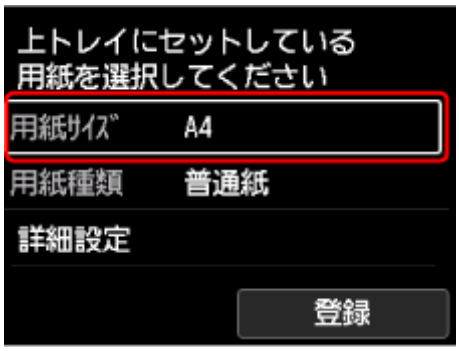
ホーム画面から選んだ項目によって、画面操作は異なります。

画面の内容や指示にしたがって操作してください。

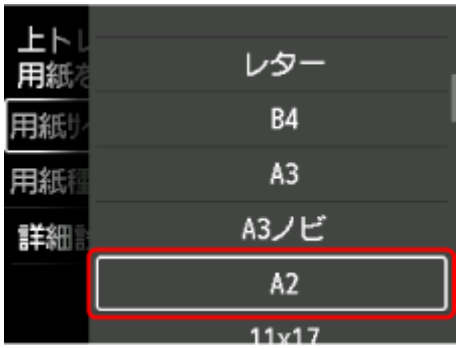
例：用紙設定の操作

ホーム画面が表示されているときに、▲ ▼ ボタンを押し、用紙設定表示部を選んで OK ボタンを押します。

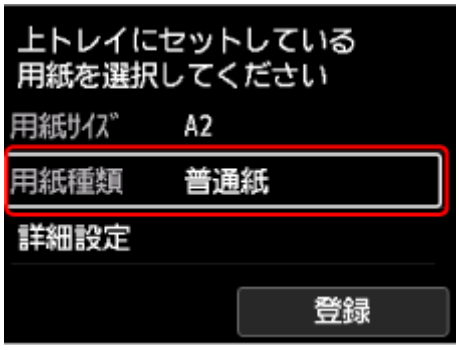
［用紙サイズ］を選んで OK ボタンを押します。



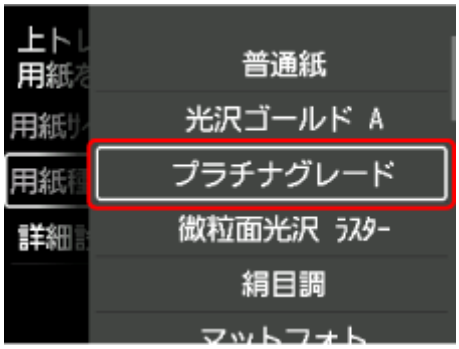
▲ ▼ ボタンを押し、［A2］を選んで OK ボタンを押します。



▼ ボタンを押し、［用紙種類］を選んで OK ボタンを押します。

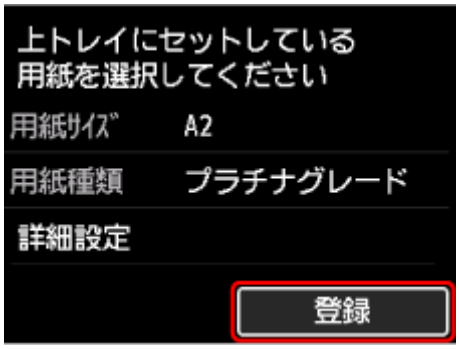


▲ ▼ ボタンを押し、［プラチナグレード］を選んで OK ボタンを押します。



▼ ボタンを押し、［登録］を選んで OK ボタンを押します。

用紙設定が登録されます。



プリンターの操作パネルで設定できる項目

参考

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定項目によっては設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

  管理者パスワードが必要な設定項目については、以下を参照してください。

  ➡ プリンターの操作パネルで管理者パスワードを設定する

［メンテナンス］

［ジョブ管理］

［定型フォーム印刷］

➡ レポート用紙や方眼紙などの定型フォームを印刷する

［LAN 設定］

［各種設定］

- ［本体設定］

- [セキュリティ設定]
- [印刷設定]
- [LAN 設定]
- [その他の本体設定]
- [言語選択]
- [ファームウェアのアップデート]
- [用紙関連の設定]
- [電源管理]
- [夜間利用モード]
- [自動メンテナンス設定]
- [メンテナンスの用紙サイズ]
- [管理者パスワードの設定]
  - ➡ プリンターの操作パネルで管理者パスワードを設定する
- [設定リセット]

- [Web サービス設定]

[プリンター情報]

メンテナンス

この項目は、ホーム画面に表示されます。

- **［ノズルチェックパターン印刷］**

  ノズルチェックパターンを印刷します。

  ➡ ノズルのつまりをチェックする

- **［クリーニング］**

  プリントヘッドをクリーニングするときに選びます。

  ➡ プリントヘッドをクリーニングする

- **［強力クリーニング］**

  インクがまったく出ない場合や、［クリーニング］を実行しても改善されない場合に実行します。

  ➡ プリントヘッドを強力クリーニングする

- **［ヘッド位置調整］**

  プリントヘッドの位置を調整します。

  ➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する
  ➡ 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

- **［給紙ローラークリーニング］**

  給紙ローラーをクリーニングするときに選びます。

  ➡ 給紙ローラーをクリーニングする

- **［インクふき取りクリーニング］**

  プリンター内部をクリーニングするときに選びます。

  ➡ インクふき取りクリーニングを行う

- **［システムクリーニング］**

  ［強力クリーニング］を実行しても改善されない場合に実行します。

  ➡ システムクリーニングを行う

- **［カラーキャリブレーション］**

  カラーキャリブレーションの実行や、調整値のリセットができます。

  ➡ カラーキャリブレーションを行う

- **［メンテナンスカートリッジ情報］**

  メンテナンスカートリッジの推定使用量を表示します。［交換する］を選ぶと、メンテナンスカートリッジを交換できます。

  ➡ メンテナンスカートリッジを交換する

- **［輸送の準備］**

  プリンターの輸送の準備をするときに選びます。

  ➡ 本製品を輸送する

- **［ヘッド交換］**

  プリントヘッドを交換するときに選びます。

  ➡ プリントヘッドを交換する

ジョブ管理

この項目は、ホーム画面に表示されます。

重要

- このメニューを利用するためには、操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にする必要があります。
- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **［ジョブ履歴の表示］**

  印刷ジョブの履歴を表示します。

- **［ジョブ履歴の印刷］**

  印刷ジョブの履歴を印刷できます。

- **［ジョブ履歴の公開制限］**

  開発者向けのメニューです。

LAN 設定

この項目は、ホーム画面に表示されます。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- Wi-Fi
- 無線ダイレクト
- 有線 LAN
- 詳細設定

Wi-Fi

- **［設定情報表示］**

  Wi-Fi 接続時のプリンターのネットワーク設定情報が表示されます（プリンターの設定によっては表示されない項目もあります）。

表示される項目名	設定内容
接続状態	有効（接続中）／有効（切断中）／無効
ネットワーク名(SSID)	XXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX
周波数帯	2.4 GHz／5 GHz
Wi-Fi セキュリティ	無効／WPA-PSK(AES)／WPA2-PSK(AES)／WPA/WPA2-PSK／WPA3-SAE(AES)／WPA2/WPA3-PSK／WPA-EAP(AES)／WPA2-EAP(AES)／WPA3-EAP(AES)／WPA/WPA2-EAP(AES)／WPA2/WPA3-EAP(AES)
電波強度［%］	XXX
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 手動アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 手動プレフィックス長	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 1	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 2	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX

IPv6 ステートレスプレフィックス 3	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 4	XXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
Wi-Fi の MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX

（XX は半角英数字を示す）

- **［Wi-Fi の有効/無効］**

  Wi-Fi を有効または無効に設定します。

- **［Wi-Fi セットアップ］**

  Wi-Fi 接続の設定方法を選びます。

  - ［PC/スマホでかんたん接続］

    Wi-Fi ルーターを操作せず、各種機器（スマートフォンなど）から直接プリンターに、Wi-Fi ルーターの情報を設定したい場合に選びます。セットアップの手順などについては各種機器（スマートフォンなど）に表示される案内に従ってください。

  - ［プリンターで手動接続］

    Wi-Fi 接続の設定を手動で行うときに選びます。

  - ［WPS(プッシュボタン方式)］

    Wi-Fi Protected Setup（WPS）プッシュボタン方式に対応している Wi-Fi ルーターを使用して Wi-Fi 接続の設定をするときに選びます。表示される案内に従って操作してください。

  - ［その他の接続方法］

    - ［WPS(PIN コード方式)］

      Wi-Fi Protected Setup（WPS）PIN コード方式に対応している Wi-Fi ルーターを使用して Wi-Fi 接続の設定をするときに選びます。表示される案内に従って操作してください。

無線ダイレクト

- **［設定情報表示］**

  無線ダイレクト時のプリンターのネットワーク設定情報が表示されます（プリンターの設定によっては表示されない項目もあります）。

参考

- ［無線ダイレクトの設定表示］画面で［パスワード表示］／［パスワード非表示］を選ぶと、パスワードの表示／非表示を切り替えることができます。

表示される項目名	設定内容
接続状態	有効／無効
ネットワーク名(SSID)	DIRECT-XXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX
パスワード	XXXXXXXXXX
周波数帯	2.4 GHz／5 GHz
Wi-Fi セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
現在の接続台数	XX/XX
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
Wi-Fi の MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX

（XX は半角英数字を示す）

- **［スマホと接続］**

  液晶モニターに表示される QR コードをスマートフォンで読み取り、プリンターと接続できます。また、ネットワーク名とパスワードを手入力して接続することもできます。

- **［無線ダイレクトの有効/無効］**

  無線ダイレクトを有効または無効に設定します。

- **［ネットワーク名(SSID)の変更］**

  無線ダイレクト時の識別名（SSID/Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示されるプリンターの名称）を変更します。

- **［パスワードの変更］**

  無線ダイレクト利用時のパスワードを変更します。

- **［接続要求の確認設定］**

  Wi-Fi Direct 対応機器がプリンターに接続したときにプリンターの液晶モニターに確認画面を表示するかを設定します。

- **［2.4GHz/5GHz の切替］**

  使用する周波数帯を設定します。

有線 LAN

- **［設定情報表示］**

  有線 LAN 接続時のプリンターのネットワーク設定情報が表示されます（プリンターの設定によっては表示されない項目もあります）。

表示される項目名	設定内容
接続状態	有効（接続中）／有効（切断中）／無効
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 手動アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 手動プレフィックス長	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 1	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 2	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 3	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 4	XXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
有線 LAN の MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX

（XX は半角英数字を示す）

- **［有線 LAN の有効/無効］**

  有線 LAN を有効または無効に設定します。

詳細設定

- **［プリンター名設定］**

  プリンター名を設定します。

  参考

  - すでに LAN 接続されている機器と同じプリンター名は使用できません。
  - プリンター名の最初と最後の文字に、-（ハイフン）は使用できません。

- **［TCP/IP 設定］**

  IPv4 または IPv6 の設定を行います。

- **［WSD 設定］**

  WSD（Windows がサポートするネットワークプロトコルの一つ）を利用するときの設定項目です。

  - ［WSD の有効/無効］

    WSD の有効／無効を選びます。

    参考

    - 本設定を有効にした場合、Windows のネットワークエクスプローラーにプリンターアイコンが表示されます。

  - ［WSD 受信の最適化］

    ［有効］に設定すると、WSD 印刷のデータ受信を高速で行います。

  - ［タイムアウト設定］

    タイムアウトの時間を設定します。

- **［Bonjour 設定］**

  Bonjour を使用するときに設定します。

  - ［Bonjour の有効/無効］

    ［有効］に設定すると、Bonjour を使用してネットワークの設定ができるようになります。

  - ［サービス名］

    Bonjour のサービス名を設定します。

    参考

    - すでに LAN 接続されている機器と同じサービス名は使用できません。

- **［LPD 設定］**

  LPD の設定（有効／無効）を切り替えます。

- **［RAW 設定］**

  RAW 印刷の有効／無効を切り替えます。

- **［LLMNR 設定］**

  LLMNR（Link-Local Multicast Name Resolution）の有効／無効を切り替えます。［有効］を選ぶと、DNS サーバーがない環境でも、プリンター名からプリンターの IP アドレスを割り出すことができます。

- **［Gbit イーサネット設定］**

  ギガビット・イーサネットを使用するときの通信速度と通信方式を設定します。

- **［IPP 設定］**

  ［有効］に設定すると、IPP プロトコルを使って、ネットワーク経由で印刷できます。

- **［Wi-Fi 間欠受信設定］**

  ［有効］に設定すると、Wi-Fi 使用時にデータ受信を断続的に行います（間欠受信）。

  参考

  - ご使用の Wi-Fi ルーターによっては、［有効］に設定していても間欠受信ができない場合があります。
  - 間欠受信は、本製品がスタンバイ状態（液晶モニターが自動消灯している状態）のときのみ行われます。

- **［有線 LAN 間欠受信設定］**

  ［有効］に設定すると、有線 LAN に対応している機器に接続しているときに、データ受信を断続的に行います（間欠受信）。間欠受信によって、消費電力を抑えることができます。

- **［PC/スマホでかんたん接続］**

  ［自動起動する］に設定すると、自動で PC/スマホでかんたん接続が待ち受けモードになります。

  意図しないタイミングで PC/スマホでかんたん接続が待ち受けモードになることを防ぎたい場合は、［自動起動しない］に設定してください。

セキュリティ設定

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **［おすすめセキュリティ設定］**

  お使いの環境に適したセキュリティ設定ができます。詳細はセキュリティ設定ナビをご確認ください。

  ➡ セキュリティを設定／管理する

- **［ロックアウト設定］**

  パスワードを複数回間違えたときに、入力不可時間を設けるかどうかを設定できます。

  - ［ロックアウトの有効/無効］

    ロックアウトの設定（有効/無効）を切り替えます。

  - ［ロックアウトのしきい値(回数)］

    何回の入力失敗でロックアウトを実行するか設定します。

  - ［ロックアウト時間］

    ロックアウトの継続時間（入力不可時間）を設定します。

- **［リモート UI の使用］**

  リモート UI の使用を制限するときに設定します。

- **［パスワードポリシー設定］**

  パスワードを設定/使用するときの文字制限を設定します。

- **［IPsec 設定］**

  ［有効］に設定すると、IPsec のセキュリティを設定できます。

- **［IEEE802.1X/EAP 設定］**

  IEEE802.1X/EAP（WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ）を使用するときに設定します。

参考

- セキュリティ設定の詳細はセキュリティガイドをご確認ください。

  ➡ セキュリティを設定／管理する

印刷設定

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

- **［用紙のこすれ改善］**

  印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。

  重要

  - 画質が低下する場合があるので、印刷終了後は［しない］に戻してください。

- **［フチなし時の画像拡大率］**

  以下の印刷方法でフチなし印刷を行う場合の拡大率を設定します。

  通常、少し画像が拡大されてフチが出ないよう印刷されますが、フチが残ってしまったときに設定を変更してください。

  - AirPrint などの IPP 印刷

- **［IPP 印刷設定］**

  IPP 印刷をするときの画質設定や用紙設定ができます。

  例えば、AirPrint や Mopria Print Service などを使って印刷する場合は、この設定値が適用されます。

  - **［画質設定］**
    - ［カラーモード］

      印刷する原稿の種類に合った色の補正方法を選びます。

      重要

      - ICC プロファイルを選択しても、Media Configuration Tool（メディア・コンフィグレーション・ツール）で追加された用紙情報の中に ICC プロファイルが含まれていない場合は、ICC プロファイルを使わずに印刷します。また、ICC プロファイルが存在しても、本製品が対応していないプロファイルの場合は、印刷に失敗し、白紙のまま排紙されます。

    - ［クリアコート］

      クリアコートの設定を行います。クリアコートを行うと、クロマオプティマイザー（CO）インクを印刷面に塗布して、光沢感の調整ができます。

      - ［自動］

        クリアコートする領域およびクリアコートを実行するかを自動的に設定します。

      - ［全面］

        画像領域外の余白を含む印刷範囲全体をクリアコートします。

        全面にクリアコートすることで、余白を含む印刷範囲全体の光沢感を改善します。

        クロマオプティマイザー（CO）インクを最も多く消費する設定です。

      - ［白以外］

        余白と、画像に含まれる白い部分以外の領域をクリアコートします。

        画像部分のみ光沢感を改善したい場合に設定します。

      - ［OFF］

クリアコートを行わずに印刷します。

クリアコートする場合と比べて、画質が低下して見えたり、印刷面に傷がつきやすくなったりすることがあります。

参考

- 印刷後にラミネート加工する場合など、クリアコートが不要な場合は［OFF］を選んでください。

重要

- 用紙の種類や印刷品質によっては、［全面］／［白以外］／［OFF］を選んでも機能しないことがあります。
- ［クリアコート］で［OFF］を選んだ場合、印刷時にクロマオプティマイザー（CO）インクが使用されませんが、プリンターの性能を維持するための自動メンテナンス時には使用されます。

◦ **［用紙設定］**

▪ ［片方向印刷］

［する］を選ぶと、色のムラや罫線のズレを抑えて印刷します。

その他の本体設定

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **［日付/時刻設定］**

  現在の日付／時刻を設定します。

- **［日付表示形式］**

  液晶モニターに表示される日付の表示形式を選びます。

- **［サマータイム設定］**

  サマータイムを設定します。ご購入の国と地域によっては、この機能が使用できない場合があります。

- **［キーリピート］**

  部数を入力したり、設定メニューや設定項目を選んだりするときに、▲ ▼ ◀ ▶ ボタンの長押しで数値、メニューや項目を早く切り替える機能の有効／無効を設定します。

- **［キーボードレイアウト］**

  キーボード配列を変更できます。

- **［インク残量管理］**
  - ［インク残量の通知タイミング］

    サービスセンターにインク残量通知を行うタイミングを設定します。

    ［設定の確認］を選ぶと、各色に設定された通知タイミングを確認できます。

言語選択

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

液晶モニターに表示する言語を変更します。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

ファームウェアのアップデート

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

プリンターのファームウェアのアップデート、ファームウェアのバージョンの確認、アップデートの通知、DNS サーバーおよびプロキシサーバーの設定を行います。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

参考

- LAN が無効になっていると、［アップデートの実行］、［DNS サーバー設定］、［プロキシサーバー設定］を使用できません。

- **［アップデートの実行］**

  プリンターのファームウェアのアップデートを行います。

  ➡ ファームウェアをアップデートする

- **［現在のバージョンを確認］**

  現在のファームウェアのバージョンを確認できます。

- **［アップデートの通知設定］**

  ファームウェアのアップデートが可能なときに、液晶モニターにアップデートの通知画面が表示されるように設定できます。

  ［待機中/電源オフ時］を選ぶと、待機中に通知することに加えて、電源ボタンを押したときにもアップデートの通知が表示されます。

- **［自動アップデート設定］**

  ［する］を選ぶと、ファームウェアを自動で最新バージョンにアップデートします。

- **［DNS サーバー設定］**

  DNS サーバーの設定を行います。［自動設定］または［手動設定］を選んでください。［手動設定］を選んだ場合は、表示に従って設定を行ってください。

- **［プロキシサーバー設定］**

  プロキシサーバーの設定を行います。表示に従って設定を行ってください。

用紙関連の設定

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

- **［上トレイの用紙設定］**

  上トレイにセットする用紙のサイズ、種類を設定します。

- **［手差しトレイの用紙設定］**

  手差しトレイにセットする用紙のサイズ、種類を設定します。

- **［用紙の交換を確認］**

  ［する］を選ぶと、用紙の抜き差しを検知します。

  用紙をセットしたときに用紙情報の登録画面が表示されるので、用紙のサイズと種類を登録してください。

- **［用紙の設定不一致を検知］**

  ［有効］を選ぶと、登録した用紙のサイズ、種類と印刷設定が一致しているかを検知します。一致しない状態で印刷を開始した場合は、エラーメッセージが表示されます。

  ➡ 用紙情報を登録する

- **［用紙の詳細設定］**

  用紙ごとに以下の設定をすることができます。

  - ［紙の厚さ(ヘッドの高さ)］
  - ［搬送部の吸着設定］
  - ［フチなし印刷時のはみ出し量］
  - ［スキャン間で休止する］
  - ［ページ間で休止する］
  - ［用紙の幅を検知する］
  - ［用紙ごとの設定情報をリセット］

  ［用紙ごとの設定情報をリセット］を選び、［はい］を選んで OK ボタンを押すと、設定を初期化することができます。管理者パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

- **［用紙の詳細設定を印刷］**

  ［用紙の詳細設定］で設定した各設定を印刷して確認できます。

- **［すべての用紙情報をリセット］**

  ［用紙の詳細設定］で設定した各設定をご購入時の設定に戻します。

  管理者パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

電源管理

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

節電のためにプリンターの電源を自動的にオン／オフしたりするようにできます。また、電源をオン／オフする時刻と曜日も設定できます。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

参考

- 設定を変更すると、消費電力が多くなる場合があります。

- **［自動電源管理を使う］**
  - ［自動電源オフ］

    操作がされなかった場合やパソコンから印刷データが送られなかった場合に、自動的にプリンターの電源を切るまでの時間を設定します。
  - ［自動電源オン］

    ［する］を選ぶと、印刷データが送られたときに、自動的にプリンターの電源が入るように設定することができます。

- **［スケジュール管理を使う］**

  自動的にプリンターの電源を入れる時間、切る時間を曜日ごとに設定することができます。

- **［電源管理を使わない］**

  プリンターの電源を自動的にオン／オフする機能を無効にします。

夜間利用モード

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

夜間など、プリンターの動作音が気になるときに、動作音をおさえることができます。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **［する］**

  設定すると、印刷時の動作音をおさえることができます。

  重要

  - ［しない］を選んだときに比べ、動作が遅くなります。
  - 設定によっては、効果が少ない場合があります。また、準備動作時の音などは、通常の音と変わりません。

- **［しない］**

  通常の動作音で使用するときに選びます。

参考

- 夜間利用モードは、プリンターの操作パネルやプリンタードライバーから設定することができます。いずれの方法で設定した場合でも、プリンターの操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷を行うときなどに適用されます。

自動メンテナンス設定

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **［自動ノズルチェック］**

  自動ノズルチェックの有効／無効を設定します。

- **［システムクリーニングの間隔］**

  自動でシステムクリーニングを行う頻度を設定します。

  参考

  - 印刷品質を保持するために、プリンターを高地でご使用の場合は［短い］を選ぶことをおすすめします。

- **［タンク装着時のインク品質保持］**

  ［する］を選ぶと、本製品が定期的に自動でインクをかき混ぜ、インクの濃度を均一に保ちます。

  重要

  - この項目は通常［する］を選んでご使用ください。インク品質保持を週 1 回程度行わないと、印刷結果に影響が出る場合があります。

メンテナンスの用紙サイズ

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

ヘッド位置調整などのメンテナンスを行うときに使用する用紙のサイズを指定します。A2、17 x 22、A4またはレターサイズのいずれかを選べます。

設定リセット

この項目は、ホーム画面の ［各種設定］から［本体設定］を選ぶと表示されます。

プリンターの設定をご購入時の設定に戻すことができます。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **［Web サービス設定のみ］**

  Web サービスの設定のみをご購入時の設定に戻します。

- **［LAN 設定のみ］**

  LAN の設定をご購入時の設定に戻します。

- **［設定値のみ］**

  ネットワーク以外の設定（用紙サイズや用紙の種類、各設定の項目など）をご購入時の設定に戻します。

- **［すべてリセット］**

  上記の設定のすべてをご購入時の設定に戻します。設定した管理者パスワードも、初期化されます。

  ➡ 管理用の初期パスワードについて

  リセットしたあとは、必要に応じてセットアップをやり直してください。

  参考

  - 次の設定項目は、ご購入時の設定には戻りません。
    - セキュリティポリシー
    - 表示する言語
    - プリントヘッド位置調整結果
    - SSL/TLS（暗号通信）設定の CSR（証明書署名要求）の生成状態
    - Media Configuration Tool（メディア・コンフィグレーション・ツール）で本製品に登録した用紙情報

- **［セキュリティポリシーのみ］**

  セキュリティ管理者パスワードとすべてのセキュリティポリシーがリセットされます。セキュリティ管理者パスワードが設定されている場合、リセットの実行にはセキュリティ管理者パスワードの入力が必要になります。

  ➡ セキュリティを設定／管理する

  参考

  - セキュリティポリシーによって制限を受ける各種ユーザーモード設定値については変更されません。（各機能の設定値は、セキュリティポリシーでセキュリティ制限をかける前の設定値には戻りません。）

Web サービス設定

この項目は、ホーム画面で ［各種設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **［情報送信の設定］**

  以下の情報送信に関する設定をすることができます。

  - ［サービス利用に必要な情報］
  - ［ご利用状況に関する情報］

- **［Web サービス接続設定］**

  以下の設定をすることができます。

  - ［Cloud Printing Center 設定］

    Canon Cloud Printing Center への登録および削除を行います。
  - ［Web サービス設定の確認］

    Canon Cloud Printing Center にプリンターを登録しているかを確認できます。

- **［登録コードの発行］**

  Web サービスとプリンターの関連付けを行うための登録コードをサービス元から取得します。

- **［DNS サーバー設定］**

  DNS サーバーの設定を行います。［自動設定］または［手動設定］を選んでください。［手動設定］を選んだ場合は、表示に従って設定を行ってください。

- **［プロキシサーバー設定］**

  プロキシサーバーの設定を行います。表示に従って設定を行ってください。

プリンター情報

この項目は、ホーム画面に表示されます。

- **［システム情報］**

  プリンターのシステム情報を表示します。

- **［エラー履歴］**

  エラー履歴の一覧を表示します。

  エラーコードの詳細については、「エラー発生時のサポート番号一覧」を参照してください。

- **［ヘッドの情報］**

  プリントヘッドのシリアル番号、装着日を表示します。

プリンターの操作パネルで管理者パスワードを設定する

管理者パスワードを設定、解除することができます。

管理者パスワードを設定すると、以下のメニューの利用や設定の変更をする際に、管理者パスワードの入力が必要になります。

- Web サービス設定
- セキュリティ設定
- LAN 設定
- その他の本体設定
- 言語選択
- ファームウェアのアップデート
- 電源管理
- 夜間利用設定
- タンク装着時のインク品質保持
- 自動メンテナンス設定
- ジョブ管理
- 管理者パスワードの設定
- 設定リセット

以下の手順で、管理者パスワードを設定／変更します。

重要

- プリンターはご購入時から管理者パスワードが設定されています。

  初期パスワードを確認するためには、プリンターの操作パネルで ［プリンター情報］→［システム情報］を選び、表示された画面で［パスワード表示］を選びます。［システム情報］画面に［初期パスワード］の値が表示されます。

  管理者パスワードが変更されている場合は［初期パスワード］の値が表示されません。

  ➡ 管理用の初期パスワードについて

1. ホーム画面で ［各種設定］を選ぶ

2. ［本体設定］を選ぶ

3. ［管理者パスワードの設定］を選ぶ

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

4. ［管理者パスワードの変更］を選ぶ

5. 管理者パスワードの有効範囲を選ぶ

［リモート UI/ツール］

リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

［操作パネル/リモート UI/ツール］

本製品の操作パネル、リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

6. 新しい管理者パスワードを入力する

重要

- パスワードを変更する場合は、以下の文字制限があります。
  - 使用可能な文字は半角英数字、スペースと以下の記号です。

    - ! @ # $ % ^ & * _ ; : , . / ` = + ' " ( ) { } [ ] < > |
  - パスワードポリシーに従って、パスワードを設定してください。

    ➡ セキュリティ設定

7. ［確定］を選ぶ

8. 設定した管理者パスワードを再入力する

9. ［確定］を選ぶ

管理者パスワードが有効になります。

パソコンで設定を変更する（macOS）

- 変更した印刷設定を登録する
- プリンターの設定を変更する
- プリンタードライバーの用紙情報を更新する
  - プリンタードライバーの用紙情報を適正化する（共有環境でのご使用の場合）
- アカウンティングを設定する
- プリンターの動作音を抑える

変更した印刷設定を登録する

プリントダイアログで行った印刷設定に名前をつけて登録できます。登録した印刷設定は［プリセット］から呼び出して使用することが可能です。不要になった印刷設定は削除できます。

印刷設定を登録する手順を説明します。

印刷設定を登録する

1. プリントダイアログで必要な項目を設定する

2. ［プリセット］で［現在の設定をプリセットとして保存...］を選ぶ

3. 設定を保存する

表示されたダイアログで［プリセット名］を入力します。必要に応じて、［対象］を設定し、［OK］をクリックします。

重要

- プリセットに保存できない印刷設定もあります。

登録した印刷設定を使用する

1. プリントダイアログの［プリセット］で、使用したい印刷設定の名前を選ぶ

プリントダイアログの印刷設定が、呼び出した設定内容に更新されます。

不要になった印刷設定を削除する

1. 削除する印刷設定を選ぶ

プリントダイアログの［プリセット］で［プリセットリストを編集...］を選び、表示されたダイアログから削除したい印刷設定の名前を選びます。

2. 印刷設定を削除する

［-］をクリックして、［OK］をクリックすると、選んだ印刷設定が［プリセット］から削除されます。

プリンターの設定を変更する

必要に応じてプリンターの設定を変更します。

［特殊設定］を行う手順を説明します。

1. Canon IJ Printer Utility2 のポップアップメニューから［特殊設定］を選ぶ

参考

- プリンターと正常に通信できない状態では、パソコンはプリンターで設定されている機能情報を取得できず、メッセージが表示されることがあります。
  この場合、［キャンセル］をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

2. 必要に応じて、次の項目を設定する

［パソコンからの印刷時に用紙の設定不一致を検知しない］

パソコンからの印刷時に、プリントダイアログで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なっていても、メッセージを表示させずに印刷を続けることができます。
用紙設定の不一致を検知させない場合はチェックマークを付けます。

［パソコンからの印刷時に用紙の幅検知を無効にする］

パソコンからの印刷時にプリンターが判別した用紙の幅が、プリントダイアログの［用紙サイズ］で設定した用紙の幅と異なっていても、メッセージを表示させずに印刷を続けることができます。
印刷時に用紙の幅を検知させない場合はチェックマークを付けます。

3. 設定を適用する

［適用］をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、［実行］をクリックします。

これ以降、プリンターは変更した設定で動作するようになります。

プリンタードライバーの用紙情報を更新する

プリンターから最新の用紙情報を取得してプリンタードライバーの用紙情報を更新します。

用紙情報の更新を行うと、［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］に表示される用紙が最新の内容に更新されます。

参考

- macOS 15 以降をご使用の場合は、アプリケーションごとに、ローカルネットワーク上にあるデバイスを検索できるように設定してください。デバイスを検索できるように設定しないと、ソフトウェアの起動や機能の一部が制限されることがあります。
  設定方法については、「ローカルネットワークのデバイス検索を設定する」を参照してください。
  ［ローカルネットワーク］に表示されるアプリケーションの一覧には、使用状況によって下記のすべて、またはいずれかが表示されます。
  - Canon IJ Printer Setup2
  - Canon IJ Printer Utility2

用紙情報を更新する手順を説明します。

［用紙情報更新］

1. Canon IJ Printer Utility2 のポップアップメニューから［用紙情報］を選ぶ

2. ［用紙情報更新］をクリックする

ダイアログが表示されます。

3. 用紙情報の更新を確認する

ダイアログの指示に従ってプリンターの電源が入っていることを確認し、［実行］をクリックします。
プリンタードライバーの用紙情報の更新が必要かを確認後、メッセージが表示されます。
プリンタードライバーの用紙情報が最新の場合は［OK］をクリックして、用紙情報の更新を終了してください。
更新が必要な場合は次の手順に進んでください。

4. 用紙情報を更新する

メッセージを確認し［更新］をクリックします。
プリンタードライバーの用紙情報を更新します。
認証画面が表示された場合は、管理者の名前とパスワードを入力し、［ヘルパーをインストール］をクリックしてください。

重要

- 用紙情報の更新には、時間がかかる場合があります。
- ドライバーの用紙の情報を更新しているときは、プリンターの用紙の情報を更新しないでください。

5. 用紙情報の更新を完了する

確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
用紙情報が更新されます。

重要

- 用紙情報の更新が完了したら、印刷に使用するアプリケーションソフトを再起動してください。

重要

- 管理者の権限を持つユーザーが用紙情報の更新を実行してください。
  管理者の権限を持つユーザー以外は、用紙情報の更新が必要かの確認はできますが、更新はできません。
- 管理ツール（Media Configuration Tool）でメディアの追加や削除・編集を行ったにもかかわらず、用紙情報を更新していない場合は、印刷できないなどの不具合が発生する場合があります。

参考

- プリンターを共有して使用している場合、クライアント機では、［用紙情報適正化］が表示されます。

プリンタードライバーの用紙情報を適正化する（共有環境でのご使用の場合）

プリンタードライバーの用紙情報を適正化します。

用紙情報の適正化を行うと、プリンタードライバーに含まれる用紙情報の構成が適正化されます。

用紙情報を適正化する手順を説明します。

［用紙情報適正化］

1. Canon IJ Printer Utility2 のポップアップメニューから［用紙情報］を選ぶ

2. ［用紙情報適正化］をクリックする

プリンタードライバーの用紙情報が適正な状態かを確認後、メッセージが表示されます。
プリンタードライバーの用紙情報が適正な状態の場合は［OK］をクリックして、用紙情報の適正化を終了してください。
適正な状態にする必要がある場合は次の手順に進んでください。

3. 用紙情報を適正化する

メッセージを確認し［OK］をクリックします。
プリンタードライバーの用紙情報を適正化します。
認証画面が表示された場合は、管理者の名前とパスワードを入力し、［ヘルパーをインストール］をクリックしてください。

4. 用紙情報の適正化を完了する

確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
用紙情報が適正化されます。

重要

- 用紙情報の適正化が完了したら、印刷に使用するアプリケーションソフトを再起動してください。

参考

- ［用紙情報適正化］はプリンターを共有して使用しているクライアント機でのみ表示されます。

アカウンティングを設定する

アカウンティングを設定すると、印刷ジョブに任意の ID を付加し、プリンター本体やコスト管理ツールを使用して、任意の ID で印刷履歴を集計することができます。

アカウンティングを設定する手順を説明します。

1. Canon IJ Printer Utility2 のポップアップメニューから［アカウンティング］を選ぶ

2. アカウント ID を設定する

必要に応じて、アカウント ID を設定します。

［アカウント ID］

設定するアカウント ID を入力します。半角英数字（0～9, a～z, A～Z）20 文字以内で入力してください。

3. 設定を適用する

プリンターの電源が入っていることを確認して、［適用］をクリックします。
確認のメッセージが表示されたら、［実行］をクリックします。
これ以降、設定が有効になります。

参考

- プリンターを共有して使用している場合、クライアント機では［アカウンティング］は設定できません。

プリンターの動作音を抑える

夜間利用モードを使用すると、プリンターの動作音を抑えることができます。夜間に印刷する場合など、動作音が気になるときに使用してください。
この機能を使用すると、印刷速度が遅くなることがあります。

1. リモート UI から［本体設定］を選ぶ

2. ［夜間利用設定］をクリックする

3. 夜間利用モードを設定する

必要に応じて、以下の項目のいずれかを指定します。

［夜間利用モードで使用しない］
プリンターの動作音を通常の状態で使用するときに選びます。

［夜間利用モードで使用する］
プリンターの動作音を抑えるときに選びます。

4. 設定を適用する

［OK］をクリックします。

これ以降、設定が有効になります。

ウェブブラウザーからプリンターの設定を変更する

- リモート UI を起動する
- リモート UI で設定できる項目
- リモート UI でパスワードを設定する
- SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をウェブブラウザーに登録する
- SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をローカルコンピューターに登録する
- サーバー証明書を生成する

リモート UI を起動する

スマートフォン、タブレットまたはパソコンを使用し、ウェブブラウザーでプリンターの情報の確認やプリンターの設定の変更を行うことができます。

プリンター情報の確認やプリンターの設定を変更するときは、ウェブブラウザーから「リモート UI」を起動します。

参考

- リモート UI とは、ウェブブラウザーを使ってパソコンからネットワークを経由してプリンターにアクセスし、プリンターの状態の確認や各種設定など、プリンターの操作パネルと同等の操作を行うためのソフトウェアです。

  リモート UI を使用するときは、プリンターを LAN 接続してください。
- リモート UI は、以下の OS とウェブブラウザーで利用できます。
  - iOS 機器

    ブラウザー：iOS 機器標準搭載のブラウザ（Mobile Safari）
  - iPadOS 機器

    ブラウザー：iPadOS 機器標準搭載のブラウザ（Mobile Safari）
  - Android 機器

    ブラウザー：Android 機器標準搭載のブラウザ（ブラウザまたは Chrome）
  - macOS 機器

    ブラウザー：macOS 機器標準搭載のブラウザ（Safari）
  - Windows 機器

    ブラウザー：Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome
- ウェブブラウザーの設定で、JavaScript と cookie を有効にしてください。

1. プリンターの IP アドレスを確認する

1. ホーム画面で ［LAN 設定］を選ぶ
2. 有効になっている LAN を選ぶ

   無効になっている LAN のアイコンには、斜線が表示されています。
3. ［IPv4 アドレス］を確認する

2. ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンのウェブブラウザーを開き、プリンターの IP アドレスにアクセスする

ウェブブラウザーの URL 欄で、下記のように入力します。

http://XXX.XX.X.XXX

「XXX.XX.X.XXX」には、プリンターの IP アドレスを入力してください。

参考

- DNS でホスト名を設定している場合は、ホスト名を入力してアクセスすることもできます。

アクセスできると、ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンのウェブブラウザーに「リモート UI」が表示されます。

参考

- ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンで初めてリモート UI を表示した場合は、ルート証明書をダウンロードして、ウェブブラウザーに登録してください。

  ➡ SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をウェブブラウザーに登録する

- ルート証明書を登録していないときは、安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示される場合があります。

3. ［ログイン］を選ぶ

パスワード認証画面が表示されます。

参考

- 一般ユーザーモードを有効にしている場合は、管理者モードまたは一般ユーザーモードのどちらでログインするかを選んでください。

  モードを選んでから［ログイン］を選ぶと、それぞれのモードのパスワード認証画面が表示されます。

4. パスワードを入力する

パスワードの認証が完了すると、利用できるメニューが表示されます。

重要

- プリンターはご購入時から管理者パスワードが設定されています。

  初期パスワードを確認するためには、プリンターの操作パネルで ［プリンター情報］→［システム情報］を選び、表示された画面で［パスワード表示］を選びます。［システム情報］画面に［初期パスワード］の値が表示されます。

  管理者パスワードが変更されている場合は［初期パスワード］の値が表示されません。

➡ 管理用の初期パスワードについて

パスワードの変更方法については、「リモート UI でパスワードを設定する」を参照してください。

5. リモート UI のメイン画面が表示されることを確認する

設定できる項目については、以下を参照してください。

➡ リモート UI で設定できる項目

情報の確認や設定変更が終了したら、［ログアウト］を選んでください。

リモート UI で設定できる項目

参考

- 管理者モードと一般ユーザーモードでは、利用できる項目が異なります。

[プリンターの状態]

プリンターのインク残量、ステータス、エラーの詳細情報などを表示します。

また、インク購入サイトやサポートページに接続し、ウェブサービスを利用できます。

[ユーティリティ]

クリーニングなど、プリンターのメンテナンスを設定し実行できます。

[本体設定]

印刷設定など、プリンターの設定を変更できます。

[特殊設定] の [操作パネルのロック] から、操作パネルでの操作をロックすることもできます。

参考

- 一部のメニューは、管理者モードでログインしている時のみ利用できます。

[AirPrint 設定]

AirPrint で印刷するときの各種設定を行います。

[Web サービス接続設定]

プリンターの機器情報を利用する Web サービスの設定を行います。

[ジョブ履歴]

ジョブ履歴の閲覧や印刷などを行うことができます。

参考

- 管理者モードでログインすると、一般ユーザーモードでの動作制限をかけることができます。

[セキュリティ]

パスワードや、暗号化通信のための証明書に関する設定などを行います。

［システム情報と LAN 設定］

- ［システム情報の確認］
- ［LAN 設定］
- ［エラー履歴］

［ファームウェアのアップデート］

プリンターのファームウェアのアップデート、ファームウェアのバージョン確認、DNS サーバーおよびプロキシサーバーの設定を行います。

➡ ファームウェアをアップデートする

［言語選択］

表示言語を変更できます。

［マニュアル］

オンラインマニュアル - 取扱説明書 -を表示します。

セキュリティ

- **［おすすめセキュリティ設定］**

  お使いの環境にあったおすすめのセキュリティ設定を設定します。詳細はセキュリティ設定ナビをご確認ください。

  ➡ セキュリティを設定／管理する

- **［管理者パスワードの設定］**

  ➡ リモート UI でパスワードを設定する

- **［一般ユーザーモード設定］**

  一般ユーザーモード設定の有効／無効を選びます。

- **［TLS サーバー設定］**

  暗号化通信のための証明書に関する設定を行います。

  ［TLS の詳細設定］では、使用する TLS バージョンの範囲や使用するアルゴリズムなどを設定できます。

- **［IEEE802.1X/EAP 設定］**

  - ［認証方式］

    IEEE802.1X/EAP 認証の認証方式を選びます。

    参考

    - IEEE802.1X/EAP 認証を使う場合は、［セキュリティ］→［IEEE802.1X/EAP 設定］→［CA 証明書］から、CA 証明書を登録してください。
    - 対応している認証方式
      - EAP-TLS（Extensible Authentication Protocol-Transport Level Security）
      - EAP-TTLS（EAP-Tunneled TLS）
      - PEAP（Protected EAP）

  - ［鍵と証明書の設定］

    鍵とクライアント証明書に関する設定を行います。

  - ［CA 証明書］

    サーバー証明書を検証するための CA 証明書に関する設定を行います。

  - ［IEEE802.1X/EAP の有効/無効］

    IEEE802.1X/EAP 認証の有効／無効を選びます。

- **［IPsec 設定］**

  有効に設定すると、IPsec のセキュリティを設定できます。

- **［プリンター設定のインポート］**

  プリンターのセキュリティ設定をインポートします。

- **［プリンター設定のエクスポート］**

  プリンターのセキュリティ設定をエクスポートします。

- **［セキュリティーポリシー］**

  セキュリティポリシーの設定や、設定値の確認ができます。

  ➡ セキュリティを設定／管理する

- **［暗号設定］**

  暗号に関する設定を行います。

- **［パスワードポリシーの設定］**

  管理者パスワードなどのプリンターのパスワードに設定できる最小文字数や、文字の組み合わせなどを設定します。

- **［ロックアウト設定］**

  パスワード入力画面で誤ったパスワードを所定の回数入力すると、そのパスワードの入力が必要な操作がロックされる機能に関する設定を行います。

- **［USB 接続設定］**

  USB 接続に関する設定を行います。

参考

- セキュリティ設定の詳細はセキュリティガイドをご確認ください。

  ➡ セキュリティを設定／管理する

LAN 設定

- **［Wi-Fi］**

  Wi-Fi の有効／無効を選びます。

- **［無線ダイレクト］**

  無線ダイレクトの有効／無効を選びます。

- **［有線 LAN］**

  有線 LAN の有効／無効を選びます。

- **［LAN 設定情報の確認］**

  LAN 設定情報が表示されます。

- **［詳細設定］**
  - ［プリンター名設定］

    プリンター名を設定します。

    参考

    - すでに LAN 接続されている機器と同じプリンター名は使用できません。
    - プリンター名の最初と最後の文字に、-（ハイフン）は使用できません。

  - ［TCP/IP 設定］

    IPv4 または IPv6 の設定を行います。

  - ［WSD 設定］

    WSD を使用するときの設定を行います。

  - ［Bonjour 設定］

    Bonjour を使用するときの設定を行います。

  - ［LPD 設定］

    LPD を使用して印刷するときの設定を行います。

  - ［RAW 設定］

    RAW 印刷の有効／無効を切り替えます。

  - ［LLMNR 設定］

    LLMNR（Link-Local Multicast Name Resolution）の有効／無効を切り替えます。［有効にする］を選ぶと、DNS サーバーがない環境でも、プリンター名からプリンターの IP アドレスを割り出すことができます。

  - ［SNMP 設定］

    SNMP を使用して、プリンターを管理または制御するときの設定を行います。

  - ［IPP 設定］

    IPP を使用して印刷するときの設定を行います。

  - ［CHMP 設定］

    プリンタードライバーやアプリケーションソフトが、ステータス情報、用紙情報、ジョブログ情報をプリンター本体から取得する際の、通信に関する設定を行います。

［HTTPS へ自動でリダイレクトする］にチェックすると、CHMP を使用した通信が暗号化通信にリダイレクトされます。

参考

- CHMP を使用して暗号化通信を行うには、お使いのパソコンにプリンターのルート証明書を登録しておく必要があります。

  ➡ SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をローカルコンピューターに登録する

- CHMP はキヤノン独自のプロトコルです。

◦ ［間欠受信設定］

有効にすると、ネットワーク接続時のデータ受信を断続的に行います。

◦ ［IP フィルタリング］

特定の IP アドレスの接続を、許可または拒否できます。

IPv4 アドレスと IPv6 アドレスのそれぞれについて指定できます。

重要

- 誤って管理者の機器のアドレスを拒否設定した場合は、操作パネルのホーム画面で ［各種設定］を選んだあと、［本体設定］→［設定リセット］→［LAN 設定のみ］の順に選び、プリンターのネットワーク設定情報を初期化してください。

  リセットしたあとは、必要に応じてセットアップをやり直してください。

◦ ［MTU］

MTU の設定を行います。

◦ ［PC/スマホでかんたん接続］

［自動起動する］に設定すると、自動で PC/スマホでかんたん接続が待ち受けモードになります。

意図しないタイミングで PC/スマホでかんたん接続が待ち受けモードになることを防ぎたい場合は、［自動起動しない］に設定してください。

リモート UI でパスワードを設定する

パスワードには管理者向けと一般ユーザー向けがあります。

管理者パスワードでログインすると、プリンターに関するすべての設定を変更することができます。

一般ユーザーパスワードでログインすると、一部の設定のみ変更できます。

➡ 管理者パスワードを設定する
➡ 一般ユーザーパスワードを設定する

参考

- パスワードは、管理者モードでログインしている時のみ設定できます。
- 一般ユーザーパスワードは初期設定では無効になっています。

管理者パスワードを設定する

以下の手順で、管理者パスワードを変更します。

重要

- プリンターはご購入時から管理者パスワードが設定されています。

  初期パスワードを確認するためには、プリンターの操作パネルで ［プリンター情報］→［システム情報］を選び、表示された画面で［パスワード表示］を選びます。［システム情報］画面に［初期パスワード］の値が表示されます。

  管理者パスワードが変更されている場合は［初期パスワード］の値が表示されません。

  ➡ 管理用の初期パスワードについて

1. リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する

2. ［セキュリティ］を選ぶ

3. ［管理者パスワードの設定］を選ぶ

4. ［管理者パスワードの変更］を選ぶ

管理者パスワードが設定されていないときは、確認メッセージが表示されます。メッセージの内容を確認し、［はい］を選んでください。再度メッセージが表示されますので、内容を確認し、［OK］を選んでください。

5. 管理者パスワードの有効範囲を選び、［OK］を選ぶ

［リモート UI/ツール］

リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

［操作パネル/リモート UI/ツール］

プリンターの操作パネルやリモート UI、一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

6. 画面のメッセージに従ってパスワードを入力し、[OK] を選ぶ

重要

- パスワードには、以下の文字制限があります。
  - 使用可能な文字は半角英数字、スペース、ウムラウト文字と以下の記号です。

    - ! @ # $ % ^ & * _ ; : , . / ` = + ' " ( ) { } [ ] < > |
  - パスワードポリシーに従って、パスワードを設定してください。

    ➡ セキュリティ

7. 完了メッセージが表示されたら、[OK] を選ぶ

一般ユーザーパスワードを設定する

一般ユーザー向けに機能を制限するには、以下の手順で一般ユーザーモード設定を有効にして、一般ユーザーパスワードを設定します。

1. リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する

2. [セキュリティ] を選ぶ

3. [一般ユーザーモード設定] を選ぶ

4. メッセージの内容を確認し、[はい] を選ぶ

5. 画面のメッセージに従ってパスワードを入力し、[OK] を選ぶ

重要

- パスワードには、以下の文字制限があります。
  - 使用可能な文字は半角英数字、スペース、ウムラウト文字と以下の記号です。

    - ! @ # $ % ^ & * _ ; : , . / ` = + ' " ( ) { } [ ] < > |
  - パスワードポリシーに従って、パスワードを設定してください。

    ➡ セキュリティ

6. 完了メッセージが表示されたら、[OK] を選ぶ

SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をウェブブラウザーに登録する

ウェブブラウザーにルート証明書を登録していない場合は、安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示される場合があります。

ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンで初めてリモート UI を表示した場合は、ルート証明書をダウンロードして、ウェブブラウザーに登録してください。安全な通信ができることが確認され、警告が表示されないようになります。ただし、一部のブラウザーでは、ルート証明書を登録した後も警告が表示される場合があります。

ウェブブラウザーによって、ルート証明書の登録方法が異なります。

ウェブブラウザーのバージョンによっては、操作方法が異なる場合があります。また、他のウェブブラウザーでの登録方法については、それぞれのヘルプを参照してください。

重要

- ルート証明書を登録するときは、ウェブブラウザーの URL 欄を確認し、プリンターの IP アドレスに正しくアクセスしているか確認してください。
- Windows を使用しているときに、プリンターを IPv6 で接続している場合は、リモート UI を使用してサーバー証明書を生成する必要があります。

  詳細は「サーバー証明書を生成する」を参照してください。

Microsoft Edge の場合

1. リモート UI で［安全な通信を確保するには］を選ぶ

2. ［ダウンロード］を選ぶ

ルート証明書のダウンロードが始まります。

3. ダウンロードの確認画面が表示されたら、［開く］を選ぶ

［証明書］画面が表示されます。

参考

- ［保存］を選び、証明書ファイルを保存してから登録することもできます。登録するときは、［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット］→［インターネットオプション］を選び、［コンテンツ］シートの［証明書］から登録してください。

4. ［証明書のインストール］を選ぶ

［証明書のインポート ウィザード］画面が表示されます。

5. ［次へ］を選ぶ

6. ［証明書をすべて次のストアに配置する］を選ぶ

7. ［参照］を選ぶ

［証明書ストアの選択］画面が表示されます。

8. ［信頼されたルート証明機関］を選び、［OK］を選ぶ

9. ［証明書のインポート ウィザード］画面で［次へ］を選ぶ

10. ［証明書のインポート ウィザードの完了］が表示されたら、［完了］を選ぶ

［セキュリティ警告］画面が表示されます。

11. ［セキュリティ警告］画面の拇印欄と、プリンターのルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致しているか確認する

プリンターのルート証明書の拇印は、操作パネルのホーム画面で［プリンター情報］を選んだあと、［システム情報］を選ぶと、［ルート証明書の拇印(SHA-1)］または［ルート証明書の拇印(SHA-256)］に表示されます。

12. 拇印欄と、プリンターのルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致している場合は、［セキュリティ警告］画面の［はい］を選ぶ

13. ［証明書のインポート ウィザード］画面で［OK］を選ぶ

ルート証明書の登録が完了します。

Safari の場合

1. リモート UI で［安全な通信を確保するには］を選ぶ

2. ［ダウンロード］を選ぶ

ルート証明書のダウンロードが始まります。

3. ダウンロードしたファイルを開く

キーチェーンアクセスが起動し、［証明書の追加］画面が表示されます。

4. ［追加］を選ぶ

証明書の情報が表示されます。

参考

- ［証明書を表示］を選んで、追加される証明書の名前を確認し、キーチェーンアクセスで同じ名前の証明書を選んでも証明書を追加することができます。

5. 証明書の詳細情報の指紋欄と、プリンターのルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致しているか確認する

プリンターのルート証明書の拇印は、操作パネルのホーム画面で［プリンター情報］を選んだあと、［システム情報］と選ぶと、［ルート証明書の拇印(SHA-1)］または［ルート証明書の拇印(SHA-256)］に表示されます。

6. 指紋欄と、プリンターのルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致している場合は、メニューまたはダブルクリックで該当の証明書の情報を表示し、［信頼］で［常に信頼］を選ぶ

ルート証明書の登録が完了します。

参考

- ご使用の機器にパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められる場合があります。

Android の Chrome の場合

1. リモート UI で［安全な通信を確保するには］を選ぶ

2.［ダウンロード］を選ぶ

ルート証明書のダウンロードが始まり、［証明書の名前を指定する］画面が表示されます。

3. 登録するルート証明書の名前を求められるので、任意の証明書名を入力し、［OK］を選ぶ

ルート証明書の登録が完了します。

参考

- ご使用の機器でセキュリティの種類を PIN またはパスワードに設定していない場合は、注意画面が表示される場合があります。［OK］を選び、セキュリティの種類を PIN またはパスワードに設定してください。

ルート証明書を登録したあとで

登録したルート証明書が正しいものか確認することをお勧めします。

登録したルート証明書が正しいものであることは、登録したルート証明書の拇印（フィンガープリント）と、プリンターの拇印（フィンガープリント）が一致していることによって確認します。以下の手順で確認します。

参考

- Android 機器によっては、登録したルート証明書の拇印を確認できない場合があります。

1. ご使用の機器の［設定］メニューから、［セキュリティ］、［信頼できる認証情報］、［ユーザー］を選ぶ

ダウンロードした証明書の一覧が表示されます。

2. ダウンロードした証明書を選ぶ

証明書の詳細情報画面が表示されます。

3. 証明書の詳細情報の拇印欄と、プリンターのルート証明書の拇印が一致しているか確認する

プリンターのルート証明書の拇印は、操作パネルのホーム画面で ［プリンター情報］を選んだあと、［システム情報］を選ぶと、［ルート証明書の拇印(SHA-1)］または［ルート証明書の拇印(SHA-256)］に表示されます。

4. 拇印欄と、プリンターのルート証明書の拇印が一致している場合は、［OK］を選ぶ

ルート証明書の登録が完了します。

ルート証明書の登録後リモート UI の［ログイン］を選んだときに安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示された場合は、ウェブブラウザーを再起動してください。安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示されないようになります。

参考

- Android 機器によっては、正しいルート証明書を登録した後でも、セキュリティ警告が表示される場合があります。

iOS の Mobile Safari の場合

1. リモート UI で［安全な通信を確保するには］を選ぶ

2.［ダウンロード］を選ぶ

［プロファイルをインストール］画面が表示されます。

3.［インストール］を選ぶ

［警告］画面が表示されます。

参考

- ご使用の機器にパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められることがあります。

4.［インストール］を選ぶ

5. 表示されたダイアログで［インストール］を選ぶ

ルート証明書の登録が完了します。

SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をローカルコンピューターに登録する

SSL 暗号化通信でプリンターに接続した環境で、Device Management Console、Accounting Manager などを使用するには、お使いのパソコンにプリンターのルート証明書を登録（インポート）しておく必要があります。

証明書の登録方法はお使いの環境により異なります。

重要

- Windows を使用しているときに、プリンターを IPv6 で接続している場合は、リモート UI を使用してサーバー証明書を生成する必要があります。

  詳細は「サーバー証明書を生成する」を参照してください。

OS のバージョンによっては、操作方法が異なる場合があります。

Windows 11／Windows 10／Windows 8.1 の場合

Windows 11／Windows 10／Windows 8.1 をお使いの環境でルート証明書をインポートする方法について説明します。

1. リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する

2. ［安全な通信を確保するには］を選ぶ

参考

- ステータスモニタから証明書をダウンロードすることもできます。

  1. ステータスモニタを開く

  対象となるプリンターの［印刷設定］を開き、［基本設定］で［ステータスモニタ...］を選びます。

  2. 証明書をダウンロード

  ［リモート UI］メニューから［セキュリティ証明書のダウンロード］を選びます。

3. ［ダウンロード］を選ぶ

ルート証明書のダウンロードが始まります。

4. ダウンロードの確認画面が表示されたら、［開く］を選ぶ

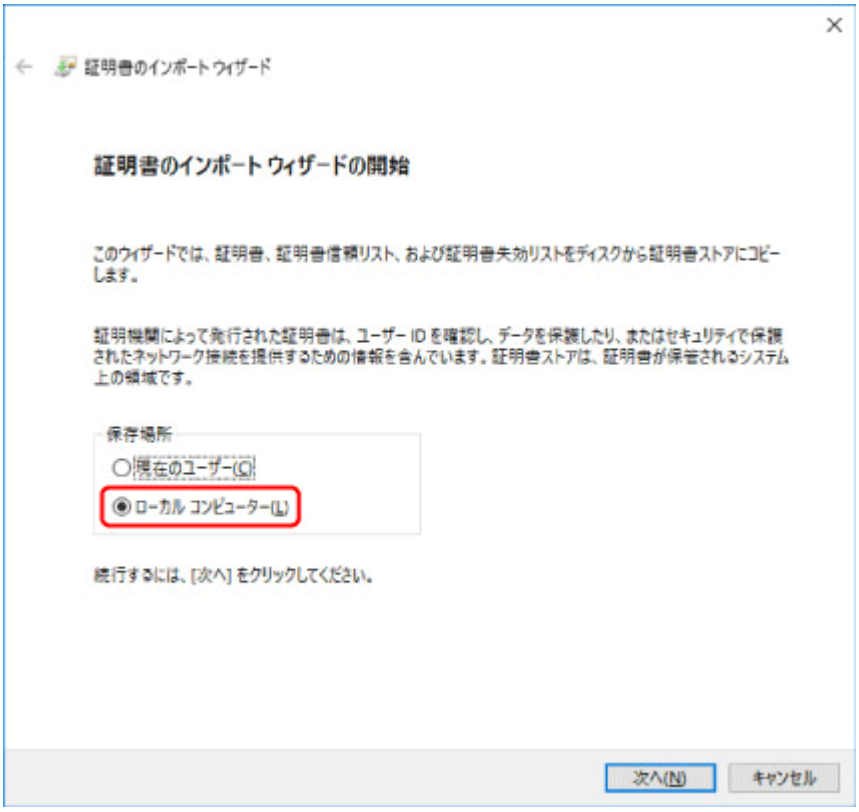
［証明書］画面が表示されます。

5. ［証明書のインストール］を選ぶ

［証明書のインポートウィザード］画面が表示されます。

6. ［ローカルコンピューター］を選ぶ

1. ［証明書のインポートウィザードの開始］画面で［ローカルコンピューター］を選びます。



2. ［次へ］を選びます。

3. 表示された画面で［はい］を選びます。

   ［証明書ストア］画面が表示されます。

7. ［証明書をすべて次のストアに配置する］を選ぶ

8. ［信頼されたルート証明機関］を選ぶ

1. ［参照］を選んで［証明書ストアの選択］画面を開きます。

2. 一覧から［信頼されたルート証明機関］を選び、［OK］を選びます。

3. ［証明書ストア］画面に戻ったら［次へ］を選びます。

9. ［完了］を選ぶ

［証明書のインポートウィザードの完了］画面が表示されたら、設定した内容を確認し、［完了］を選びます。

Windows 7 の場合

Windows 7 をお使いの環境でルート証明書をインポートする方法について説明します。

重要

- ルート証明書をインポートする前に、必ず証明書スナップインを作成してください。

  証明書スナップインを作成せずにルート証明書をインポートすると、ルート証明書はローカルユーザーに登録されます。

証明書スナップインの作成

1. Microsoft Management Console を起動する

［スタート］メニューの［プログラムとファイルの検索］に［MMC］と入力して Enter キーを押します。

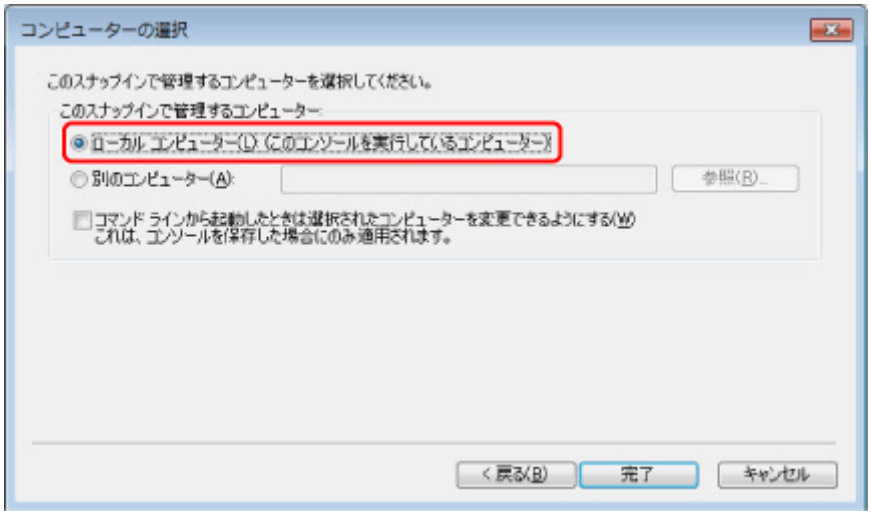
2. 表示された画面で［はい］を選ぶ

3. ［ファイル］メニューから［スナップインの追加と削除］を選ぶ

［スナップインの追加と削除］画面が表示されます。

4. ［証明書］スナップインを追加する

1. ［利用できるスナップイン］の一覧から［証明書］を選び、［追加］を選びます。
2. ［証明書スナップイン］画面の［このスナップインで管理する証明書］で［コンピューター アカウント］を選び、［次へ］を選びます。
3. ［コンピューターの選択］画面で［ローカルコンピューター］を選び、［完了］を選びます。



4. ［スナップインの追加と削除］画面に戻ったら［OK］を選びます。

証明書のダウンロード

1. リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する

2. ［安全な通信を確保するには］を選ぶ

参考

- ステータスモニタから証明書をダウンロードすることもできます。

1. ステータスモニタを開く

対象となるプリンターの［印刷設定］を開き、［基本設定］で［ステータスモニタ...］を選びます。

2. 証明書をダウンロード

［リモート UI］メニューから［セキュリティ証明書のダウンロード］を選びます。

3.［ダウンロード］を選ぶ

4.［保存］を選ぶ

証明書のインポート

1.［証明書のインポート ウィザード］を開く

1. 左側ウインドウの［コンソール ルート］の［証明書］から［信頼されたルート証明機関］を開きます。
2. ［証明書］を右クリックして［すべてのタスク］から［インポート］を選びます。

2. インポートする証明書ファイルを指定する

1. ［次へ］を選びます。
2. ［ファイル名］でインポートする証明書ファイルを指定し、［次へ］を選びます。

3. 証明書ストアを指定する

1. ［証明書をすべて次のストアに配置する］を選びます。
2. ［証明書ストア］で［信頼された証明機関］を選びます。

4. 証明書のインポートウィザードを完了する

1. ［次へ］を選び、設定した内容を確認します。
2. ［完了］を選びます。
3. 表示された画面で［OK］を選びます。

インポートした証明書の確認

インポートした証明書がご使用のコンピューターに登録されていることを確認します。

1. 証明書一覧を表示する

Microsoft Management Console の左側ウインドウから［コンソール ルート］→［証明書（ローカル コンピューター）］→［信頼された証明機関］の順に開き、［証明書］と選んで、証明書の一覧を表示します。

2. 登録した証明書を確認する

インポートした証明書が一覧に表示されていることを確認します。

参考

- ［現在のユーザー］のスナップインを作成して、登録した証明書を現在のユーザーからも参照できることを確認します。

参考

- Microsoft Management Console を終了するときに、コンソールの設定を保存するかの確認があります。次回も同じ設定を使う場合は［はい］を選んで保存します。

macOS の場合

macOS をお使いの環境でルート証明書をインポートする方法について説明します。

1. リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する

2.［安全な通信を確保するには］を選ぶ

3.［ダウンロード］を選ぶ

ルート証明書のダウンロードが始まります。

4. ダウンロードした証明書ファイルを開く

ダウンロードが完了すると、画面右上にダウンロード項目がポップアップで表示されます。

一覧からダウンロードした証明書をダブルクリックするとキーチェーンアクセスが起動し、［証明書の追加］画面が表示されます。

参考

- ダウンロード項目のポップアップが表示されない場合は、右上にある［ダウンロードを表示］ボタンをクリックします。
- ダウンロード一覧の右側にある虫眼鏡マークをクリックすると証明書をダウンロードしたフォルダを表示します。

5.［追加］を選ぶ

証明書の追加先を［キーチェーン］で選びます。

［追加］を選ぶと証明書の情報が表示されます。

参考

- ［証明書を表示］を選んで、追加される証明書の名前を確認し、キーチェーンアクセスで同じ名前の証明書を選んでも証明書を追加することができます。

6. 証明書を確認する

証明書の詳細情報の拇印欄と、プリンターのルート証明書の拇印が一致していることを確認します。

プリンターのルート証明書の拇印は、操作パネルのホーム画面で ［プリンター情報］を選んだあと、［システム情報］を選ぶと、［ルート証明書の拇印(SHA-1)］または［ルート証明書の拇印(SHA-256)］に表示されます。

7. ［常に信頼］を選ぶ

拇印欄と、プリンターのルート証明書の拇印が一致している場合は、メニューまたはダブルクリックで該当の証明書の情報を表示し、［信頼］で［常に信頼］を選びます。

ルート証明書の登録が完了します。

参考

- ご使用のプリンターにパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められる場合があります。

サーバー証明書を生成する

IPv6 ネットワークで SSL 接続を使用する場合、プリンターで IPv6 用のサーバー証明書を生成する必要があります。

サーバー証明書はリモート UI を使用して生成します。

以下の手順で操作してください。

1. プリンターの IP アドレスを確認する
2. リモート UI でサーバー証明書を生成する
3. リモート UI で生成したサーバー証明書を確認する

重要

- IPv6 でサーバー証明書を生成した場合、リモート UI ご使用時に警告が表示される場合があります。

  IPv6 で生成したサーバー証明書をリセットするには、リモート UI で［セキュリティ］→［TLS サーバー設定］→［鍵と証明書の削除］を順に選び、表示された画面で［OK］を選んでください。

プリンターの IP アドレスを確認する

1. ホーム画面で ［LAN 設定］を選ぶ

2. 有効になっている LAN を選ぶ

無効になっている LAN のアイコンには、斜線が表示されています。

3.［IPv6 リンクローカルアドレス］を確認する

サーバー証明書を生成するときに使用するので、メモしておきます。

リモート UI でサーバー証明書を生成する

1. リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する

2.［セキュリティ］を選ぶ

3.［TLS サーバー設定］を選ぶ

4.［鍵と証明書の生成］を選ぶ

5.［自己署名証明書の生成］を選ぶ

6. 必要事項を設定する

- ［鍵のアルゴリズム］

  署名アルゴリズムおよび鍵情報を指定します。

- 有効期限を設定

［有効期間の開始］には、サーバー証明書を作成する日を入力します。

［有効期間の終了］には、サーバー証明書の使用を終了する日を入力します。

- 共通名を入力

  ［共通名］には、プリンターで確認し、メモした［IPv6 リンクローカルアドレス］を入力します。

  参考

  - 共通名はプリンターの IPv6 アドレスの省略形を、「[」、「]」で囲んで入力してください。
  - 共通名には、日本語やカンマ、空白は使用しないでください。

7. ［次へ］を選ぶ

［国］、［都道府県］、［市区町村］、［組織］、［組織単位］は、必要に応じて入力してください。

［サブジェクトの別名］には、［共通名］と同じ内容を入力してください。

8. ［生成］を選ぶ

サーバー証明書の生成を開始します。

生成が終了すると［自己署名証明書を生成しました。］と表示されます。

9. ［LAN の再起動］を選ぶ

LAN を再起動します。

再起動が完了すると、リモート UI の［プリンターの状態］が表示されます。

参考

- LAN を再起動した後にリモート UI に接続できない場合は、ウェブブラウザーでページを再読み込みしてください。

リモート UI で生成したサーバー証明書を確認する

1. ［セキュリティ］を選ぶ

2. ［TLS サーバー設定］を選ぶ

3. ［鍵と証明書の確認］を選ぶ

［発行者］はルート証明書の発行者、［発行先］は［共通名］に入力した値になっていることを確認します。

ネットワークの設定

- **プリンターの接続方法**
  - Wi-Fi 接続
  - 無線ダイレクト接続
  - 有線 LAN 接続
  - USB 接続
- **工場出荷時初期値（ネットワーク）**
- **同じ名前のプリンターを検出したときは**
- **プリンターのネットワーク設定情報を印刷する**
- **不正アクセス防止対策について**
- **ネットワークの状態と対処方法**
- **「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認**
- **ネットワーク環境でプリンターを共有する（Windows）**
  - プリンターを共有するための設定方法
  - プリンター共有に関する制限
- **ネットワーク環境でプリンターを共有する（macOS）**
  - プリントサーバー機での設定
  - クライアント機での設定
  - プリンター共有に関する制限

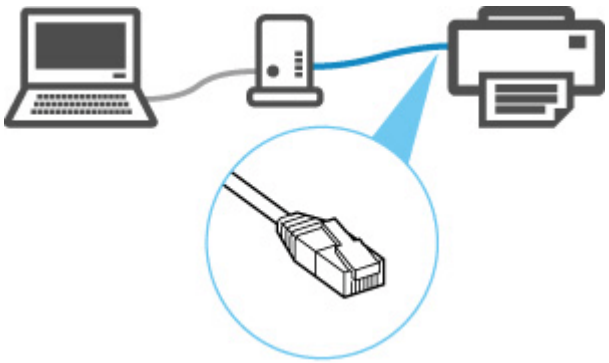
プリンターの接続方法

本製品では、4 種類の接続方法をご利用いただけます。

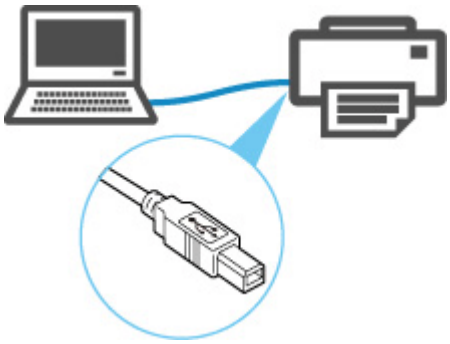
- **Wi-Fi 接続**

- **無線ダイレクト接続**

- **有線 LAN 接続（LAN ケーブル）**



- **USB 接続（USB ケーブル）**



有線 LAN 接続は、Wi-Fi 接続または無線ダイレクト接続と同時に使用することはできません。

すでに各種機器がプリンターにネットワーク接続された状態で、新たに別の各種機器を接続する場合は、上記以外の方法で接続してください。

➡ 制限事項について

重要

- Wi-Fi ルーター経由でインターネットに接続している各種機器を、無線ダイレクトのプリンターに接続すると、各種機器と Wi-Fi ルーターの接続は切断されます。このとき、お使いの各種機器によっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続する際の通信料は、お客様のご負担となりますので、ご注意ください。

Wi-Fi 接続

重要

- クリーニングやプリントヘッド位置調整など、プリンターが動作中の場合は、動作が終了してから、操作を開始してください。

参考

- Wi-Fi 接続時の注意事項については、下記のページを参照してください。

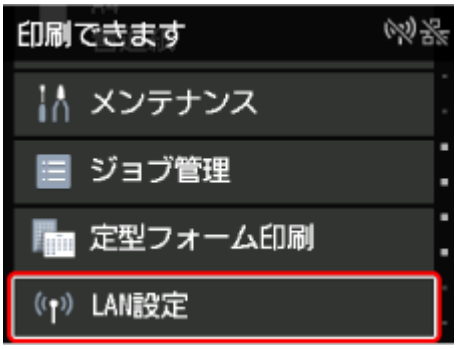
  ➡ Wi-Fi 接続時のご注意

1. ホームボタンを押し、ホーム画面を表示します。

参考

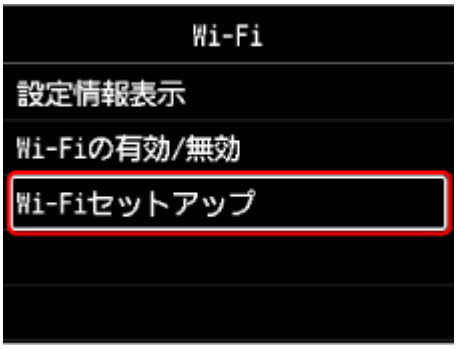
- エラー画面が表示されている場合は、OK ボタンを押してから、ホームボタンを押してください。

2. ホーム画面で ［LAN 設定］を選びます。



3. ［Wi-Fi］を選びます。

4.［Wi-Fi セットアップ］を選びます。



5. Wi-Fi の設定方法を選んでください。

PC/スマホでかんたん接続

Wi-Fi ルーターを操作せず、パソコンなどの機器から直接プリンターに、Wi-Fi ルーターの情報を設定したい

［PC/スマホでかんたん接続］は設定完了までに時間がかかることがあります。設定中はインターネット接続は一時的に利用できなくなります。

［PC/スマホでかんたん接続］は Windows 10 in S mode／Windows 11 in S mode では利用できません。別の接続方法を選んでください。

プリンターで手動接続

Wi-Fi 設定を手動で行って接続したい

Wi-Fi ルーターに WPS ボタンがある

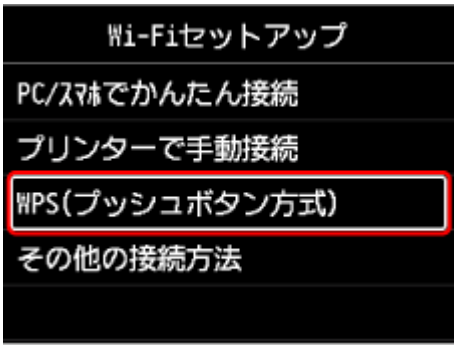
WPS 設定で接続したい

WPS の PIN コード方式で接続

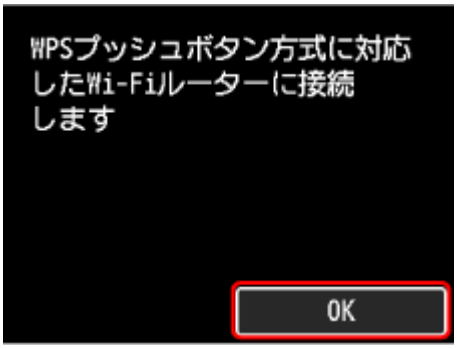
WPS の PIN コード方式を使用して、Wi-Fi 接続の設定を行うこともできます

WPS で接続

1.［WPS(プッシュボタン方式)］を選びます。



2. OK ボタンを押します。

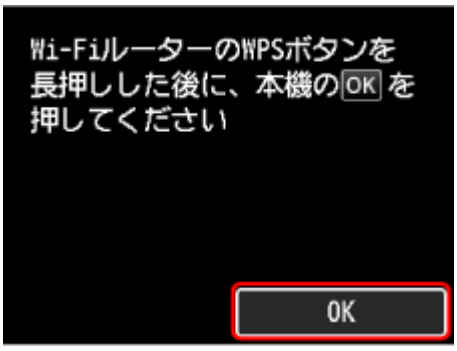


3. Wi-Fi ルーターの WPS ボタンを長押しします。

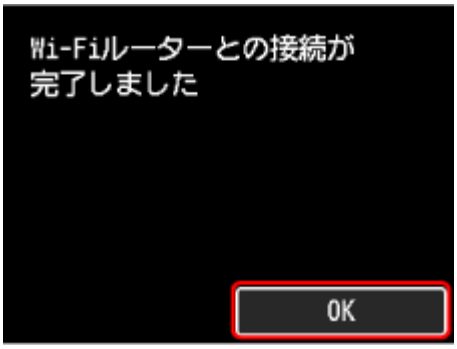
参考

- WPS ボタンの押しかたについては、ご使用の Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照してください。

4. 2 分以内にプリンターの OK ボタンを押します。



5. 下の画面が表示されたら、OK ボタンを押します。



6. ホームボタンを押します。

これでネットワークへの接続設定が終了しました。

接続が完了すると、画面に が表示されます。

ソフトウェアでセットアップしているときは、ソフトウェアに戻り、インストールを続けてください。

Windows をご使用の場合

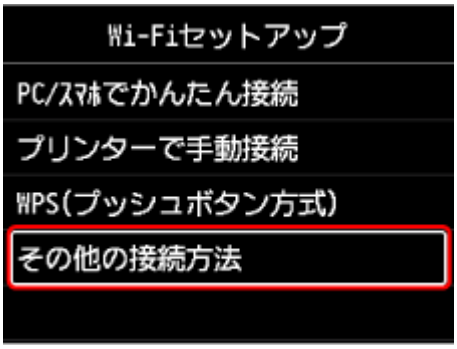
パソコンの画面最下部 にあるタスクバー上の （または ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

パソコンの画面最下部 にある Dock 上の をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

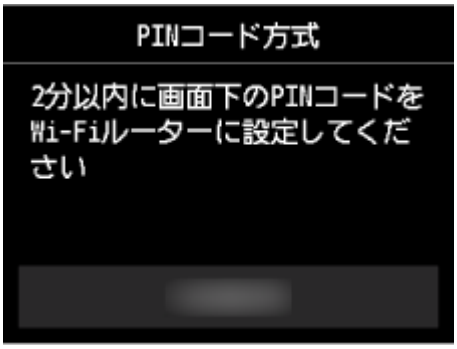
WPS（PIN コード）で接続

1. ［その他の接続方法］を選びます。

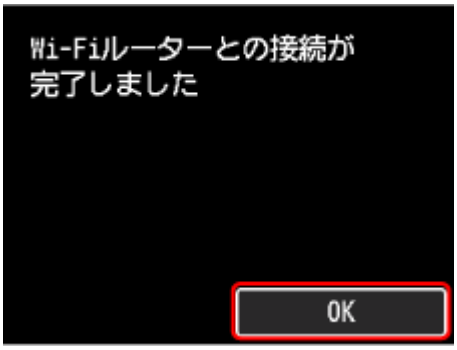


2. ［WPS(PIN コード方式)］を選びます。

3. パソコンなどの機器の画面の指示に従って、PIN コードを Wi-Fi ルーターに設定します。



4. 下の画面が表示されたら、OK ボタンを押します。



5. ホームボタンを押します。

これでネットワークへの接続設定が終了しました。

接続が完了すると、画面に が表示されます。

ソフトウェアでセットアップしているときは、ソフトウェアに戻り、インストールを続けてください。

Windows をご使用の場合

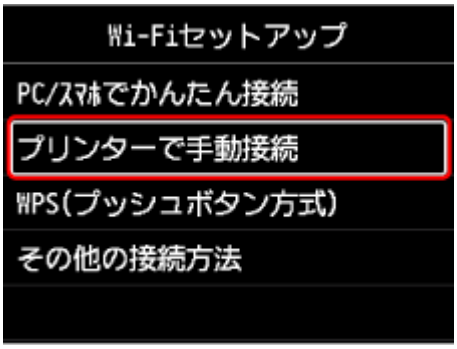
パソコンの画面最下部 にあるタスクバー上の （または ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

パソコンの画面最下部 にある Dock 上の をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

プリンターで手動接続

1. ［プリンターで手動接続］を選びます。

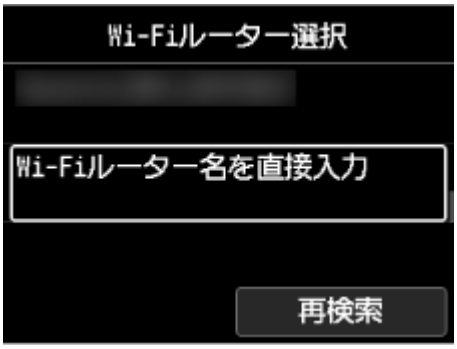


2. ご使用の Wi-Fi ルーターを選びます。

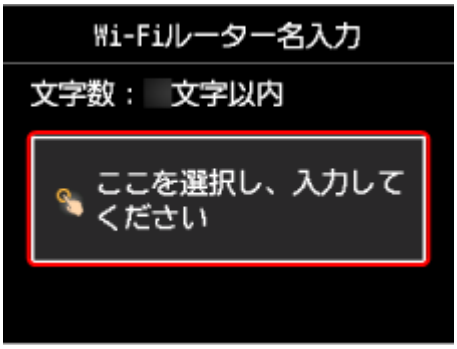
Wi-Fi ルーター名を選んだ場合は、手順 8 へ進み設定を続けてください。

［Wi-Fi ルーター名を直接入力］を選んだ場合は、手順 3 へ進み設定を続けてください。

［Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました］と表示された場合には、「［Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました］と表示された」を参照してください。



3. OK ボタンを押します。



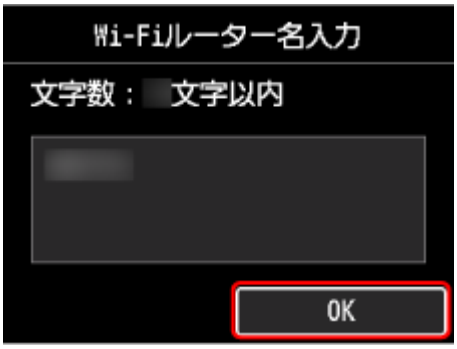
4. Wi-Fi ルーター名（SSID）を大文字／小文字の違いに注意して正しく入力します。

ご使用の Wi-Fi ルーター名がわからない場合は、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

5. 入力後、キーボード画面から［OK］を選びます。

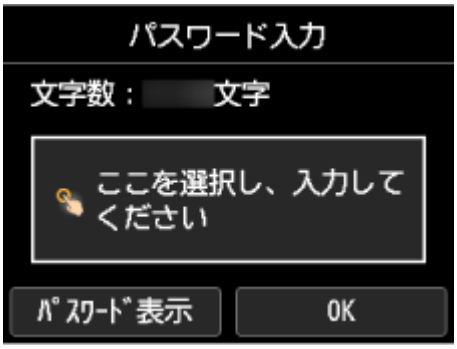
6. Wi-Fi ルーター名（SSID）が正しいことを確認します。

7. OK ボタンを押します。



8. 下の画面が表示されたことを確認します。

［Wi-Fi ルーターとの接続が完了しました］と表示された場合、パスワードは不要です。手順 13 へ進み設定を続けてください。



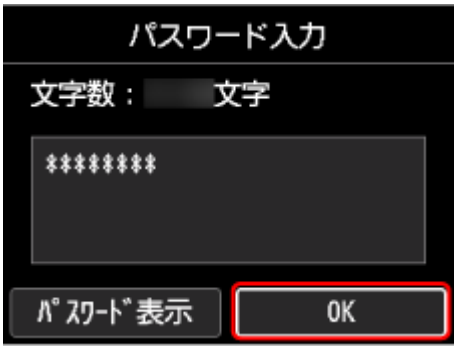
9. **OK ボタンを押します。**

10. **パスワードを大文字／小文字の違いに注意して正しく入力します。**

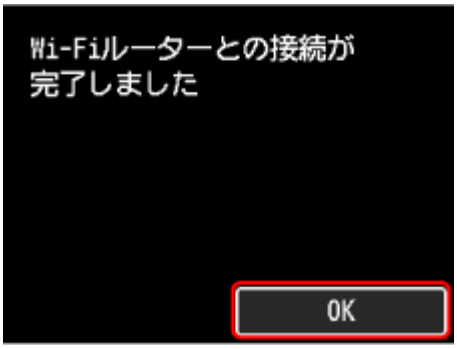
ご使用の Wi-Fi ルーターのパスワードがわからない場合は、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

11. **入力後、キーボード画面から［OK］を選びます。**

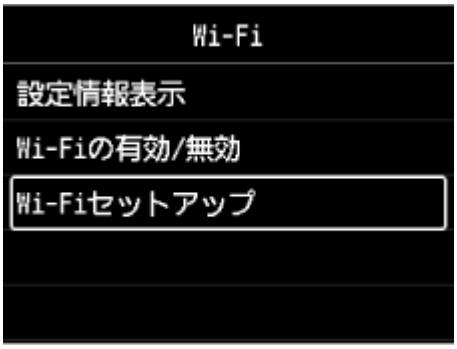
12. **OK ボタンを押します。**



13. **下の画面が表示されたら、OK ボタンを押します。**



14. ホームボタンを押します。



これでネットワークへの接続設定が終了しました。

接続が完了すると、画面に が表示されます。

ソフトウェアでセットアップしているときは、ソフトウェアに戻り、インストールを続けてください。

Windows をご使用の場合

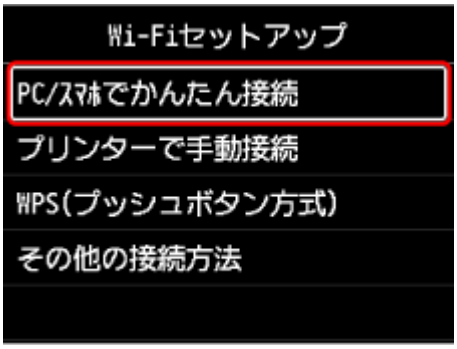
パソコンの画面最下部 にあるタスクバー上の （または ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

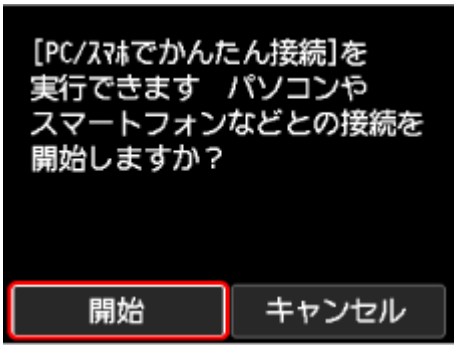
パソコンの画面最下部 にある Dock 上の をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

PC/スマホでかんたん接続

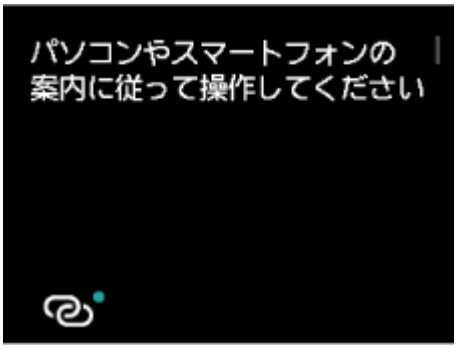
1. ［PC/スマホでかんたん接続］を選びます。



2. ［開始］を選びます。



3. プリンターの準備が完了すると、下の画面が表示されます。



4. アプリケーションソフトに戻り、設定を続けてください。

Windows をご使用の場合

パソコンの画面最下部 にあるタスクバー上の （または ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

パソコンの画面最下部 にある Dock 上の をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

無線ダイレクト接続

プリンターと各種機器（パソコンやスマートフォン、タブレットなど）は、以下の 2 通りの方法で接続できます。

- Wi-Fi 接続（Wi-Fi ルーターを介して各種機器と接続する）
- 無線で直接接続（Wi-Fi ルーターを介さず各種機種と直接接続する）

ここでは、無線で直接プリンターと接続して印刷などができる「無線ダイレクト」について説明します。

重要

- 無線ダイレクトは、各種機器を同時に 5 台までプリンターに接続できます。
- 無線ダイレクトでプリンターと接続する前に、制限事項を確認してください。
  - 制限事項について

スマートフォン／タブレット／パソコンをプリンターに接続する

1. スマートフォン／タブレット／パソコンの Wi-Fi 機能を有効にする

各種機器の「設定」メニューなどにある、「Wi-Fi」を有効にします。

Wi-Fi 機能を有効にする手順については、ご使用の機器の取扱説明書を参照してください。

2. ホーム画面で ［LAN 設定］を選ぶ

3. ［無線ダイレクト］を選ぶ

4. ［スマホと接続］を選ぶ

5. iPhone/iPad で接続する場合は［iPhone/iPad］、Android 機器で接続する場合は［Android 端末］、その他の機器で接続する場合は［その他］を選ぶ

- ［iPhone/iPad］
  1. ［QR コード］を選ぶ
  2. 表示される QR コードを iPhone/iPad の標準カメラアプリ、またはスマートフォン／タブレットのアプリ で読み取る

     iPhone/iPad とプリンターが接続されます。

参考

- QR コードを読み取れない場合は、QR コードが表示されている画面で戻るボタンを押して、［スマホと接続］の［その他］からプリンターに接続してください。

- ［Android 端末］
  1. ［QR コード］を選ぶ
  2. Android 機器を使って、次のいずれかの方法で QR コードを読み取る
     - Android 機器の設定からネットワーク、Wi-Fi を選びます。Wi-Fi 接続先一覧の最下部にある［ネットワークを追加］の右側の［QR コードのスキャン］アイコンを選び、QR コードを読み取ります。
     - Android 機器標準カメラアプリ、またはスマートフォン／タブレットのアプリ を起動して、QR コードを読み取ります。
     - QR コードを読み取るアプリを起動して、QR コードを読み取ります。

     Android 機器とプリンターが接続されます。

     参考

     - QR コードを使用した無線ダイレクト接続は、Android 5.0 以降でご使用いただけます。
     - 設定からの QR コードスキャン機能と、Android 標準カメラアプリによる QR コードの読み取りは、Android 10 以降でご使用いただけます。
     - スマートフォン／タブレットの種類により QR コードを読み取れない場合があります。
     - QR コードを読み取れない場合は、QR コードが表示されている画面で戻るボタンを押して、［スマホと接続］の［その他］からプリンターに接続してください。

- ［その他］
  1. ［次へ］を選ぶ

     ［ネットワーク名(SSID)］と［パスワード］が表示されます。

     参考

     - パスワード情報を表示する場合は［パスワード表示］を選びます。パスワード情報を非表示にする場合は［パスワード非表示］を選びます。
     - プリンターに表示されるパスワードは、スマートフォン／タブレット／パソコンと接続するときに必要です。

  2. スマートフォン／タブレット／パソコンで、「DIRECT-XXXX-機種名」（X は英数字）を選ぶ
  3. ［パスワード］をスマートフォン／タブレット／パソコンへ入力する

     スマートフォン／タブレット／パソコンとプリンターが接続されます。

     参考

     - 「無線ダイレクトの設定を変更する」の［接続要求の確認設定］で確認画面を表示させる設定にしている場合、無線ダイレクト対応機器がプリンターに接続するとき、プリンターの操作パネルに接続の許可を求める確認画面が表示されます。

       操作パネルに表示されている機器名がご使用の各種機器名と同じであることを確認して、［はい］を選んでください。

スマートフォン／タブレット用のアプリをインストールすると、スマートフォン／タブレットから印刷などができるようになります。アプリは App Store や Google Play からダウンロードできます。

➡ iOS 機器の場合
➡ Android 機器の場合

無線ダイレクトの設定を変更する

以下の手順で、無線ダイレクトの設定を変更することができます。

1. ホーム画面で ［LAN 設定］を選ぶ

2. ［無線ダイレクト］を選ぶ

参考

- 無線ダイレクトの設定を変更するには、あらかじめ無線ダイレクトを有効にする必要があります。

  ［無線ダイレクト］を選ぶと表示されるメニュー画面で［無線ダイレクトの有効/無効］を選んで、有効にしてください。

3. 項目を選ぶ

必要に応じて下方向にスクロールします。

- ［設定情報表示］

  プリンターを無線ダイレクトで使用するときの各設定値が表示されます。

- ［ネットワーク名(SSID)の変更］

  無線ダイレクトで使用する識別名（SSID）を変更します。

  識別名（SSID）は Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示されるプリンターの名称となります。

  識別名（SSID）を変更する場合は、以下の手順で行います。

  - 手動で設定する場合
    1. 表示されているネットワーク名(SSID)を選ぶ
    2. 表示されるキーボードを使って変更する
    3. 変更が終了したら［OK］を選ぶ
  - 自動で設定する場合
    1. ［自動更新］を選ぶ
    2. ［はい］を選ぶ

       更新された設定を確認できます。

    参考

    - パスワード情報を表示する場合は［パスワード表示］を選びます。パスワード情報を非表示にする場合は［パスワード非表示］を選びます。

- ［パスワードの変更］

  無線ダイレクトのパスワードを変更します。

  - 手動で設定する場合

1. ［手動で変更］を選ぶ
2. 表示されているパスワードを選ぶ
3. 新しいパスワードを入力する（10 文字）

   表示されるキーボードを使って変更します。
4. 変更が終了したら［OK］を選ぶ

◦ 自動で設定する場合

1. ［自動更新］を選ぶ
2. ［はい］を選ぶ

   更新された設定を確認できます。

参考

- パスワード情報を表示する場合は［パスワード表示］を選びます。パスワード情報を非表示にする場合は［パスワード非表示］を選びます。

- ［接続要求の確認設定］

  Wi-Fi Direct 対応機器がプリンターに接続するときの、確認画面の設定を変更します。

  Wi-Fi Direct 対応機器がプリンターに接続しようとしたときに、接続を通知する画面をプリンターに表示させたい場合［する］を選びます。

  重要

  - 不正なアクセスを防ぐために、確認画面を表示させる設定にしておくことをお勧めします。

- ［2.4GHz/5GHz の切替］

  無線ダイレクトで使用する周波数を変更します。

  無線ダイレクト（2.4GHz）を使用中、近くの Bluetooth スピーカーが時々途切れることがあります。このような場合は、5GHz に切り替えるとトラブルが軽減します。

参考

- プリンターの無線ダイレクトの設定を変更した場合は、各種機器で接続先の設定を変更してください。

有線 LAN 接続

重要

- クリーニングやプリントヘッド位置調整など、プリンターが動作中の場合は、動作が終了してから、操作を開始してください。

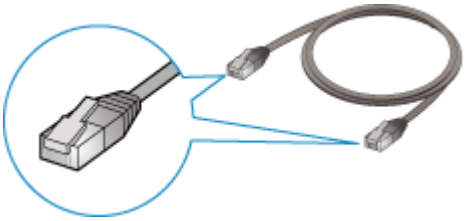
参考

- 有線 LAN 接続時の注意事項については、下記のページを参照してください。

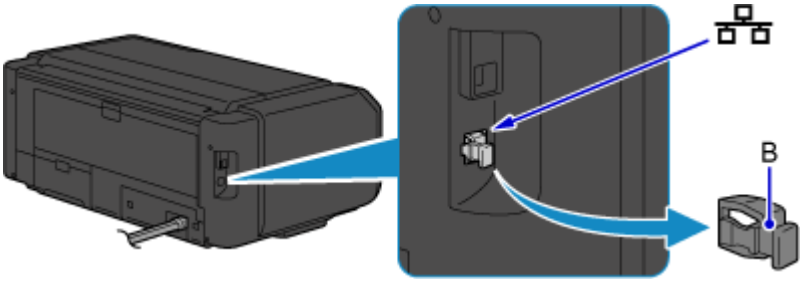
  ➡ 有線 LAN 接続時のご注意

1. ホームボタンを押し、ホーム画面を表示します。

2. 市販の LAN ケーブルを準備してください。

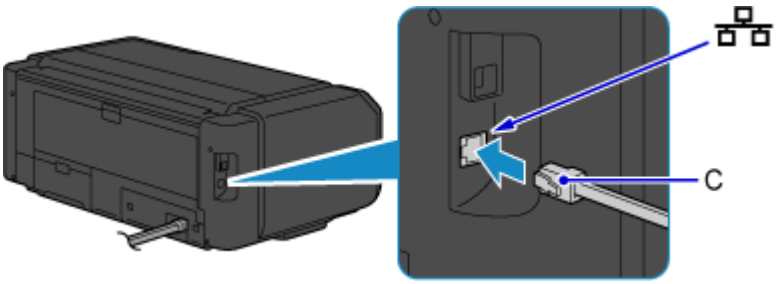


3. プリンターの左側背面にある、ポートのキャップ（B）を取り外します。

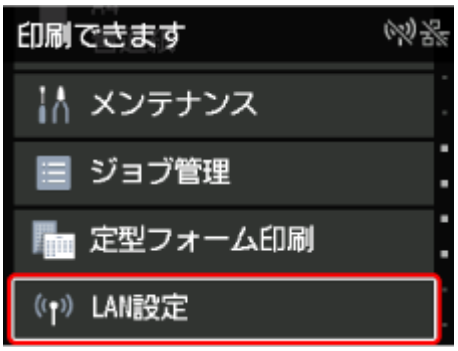


4. LAN ケーブル（C）で、プリンターとルーターなどのネットワーク機器を接続します。

ほかのポートに接続しないようにしてください。



5. ホーム画面で ［LAN 設定］を選びます。



6. ［有線 LAN］を選びます。

7. ［有線 LAN の有効/無効］を選びます。

8. ［有効］を選びます。

9. ホームボタンを押します。

これでネットワークへの接続設定が終了しました。

接続が完了すると、画面に が表示されます。

ソフトウェアでセットアップしているときは、ソフトウェアに戻り、インストールを続けてください。

Windows をご使用の場合

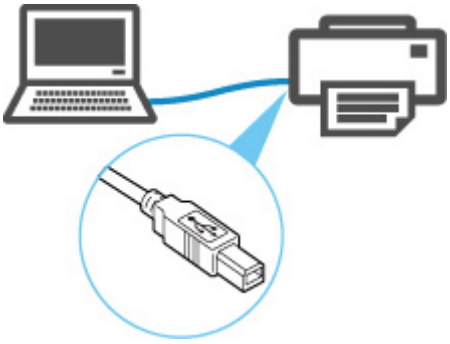
パソコンの画面最下部 にあるタスクバー上の （または ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

パソコンの画面最下部 にある Dock 上の をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

USB 接続

プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続します。



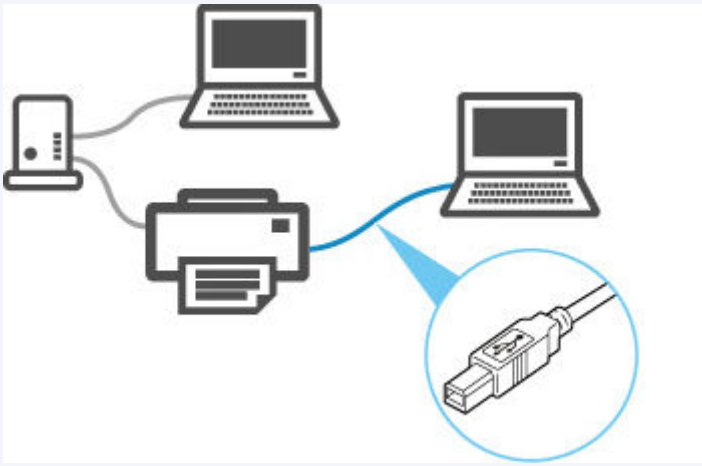
➡ USB ケーブルとは

USB 接続では、プリンターとパソコンが 1 対 1 で接続されます。

パソコンが LAN と接続されている場合、パソコン側でプリンターを共有設定することにより、他の機器からプリンターを使うことができます。

参考

- ルーターと有線 LAN で接続している場合でも、他のパソコンと USB で接続することができます



工場出荷時初期値（ネットワーク）

ネットワーク接続の初期値

項目名	初期値
LAN の有効/無効	有線 LAN 有効
［ネットワーク名(SSID)］	BJNPSETUP
［Wi-Fi セキュリティ］	［無効］
［IP アドレス］（［IPv4］）	［自動設定］
［IP アドレス］（［IPv6］）	自動設定
［プリンター名設定］ *	XXXXXXXXXXXX
［IPv6 の有効/無効］	［有効］
［WSD の有効/無効］	［有効］
［タイムアウト設定］	［15 分］
［Bonjour の有効/無効］	［有効］
［サービス名］	Canon 機種名
［LPD 設定］	［有効］
［RAW 設定］	［有効］
［LLMNR 設定］	［有効］
［Wi-Fi 間欠受信設定］	［有効］
［有線 LAN 間欠受信設定］	［有効］

（XX は英数字を示す）

* ご使用のプリンターにより異なります。プリンターの操作パネルから設定を確認することができます。

➡ LAN 設定

無線ダイレクトの初期値

項目名	初期値
［ネットワーク名(SSID)］	DIRECT-abXX-YY-NNNN *1
［パスワード］	ZZZZZZZZZZ *2
［Wi-Fi セキュリティ］	［WPA2-PSK(AES)］
［接続要求の確認設定］	表示する
［2.4GHz/5GHz の切替］	2.4GHz

*1 ab はランダムに生成、XX はプリンターの無線 MAC アドレスの下 2 桁、YY は英数字、NNNN はお使いの機種名です。

*2 プリンターの電源を初めて入れたときに、自動的に設定されます。

同じ名前のプリンターを検出したときは

プリンターを検出したときに、検出結果で同じ名前のプリンターが複数表示される場合があります。

プリンターの設定と検出結果を照合して、使用するプリンターを選んでください。

プリンターに設定されている MAC アドレスやプリンターのシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレスやシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

参考

- 検出結果の画面にシリアルナンバーが表示されない場合があります。

プリンターの MAC アドレスやシリアルナンバーは、［プリンター情報］→［システム情報］から確認できます。

➡ プリンター情報

プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

プリンターの操作パネルから、現在の LAN 設定を印刷して確認することができます。

重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、お使いのネットワークに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。

用意するもの

A4 サイズの普通紙 5 枚

1. 用紙をセットする

➡ 上トレイに用紙をセットする

2. ホーム画面で ［LAN 設定］を選ぶ

3. ［詳細情報印刷］を選ぶ

4. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

5. メッセージの内容を確認し、［する］または［しない］を選ぶ

ネットワーク設定情報の印刷が開始されます。

不正アクセス防止対策について

プリンターにおける、外部からの不正アクセス防止対策について説明します。プリンターをネットワーク環境でお使いの方、管理者の方は、ご利用の前にご確認ください 。

外部からの不正アクセス防止対策のポイントは次の 4 点です。

- プライベート IP アドレスで運用する
- ファイアーウォール、Wi-Fi ルーター等で通信を制限する
- プリンターをパスワードで管理する
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用する場合は、セキュリティレベルの高い方式を利用する

参考

- 記載している設定手順は一例であり、お使いのプリンターとは異なる場合があります。詳しくは、お使いのプリンターのマニュアルをご確認ください。

プライベート IP アドレスで運用する

IP アドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号のことで、インターネット接続に使われる IP アドレスを「グローバル IP アドレス」、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使われる IP アドレスを「プライベート IP アドレス」といいます。

プリンターにグローバル IP アドレスが設定されている場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏洩などのリスクも高まります。一方、プライベート IP アドレスが設定されている場合は、社内 LAN などのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。したがって、プリンターの IP アドレスにはプライベート IP アドレスを設定して運用してください。

プライベート IP アドレスには、次のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。お使いのプリンターに設定されている IP アドレスがプライベート IP アドレスかどうかをご確認ください。

プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

IP アドレスの確認のしかた

プリンターの［セットアップ］→［本体設定］→［LAN 設定］からお使いのネットワーク方式を選択し、IP アドレスを確認します。IP アドレスの確認のしかた、および設定のしかたは、お使いのプリンターのマニュアルをご確認ください。

参考

- プリンターにグローバル IP アドレスが設定されていても、ファイアーフォール等で外部からのアクセスを防御する環境を設定すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。

ファイアーウォール、Wi-Fi ルーター等で通信を制限する

ファイアーウォールとは、外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、組織内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステムです。

危険と思われる特定の外部 IP アドレスからの通信を制限することで、お使いのネットワークへの不正アクセスを防止できます。

ご家庭でお使いの Wi-Fi ルーターにも、同様な機能が備わっています。設定を変更する場合には、十分注意して行ってください。

プリンターをパスワードで管理する

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けた場合にも、プリンターが持つさまざまな情報をパスワードで保護することで、情報漏洩によるリスクを大幅に軽減できます。

また、プリンターはパスワードによる保護機能を備えていますが、パスワードを管理することがセキュリティ対策において重要です。次のポイントを参考に、パスワードを管理してください。詳しくはお使いのプリンターのマニュアルをご確認ください。

- ご購入時のパスワードから必ず変更する
- 定期的にパスワードを変更する
- 第三者が推測しやすいパスワードを設定しない
- 不用意に第三者に教えない

参考

- プリンターによっては、ご購入時のパスワードは設定されていません。パスワードを設定してください。
- パスワード機能を持たない機種もあります。

リモート UI（User Interface）でのパスワード管理について

リモート UI とは、ウェブブラウザーを使ってパソコンからネットワークを経由してプリンターにアクセスし、プリンターの状態の確認や各種設定など、プリンターの操作パネルと同等の操作を行うためのソフトウェアです。

ウェブブラウザーで本体の IP アドレス、またはホスト名を指定すると、リモート UI のポータルページが表示されます。

リモート UI の起動のしかた、操作のしかたは、お使いのプリンターのマニュアルをご確認ください。

重要

- ウェブブラウザーでプリンターのリモート UI を開いているときには、他のウェブサイトにアクセスしないようにしてください。

  また、リモート UI で設定を変更しているパソコンから離席する場合や設定変更が終了した場合は、ウェブブラウザーを必ず終了してください。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用する場合は、セキュリティレベルの高い方式を利用する

無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターを使用する場合は、セキュリティレベルの観点から、WPA/WPA2 のご使用をお勧めします。

操作のしかたは、お使いのプリンターのマニュアルをご確認ください。

ネットワークの状態と対処方法

LAN 設定情報を参照して、ネットワークの状態を確認してください。

➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

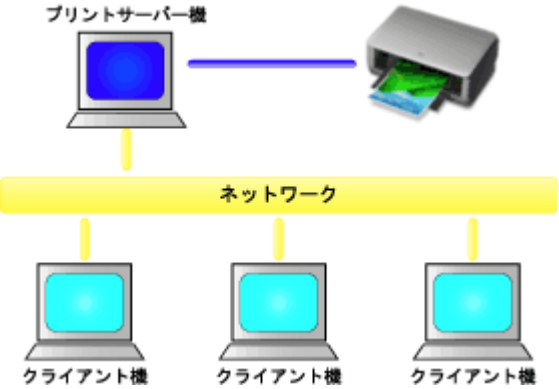
ネットワークの状態	対処方法
正常に接続されています。 それでも印刷ができない場合は、対処方法の 1 を参照してください。	1. 印刷ができない場合は、以下を確認してください。 • パソコンが無線 LAN（Wi-Fi）に接続されているか • パソコンのファイアウォール関連のセキュリティソフトが動作していないか • Wi-Fi ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能が有効になっていないか 有効になっている場合は、セットアップを行う前にこれらの機能を無効にしてください。 • プリンターのネットワーク名（SSID）と通信を行うルーターのネットワーク名（SSID）設定が一致しているか 2. 有線 LAN／無線 LAN（Wi-Fi）を切り替えたい場合は、プリンターのネットワーク設定の画面で行ってください。 **参考** • Wi-Fi ルーターの設定で、バンドステアリング機能（ つながる端末が多くなり混雑した場合に、2.4GHz、5GHz の周波数帯の混雑状況に応じて、適切な周波数帯へ誘導する機能）をオフにすると改善する可能性があります。 • 2.4GHz/5GHz の SSID が同じ場合は別々にすると改善する可能性があります。 • プリンターが 5GHz 非対応機種の場合、Wi-Fi ルーターは 2.4GHz を有効にする必要があります。 • ネットワークでの接続ができない場合は USB で接続してください。
プリンターの LAN の設定が無効になっています。	マニュアルに従ってプリンターのセットアップを行ってください。
有線 LAN 接続（LAN ケーブル）が無効になっています。	• プリンターとルーターが LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。 LAN ケーブルが抜けかかっている場合は、正しく接続してください。 LAN ケーブルがルーターの WAN 側に接続されている場合は、ルーターの LAN 側に接続してください。 • ハブやルーターなどの、ネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
IP アドレスが割り当てられていません。	• プリンターの IP アドレスを自動で設定している場合は、ルーターの DHCP を有効にしてください。 • プリンターの IP アドレスを手動で設定した場合は、設定した IP アドレスが有効範囲外（0.0.0.0 など）のため、無効になっています。 有効な IP アドレスを設定してください。
デフォルトゲートウェイが設定されていません。	クラウド系のアプリなどルーターを超えて通信したい場合は以下を確認してください。 • デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか確認してください。 • デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。
指定のネットワークに接続できません。	プリンターとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）、スマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください。

	• 電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 • 電波の状態が悪い可能性があります。 無線 LAN（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください。 • Wi-Fi ルーターに設定されているセキュリティーキーと、入力したセキュリティーキーが一致していない可能性があります。 セキュリティーキーは大文字・小文字も区別されます。 セキュリティーキーを正しく入力してください。
電波の状態が悪い可能性があります。	• プリンターと Wi-Fi ルーターとの距離が離れすぎていないか確認してください。 • 無線 LAN 接続（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください。
接続しているクライアント数が最大です。	• 無線ダイレクトで同時接続できる各種機器は 5 台までです。 各種機器を追加で接続する場合は、使用していない機器の接続を解除してから追加してください。
信号雑音比（S/N 比）が低くなっています。	• 他の各種機器の影響で雑音が非常に多くなっています。 プリンターを他の各種機器から離してください。
リンクローカルアドレスが割り当てられています。	• プリンターのセットアップを再度行ってください。 • Wi-Fi ルーターに設定されているセキュリティーキーと、入力したセキュリティーキーが一致していない可能性があります。 セキュリティーキーは大文字・小文字も区別されます。 セキュリティーキーを正しく入力してください。
ネットワーク名（SSID）が初期値のままです。	ネットワーク名（SSID）が設定されていません。 接続先のネットワーク名（SSID）を入力してください。

ネットワーク環境でプリンターを共有する（macOS）

パソコンをネットワーク環境で使用しているときは、1 台のパソコンに接続したプリンターをほかのパソコンと共有して使用できます。

プリンター共有の設定を行う前に、［システム設定］から［ネットワーク］を選び、ネットワーク設定が行われていることをご確認ください。



Mac でプリンターを共有する手順を説明します。

- プリントサーバー機での設定

  プリンターと接続するパソコンの設定方法を説明します。
- クライアント機での設定

  ネットワークを経由してプリンターを使用するパソコンの設定方法を説明します。
  印刷を実行すると、データはプリントサーバー機を経由してプリンターに送られます。

関連項目

➡ プリンター共有に関する制限

プリントサーバー機での設定

ネットワーク上でプリンターを使用する場合は、プリントサーバー機でプリンタードライバーの共有を設定します。

プリントサーバー機を設定する手順を説明します。

1. プリントサーバー機にプリンタードライバーをインストールする

2. 使用するプリンター名が追加されていることを確認する

［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選びます。
プリンターリストにパソコンに接続されているプリンターが表示されます。

3. 共有を設定する

［ネットワークでこのプリンタを共有］をオンにします。

参考

- お使いの環境によっては、パソコンの再起動を促すメッセージが表示されます。正しくインストールを完了するために、再起動してください。

以上でプリントサーバー機での設定は完了です。次にクライアント機での設定を行ってください。

クライアント機での設定

プリントサーバー機での設定が終わったら、クライアント機での設定を行います。

クライアント機を設定する手順を説明します。

1. クライアント機にプリンタードライバーをインストールする

2. プリンターリストを表示する

［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選びます。
［プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加...］をクリックして、プリンターリストを表示します。

3. 共有するプリンターを追加する

プリンターリストに表示される共有プリンターを選んで、［追加］をクリックします。

以上でクライアント機での設定は完了です。

参考

- 印刷の手順は、USB ケーブルで直接プリンターと接続している場合と同じです。
  ページ設定ダイアログで、使用するプリントサーバー機に接続されているプリンターを選んでください。

プリンター共有に関する制限

ネットワーク環境でプリンターを使用する場合の制限事項です。

- プリントサーバー機とクライアント機には、同じバージョンのプリンタードライバーをインストールしてください。最新のプリンタードライバーは、キヤノンのホームページから入手することができます。
- 管理者の権限を持ったユーザーでご使用ください。
- プリンターとの接続方法によっては、パソコンはプリンターで設定されている機能情報を取得できず、正しい設定を表示できない場合があります。
- クライアント機でご使用の場合、プリンタードライバーの用紙情報は更新できません。

メンテナンス

- **画質の調整と改善**
  - お手入れの手順について
  - ノズルのつまりをチェックする
  - プリントヘッドをクリーニングする
  - プリントヘッドを強力クリーニングする
  - システムクリーニングを行う
  - 縦線のゆがみや色ずれを調整する
  - 色の管理
- **消耗品の交換**
  - インクタンクを交換する
  - インク残量を確認する
  - プリントヘッドを交換する
  - メンテナンスカートリッジを交換する
  - メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する
- **プリンターの清掃**
  - プリンターの外装を清掃する
  - 給紙ローラーをクリーニングする
  - インクふき取りクリーニングを行う
- **パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）**
  - プリントヘッドをクリーニングする
  - ノズルチェックパターンを印刷する
- **パソコンからメンテナンス機能を実行する（macOS）**
  - メンテナンスのためにリモート UI を開く
  - プリントヘッドをクリーニングする
  - パソコンでインクの状態を確認する
  - ノズルチェックパターンを印刷する
- **その他のメンテナンス**

- 本製品を移動する
- 本製品を輸送する
- プリンターを再設置する
- ファームウェアをアップデートする

画質の調整と改善

- **お手入れの手順について**
- **ノズルのつまりをチェックする**
- **プリントヘッドをクリーニングする**
- **プリントヘッドを強力クリーニングする**
- **システムクリーニングを行う**
- **縦線のゆがみや色ずれを調整する**
  - 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する
  - 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する
- **色の管理**
  - 色を管理する
  - カラーキャリブレーションを行う
  - カラーキャリブレーションの調整タイプ

お手入れの手順について

印刷結果がかすれるときや、色が正しく印刷されないとき、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、以下の手順に沿ってお手入れを行ってください。

重要

- プリントヘッドやインクタンクを洗浄したり、ふいたりしないでください。プリントヘッドやインクタンクの故障の原因になります。

参考

- ホーム画面などでインクの状態を確認してください。

  インク残量が少ない場合は、必要な対処を行ってください。

  ➡ インク残量を確認する

- プリンタードライバーの印刷品質を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。

  ➡ 用紙や印刷品質などを設定する（用紙・品質シート）（Windows）
  ➡ 印刷品質の変更や画像データの補正（macOS）

印刷がかすれている、むらがある場合：

ステップ 1 ノズルチェックパターンを印刷する

本製品から行う

➡ ノズルのつまりをチェックする

パソコンから行う

➡ ノズルチェックパターンを印刷する（Windows）
➡ ノズルチェックパターンを印刷する（macOS）

ステップ 2 ノズルチェックパターンを確認する

パターンに欠けや白い横すじがある場合

ステップ 3 プリントヘッドをクリーニングする

本製品から行う

➡ プリントヘッドをクリーニングする

パソコンから行う

➡ プリントヘッドをクリーニングする（Windows）
➡ プリントヘッドをクリーニングする（macOS）

クリーニング後、ノズルチェックパターンを印刷して確認：➡ ステップ 1

ステップ 1 からステップ 3 の手順を 2 回繰り返しても改善されない場合

ステップ 4 プリントヘッドを強力クリーニングする

本製品から行う

- プリントヘッドを強力クリーニングする

パソコンから行う

- プリントヘッドをクリーニングする（Windows）
- プリントヘッドをクリーニングする（macOS）

ステップ 4 を行っても改善されない場合

ステップ 5 システムクリーニングを行う

本製品から行う

- システムクリーニングを行う

パソコンから行う

- プリントヘッドをクリーニングする（Windows）
- プリントヘッドをクリーニングする（macOS）

参考

- ステップ 5 までの操作を行っても症状が改善されない場合は、電源を切って 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドの交換が必要な可能性があります。
  - プリントヘッドを交換する

罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

ステップ プリントヘッド位置を調整する

- 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

ノズルのつまりをチェックする

印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの各ノズルがつまっていないかを確認します。

参考

- パソコンからノズルのつまりをチェックすることもできます。
  - ノズルチェックパターンを印刷する（Windows）
  - ノズルチェックパターンを印刷する（macOS）
- 工場出荷時の状態では、ノズルのつまりが一定の間隔でチェックされるよう設定されています。
  - 自動メンテナンス設定

用意するもの

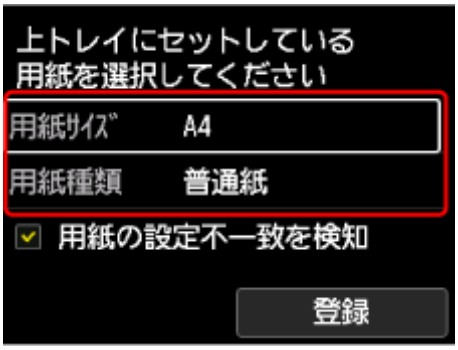
A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. 上トレイに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする

- 上トレイに用紙をセットする

用紙をセットすると、上トレイの用紙情報の登録画面が表示されます。

［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［用紙種類］で［普通紙］を設定し、［登録］を選んで OK ボタンを押します。



画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

重要

- 手差しトレイからは、ノズルチェックパターンの印刷はできません。かならず上トレイに用紙をセットしてください。

2. 排紙トレイをゆっくり手前に開く

補助トレイを開いて排紙サポートを引き出します。

3. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

4. ［ノズルチェックパターン印刷］を選ぶ

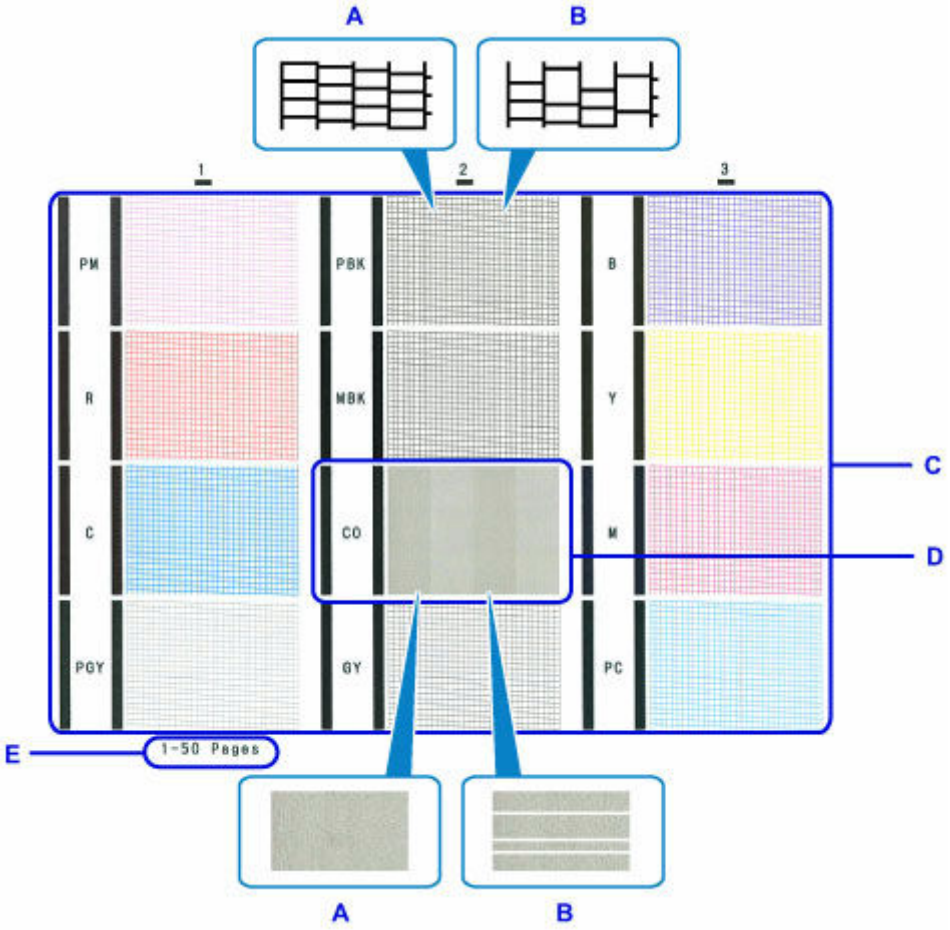
確認画面が表示されます。

5. ［はい］を選ぶ

ノズルチェックパターンが印刷され、液晶モニターに 2 つのパターン確認画面が表示されます。

6. 印刷結果を確認する

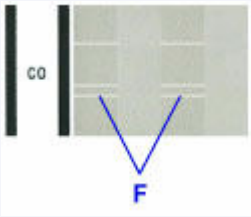
パターン C に欠けがないか、パターン D に横スジが入っていないかを確認します。



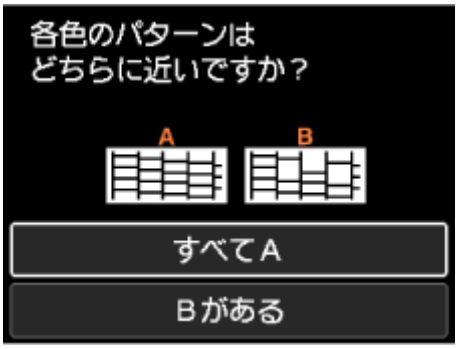
A：欠けがない／横すじがない
B：欠けがある／横すじがある
E：これまで印刷を行った用紙の総枚数

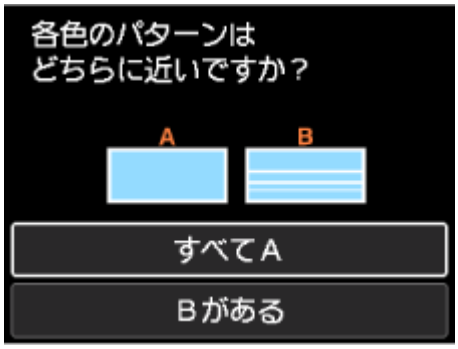
参考

- CO は無色であるため、MBK のパターンに重ねて印刷しています。CO のパターンでは、濃いグレーの部分に横すじ（F）が入っていないか確認してください。



7. パターン確認画面で、印刷されたパターンに近いものを選ぶ





3 つのグループのパターン C のいずれにもに欠けがなく、パターン D にも横すじがない（A）場合：

クリーニングの必要がないので、［すべて A］を選び、OK ボタンを押します。

メッセージを確認し、OK ボタンを押します。

［メンテナンス］画面に戻ります。

3 つのグループのパターン C のいずれかに欠けがある場合や、パターン D に横すじがある（B）場合：

クリーニングが必要なので、［B がある］を選び、次の手順へ進みます。

8. クリーニング確認画面で、［はい］を選ぶ

9. クリーニングを行うインググループを選ぶ

- ［全色］
- ［パターン 1］：PM / R / C / PGY
- ［パターン 2］：PBK / MBK / CO / GY
- ［パターン 3］：B / Y / M / PC

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

重要

- クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

10. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

ノズルチェックパターンが印刷され、液晶モニターに 2 つのパターン確認画面が表示されます。

11. 手順 6 から手順 10 を繰り返す

重要

- クリーニングを 2 回繰り返しても改善されないときは、［強力クリーニング］を行ってください。
  - ➡ プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに欠けや横スジがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

重要

- プリントヘッドのクリーニングを行う際は、メンテナンスカートリッジの空き容量を確認してください。空き容量が少ない場合は、新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。メンテナンスカートリッジの空き容量が少ないと、メッセージが表示され、クリーニングは行えません。

  ➡ メンテナンスカートリッジを交換する

参考

- パソコンからクリーニングを行うこともできます。

  ➡ プリントヘッドをクリーニングする（Windows）
  ➡ プリントヘッドをクリーニングする（macOS）

用意するもの

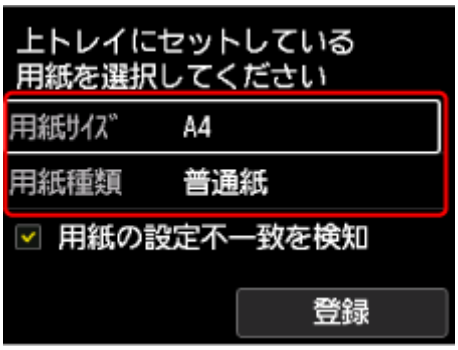
A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. 上トレイに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする

➡ 上トレイに用紙をセットする

用紙をセットすると、上トレイの用紙情報の登録画面が表示されます。

［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［用紙種類］で［普通紙］を設定し、［登録］を選んで OK ボタンを押します。



画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

重要

- 手差しトレイからは、ノズルチェックパターンの印刷はできません。かならず上トレイに用紙をセットしてください。

2. 排紙トレイをゆっくり手前に開く

補助トレイを開いて排紙サポートを引き出します。

3. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

4. ［クリーニング］を選ぶ

確認画面が表示されます。

5. クリーニング確認画面で、［はい］を選ぶ

6. クリーニングを行うインクグループを選ぶ

- ［全色］
- ［パターン 1］：PM / R / C / PGY
- ［パターン 2］：PBK / MBK / CO / GY
- ［パターン 3］：B / Y / M / PC

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

重要

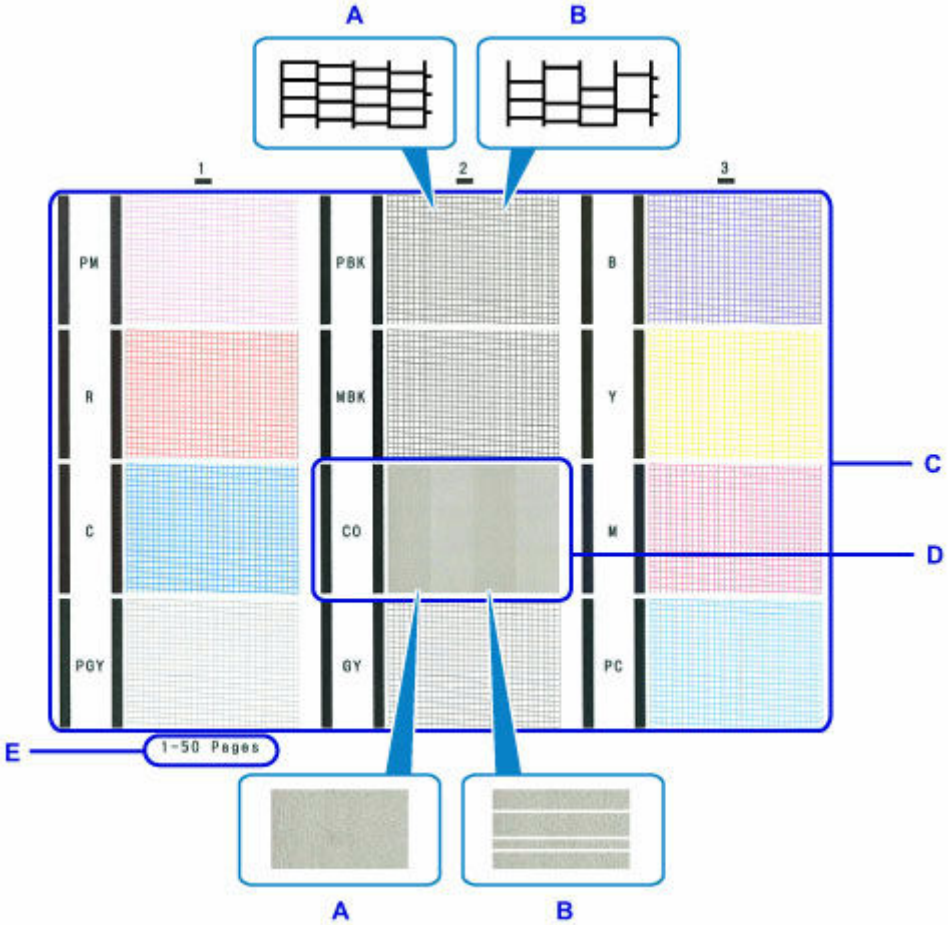
- クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

7. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

ノズルチェックパターンが印刷されます。

8. 印刷結果を確認する

パターン C に欠けがないか、パターン D に横スジが入っていないかを確認します。

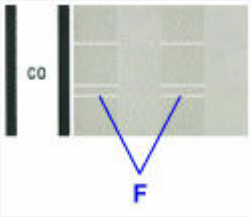


A：欠けがない／横すじがない
B：欠けがある／横すじがある

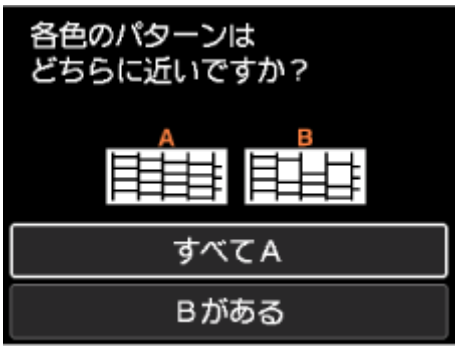
E：これまで印刷を行った用紙の総枚数

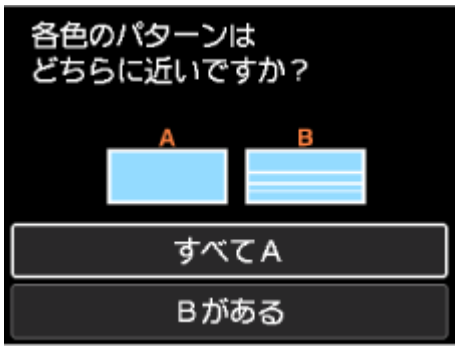
参考

- CO は無色であるため、MBK のパターンに重ねて印刷しています。CO のパターンでは、濃いグレーの部分に横すじ（F）が入っていないか確認してください。



9. パターン確認画面で、印刷されたパターンに近いものを選ぶ





3 つのグループのパターン C のいずれにもに欠けがなく、パターン D にも横すじがない（A）場合：

クリーニングの必要がないので、［すべて A］を選び、OK ボタンを押します。

メッセージを確認し、OK ボタンを押します。

［メンテナンス］画面に戻ります。

3 つのグループのパターン C のいずれかに欠けがある場合や、パターン D に横すじがある（B）場合：

クリーニングが必要なので、［B がある］を選び、次の手順へ進みます。

10. クリーニング確認画面で、［はい］を選ぶ

11. クリーニングを行うインクグループを選ぶ

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

重要

- クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

12. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

ノズルチェックパターンが印刷され、液晶モニターに 2 つのパターン確認画面が表示されます。

重要

- クリーニングを 2 回繰り返しても改善されないときは、［強力クリーニング］を行ってください。
  - ➡ プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングは、通常のクリーニングより多くのインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

重要

- 強力クリーニングを行う際は、メンテナンスカートリッジの空き容量を確認してください。空き容量が少ない場合は、新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。メンテナンスカートリッジの空き容量が少ないと、メッセージが表示され、クリーニングは行えません。

  ➡ メンテナンスカートリッジを交換する

参考

- パソコンから強力クリーニングを行うこともできます。

  ➡ プリントヘッドをクリーニングする（Windows）
  ➡ プリントヘッドをクリーニングする（macOS）

用意するもの

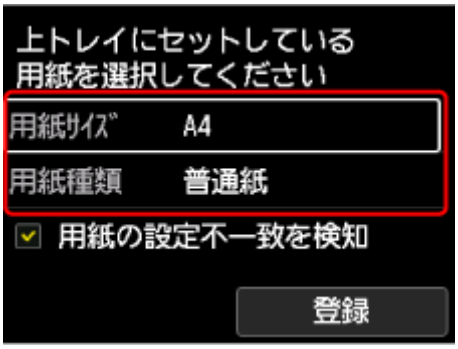
A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. 上トレイに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする

➡ 上トレイに用紙をセットする

用紙をセットすると、上トレイの用紙情報の登録画面が表示されます。

［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［用紙種類］で［普通紙］を設定し、［登録］を選んで OK ボタンを押します。



画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

重要

- 手差しトレイからは、ノズルチェックパターンの印刷はできません。かならず上トレイに用紙をセットしてください。

2. 排紙トレイをゆっくり手前に開く

補助トレイを開いて排紙サポートを引き出します。

3. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

4. ［強力クリーニング］を選ぶ

確認画面が表示されます。

5. クリーニング確認画面で、［はい］を選ぶ

6. クリーニングを行うインクグループを選ぶ

- ［全色］
- ［パターン 1］：PM / R / C / PGY
- ［パターン 2］：PBK / MBK / CO / GY
- ［パターン 3］：B / Y / M / PC

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

重要

- クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

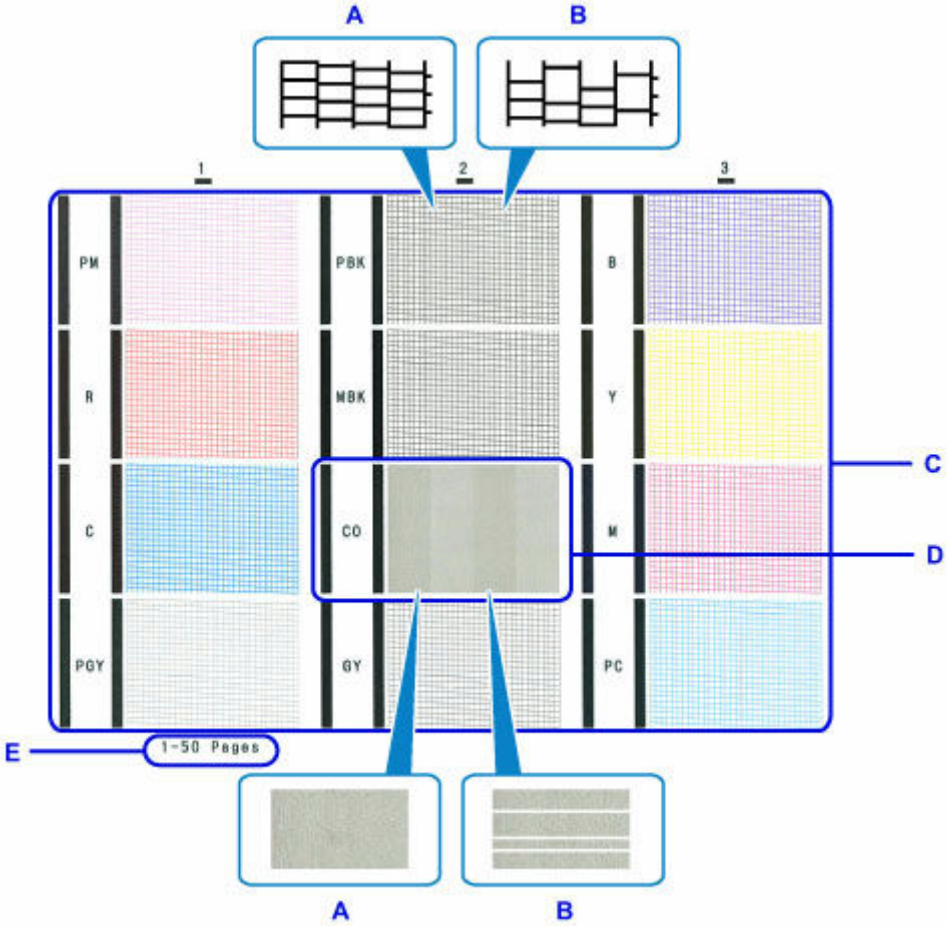
7. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

ノズルチェックパターンが印刷されます。

8. 強力クリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］を選ぶ

9. 印刷結果を確認する

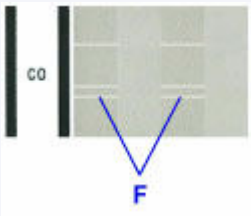
パターン C に欠けがないか、パターン D に横スジが入っていないかを確認します。



A：欠けがない／横すじがない
B：欠けがある／横すじがある
E：これまで印刷を行った用紙の総枚数

参考

- CO は無色であるため、MBK のパターンに重ねて印刷しています。CO のパターンでは、濃いグレーの部分に横すじ（F）が入っていないか確認してください。



重要

- 改善されない場合は、電源を切ってから電源プラグを抜かずに 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。
- 強力クリーニングを行っても改善されないときは、［システムクリーニング］を行ってください。

➡ システムクリーニングを行う

システムクリーニングを行う

プリントヘッドの強力クリーニングを行っても効果がない場合は、システムクリーニングを行ってください。システムクリーニングは、非常に多くのインクを消耗します。頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ行ってください。

重要

- システムクリーニングを行う際は、メンテナンスカートリッジの空き容量を確認してください。空き容量が少ない場合は、新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。メンテナンスカートリッジの空き容量が少ないと、メッセージが表示され、クリーニングは行えません。

  ➡ メンテナンスカートリッジを交換する

用意するもの

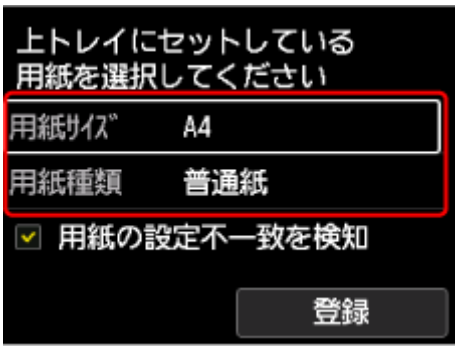
A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. 上トレイに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする

➡ 上トレイに用紙をセットする

用紙をセットすると、上トレイの用紙情報の登録画面が表示されます。

［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［用紙種類］で［普通紙］を設定し、［登録］を選んで OK ボタンを押します。



画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

重要

- 手差しトレイからは、ノズルチェックパターンの印刷はできません。かならず上トレイに用紙をセットしてください。

2. 排紙トレイをゆっくり手前に開く

補助トレイを開いて排紙サポートを引き出します。

3. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

4. ［システムクリーニング］を選ぶ

確認画面が表示されます。

5. クリーニング確認画面で、［はい］を選ぶ

6. クリーニングを行うインググループを選ぶ

- ［全色］
- ［パターン 1］：PM / R / C / PGY
- ［パターン 2］：PBK / MBK / CO / GY
- ［パターン 3］：B / Y / M / PC

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

重要

- クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

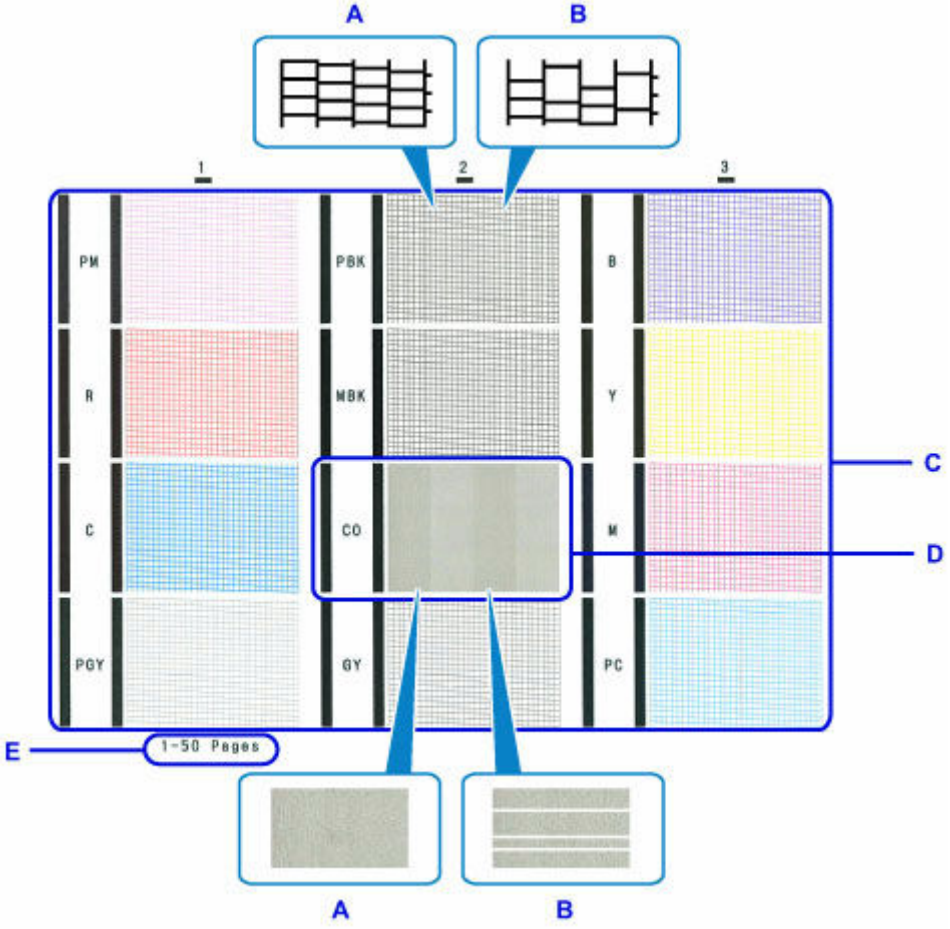
7. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

ノズルチェックパターンが印刷されます。

8. システムクリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］を選ぶ

9. 印刷結果を確認する

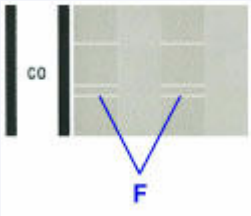
パターン C に欠けがないか、パターン D に横スジが入っていないかを確認します。



A：欠けがない／横すじがない
B：欠けがある／横すじがある
E：これまで印刷を行った用紙の総枚数

参考

- CO は無色であるため、MBK のパターンに重ねて印刷しています。CO のパターンでは、濃いグレーの部分に横すじ（F）が入っていないか確認してください。



システムクリーニングを行っても改善されない場合は、電源を切って 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドの交換が必要な可能性があります。

➡ プリントヘッドを交換する

縦線のゆがみや色ずれを調整する

- 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する
- 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

印刷物の縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、［ヘッド位置調整］を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。

プリントヘッドの位置を調整する方法には、［自動］と［手動］があります。

微小なゆがみや色ずれなど、ほとんどの場合は［自動］を実行すると改善されますが、改善されない場合は［手動］を行ってください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

［自動］を実行すると、調整用パターンが印刷され、印刷結果からプリントヘッドの位置が自動的に調整されます。

重要

- 調整結果は、用紙の種類に依存するため、実際に印刷に使用する用紙で調整してください。
- 透過性の高い用紙は使用できません。

用意するもの

A4 またはレターサイズの用紙の場合：3 枚

A2 または 17 x 22 サイズの用紙の場合：1 枚

1. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

2. ［ヘッド位置調整］を選ぶ

3. ［自動］を選ぶ

確認画面が表示されます。

4. ［はい］を選ぶ

用紙設定の画面が表示されます。

5. 使用する用紙を設定する

6. メッセージで指定された給紙箇所に、用意した用紙をセットする

➡ 上トレイに用紙をセットする
➡ 手差しトレイに用紙をセットする

給紙箇所が手差しトレイの場合は、1 枚ずつセットします。

7. 排紙トレイをゆっくり手前に開く

補助トレイを開いて排紙サポートを引き出します。

8. OK ボタンを押す

プリントヘッド位置調整シートが印刷され、プリントヘッド位置が自動的に調整されます。

9. ヘッド位置調整終了のメッセージが表示されたら、OK ボタンを押す

参考

- 記載の手順でプリントヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、手動でプリントヘッドの位置調整を行ってください。

  ➡ 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、［ヘッド位置調整］を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。

通常は、［自動］を実行してください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

ただし、特殊な用紙に印刷する場合や、［自動］を実行しても印刷結果が改善されない場合は、［手動］を実行してください。

［手動］を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果を見て設定値を入力してください。

重要

- 調整結果は、用紙の種類に依存するため、実際に印刷に使用する用紙で調整してください。

用意するもの

A4 またはレターサイズの用紙の場合：2 枚

A2 または 17 x 22 サイズの用紙の場合：1 枚

1. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

2. ［ヘッド位置調整］を選ぶ

3. ［手動］を選ぶ

確認画面が表示されます。

4. ［はい］を選ぶ

用紙設定の画面が表示されます。

5. 使用する用紙を設定する

6. メッセージで指定された給紙箇所に、用意した用紙をセットする

➡ 上トレイに用紙をセットする
➡ 手差しトレイに用紙をセットする

給紙箇所が手差しトレイの場合は、1 枚ずつセットします。

7. 排紙トレイをゆっくり手前に開く

補助トレイを開いて排紙サポートを引き出します。

8. OK ボタンを押す

プリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

9. ［パターンは、正常に印刷されましたか？］のメッセージが表示されたら、正常に印刷されていることを確認し、［はい］を選ぶ

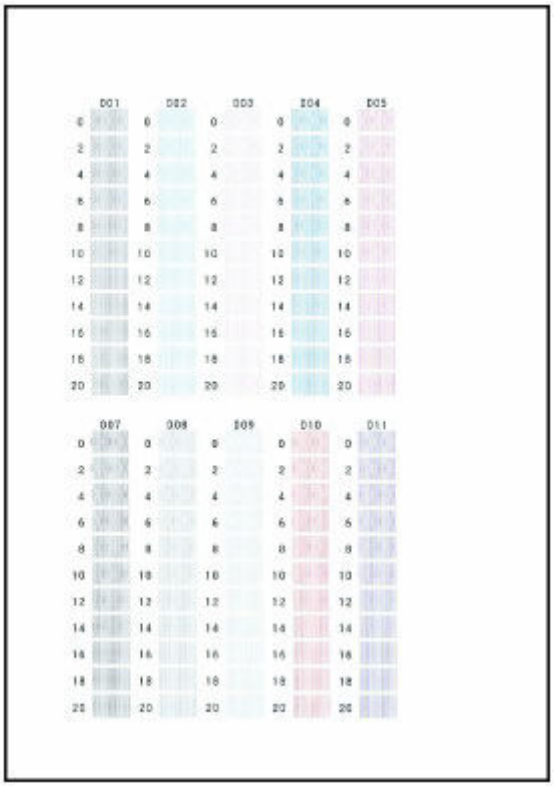
10. メッセージを確認し、OK ボタンを押す

ヘッド位置の調整値を入力する画面が表示されます。

11. プリントヘッド位置調整パターンを見て、各列の中から線がまっすぐなパターンの番号を選ぶ

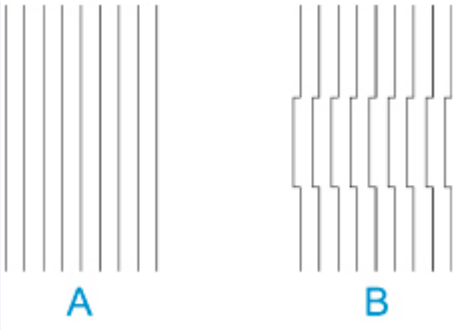
設定する列を選んで OK ボタンを押し、パターン番号を設定して OK ボタンを押します。

※以下は A4 サイズ 1 枚目の印刷例です。



参考

- 調整パターンを見て、一番縦線のゆがみの少ないパターンを選びます。



A：線がまっすぐな例

B：線がずれている例

12. 同様の操作を繰り返し、すべての列のパターン番号を設定後、[OK] を選んで OK ボタンを押す

メッセージが表示された場合は、メッセージに従って作業を進めます。

13. ヘッド位置調整終了のメッセージが表示されたら、OK ボタンを押す

色の管理

- 色を管理する
- カラーキャリブレーションを行う
- カラーキャリブレーションの調整タイプ

色を管理する

色の管理（カラーキャリブレーション）とは、プリンターの個体差や経時変化でばらつく色味を補正したり、補正した色味を継続的に安定させたりすることです。

本製品は、カラーキャリブレーションを実行することで色味を補正できます。

プリンターが複数台ある場合は、それぞれのプリンターでカラーキャリブレーションを実行することで、複数台のプリンターの色味をそろえることができます。

カラーキャリブレーションの実行

カラーキャリブレーションを行うと、プリンターの個体差や経時変化による色味のばらつきを補正できます。

操作パネルではカラーキャリブレーションの調整値の有効/無効の切り替えや、調整値のリセットを行うことができます。

カラーキャリブレーションは、Device Management Console（デバイス・マネージメント・コンソール）から実行することもできます。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド

カラーキャリブレーションの実行推奨度を確認する

カラーキャリブレーションを実行したほうがよいかどうかをパソコン画面のプログレスバーで確認できます。

実行推奨度の確認には、Device Management Console を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド

カラーキャリブレーションの実行履歴を確認する

用紙の種類ごとに、カラーキャリブレーションを行った用紙の名前と日時を確認できます。

実行履歴の確認には、Device Management Console を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド

複数のプリンターを集中管理する

ネットワークや USB で接続された複数のプリンターの状態を確認できます。

また、プリンターに警告やエラーが発生したことを、メールで通知することもできます。

プリンターの管理には、Device Management Console を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド

キヤノン純正紙以外の用紙を使用する

キヤノン純正紙以外の用紙でカラーキャリブレーションを実行するときは、専用の用紙情報を作成して登録する必要があります。

この用紙情報の登録には、Media Configuration Tool（メディア・コンフィグレーション・ツール）を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Media Configuration Tool ガイド

カラーキャリブレーションを行う

カラーキャリブレーションは、印刷時に、プリンターの個体差や経時変化による色味のばらつきを補正する機能です。

カラーキャリブレーションを実行すると、プリンターに内蔵されている調整用パターンが印刷され、プリンターにより調整用パターンが自動的に読み取られます。

この動作により、調整用パターンの印刷結果を反映したキャリブレーション調整値が設定されます。

重要

- カラーキャリブレーションを実行するときは、色安定精度をより高めるために、温度を 15～30℃（59～86°F）の範囲内、湿度を 40～60%の範囲内とし、温湿度環境を毎回一定に揃えてください。

  異なる温湿度環境でカラーキャリブレーションを実行すると、正しく調整されないことがあります。
- カラーキャリブレーションを実行するときは、プリンターに直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。

  プリンターに強い光が当たると、正しく調整されないことがあります。

カラーキャリブレーションの実行時期

以下の場合に、カラーキャリブレーションの実行をお勧めします。

- 初期設置時
- プリントヘッドを交換したとき
- 以前と比べて色味の変化を感じたとき（ただし、環境や印刷の条件は、同一に揃えてください）
- 複数のプリンターから色味を揃えて印刷したいとき
- 実行案内が表示されたとき

カラーキャリブレーションを実行する

カラーキャリブレーションに使用できる用紙のサイズ

A4 またはレターサイズ、もしくは A2 または 17 x 22 サイズの用紙

以下の手順でカラーキャリブレーションを実行します。

1. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

2. ［カラーキャリブレーション］を選ぶ

3. ［自動調整］を選ぶ

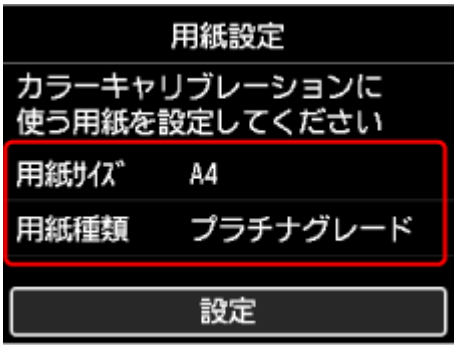
確認画面が表示されます。

4. ［はい］を選ぶ

用紙設定の画面が表示されます。

使用する用紙に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［設定］を選んで OK ボタンを押します。

詳しくは、「用紙の種類と調整タイプ」を参照してください。



5. 上トレイに手順 4 で設定した用紙を 1 枚セットする

重要

- 手差しトレイからはカラーキャリブレーションはできません。

6. 排紙トレイをゆっくり手前に開く

補助トレイを開いて排紙サポートを引き出します。

7. OK ボタンを押す

環境測定や用紙の確認が行われた後、カラーキャリブレーションが実行され、キャリブレーション調整値が自動的に設定されます。

8. カラーキャリブレーション終了のメッセージが表示されたら、OK ボタンを押す

そのほかのメニュー項目

- ［調整値の有効/無効］

  印刷時にキャリブレーション調整値を適用するかどうかを選択できます。

  ただし、プリンタードライバーの［キャリブレーション調整値］の設定と異なる場合は、プリンタードライバーの設定が優先されます。

- ［調整値のリセット］

  カラーキャリブレーションの調整値がクリアされます。

カラーキャリブレーションの調整タイプ

カラーキャリブレーションの調整タイプ

カラーキャリブレーションでは用紙の種類ごとに色味を調整できます。

調整方法には用紙共通キャリブレーションと用紙個別キャリブレーションの２つのタイプがあり、用紙の種類ごとにタイプが決められています。

各用紙のカラーキャリブレーション実行の可否と調整タイプについては、「用紙の種類と調整タイプ」を参照してください。

調整タイプの特長

用紙共通キャリブレーション

調整タイプが用紙共通キャリブレーションの用紙を使用してカラーキャリブレーションを実行すると、まだ調整を行っていないそのほかの用紙の色も調整されます。

用紙の種類ごとにカラーキャリブレーションを実行する必要がないので、短時間で容易に複数の用紙種類を運用できます。

- 調整タイプが用紙共通キャリブレーションの用紙でカラーキャリブレーションを実行すると、新しい用紙共通キャリブレーション調整値が設定されます。
  - これまでキャリブレーションを実行していない用紙種類にも、新しい用紙共通キャリブレーション調整値が適用されます。
  - 一度でもキャリブレーションを実行した用紙種類には、新しい用紙共通キャリブレーション調整値は上書きされません。既に設定されているキャリブレーション調整値が優先されます。

用紙共通キャリブレーション調整値はすべての印刷品位に適用されます。

参考

- 用紙共通キャリブレーションを複数の用紙種類で実行すると、用紙種類によって異なるキャリブレーション調整値が適用されます。用紙共通キャリブレーションに使用する用紙種類は１種類に限定することをおすすめします。

用紙個別キャリブレーション

調整タイプが用紙個別キャリブレーションの用紙を調整すると、その用紙の色だけが調整されます。その他の用紙の色味には影響を及ぼしません。

- 調整タイプが用紙個別キャリブレーションの用紙でカラーキャリブレーションを実行すると、その用紙専用の新しい用紙個別キャリブレーション調整値が設定されます。

  参考

  - カラーキャリブレーションを実行していない場合、新しく設定された用紙共通キャリブレーション調整値が適用されます。

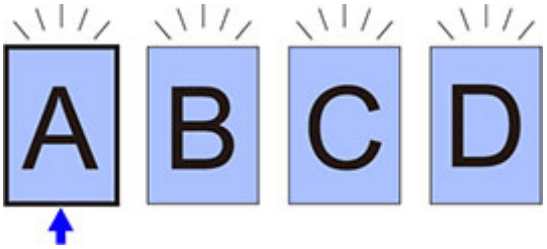
参考

- ご使用の用紙がカラーキャリブレーションに対応していない場合は、あらかじめ用紙共通キャリブレーションに分類される用紙でカラーキャリブレーションを実行してください。新しい用紙共通キャリブレーション調整値が、ご使用の用紙に対しても適用されます。

例:工場出荷時の状態からカラーキャリブレーションを実行する

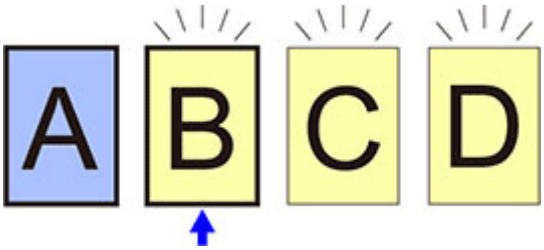
用紙種類 A～D（A/B/D は用紙共通キャリブレーションの用紙、C は用紙個別キャリブレーションの用紙）の調整を例に説明しています。

- 1 回目:用紙種類 A（用紙共通キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションを実行



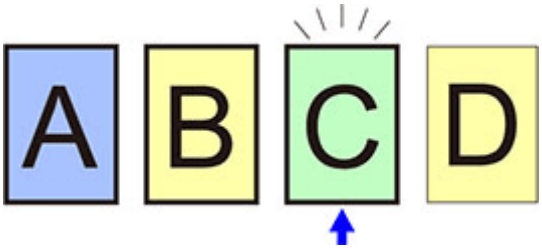
  - 用紙種類 A のキャリブレーション調整値が、カラーキャリブレーションを実行していない B～D にも適用されます。

- 2 回目:用紙種類 B（用紙共通キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションを実行



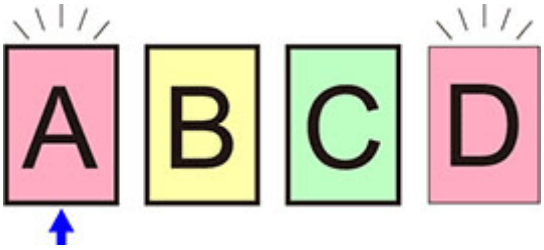
  - 用紙種類 B のキャリブレーション調整値が、カラーキャリブレーションを実行していない C と D にも適用されます。
  - 用紙種類 A は 1 回目の直接設定した調整値から変更されません。

- 3 回目:用紙種類 C（用紙個別キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションを実行



  - 用紙種類 C のキャリブレーション調整値が設定されます。
  - 用紙種類 A は 1 回目、用紙種類 B と D は 2 回目の調整値から変更されません。

- 4 回目:用紙種類 A（用紙共通キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションをもう一度実行



  - 用紙種類 A のキャリブレーション調整値が、カラーキャリブレーションを実行していない D にも適用されます。
  - 用紙種類 B は 2 回目、用紙種類 C は 3 回目の直接設定した調整値から変更されません。

用紙の種類と調整タイプ

用紙の名称 <型番>	カラーキャリブレーションの調整タイプ
キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］ <PT-201>	用紙共通キャリブレーション
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>	
キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>	
キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>	
キヤノン写真用紙・プレミアムマット <PM-101>	
プレミアムファインアート・スムース <FA-SM1>	
キヤノン写真用紙・光沢プロ［クリスタルグレード］ <CR-101>	用紙個別キャリブレーション
プレミアムファインアート・ラフ <FA-RG1>	

＊ 上記以外の用紙をご使用の場合は、用紙共通キャリブレーションの用紙でカラーキャリブレーションを行うことで、ご使用の用紙に対してキャリブレーション調整値を設定することができます。

使用できる用紙のサイズ

カラーキャリブレーションに使用できる用紙のサイズは以下のとおりです。

- 未使用の A4、A2、レター、17 x 22 サイズの用紙

プリンターに登録されている用紙情報を確認するには

プリンターで用紙情報を印刷する場合は、ホーム画面で ［各種設定］を選んだあと、［本体設定］→［用紙関連の設定］→［用紙の詳細設定を印刷］の順に選んでください。

以下のように表示されます。

項目名	内容
Calibration Exec.	カラーキャリブレーションが実行できる用紙かどうかと調整タイプが以下のように表示されます。 OK(Common)：用紙共通キャリブレーションが実行できます。 OK(Unique)：用紙個別キャリブレーションが実行できます。 N/A：カラーキャリブレーションを実行できません。
Calibration Adj. Value	キャリブレーションの適用情報（カラーキャリブレーションを実行した日時と用紙名称）が表示されます。
Calibration advisability	カラーキャリブレーションの実行推奨度が 10%間隔（0～100%）で表示されます。

消耗品の交換

- インクタンクを交換する
- インク残量を確認する
- プリントヘッドを交換する
- メンテナンスカートリッジを交換する
- メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

インクタンクを交換する

インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、液晶モニターにエラーメッセージを表示してお知らせします。メッセージの内容を確認し、必要に応じインクタンクを交換してください。

参考

- インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入ったりする場合は、「お手入れの手順について」を参照してください。
- インクタンクの取り扱い上のご注意については、「インクタンクについてのご注意」を参照してください。

交換の操作

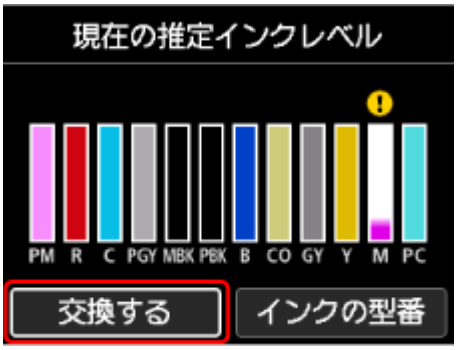
インクタンクの交換が必要な場合は、次の手順で行います。

1. ホーム画面でインク表示部を選ぶ

➡ 液晶モニター画面と操作パネルの使いかた

［現在の推定インクレベル］画面が表示されます。

2. ［交換する］を選ぶ



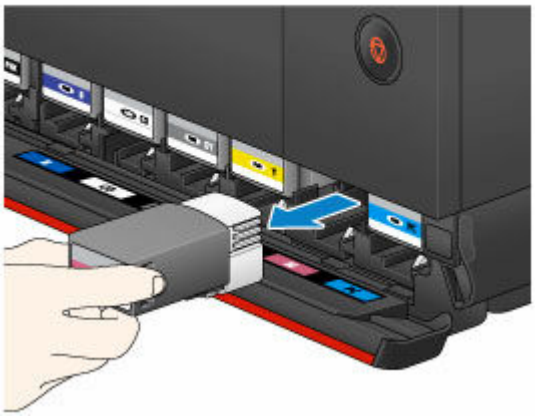
3. メッセージを確認し、タンクカバーを開く

重要

- 印刷中はタンクカバーを開けないでください。印刷が中止され用紙が排出されることがあります。

4. 交換するインクタンクを取り外す

インクタンク前面の（PUSH）部分を押し込むと、取り外せます。



重要

- 取り外したインクタンクは、インク供給部を下にして置かないでください。インク供給部に付着したインクで机などが汚れるおそれがあります。

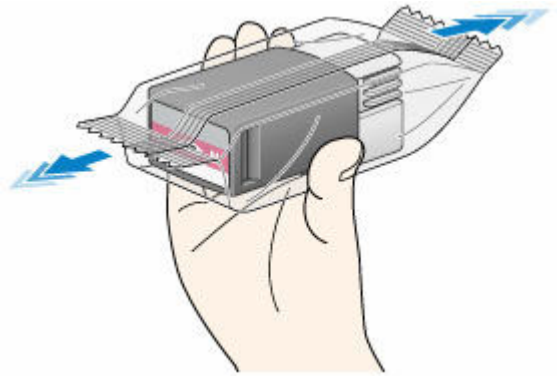
- 本体内部の金属部分やそのほかの部分に触れないでください。
- インクタンク以外の部分には触れないでください。
- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例に従って処分してください。

  また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。

参考

- 一度に複数のインクタンクを外さず、かならず 1 つずつ交換してください。

5. 新しいインクタンクを袋から出す前に、水平方向に 5～6 回振る



重要

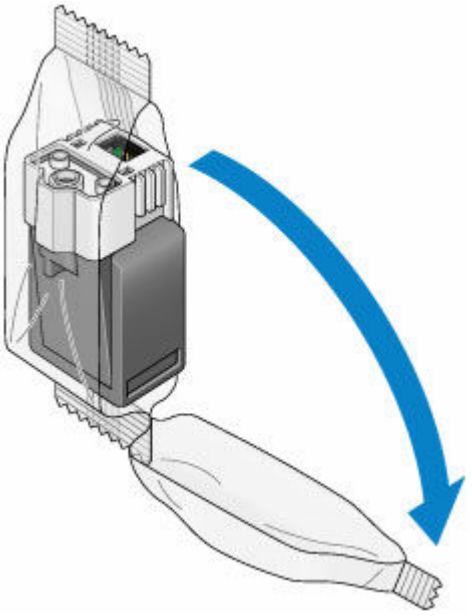
- インクタンクを落としたり、力を加えたりするなど乱暴に扱うことは避けてください。

参考

- インクタンクを振らずに、インクタンク交換後、自動的にインクをかき混ぜるように設定することもできます。

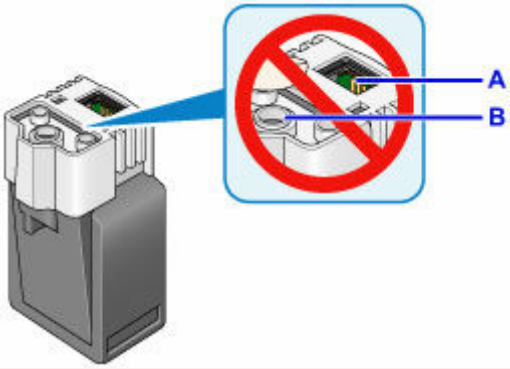
  ➡ 自動メンテナンス設定

6. インクタンクを袋から取り出す



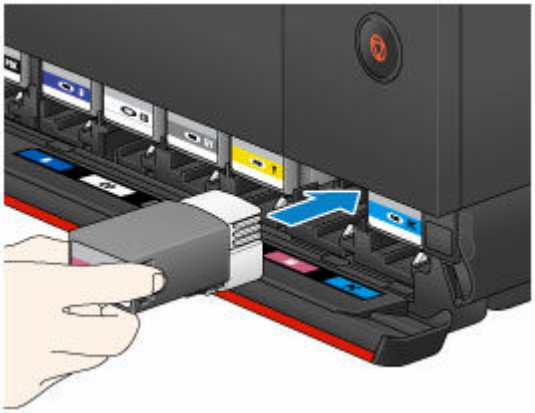
重要

- インクタンクのコンタクト面（A）やジョイント面（B）には触れないでください。



7. 新しいインクタンクをまっすぐに差し込む

ラベルに合わせて取り付けます。



8. インクタンク前面の（PUSH）部分をしっかり押し込んで、インクタンクを固定する

新しいインクタンクを取り付けると、液晶モニターにインクが表示されます。

重要

- インクタンクの取り付け位置を間違えると差し込めません。インクタンクは正しい位置に取り付けてください。
- ひとつでもセットされていないインクタンクがあると印刷できません。かならずすべてのインクタンクをセットしてください。
- 一度取り付けたインクタンクは、次回交換するまで取り外さないでください。インクが十分に残っているときにインクタンクを取り外すと、インクが飛び散る場合があります。

9. タンクカバーを閉じる

画面にメッセージが表示されたら、OK ボタンを押します。

参考

- タンクカバーを閉じると、インクの充填が行われます（約 1～2 分）。自動的にインクをかき混ぜる設定にしている場合は、続いてインクのかき混ぜ動作が行われます（約 2 分）。液晶モニターに終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。
- インクをかき混ぜている間、動作音がする場合がありますが、正常な動作です。

インクタンクについてのご注意

⚠注意

- 安全のため、インクタンクはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

重要

- 取り外したインクタンクのインク供給部には、インクが付着している場合があります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例*も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。

  （* すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。）

- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- 非純正インクタンクまたは非純正インクを使用した製品の修理においては、保守契約の有無や有償修理・無償修理を問わず、追加の特殊点検等のための、特別料金をいただく場合があります。
- インクタンクの交換は速やかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インクタンクの交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後 6 ヶ月以内に使い切るようにしてください（本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

参考

- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ写真を印刷したりするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。また、本製品の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニング、システムクリーニングでも、各色のインクが使われます。

  インクがなくなった場合は、速やかに新しいインクタンクに交換してください。

  ➡ インクについて知っておきたいこと

インク残量を確認する

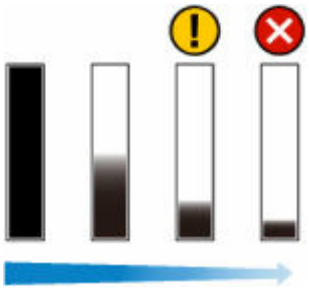
インクの残量は、液晶モニターで確認できます。

1. ホーム画面でインク表示部を選ぶ

➡ 液晶モニター画面と操作パネルの使いかた

2. インクの状態を確認する

インク残量が少なくなると液晶モニターのインクの残量の上に⚠が、インクがなくなると✕が表示されます。



参考

- インクの残量確認を指示するメッセージが表示された場合や、インクを大量に消費する長尺印刷やヘッドクリーニングを行う場合は、残量を確認し、必要に応じてインクタンクを交換してください。

  ➡ インクタンクを交換する

- ［インクの型番］→［インクを購入］を選ぶと、インクの購入先情報を確認できます。

プリントヘッドを交換する

液晶モニターにプリントヘッドの交換を指示するエラーメッセージが表示された場合や、キヤノンお客様相談センターから指示された場合は、プリントヘッドを交換してください。

対応しているプリントヘッド

プリンターに対応しているプリントヘッドについては、「プリントヘッド」を参照してください。

プリントヘッド取り扱いの注意

プリントヘッドを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

⚠注意

- 安全のため、プリントヘッドはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 印刷直後は、プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドが高温になっていて、やけどする場合があります。

重要

- 取り外したプリントヘッドのノズルには、インクが付着している場合があります。プリントヘッドの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- プリントヘッドの袋は、プリンターに取り付ける直前まで開封しないでください。また、袋から取り出したプリントヘッドは、すぐにプリンターに取り付けてください。開封したまま放置すると、プリントヘッドのノズルが乾いて、印刷品質が低下する場合があります。

プリントヘッドの交換手順

⚠注意

- 印刷直後にプリントヘッドを交換する場合は、数分間待ってから作業してください。印刷直後は、プリントヘッドの金属部分が熱くなっているので、触れるとやけどする場合があります。

重要

- プリントヘッドの交換では、手が汚れる場合があります。交換時は、プリントヘッドの箱に同梱されている手袋を装着してください。

参考

- インクの残量が少ない場合は、新しいインクタンクを準備してください。

- メンテナンスカートリッジの残り容量が少ない場合は、新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。

1. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

2. ［ヘッド交換］を選ぶ

確認画面が表示されます。

3. メッセージを確認し、［開始］を選ぶ

重要

- メンテナンスカートリッジの空き容量が十分でない場合、メンテナンスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されます。メッセージに従って、メンテナンスカートリッジを交換してください。このメッセージが表示された場合、新しいメンテナンスカートリッジに交換するまで、本製品は使用できなくなります。

  ➡ メンテナンスカートリッジを交換する

- インクの残量が十分でない場合、インクタンクの交換を促すメッセージが表示されます。メッセージに従って、インクタンクを交換してください。このメッセージが表示された場合、新しいインクタンクに交換するまで、本製品は使用できなくなります。

  ➡ インクタンクを交換する

4. メッセージが表示されたら、トップカバーを開く

インクが吸引されます。インクの吸引には約 6～7 分かかります。

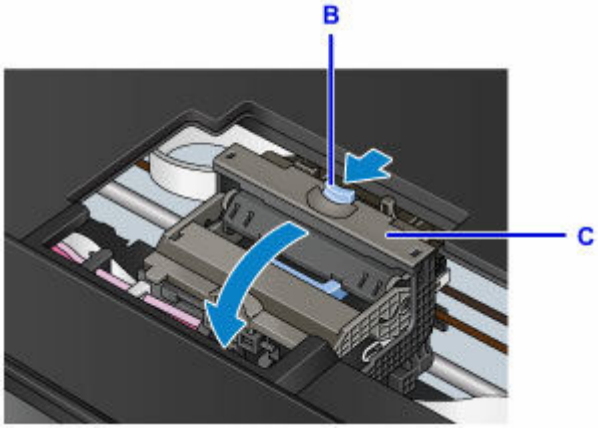
吸引が終了すると、プリントヘッドホルダー（A）が交換位置に移動し、液晶モニターにプリントヘッド交換の手順が表示されます。

重要

- インクの吸引中は、以下の注意事項を必ずお守りください。これらの注意事項を守らないと、インクの吸引が中断されてやり直しが発生し、インクの消費量が増えることがあります。
  - 電源プラグを抜くなどして電源を切らないでください。
  - タンクカバーを開けないでください。
  - メンテナンスカバーを開けないでください。
  - 本体を移動させたり、持ち上げたりしないでください。

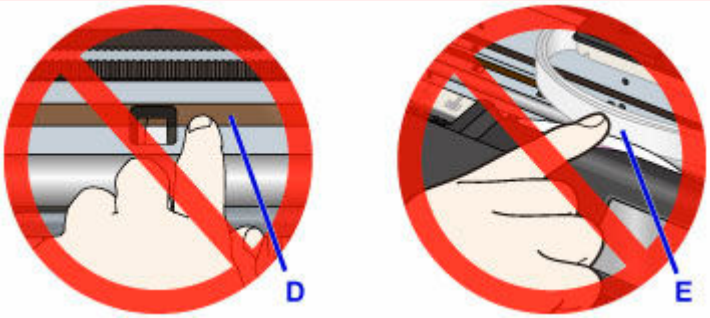
- プリントヘッドの交換が完了するまでトップカバーは閉じないでください。

5. ロックボタン（B）を矢印の方向に押しながら、ジョイントレバー（C）を手前に引く

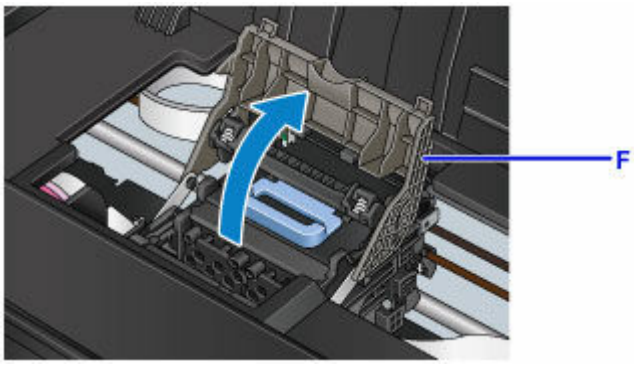


重要

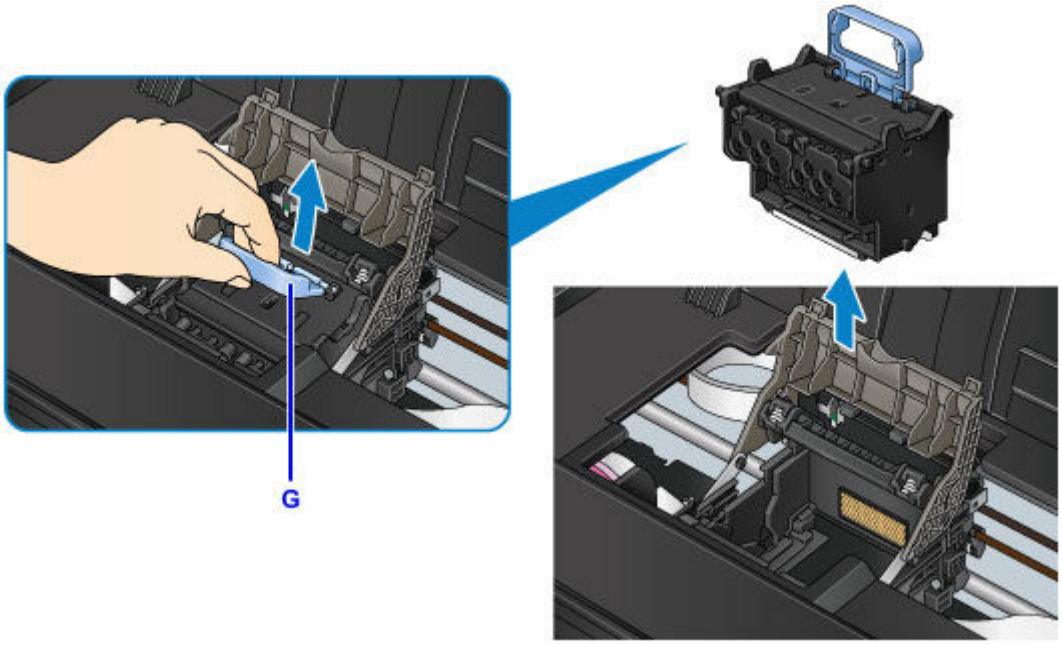
- 透明のフィルム（D）や、白い帯状の部品（E）に触れないでください。これらの部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。



6. プリントヘッド固定レバー（F）を、止まるまでしっかり開く



7. 取っ手（G）を持ってプリントヘッドを取り外す



重要

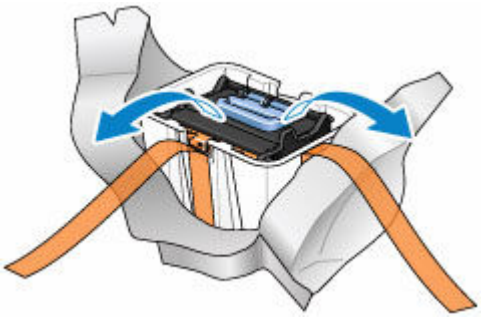
- プリントヘッドホルダーの電極部（H）には、絶対に触れないでください。また、プリントヘッドホルダーの電極部にごみを付着させないでください。プリンターの故障の原因になります。

参考

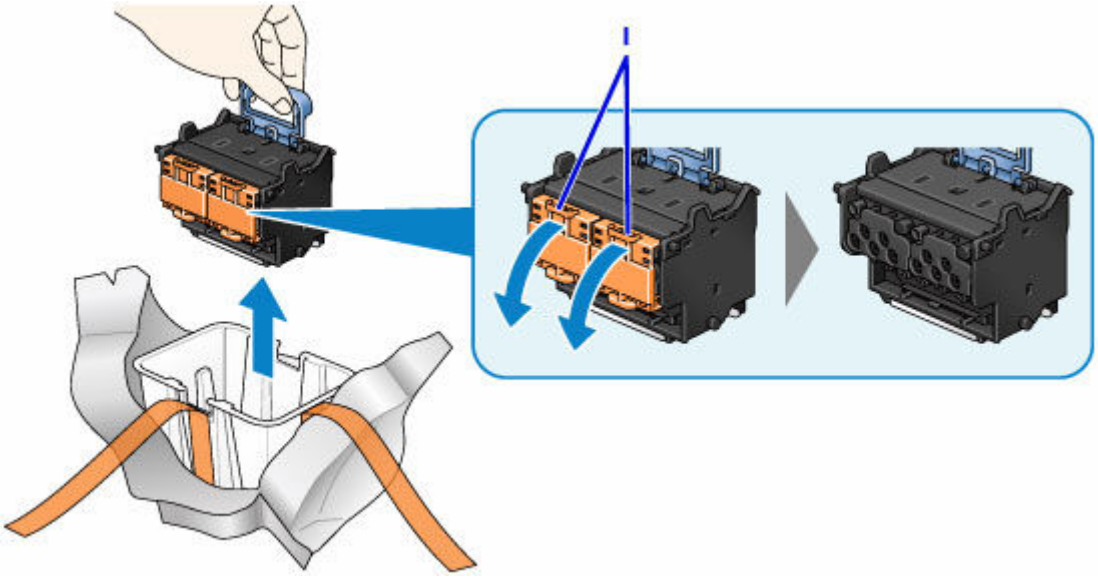
- 取り出したプリントヘッドは、地域の条例に従って廃棄してください。

8. 新しいプリントヘッドを開封する

袋からヘッドケースを取り出し、テープをはがします。

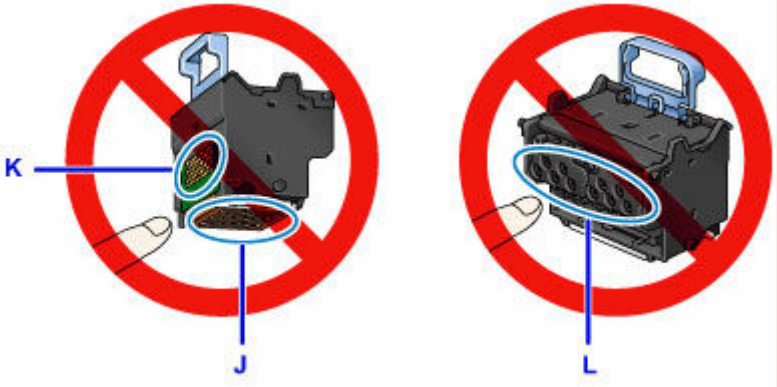


9. 取っ手を持ってプリントヘッドを持ち上げ、左右 2 つの保護キャップ（I）を取り外す



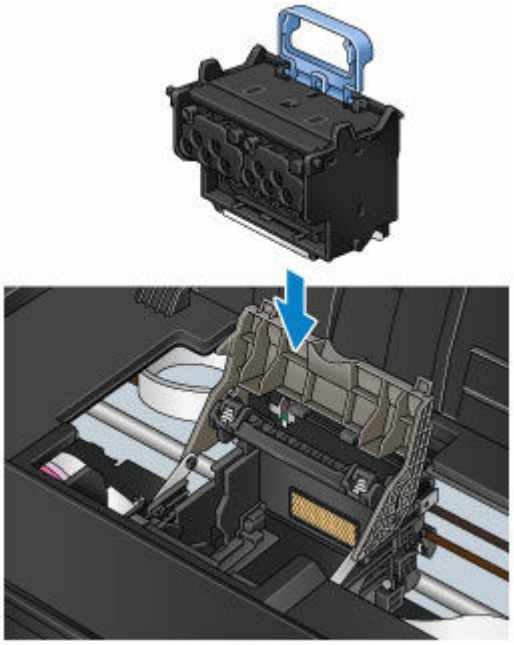
重要

- プリントヘッドは、必ず取っ手を持って取り扱ってください。ノズル（J）や電極部（K）には、絶対に触れないでください。プリントヘッドの破損や印刷不良の原因になります。
- インク供給部（L）には、絶対に触れないでください。印刷不良の原因になります。

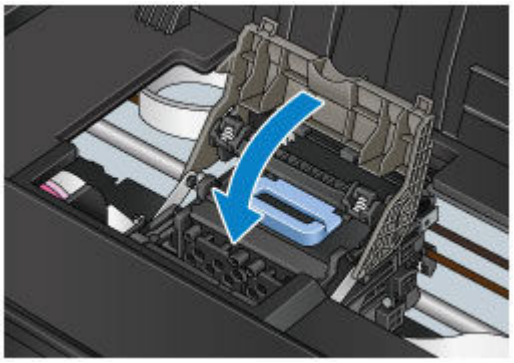


- 保護キャップの内側には、ノズルを保護するためのインクが塗られています。取り外す際は触れないように注意してください。
- プリントヘッドには、ノズルを保護するためのインクが入っています。保護キャップを取り外す際は、こぼして衣服や周囲を汚さないようにプリントヘッドが入っていたヘッドケースの上などで行うことをお勧めします。こぼれてしまった場合は、乾いた布などでインクをふき取ってください。
- プリントヘッドを一時的に置く場合は、同じ向きのままヘッドケースに戻してください。ヘッドケースを使わずにノズルや電極部を下向きに置くと、損傷し、印刷品質が低下する場合があります。
- 取り外した保護キャップは、再装着しないでください。これらのものは、地域の条例に従って処理してください。

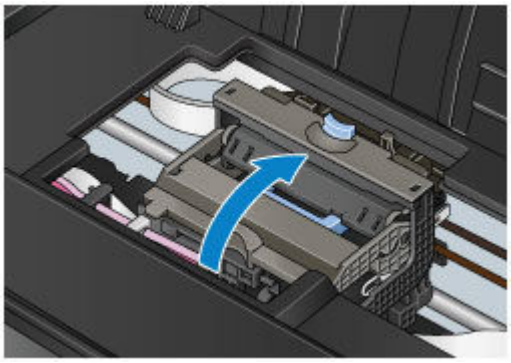
10. ノズル、電極部、およびインク供給部がプリントヘッドホルダーに当たらないように注意しながら、奥までしっかりと押し込む



11. プリントヘッド固定レバーを閉じる



12. ジョイントレバーを、「カチッ」と音がするまで完全に閉じる



13. トップカバーを閉じる

インクが充填されます。所要時間は約 16～17 分です。

充填が終了すると、確認画面が表示されます。

液晶モニターの指示に従って、プリントヘッド位置調整を行ってください。

重要

- インクの充填中は、絶対にインクタンクおよびメンテナンスカートリッジを取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。

- インクの充填中は、以下の注意事項を必ずお守りください。これらの注意事項を守らないと、インクの充填が中断されてやり直しが発生し、インクの消費量が増えることがあります。
  - 電源プラグを抜くなどして電源を切らないでください。
  - タンクカバーを開けないでください。
  - メンテナンスカバーを開けないでください。
  - 本体を移動させたり、持ち上げたりしないでください。

参考

- プリントヘッドの交換作業が終わったら、カラーキャリブレーションを行ってください。

➡ カラーキャリブレーションを行う

メンテナンスカートリッジを交換する

対応しているメンテナンスカートリッジ

プリンターに対応しているメンテナンスカートリッジについては、「メンテナンスカートリッジ」を参照してください。

メンテナンスカートリッジの取り扱い上の注意

メンテナンスカートリッジを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

⚠注意

- 安全のため、メンテナンスカートリッジはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

重要

- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。
- 電源を入れた直後のプリンターの初期化中、プリントヘッドのクリーニング中、インク吸引中およびメンテナンスカートリッジの交換直後の初期化中は、メンテナンスカートリッジを取り出さないでください。

  メンテナンスカートリッジが故障したり、インクが漏れる可能性があります。
- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

メンテナンスカートリッジの交換手順

メンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容を確認し、手順 4 に進んでください。

1. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

2. ［メンテナンスカートリッジ情報］を選ぶ

3. ［交換する］を選ぶ

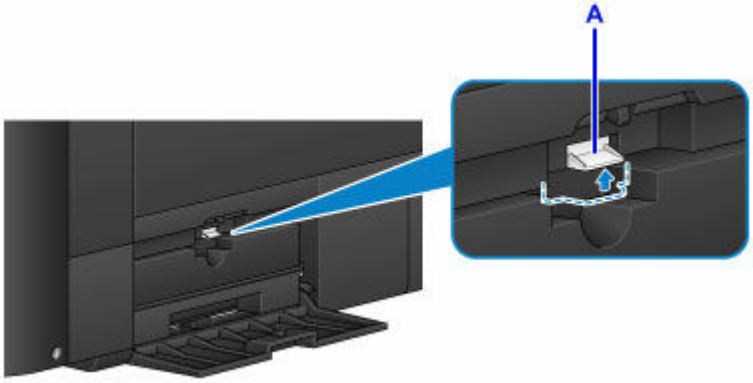
確認画面が表示されます。

4. メッセージを確認し、［はい］を選ぶ

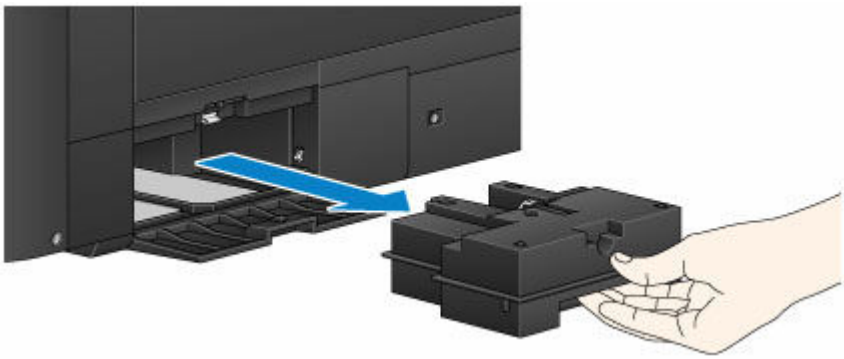
5. 新しいメンテナンスカートリッジを用意して［OK］を選ぶ

6. メンテナンスカバーを開く

7. ロックレバー（A）を指で押し上げる



8. メンテナンスカートリッジを取り外す

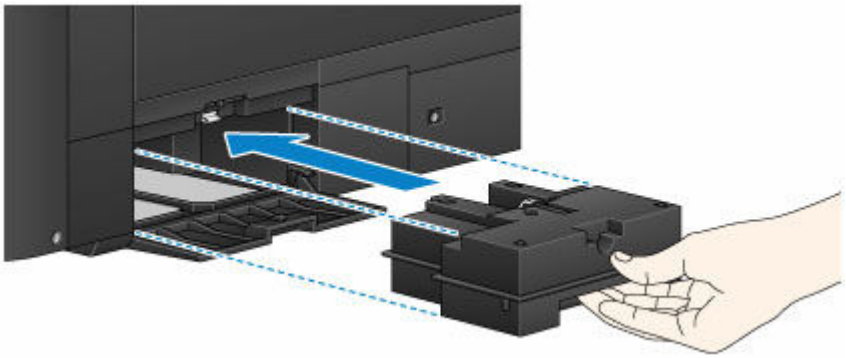


参考

- キヤノンでは、地球環境保全と資源の有効活用を目的として、使用済みのメンテナンスカートリッジを回収しています。使用済みのメンテナンスカートリッジは、交換用のメンテナンスカートリッジに付属している説明書に従って処理してください。

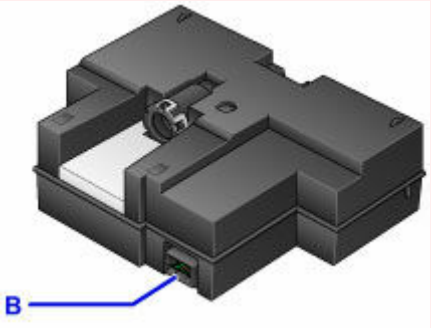
9. 新しいメンテナンスカートリッジをまっすぐに差し込む

メンテナンスカートリッジは、図のように四隅を取り付け口に沿わせてセットします。

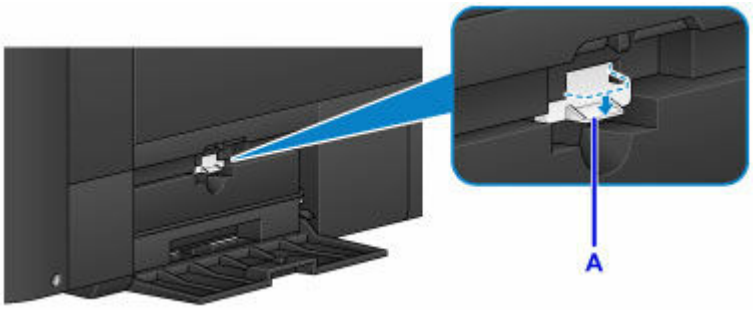


重要

- メンテナンスカートリッジの端子（B）には触れないでください。



10. ロックレバー（A）を下げて固定する



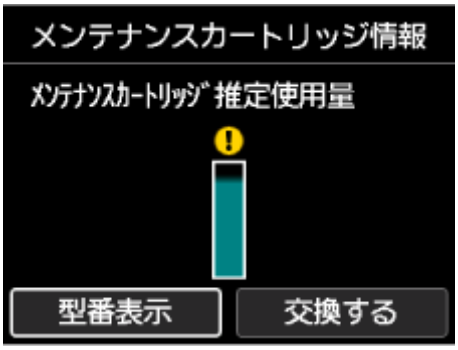
11. メンテナンスカバーを閉じる

メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

メンテナンスカートリッジは、フチなし印刷やヘッドクリーニングで使用するインクを吸収するためのカートリッジです。メンテナンスカートリッジがあとどれくらいのインクを吸収できるかは、液晶モニターで確認できます。

1. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

2. ［メンテナンスカートリッジ情報］を選ぶ



液晶モニターにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されたら、メンテナンスカートリッジを交換してください。

また、メンテナンスカートリッジの残り容量の確認を指示するメッセージが表示された場合や、ヘッドクリーニングの実行やプリンターの輸送によってメンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合は、残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを用意してください。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

プリンターの清掃

- プリンターの外装を清掃する
- 給紙ローラーをクリーニングする
- インクふき取りクリーニングを行う

プリンターの外装を清掃する

かならず柔らかくて乾いた布（メガネふきなど）を使用し、なるべく布のしわを伸ばしてからやさしく汚れをふき取ってください。

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

  ➡ 電源を入れる／切る

- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。プリンター内部に紙の粉や細かな糸くずなどが残り、プリントヘッドの目づまりや印刷不良などの原因になることがあります。
- 中性洗剤や、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障またはプリンターの表面を傷める原因になります。

給紙ローラーをクリーニングする

給紙ローラーに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラーのクリーニングを行います。給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの

上トレイの場合

A4 またはレターサイズの普通紙 3 枚

手差しトレイの場合

A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

2. ［給紙ローラークリーニング］を選ぶ

3. ［はい］を選ぶ

4. クリーニングする給紙箇所（［上トレイ］または［手差しトレイ］）を選ぶ

5. ［上トレイ］を選んだ場合は、上トレイにセットされている用紙をすべて取り除き、OK ボタンを押す

給紙ローラーが回転し、用紙を使用しないクリーニングが開始されます。

給紙ローラーが停止すると、クリーニングが終了します。

6. メッセージに従って、選んだ給紙箇所に A4 またはレターサイズの普通紙をセットする

- 上トレイに用紙をセットする
- 手差しトレイに用紙をセットする

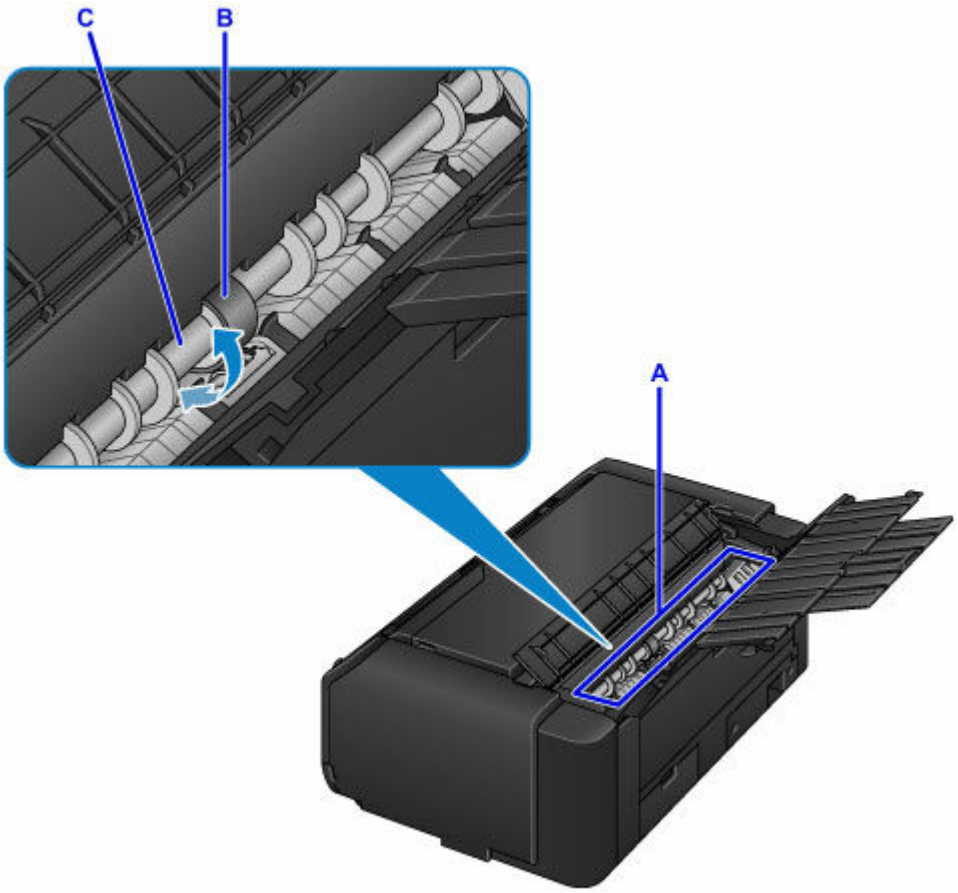
上トレイの場合は 3 枚、手差しトレイの場合は 1 枚セットします。

7. OK ボタンを押す

クリーニングが開始されます。用紙が排出されるとクリーニングが終了します。

8. クリーニング終了のメッセージが表示されたら、OK ボタンを押す

給紙ローラークリーニングを行っても改善がみられない場合は、電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜き、湿らせた綿棒などを使って上トレイ内にある給紙ローラー（中央の太いローラーと左右に 4 つずつあるローラー）（A）を回しながら拭いてください。給紙ローラー（B）は指で触らず、シャフト部分（C）を指で回しながら綿棒で拭いてください。



綿棒による清掃が終わったら、プリンターの電源を入れ、もう一度操作パネルから給紙ローラーのクリーニングを行ってください。

上記の操作を行っても改善されない場合は、キヤノンサポートホームページから修理をご依頼ください。

インクふき取りクリーニングを行う

プリンター内部の汚れを取ります。プリンター内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れる場合がありますので、定期的に行うことをお勧めします。

用意するもの：A3 サイズの普通紙*1 枚

* 新しい用紙を用意してください。

1. **ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ**

2. **［インクふき取りクリーニング］を選ぶ**

3. **［はい］を選ぶ**

4. **メッセージに従って、上トレイにセットされている用紙をすべて取り除き、OK ボタンを押す**

5. **A3 サイズの普通紙を横半分に折ってから開き、OK ボタンを押す**

6. **開いた面が表になるように、上トレイに横向きにセットする**

   ➡ 上トレイに用紙をセットする

7. **OK ボタンを押す**

   インクふき取りクリーニングが実行され、用紙が排出されます。

   排出された用紙の山折り部分を確認し、インクが付いている場合は再度クリーニングを行います。

8. **インクふき取りクリーニング終了のメッセージが表示されたら、OK ボタンを押す**

   参考

   - 再度インクふき取りクリーニングを行う場合は、新しい用紙をご使用ください。

再度クリーニングを行ってもインクが付くときは、プリンター内部の突起が汚れている場合があります。綿棒などを使って突起からインク汚れを丁寧にふき取ってください。

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

  ➡ 電源を入れる／切る

パソコンからメンテナンス機能を実行する（macOS）

- メンテナンスのためにリモート UI を開く
- プリントヘッドをクリーニングする
- パソコンでインクの状態を確認する
- ノズルチェックパターンを印刷する

メンテナンスのためにリモート UI を開く

リモート UI から、プリンターのメンテナンスを行ったり、プリンターの設定を変更したりすることができます。
リモート UI を開くには、次の手順で行います。

1. ［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選ぶ

2. プリンターリストからお使いの機種を選び、［オプションとサプライ...］をクリックする

3. ［一般］タブの［プリンタの Web ページを表示...］をクリックする

リモート UI が起動します。

参考

- リモート UI の起動後にパスワードを入力する必要がある場合があります。その場合は、パスワードを入力し［OK］をクリックしてください。パスワードがわからない場合は、「パスワードと Cookie について」を参照してください。

関連項目

- プリントヘッドをクリーニングする
- パソコンでインクの状態を確認する
- ノズルチェックパターンを印刷する
- プリンターの設定を変更する
- プリンターの動作音を抑える

プリントヘッドをクリーニングする

クリーニングや強力クリーニングを行うと、プリントヘッドのノズルの目づまりを改善することができます。インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。

［クリーニング］

1. リモート UI から［ユーティリティ］を選ぶ

2. ［クリーニング］をクリックする

クリーニングの実行前に以下の項目を確認してください。

プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。その後、必要に応じて［クリーニング］を行ってください。

- インクは残っていますか？
- 音がするまでしっかりと装着されていますか？
- オレンジ色のテープがある場合、きれいにはがれていますか？
  テープが残っているとインクが出にくくなります。
- インクの装着位置は正しいですか？

3. クリーニングを実行する

［はい］をクリックします。

クリーニングが開始されます。

4. クリーニングを完了する

続けてノズルチェックパターン印刷のメッセージが表示されます。

5. 結果を確認する

改善されているか確認する場合は［はい］を、確認しない場合は［いいえ］をクリックします。

クリーニングを 1 回行っても改善しないときは、もう一度繰り返してください。

重要

- ［クリーニング］は少量のインクを使用します。
  頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

［強力クリーニング］

［強力クリーニング］は、より強力なクリーニング機能です。［クリーニング］を 2 回繰り返しても改善しないときに実行してください。

1. リモート UI から［ユーティリティ］を選ぶ

2. ［強力クリーニング］をクリックする

強力クリーニングの実行前に以下の項目を確認してください。

プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。その後、必要に応じて［強力クリーニング］を行ってください。

- インクは残っていますか？
- 音がするまでしっかりと装着されていますか？
- オレンジ色のテープがある場合、きれいにはがれていますか？
  テープが残っているとインクが出にくくなります。
- インクの装着位置は正しいですか？

3. 強力クリーニングを実行する

［はい］をクリックします。

強力クリーニングが開始されます。

4. 強力クリーニングを完了する

続けてノズルチェックパターン印刷のメッセージが表示されます。

5. 結果を確認する

改善されているか確認する場合は［はい］を、確認しない場合は［いいえ］をクリックします。

重要

- ［強力クリーニング］は、［クリーニング］よりも多くのインクを使用します。
  頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

参考

- ［強力クリーニング］を行っても改善しないときは、プリンターの電源を切り、24 時間経過してからもう一度実行してください。それでも改善しないときは、インクがなくなっているか、プリントヘッドが消耗している可能性があります。この場合の具体的な対処方法については、「インクが出ない」を参照してください。

関連項目

➡ ノズルチェックパターンを印刷する

パソコンでインクの状態を確認する

インクの残量や、お使いの機種に合ったインクタンクの名称などを確認できます。

リモート UI から［プリンターの状態］を選ぶと、インクの状態が、イラストで表示されます。

［推定インクレベル］

インクの種類と状態が確認できます。
インク残量警告やインクなしエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。

［インクの型番］

プリンターに合ったインクタンクを調べることができます。

参考

- インクの状態は、プリントダイアログの［プリンタ情報］にある［サプライのレベル］でも確認できます。

ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンを印刷すると、プリントヘッドの状態を確認することができます。印刷がかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりするときに実行してください。

［ノズルチェックパターン印刷］

1. リモート UI から［ユーティリティ］を選ぶ

2. ［ノズルチェックパターン印刷］をクリックする

確認のメッセージが表示されます。
ノズルチェックパターン印刷の実行前に以下の項目を確認してください。

プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。その後、必要に応じて［ノズルチェックパターン印刷］を行ってください。

- インクは残っていますか？
- 音がするまでしっかりと装着されていますか？
- オレンジ色のテープがある場合、きれいにはがれていますか？
  テープが残っているとインクが出にくくなります。
- インクの装着位置は正しいですか？

3. プリンターに用紙をセットする

上トレイに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします。

4. ノズルチェックパターンを印刷する

［はい］をクリックします。
ノズルチェックパターンの印刷が開始されます。

5. 印刷結果を確認する

ダイアログが表示されたら、印刷結果を確認し、正常な場合は［すべて A］をクリックします。

かすれていたり、印刷されない部分があったりする場合は、［B がある］をクリックして、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

関連項目

➡ プリントヘッドをクリーニングする

その他のメンテナンス

- 本製品を移動する
- 本製品を輸送する
- プリンターを再設置する
- ファームウェアをアップデートする

本製品を移動する

プリンターを設置場所から水平な状態で移動するときは、次のことに注意して移動してください。

重要

- プリンターを移動するときは、本体を傾けたり、立てたり、逆さにしたりしないでください。移動中にインクが漏れるおそれがあります。
- プリンターを移動する場合は、2 人で持ち上げて運んでください。
- インクタンクとメンテナンスカートリッジは取り外さないでください。また、プリンターの電源は、電源ボタンを押してお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- 再設置の際は、インク供給ストッパーに注意して平らな場所に設置してください。

本製品を輸送する場合は、本製品を輸送するを参照してください。

本製品を輸送する

プリンターを輸送するときには、本体を傾けたり、立てたり、逆さにしたりしないでください。輸送中にインクがもれるおそれがあります。

プリンターを水平な状態で輸送できる場合：

➡ 梱包する

輸送中にプリンターが傾く可能性がある場合：

重要

- 本製品を傾けたり、立てたり、逆さにした状態にすると、インクが漏れる可能性があります。

  そのため、輸送を行う場合は、インク漏れを防ぐために、プリンター内部のインクおよびインクカートリッジ内のインクの一部をメンテナンスカートリッジに排出する必要があります。

  排出されるインクを溜めるために必要な空き容量がメンテナンスカートリッジに残っていない場合、新しいメンテナンスカートリッジへの交換が必要になります。メンテナンスカートリッジは、最大 3 個必要となります。

  メンテナンスカートリッジの交換ができないと、当該輸送の準備ができなくなりますので、事前にメンテナンスカートリッジを用意しておくことをお勧めします。

  なお、当該輸送の準備のために取り外したメンテナンスカートリッジは、通常の印刷時においては、まだ使用可能な空き容量が残っている場合があります。

  その場合には、再装着して使用することができます。

  当該輸送の準備を行った後に本製品をご使用になる場合は、プリンターを印刷可能な状態に設定するために、インクを消費します。また、これに伴い、メンテナンスカートリッジも使用されます。

輸送の準備操作を行って、インクタンクを取り外してください。

1. 輸送の準備を行う
2. 梱包する
3. 再設置を行う

輸送の準備を行う

1. ホーム画面で ［メンテナンス］を選ぶ

2. ［輸送の準備］を選ぶ

3. メッセージを確認し、［はい］を選ぶ

本体内部のインクがメンテナンスカートリッジに排出されます。終了まで約 5 分かかります（メンテナンスカートリッジの交換にかかる時間を含みません）。

動作中は、ほかの操作を行わないでください。

重要

- メンテナンスカートリッジの空き容量が少ない場合、メンテナンスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されます。メッセージに従って、メンテナンスカートリッジを交換してください。
- インクの排出中は、以下の注意事項を必ずお守りください。これらの注意事項を守らないと、インクの排出が中断されてやり直しが発生し、インクの消費量が増えることがあります。
  - 電源プラグを抜くなどして電源を切らないでください。
  - タンクカバーを開けないでください。
  - メンテナンスカバーを開けないでください。
  - 本体を移動させたり、持ち上げたりしないでください。

4. インクタンクの取り外しを促すメッセージが表示されたら、インクタンクをすべて取り外す

➡ インクタンクを交換する

5. タンクカバーを閉じる

6. メンテナンスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従ってメンテナンスカートリッジを交換する

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

本体内部のインクがメンテナンスカートリッジに排出されます。終了まで約 6 分かかります（メンテナンスカートリッジの交換にかかる時間を含みません）。

動作中は、ほかの操作を行わないでください。

完了のメッセージが表示されたら、プリンターの電源を切ることができます。

重要

- 衣服や周囲を汚さないよう、取り外したインクタンクは袋に入れて扱ってください。また、インクタンクを落としたり、力を加えたりするなど乱暴に扱うことは避けてください。

梱包する

1. プリンターの電源を切る

➡ 電源を入れる／切る

2. 電源ランプが消えていることを確認して、電源プラグをコンセントから抜く

重要

- 電源ランプが点灯／点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。プリンターの不良や故障の原因になり、印刷できなくなることがあります。

3. 排紙サポートを収納し、補助トレイと排紙トレイを閉じる

4. 上トレイまたは手差しトレイを閉じる

上トレイを閉じる場合は、補助サポートを収納し、用紙サポートを閉じます。

手差しトレイを閉じる場合は、補助サポートと用紙サポートを収納して閉じます。

5. 接続ケーブルと電源コードを取り外す

6. 各カバー類が開かないようにテープを貼って固定し、袋に入れる

重要

- プリンターを持ち上げる場合は、左右から 2 人で持ち上げてください。

7. プリンターの周囲を保護材ではさんで箱に入れる

重要

- プリンターの輸送後の設置作業については、「プリンターを再設置する」を参照してください。

プリンターを再設置する

再設置を行う

輸送の準備を行ってプリンターを輸送した場合は、以下の手順で設置し直してください。

重要

- 再設置では、本体やプリントヘッド内部にインクを充填するため、大量のインクを消費します。また、大量のインクを排出するため、新品のインクタンクや新品のメンテナンスカートリッジが追加で必要な場合があります。事前にインクタンクやメンテナンスカートリッジを用意してください。インクタンクやメンテナンスカートリッジの交換を促すメッセージが表示された場合、新しいインクタンクやメンテナンスカートリッジに交換するまで、本製品は使用できなくなります。

1. プリンターを箱から取り出す

重要

- プリンターを持ち上げる場合は、左右から 2 人で持ち上げてください。
- 再設置の際は、インク供給ストッパーに注意して平らな場所に設置してください。

2. プリンターの電源ボタンを押して、電源を入れる

➡ 電源を入れる／切る

3. メッセージを確認し、［はい］を選ぶ

4. メッセージが表示されたら、タンクカバーを開き、取り外したインクタンクをすべて取り付ける

➡ インクタンクを交換する

タンクカバーを閉じると、再設置の準備が行われます。しばらくお待ちください。

動作中は、ほかの操作を行わないでください。

再設置の準備が終わるとメインメニューが表示されます。

重要

- インクの残量が十分でない場合、インクタンクの交換を促すメッセージが表示されます。メッセージに従ってインクタンクを交換し、戻るボタンを押してください。

  取り外したインクタンクは、通常の印刷ではまだ使用できる場合がありますので、保管しておくことをお勧めします。
- メンテナンスカートリッジの空き容量が十分でない場合、メンテナンスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されます。メッセージに従ってメンテナンスカートリッジを交換し、戻るボタンを押してください。

  取り外したメンテナンスカートリッジは、通常の印刷ではまだ使用できる場合がありますので、保管しておくことをお勧めします。
- 衣服や周囲を汚さないよう、取り外したインクタンクは袋に入れて扱ってください。また、インクタンクを落としたり、力を加えたりするなど乱暴に扱うことは避けてください。
- 再設置の準備中は、以下の注意事項を必ずお守りください。これらの注意事項を守らないと、再設置の準備が中断されてやり直しが発生し、インクの消費量が増えることがあります。

- 電源プラグを抜くなどして電源を切らないでください。
- タンクカバーを開けないでください。
- メンテナンスカバーを開けないでください。
- 本体を移動させたり、持ち上げたりしないでください。

ファームウェアをアップデートする

重要

- この機能を使用する前に、プリンターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

操作パネルの場合

1. ホーム画面で ［各種設定］を選ぶ

2. ［本体設定］を選ぶ

3. ［ファームウェアのアップデート］を選ぶ

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

4. ［アップデートの実行］を選ぶ

5. ［はい］を選ぶ

6. メッセージの内容を確認し、［アップデート開始］を選ぶ

リモート UI の場合

1. リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する

2. ［ファームウェアのアップデート］を選ぶ

3. ［アップデートの実行］を選ぶ

4. メッセージの内容を確認し、［アップデート］を選ぶ

参考

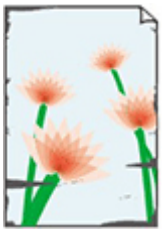
- アップデートに失敗したときは以下を確認し、対処してください。
  - Wi-Fi ルーターなど、ネットワークの設定を確認してください。
  - 液晶モニターに［サーバーに接続できません］と表示された場合は、［OK］を選んで、しばらく待ってから操作をやり直してください。

よくあるご質問

印刷品質のトラブル

ムラ、スジ、かすれ

- 印刷がかすれる／白いスジが入る
- 色味の違うスジが入る／色ムラが発生する



汚れ

- 印刷面が汚れる／こすれる／インクがにじむ／用紙が反る
- 用紙の裏面が汚れる

色味が異なる

- 色味が違って印刷される
- モノクロで印刷される

線

- 線がずれる／ゆがむ

- 罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）
- 画像が欠ける／最後まで印刷できない
- 画像の横に縦線パターンが印刷される

一般的なご質問

- macOS 15 以降でソフトウェアが動作しない
- トラブルが発生したときは
- プリンターの接続方法
- プリンターの診断機能でネットワークトラブルを解決する
- ［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）
- 印刷が始まらない
- プリンタードライバーがインストールできない（Windows）

カテゴリーから探す

ネットワーク上でセットアップできない

- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- ［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）
- ［Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました］と表示された
- Wi-Fi ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった
- Wi-Fi ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能について
- スマートフォン／タブレットを使用してセットアップをしたい

ネットワーク上にプリンターが見つからない

- ネットワークにプリンターが見つからない
- セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する

ネットワーク環境で印刷できない

- スマートフォン／タブレットから印刷できない
- AirPrint で印刷できない

ネットワーク設定のトラブル

- ネットワークについてよくあるご質問
- プリンターの診断機能でネットワークトラブルを解決する
- ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない
- Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）／パスワードを確認したい
- ネットワークに関する設定を調べたい
- プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す
- スマートフォン／タブレットを Wi-Fi ルーターに接続できない
- スマートフォン／タブレットが選んでいる Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）を確認したい

本体のトラブル

- トラブルが発生したときは
- 電源が入らない
- 電源が自動的に切れてしまう
- USB 接続トラブル

- プリンターのネットワークや各種機器との接続を切り替える
- 液晶モニターの表示が消えている
- プリンター状態の確認画面が表示されない（Windows）
- メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない
- カラーキャリブレーションしたら警告画面が表示される
- プリンターのファームウェアをアップデートしたい

インストール／ダウンロードに関するトラブル

- プリンタードライバーがインストールできない（Windows）
- ネットワーク環境でプリンタードライバーをアップデートする（Windows）
- プリンター使用状況の送信を停止したい
- セットアップアプリで管理者ユーザー名とパスワードを聞かれた（Windows）
- 印刷できるパソコン／スマートフォン／タブレットを追加したい
- ネットワーク接続していないパソコンにプリンタードライバーをインストールしたい（Windows）
- Canon PRINT をダウンロードしたい

印刷のトラブル

- 印刷が始まらない
- 印刷が途中で止まる
- 通常使うプリンターが勝手に変わる（Windows）
- オフラインになる（Windows）／通信できない（Windows）
- Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows）

用紙がうまく給排紙されない

- 用紙がつまったときの対処方法
- 用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する
- プリンタードライバーで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない（Windows）
- 正常に給紙／排紙されないときの対処方法

用紙設定のトラブル

- このプリンターで使用できる用紙の種類が知りたい

インクに関連するトラブル

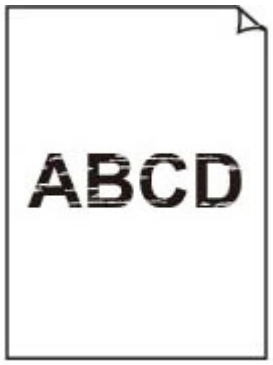
- インクが出ない
- インクが異常に消費される

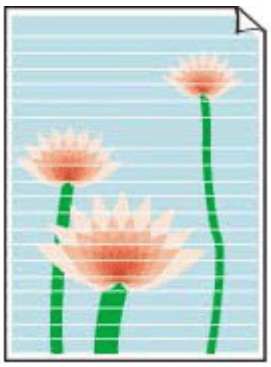
印刷品質のトラブル

- 印刷がかすれる／白いスジが入る
- 色味の違うスジが入る／色ムラが発生する
- 印刷面が汚れる／こすれる／インクがにじむ／用紙が反る
- 用紙の裏面が汚れる
- 色味が違って印刷される
- モノクロで印刷される
- 線がずれる／ゆがむ
- 罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）
- 画像が欠ける／最後まで印刷できない
- 画像の横に縦線パターンが印刷される

Q

印刷がかすれる／白いスジが入る





A

チェック 1 セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っているか確認してください

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

- **パソコンから印刷する場合：**

  プリンタードライバーの設定を確認してください。

  ➡ かんたんな設定で印刷する（Windows）
  ➡ かんたんな設定で印刷する（macOS）

- **スマートフォン／タブレットのアプリ から印刷する場合：**

  アプリの設定を確認してください。

  ➡ スマホでかんたん写真プリント

チェック 2 チェック 1 のリストを参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

チェック 3 用紙の裏面に印刷していませんか

用紙の表面に印刷します。

チェック 4 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ ノズルのつまりをチェックする

参考

- ノズルのつまりを印刷後に自動でチェックさせる場合は、液晶モニターのメニューで［自動ノズルチェック］を［無効］以外に設定します。

  ➡ 自動メンテナンス設定

チェック 5 プリンター内部に、つまった用紙の紙片が残っていませんか

プリンター内部に残っている紙片を取り除いてください。

➡ プリンターの内部で用紙がつまった場合

Q

色味の違うスジが入る／色ムラが発生する

A

チェック 1 セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っているか確認してください

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

- **パソコンから印刷する場合：**

  プリンタードライバーの設定を確認してください。

  ➡ かんたんな設定で印刷する（Windows）
  ➡ かんたんな設定で印刷する（macOS）

- **スマートフォン／タブレットのアプリ から印刷する場合：**

  アプリの設定を確認してください。

  ➡ スマホでかんたん写真プリント

チェック 2 チェック 1 のリストを参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

チェック 3 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ ノズルのつまりをチェックする

参考

- ノズルのつまりを印刷後に自動でチェックさせる場合は、液晶モニターのメニューで［自動ノズルチェック］を［無効］以外に設定します。

  ➡ 自動メンテナンス設定

チェック 4 プリントヘッドの位置調整を行ってください

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

参考

- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、手動プリントヘッド位置調整を行ってください。

  ➡ 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

チェック 5 クリアコート領域の設定を確認してください

- Windows をご使用の場合：

  プリンタードライバーの［用紙・品質］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。

  ［クリアコート］シートにある［クリアコート領域］が［自動］に設定されていると、画像によっては、クリアコート印刷の効果で思ったような印刷結果にならない場合があります。

  このような場合は、［クリアコート領域］の設定を［全面］にしてください。

  ➡ クリアコートの設定を変更する

- macOS をご使用の場合：

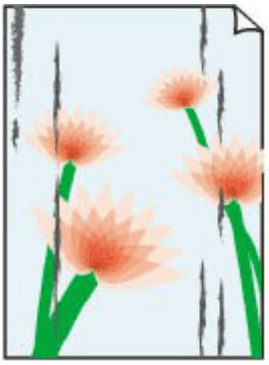
  プリントダイアログの［用紙の詳細設定］の［クリアコート領域］が［自動］に設定されていると、画像によっては、クリアコート印刷の効果で思ったような印刷結果にならない場合があります。

  このような場合は、［クリアコート領域］の設定を［全面］にしてください。

  ➡ クリアコートの設定を変更する

Q

印刷面が汚れる／こすれる／インクがにじむ／用紙が反る



A

チェック１ セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っているか確認してください

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

- **パソコンから印刷する場合：**

  プリンタードライバーの設定を確認してください。

  ➡ かんたんな設定で印刷する（Windows）
  ➡ かんたんな設定で印刷する（macOS）

- **スマートフォン／タブレットのアプリ から印刷する場合：**

  アプリの設定を確認してください。

  ➡ スマホでかんたん写真プリント

チェック 2 チェック 1 のリストを参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

チェック 3 適切な用紙を使用しているか確認してください

ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷には、キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドなどの写真専用紙を使用することをお勧めします。

➡ 使用できる用紙について

チェック 4 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください

キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま 1 枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

なお、長期間ご使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

- **普通紙の場合：**

  用紙の裏表を逆にしてセットしてください。

- **はがきなどその他の用紙の場合：**

  用紙の四隅が 3 mm（0.1 in.）（A）以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください

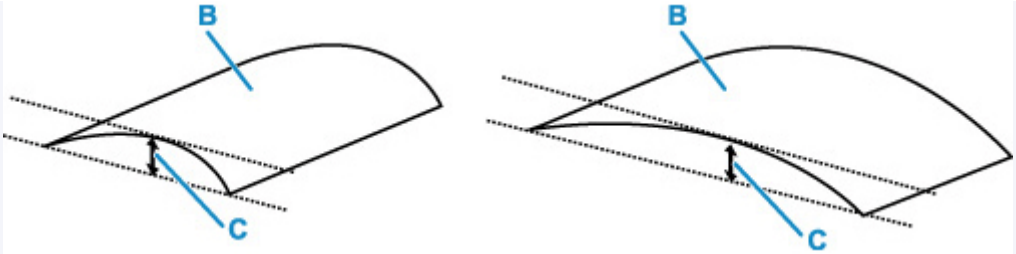
1. 下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める

2. 印刷する用紙が、平らになっていることを確認する

   反りを修正した用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参考

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、印刷する前にあらかじめ 3 mm（0.1 in.）（C）程度反りをつけてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。



(B) 印刷面

反りをつけた用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

チェック 5 用紙のこすれを改善する設定にしてみてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、プリンターの操作パネルかパソコンで用紙のこすれを改善する設定にしてください。

用紙のこすれを改善する設定にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。

* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

ホーム画面で ［各種設定］→［本体設定］→［印刷設定］を順に選び、［用紙のこすれ改善］を［する］に設定してください。

➡ 印刷設定

チェック 6 印刷の明るさを暗く設定している場合は、明るさの設定を明るくしてもう一度印刷してみてください

普通紙に明るさの設定を暗くして印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打つことがあり、印刷面がこすれる原因になります。

- パソコンから印刷する場合

  明るさの設定は、プリンタードライバーで確認できます。

  ➡ 明るさを調整する（Windows）
  ➡ 明るさを調整する（macOS）

チェック 7 余白 25mm の用紙サイズを選んでください

印刷面の先端／後端がこすれたり、汚れたりする場合は、余白が大きい用紙サイズ（余白 25mm）を選んで印刷してください。

キヤノン写真用紙・プレミアムマットやマットフォトペーパーなどの用紙に印刷するときは、余白 25mm の用紙サイズ、または L 判、KG サイズで印刷することをお勧めします。

➡ 余白 25 mm の用紙サイズ

チェック 8 印刷推奨領域を超えて印刷していませんか

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。

アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。

➡ 印刷領域

チェック 9 給紙ローラーが汚れていないか確認してください

給紙ローラーのクリーニングを行ってください。

➡ 給紙ローラーをクリーニングする

参考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック 10 プリンター内部が汚れていないか確認してください

両面印刷などを行うと、プリンターの内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。

インクふき取りクリーニングを行って、プリンター内部をお手入れしてください。

➡ インクふき取りクリーニングを行う

参考

- プリンター内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

チェック 11 印刷間隔を長くして、印刷してみてください

印刷間隔を長くすることで、印刷面が乾きやすくなり、汚れやこすれを防ぎます。

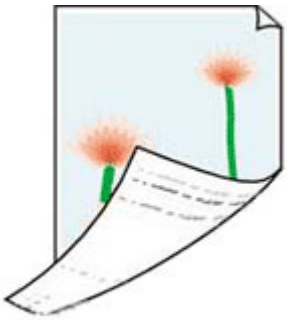
ホーム画面から［各種設定］→［本体設定］→［用紙関連の設定］→［用紙の詳細設定］を順に選びます。次に用紙の種類を選んで、［ページ間で休止する］を選び、印刷間隔を設定してください。

参考

- ホーム画面で （用紙設定表示部）を選び、［上トレイの用紙情報］画面で［詳細設定］を選んでも、［ページ間で休止する］の設定を指定できます。

Q

用紙の裏面が汚れる



A

チェック 1 セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っているか確認してください

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

- **パソコンから印刷する場合：**

  プリンタードライバーの設定を確認してください。

  ➡ かんたんな設定で印刷する（Windows）
  ➡ かんたんな設定で印刷する（macOS）

- **スマートフォン／タブレットのアプリ から印刷する場合：**

  アプリの設定を確認してください。

  ➡ スマホでかんたん写真プリント

チェック 2 チェック 1 のリストを参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

チェック 3 インクふき取りクリーニングを行って、プリンターの内部を清掃してください

➡ インクふき取りクリーニングを行う

参考

- フチなし全面印刷や両面印刷、多量に印刷を行うと、プリンターの内部が汚れることがあります。

Q

色味が違って印刷される

A

チェック 1 セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っているか確認してください

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

- **パソコンから印刷する場合：**

  プリンタードライバーの設定を確認してください。

  ➡ かんたんな設定で印刷する（Windows）
  ➡ かんたんな設定で印刷する（macOS）

- **スマートフォン／タブレットのアプリ から印刷する場合：**

  アプリの設定を確認してください。

  ➡ スマホでかんたん写真プリント

チェック 2 チェック 1 のリストを参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

チェック 3 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ ノズルのつまりをチェックする

参考

- ノズルのつまりを印刷後に自動でチェックさせる場合は、液晶モニターのメニューで［自動ノズルチェック］を［無効］以外に設定します。

  ➡ 自動メンテナンス設定

チェック 4 プリンタードライバーでカラー調整を行いましたか

以下の手順でカラー調整を行います。

- Windows の場合

  プリンタードライバーの［用紙・品質］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。［色調整］シートで色を調整します。

  ➡ ［用紙・品質］シートの画面説明 （Windows）

- macOS の場合

  プリンタードライバーの［カラーオプション］で色を調整します。

  ➡ カラーオプション （macOS）

チェック 5 コンピューターやモニターのカラー調整を行いましたか

以下の対処を試してください。

- コンピューターやモニターのマニュアルを参照して、コンピューターやモニターのカラー調整を実行します。
- カラーマネジメントソフトウェアのマニュアルを参照して、カラーマネジメントソフトウェアの設定を調整します。

チェック 6 プリントヘッドを交換しましたか

プリントヘッドを交換すると、プリントヘッドの個体差により色味が変わることがあります。

カラーキャリブレーションを実行します。

➡ カラーキャリブレーションを行う

チェック 7 プリントヘッドの特性が変化した可能性があります

繰り返し使用するうちに、プリントヘッドの特性が変化し、色味が変わることがあります。

カラーキャリブレーションを実行します。

➡ カラーキャリブレーションを行う

チェック 8 同一機種のプリンターでも、ファームウェアやプリンタードライバーのバージョン、各項目の設定、使用環境が違うと、色味が変わることがあります

以下の手順でプリンターの使用環境を揃えます。

1. ファームウェアやプリンタードライバーのバージョンを同じものに揃える

2. 各設定項目を同じ設定にする

3. カラーキャリブレーションを実行する

   ➡ カラーキャリブレーションを行う

チェック 9 プリンタードライバーを再インストールするときに Media Configuration Tool（メディア・コンフィギュレーション・ツール）の地域選択が変更されていませんか

Media Configuration Tool の地域選択を変更すると、インストール前にプリンターに登録されていた地域限定の用紙情報は削除されます。情報が削除された用紙でカラーキャリブレーションを実行していた場合、すべての種類の用紙でカラーキャリブレーションが適用されなくなります。

新しく選択した地域に合ったカラーキャリブレーションに対応している用紙で、カラーキャリブレーションをやり直します。

➡ カラーキャリブレーションを行う

Q

モノクロで印刷される

A

チェック 1 プリンタードライバーの［モノクロ写真印刷］チェックボックスがオンになっていませんか

- Windows の場合

  プリンタードライバーの［基本設定］シートで［モノクロ写真印刷］チェックボックスをオフにし、印刷し直します。

  ➡ ［基本設定］シートの画面説明（Windows）

- macOS の場合

  プリンタードライバーの［品位と用紙の種類］の［モノクロ写真印刷］チェックボックスをオフにし、印刷し直します。

  ➡ 品位と用紙の種類（macOS）

参考

- プリンタードライバーの［用紙の種類］でモノクロ印刷用の用紙を選択していると、［モノクロ写真印刷］チェックボックスをオフにできません。その場合は、［用紙の種類］でモノクロ印刷用の用紙以外を選択してください。

チェック 2 プリントヘッドのノズルがつまっている可能性があります

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ ノズルのつまりをチェックする

参考

- ノズルのつまりを印刷後に自動でチェックさせる場合は、液晶モニターのメニューで［自動ノズルチェック］を［無効］以外に設定します。

  ➡ 自動メンテナンス設定

Q

線がずれる／ゆがむ

A

チェック 1 セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っているか確認してください

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

- **パソコンから印刷する場合：**

  プリンタードライバーの設定を確認してください。

  ➡ かんたんな設定で印刷する（Windows）
  ➡ かんたんな設定で印刷する（macOS）

- **スマートフォン／タブレットのアプリ から印刷する場合：**

  アプリの設定を確認してください。

  ➡ スマホでかんたん写真プリント

チェック 2 チェック 1 のリストを参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

チェック 3 プリントヘッドの位置調整を行ってください

線がずれる／ゆがむなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整してください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

参考

- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、手動プリントヘッド位置調整を行ってください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

チェック 4 印刷設定で品位を上げて印刷してください

プリンタードライバーで印刷品質を上げると、印刷結果が改善される場合があります。

罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）

	Tokyo	London
Jan.	12,000	10,500
Feb.	11,500	10,800
Mar.	13,800	12,800
Apr.	12,000	10,500
May.	11,500	10,800
June	13,800	12,800

チェック 1 割り付け印刷やとじしろ印刷をしているか確認してください

割り付け印刷やとじしろ印刷などでは、細い罫線が印刷されない場合があります。罫線を太くしてみてください。

チェック 2 大きなファイルを印刷していませんか（Windows）

データのサイズが大きいファイルを印刷すると、印刷データが抜け落ちるなどして、うまく印刷できない場合があります。

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］をクリックします。表示されるダイアログの［印刷データの欠落防止］が［オン（弱）］に設定されていることを確認してください。

［印刷データの欠落防止］が［オン（弱）］に設定されていても印刷が始まらない場合は、［オン（強）］に設定してもう一度印刷を行ってください。

詳しくは「［ページ設定］シートの画面説明」を参照してください。

重要

- ［印刷データの欠落防止］を［オン（強）］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷が終了したら、［印刷データの欠落防止］を［オフ］に戻してください。

Q

画像が欠ける／最後まで印刷できない

A

写真や画像などの印刷が途中で止まってしまい、最後まで印刷ができない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 印刷データを圧縮処理しない設定にしてみてください（Windows）

アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止して印刷すると、印刷結果が改善される場合があります。

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］をクリックします。表示されるダイアログで［アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する］にチェックマークを付け、［OK］をクリックしてください。

重要

- 印刷後はチェックマークを外してください。

チェック 2 大きなファイルを印刷していませんか（Windows）

データのサイズが大きいファイルを印刷すると、印刷データが抜け落ちるなどして、うまく印刷できない場合があります。

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］をクリックします。表示されるダイアログの［印刷データの欠落防止］が［オン（弱）］に設定されていることを確認してください。

［印刷データの欠落防止］が［オン（弱）］に設定されていても印刷が始まらない場合は、［オン（強）］に設定してもう一度印刷を行ってください。

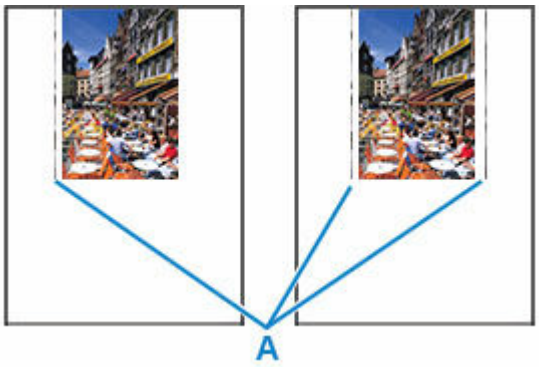
詳しくは「［ページ設定］シートの画面説明」を参照してください。

重要

- ［印刷データの欠落防止］を［オン（強）］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷が終了したら、［印刷データの欠落防止］を［オフ］に戻してください。

Q

画像の横に縦線パターンが印刷される



A

チェック セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っているか確認してください

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

- **パソコンから印刷する場合：**

  プリンタードライバーの設定を確認してください。

  ➡ かんたんな設定で印刷する（Windows）
  ➡ かんたんな設定で印刷する（macOS）

- **スマートフォン／タブレットのアプリ から印刷する場合：**

  アプリの設定を確認してください。

  ➡ スマホでかんたん写真プリント

参考

- 画像ファイルや印刷設定によっては、縦線パターン（A）の向きやパターンが変わる場合があります。
- 本プリンターはきれいな印刷が保てるように、状況に応じて自動的にクリーニングを行います。その際に、わずかにインクをふき出します。

  本来、クリーニングで使用されたインクは用紙の外側のインク吸収体にふき出されますが、設定した用紙サイズより大きいサイズの用紙をセットすると、用紙の上にインクがふき出されてしまう場合があります。

ネットワーク上でセットアップできない

- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- ［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）
- ［Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました］と表示された
- Wi-Fi ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった
- Wi-Fi ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能について
- スマートフォン／タブレットを使用してセットアップをしたい

ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された

- パスワードを入力する画面が表示された（Windows）
- Wi-Fi ルーターを検出する画面で Wi-Fi ルーターを選択したら、パスワード入力の画面が表示された（Windows）
- 「暗号化機能が有効になっていない無線ネットワークに接続しました。」というメッセージが表示された

Q パスワードを入力する画面が表示された（Windows）

A

ネットワークで使用するプリンターに管理者パスワードが設定されていると、パスワードの入力を求める画面が表示されます。

プリンターに設定されている管理者パスワードと同じパスワードを入力してください。

参考

- プリンターにはご利用開始時の状態で、管理者パスワードが設定されています。

  詳細は以下を参照してください。

  - 管理用の初期パスワードについて

  安全性の向上のため、管理者パスワードの変更をおすすめします。

  - プリンターの操作パネルで管理者パスワードを設定する

Q Wi-Fi ルーターを検出する画面で Wi-Fi ルーターを選択したら、パスワード入力の画面が表示された（Windows）

A

選んだ Wi-Fi ルーターに暗号化が設定されている場合に表示されます。この場合は、Wi-Fi ルーターの暗号化の設定と同じ内容を設定してください。

暗号化の設定は、「無線 LAN 接続（Wi-Fi）の設定をする／設定を変更する」を参照してください。

Q 「暗号化機能が有効になっていない無線ネットワークに接続しました。」というメッセージが表示された

A

選択した Wi-Fi ルーターは、暗号化の設定が行われていません。プリンターの使用は可能ですので、そのままセットアップを進めて完了してください。

重要

- セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性がありますので、十分、ご注意ください。

Q

［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）

A

［プリンターの接続］画面から先に進めない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 プリンターの USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください

下の図のようにパソコンとプリンターを USB ケーブルで接続してください。USB ケーブル接続部は、プリンターの背面にあります。

重要

- 「Type-B」コネクタの向きを確認し、プリンターに接続してください。詳細は USB ケーブルに付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 2 以下の手順に従って、プリンターとパソコンの接続をやり直してください

1. プリンターとパソコンから USB ケーブルを抜き、接続し直す
2. プリンターが処理中でないことを確認し、プリンターの電源を切る
3. プリンターの電源を入れる

チェック 3 以下の手順に従って、プリンタードライバーを再度インストールしてください

1. 最新のプリンタードライバーをダウンロードする
2. プリンターの電源を切る
3. パソコンを再起動する

   再起動後、手順 1 でダウンロードしたプリンタードライバーをインストールします。

重要

- プリンタードライバーをインストールするとき、プリンターの名称を正しく選択してください。
- Windows をご使用の場合：

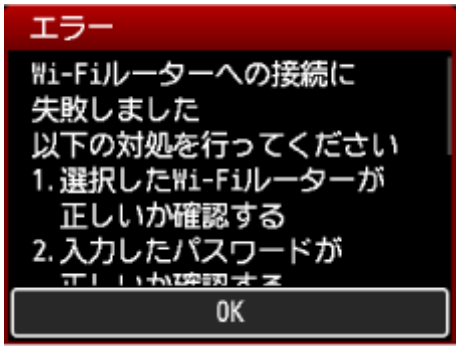
  パソコンを再起動する場合、シャットダウンではなく再起動を選んでください。

Q

［Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました］と表示された

A

各チェックを実施するたびに、エラー画面の［OK］を選んでエラーを解除し、プリンターの設定を再度行ってください。



➡ セキュリティ方式が WPA/WPA2/WPA3 の場合
➡ セキュリティ方式が無効の場合

セキュリティ方式が WPA/WPA2/WPA3 の場合

チェック 1 入力した Wi-Fi ルーターのパスワードが正しいことを確認してください。

入力したパスワードが間違っていた場合は、正しいパスワードを入力してください。

チェック 2 Wi-Fi ルーターの設定を確認してください。

Wi-Fi ルーターの DHCP 機能が有効になっていない場合は、DHCP 機能を有効にして再度 Wi-Fi の設定を行ってください。

チェック 3 MAC アドレスフィルタリングの設定を確認してください。

Wi-Fi ルーターで、MAC アドレスフィルタリングが設定されている場合は、プリンターの MAC アドレスを許可する設定に変更してください。

プリンターの MAC アドレスは、［プリンター情報］→［システム情報］から確認できます。

➡ プリンター情報

チェック 4 Wi-Fi ルーターの暗号化方式の設定を確認してください。

Wi-Fi ルーターの設定を変更する方法については、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

セキュリティ方式が無効の場合

チェック Wi-Fi ルーターの電源が入っていることを確認してください。

すでに入っている場合は、Wi-Fi ルーターの電源を入れ直して、問題が解決するか確認してください。

電源が入るまでは、本ガイドの画面を操作しないでください。Wi-Fi ルーターとの接続が一時的に切断されます。

Wi-Fi ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった

Wi-Fi ルーターを買い替えた場合、または Wi-Fi ルーターの設定を変更した場合は、変更後の Wi-Fi ルーターに合わせて、パソコン、スマートフォン／タブレット、プリンターのネットワークを再設定する必要があります。

チェック 1 パソコン、スマートフォン／タブレットから、変更後の Wi-Fi ルーター経由でインターネットに接続できるか確認してください

プリンターを使用するパソコン、スマートフォン／タブレットから、変更後の Wi-Fi ルーター経由でインターネットに接続できない場合は、Wi-Fi ルーターの設置が完了しているか確認し、パソコン、スマートフォン／タブレットを Wi-Fi ルーターに接続できるよう設定してください。

チェック 2 プリンターのネットワークについて再設定してください

ウェブページのセットアップガイドからセットアップを行います。

参考

- ネットワーク設定アシスタントを利用するとネットワーク接続の診断と修復を行うことができます。

  以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

  ➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

  ネットワーク設定アシスタントの起動のしかたは、以下を参照してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

  - macOS をご使用の場合：

    ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

ネットワークを再設定しても解決しない場合は、以下を参照してください。

➡ Wi-Fi ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、プリンターと通信できなくなった
➡ プリンターに暗号化が設定されている場合、Wi-Fi ルーターの暗号方式を変更したら通信ができなくなった
➡ Wi-Fi ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能について

Q Wi-Fi ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、プリンターと通信できなくなった

A

チェック 1 Wi-Fi ルーターの設定を確認してください

確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと Wi-Fi ルーターがその設定で通信できることを確認してください。

チェック 2 Wi-Fi ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングを行った場合、パソコンやネットワーク機器とプリンター双方の MAC アドレスまたは IP アドレスが登録されていることを確認してください

チェック 3 WPA/WPA2/WPA3 キーまたはパスワードを入力した場合、パソコンやネットワーク機器とプリンター双方で設定した暗号化キーと一致していることを確認してください

Wi-Fi のパスワードの長さや書式、認証方式は、プリンターと Wi-Fi ルーターおよびパソコンで合わせる必要があります。

詳しくは、「暗号化の設定方法がわからない」を参照してください。

参考

- IEEE802.1X/EAP（WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ）の設定には、認証（Radius）サーバーの設定も必要になります。

  詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Q プリンターに暗号化が設定されている場合、Wi-Fi ルーターの暗号方式を変更したら通信ができなくなった

A

Wi-Fi ルーターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンとプリンターが通信できなくなった場合は、パソコンと Wi-Fi ルーターの暗号方式の設定とパスキーまたはパスワードが一致しているか確認してください。

➡ Wi-Fi ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、プリンターと通信できなくなった

Wi-Fi ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能について

Wi-Fi ルーター（モバイルルーター）のプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能が有効になっていると、機器のセットアップを行えません。セットアップを行う前に、これらの機能を無効にしてください。無効にする手順については、ご使用の Wi-Fi ルーター（モバイルルーター）の取扱説明書や、メーカーのホームページなどを参照してください。

スマートフォン／タブレットを使用してセットアップをしたい

「セットアップを行う」を参照して、セットアップを行ってください。

➡ セットアップを行う

参考

- パソコンをお持ちの場合は、パソコンを使ったほうが、より簡単にプリンターをセットアップできます。

ネットワーク上にプリンターが見つからない

参考

- macOS 15 以降をご使用の場合は、アプリケーションごとに、ローカルネットワーク上にあるデバイスを検索できるように設定してください。デバイスを検索できるように設定しないと、ソフトウェアの起動や機能の一部が制限されることがあります。
  設定方法については、「ローカルネットワークのデバイス検索を設定する」を参照してください。

- **ネットワークにプリンターが見つからない**
- **セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する**

Q

ネットワークにプリンターが見つからない

A

次のような場合は、プリンターのセットアップをやり直してください。

- パソコンまたは Wi-Fi ルーターを買い替えた場合
- Wi-Fi ルーターの設定を変更した場合
- プリンターの接続方法（無線 LAN（Wi-Fi）／USB）を変更した場合

セットアップ手順の詳細

➡ セットアップを行う

上記以外の場合：

接続する機器やネットワークの設定を変更していないにもかかわらず、プリンターが突然使えなくなった場合、またはセットアップの途中でプリンターが見つからない場合は、問題をネットワーク設定アシスタントで確認、解決してください。状態が改善したあとで、プリンターのセットアップをやり直してください。

ネットワーク設定アシスタントはネットワーク問題の強力な解決ツールです。

ステップ 1 ネットワークの基本項目を確認する

ステップ 2 ネットワーク設定アシスタントを使用して解決する

ステップ 3 解決ツールで問題が解決できない場合

ステップ 1：ネットワークの基本項目を確認する

チェック 1 電源を確認する

プリンターと、ネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）の電源が入っているか確認してください。

セットアップ中の場合は、セットアップを中断して、Wi-Fi ルーター（モデム）→ プリンターの順番で確認します。

1. Wi-Fi ルーターなどのネットワーク機器の電源を確認する

   電源が入っていない場合は、電源を入れます。すでに電源が入っている場合は、電源を入れ直してください。

   ネットワーク機器は、電源を入れたあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。

   Wi-Fi ルーターなどのネットワーク機器が使用できる状態になったら、次へ進みます。

2. プリンターの電源を確認する

   プリンターの電源が入っていない場合は、電源を入れます。すでにプリンターの電源が入っている場合は、電源を入れ直してください。

ネットワーク機器とプリンターの電源を確認したら、次のチェックに進んでください。

チェック 2 パソコンのネットワーク接続を確認する

パソコンとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）の設定が完了していれば、パソコンがネットワークに接続できる状態になっています。

1. ネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）の設定を確認する

インターネットに接続して、任意のウェブページが閲覧できるか確認します。ご使用のパソコンから任意のウェブページが閲覧できない場合は、Wi-Fi ルーターの MAC アドレスフィルタリング、IP フィルタリングなどのセキュリティ設定や DHCP 機能など、接続に関する設定を確認してください。

プリンターが接続している Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）は、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

参考

- Wi-Fi ルーターの機種によっては、ネットワーク名（SSID）の末尾の数字や記号で周波数帯（2.4GHz または 5GHz）、用途（パソコン用またはゲーム機用）を区別している場合があります。
- Wi-Fi ルーターの詳細や設定方法については、Wi-Fi ルーター付属の取扱説明書を参照するか、Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

暗号化の設定を行っている場合は、そのネットワーク名（SSID）の暗号化キーを設定してください。詳しくは、「暗号化の設定方法がわからない」を参照してください。

2. パソコンのネットワーク設定を確認する

パソコンのネットワークに関する確認方法については、パソコンに付属の取扱説明書を参照するか、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

Wi-Fi ルーターとパソコンの設定が確認できたら、Wi-Fi ルーターの情報を基にして、パソコンから任意のウェブページが閲覧できるように設定を変更します。

パソコンのネットワーク接続確認と上記の対処が終わったら、次のチェックに進んでください。

チェック 3 プリンターのネットワーク設定を確認する

➡ 無線 LAN（Wi-Fi）の場合

➡ 有線 LAN の場合

無線 LAN（Wi-Fi）の場合

プリンターの液晶モニターに が表示されていることを確認してください。

または **が表示されている場合**

または は、Wi-Fi ルーターとプリンターが接続されていない状態を示しています。プリンターのネットワーク設定を確認してください。また、次のチェック項目で Wi-Fi ルーターとプリンターの設置場所を再検討してください。

、、または のみ表示されている場合

プリンターは無線 LAN（Wi-Fi）を使用する設定になっていません。

ホーム画面から ［LAN 設定］→［Wi-Fi］に進み、［Wi-Fi の有効/無効］を［有効］に設定してください。

有線 LAN の場合

1. 電源と LAN ケーブルを確認する

   LAN 接続を使ったセットアップのときに、セットアップの画面でプリンターが見つからないときは、すべてのネットワーク機器が LAN ケーブルでルーターやハブと接続されていて、かつ、すべての機器の電源が入っていることを確認します。

   - **LAN ケーブルが接続されていない場合**

     ルーターやハブと、パソコンやプリンターを LAN ケーブルで接続してください。

     プリンターの電源が入っていることを確認してください。

     ➡ 電源を入れる／切る

     プリンターの電源が確認できたら、ルーターやハブの電源が入っていることを確認してください。

   - **LAN ケーブルが接続されていて、プリンターと各機器の電源が入っていない場合**

     プリンターと各機器の電源を入れてください。

   - **プリンターと各機器が LAN ケーブルで接続されていて、電源が入っている場合**

     すでに電源が入っている場合は、電源を切ってから、電源を入れ直してください。

     参考

     - 電源を入れ直したあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。電源を入れて、しばらくたったら、次へ進みます。

2. プリンターの有線 LAN 設定を確認する

   プリンターの液晶モニターに が表示されていることを確認してください。

   - **表示されていない場合**

     プリンターの有線 LAN の設定が有効になっていません。プリンターを有線 LAN で使用する設定に変更する必要があります。

     ホーム画面から ［LAN 設定］→［有線 LAN］を選び、［有線 LAN の有効/無効］を［有効］に設定してください。

チェック 4 Wi-Fi ルーターの設置場所を確認する

プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください。

プリンターは Wi-Fi ルーターとの距離が見通し 50 m（164 ft.）以内の屋内で使用していただくものです。プリンターと Wi-Fi ルーターを適正な距離に近づけてください。

プリンターと Wi-Fi ルーターを、無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質によりプリンターと Wi-Fi で通信できない場合は、壁を挟まない場所でプリンターをお使いください。

また、Wi-Fi ルーターで使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

ステップ 2：ネットワーク設定アシスタントを使用して解決する

ネットワーク設定アシスタントを利用してネットワーク接続の診断と修復を行ってください。

以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールできます。

➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

ネットワーク設定アシスタントの起動のしかたは、以下を参照してください。

- **Windows をご使用の場合：**
  ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する
- **macOS をご使用の場合：**
  ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

ステップ 3：解決ツールで問題が解決できない場合

チェック 1 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアの設定を確認する

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用しているときに、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、キヤノンのソフトウェアからのアクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック 2 AirMac とプリンターを無線 LAN 接続（Wi-Fi）している場合、ネットワーク名（SSID）に半角英数字以外が使用されていないか確認する（macOS）

半角英数字以外の文字が入っていると、正しく接続されません。ネットワーク名（SSID）を半角英数字のみに変更してください。

チェック 3 プリンターの診断機能でネットワークトラブルを解決する

以下のページを参照してください。

➡ プリンターの診断機能でネットワークトラブルを解決する

セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する

参考

- macOS 15 以降をご使用の場合は、アプリケーションごとに、ローカルネットワーク上にあるデバイスを検索できるように設定してください。デバイスを検索できるように設定しないと、ソフトウェアの起動や機能の一部が制限されることがあります。
  設定方法については、「ローカルネットワークのデバイス検索を設定する」を参照してください。

［プリンターの検出］画面でプリンターが見つからない場合は、［プリンターの接続を行います］画面が表示されます。

上の画面は例として、Windows の画面を使用しています。

［IP アドレスを指定して検索］をクリックすると、プリンターの IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索することができます。

1. プリンターの IP アドレスやホスト名を確認する

プリンターの IP アドレスやホスト名は、操作パネルに表示して確認するか、LAN 設定情報を印刷することで確認できます。

- 操作パネルに表示する。

  ➡ LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  ➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

参考

- オフィスなどでプリンターをご使用の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2. 検索方法を指定する

以下の検索方法を選びます。

上の画面は例として、Windows の画面を使用しています。

A: IPv4 アドレスで検索
プリンターを IPv4 アドレスで検索する場合に選びます。

B: IPv6 アドレスで検索
プリンターを IPv6 アドレスで検索する場合に選びます。

C: ホスト名で検索
プリンターをホスト名で検索する場合に選びます。LLMNR ホスト名、Bonjour サービス名とも言います。

3. IP アドレスまたはホスト名を入力し、［次へ］をクリックする

プリンターの検索が始まります。

エラー画面が表示されたとき：

表示されたメッセージに従って対処してください。

指定した IP アドレスが他の機器で使用されている場合は、以下の手順でプリンターの IP アドレスを再設定してください。

1. ホーム画面で ［LAN 設定］を選ぶ

➡ 液晶モニター画面と操作パネルの使いかた

2. ［詳細設定］を選ぶ

3. 表示された画面で［はい］を選ぶ

4.［TCP/IP 設定］を選ぶ

- **IPv4 アドレスを設定する場合：**

  1.［IPv4］を選びます。

  2.［IP アドレス］を選びます。

  3.［手動設定］を選びます。

  ［自動設定］を選ぶと、IP アドレスが自動で設定されます。

  4. 表示された画面で［はい］を選びます。

  5. IP アドレスの値を入力します。

  6.［OK］を選びます。

  7. サブネットマスクの値を入力します。

  8.［OK］を選びます。

  9. デフォルトゲートウェイの値を入力します。

  10.［OK］を選びます。

  IPv4 アドレスが設定されます。

- **IPv6 アドレスを設定する場合：**

  1.［IPv6］を選びます。

  2.［IPv6 の有効/無効］を選びます。

  3.［有効］を選びます。

  IPv6 アドレスが設定されます。

重要

- パソコンのファイアウォール機能をオンにしている場合は、同一のサブネットにないプリンターが検出されない場合があります。ファイアウォール機能をオフにしてください。

ファイアウォールの設定によってプリンターが検索できない場合：

ご使用のパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能がセットアップのための通信を意図せず妨げてしまうことがあります。ファイアウォールがメッセージを表示していないか確認してください。

- **ファイアウォールのメッセージが表示されたとき：**

  キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージがパソコンの画面上に表示された場合は、アクセスを許可するように設定してください。

  アクセスを許可するように設定してから、セットアップに戻って画面の指示に従ってください。

- **ファイアウォールのメッセージが表示されていないとき：**

  ファイアウォールのブロック機能を一度オフにしてからセットアップに戻って画面の指示に従ってください。

  セットアップの終了後、ファイアウォールのブロック機能をオンにしてください。

参考

- セキュリティソフトウェアの設定方法は、セキュリティソフトウェアに付属の取扱説明書を参照するか、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境で印刷できない

- スマートフォン／タブレットから印刷できない
- AirPrint で印刷できない

AirPrint で印刷できない

チェック 1 プリンターの電源が入っているか確認してください

➡ 電源を入れる／切る

プリンターの電源が入っている場合は、電源を入れ直して問題が解決するか確認してください。

チェック 2 ご使用のパソコンにプリンターが登録されているか確認してください

チェック 3 ネットワーク接続で印刷する場合は、プリンターが AirPrint 対応機器と同じグループのネットワーク（同一サブネット）に接続されているか確認してください

チェック 4 プリンターにセットされている用紙やインクが十分であるか確認してください

チェック 5 プリンターの液晶モニターにエラーメッセージが表示されていないことを確認してください

スマートフォン／タブレットから印刷できない

スマートフォン／タブレットから印刷できない場合は、プリンターとスマートフォン／タブレットが通信できていないことが考えられます。

接続方法に従って、チェックしてください。

- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない
- 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

参考

- 他の接続方法で印刷しているときのトラブルや、他の接続方法の設定のしかたについては、以下を参照してください。
  - クラウドサービスを利用する
  - iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）

Q 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない

A

無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 プリンターとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）、スマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください

- プリンターや各種機器の電源が入っていない場合は、電源を入れてください。
- すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。
- Wi-Fi ルーターのトラブルシューティング（キーの更新間隔、DHCP の更新間隔のマッチの問題、省エネモードなど）や、Wi-Fi ルーターのファームウェアのアップデートなどが必要な場合があります。

詳細については、Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

チェック 2 ご使用のスマートフォンやタブレットなどの機器の設定を確認してください

スマートフォン／タブレットなどの機器が無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用できる設定になっているか確認してください。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）の設定のしかたについては、ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 3 プリンターと Wi-Fi ルーターが接続されているか確認してください

- 液晶モニターに表示されるアイコンで、プリンターと Wi-Fi ルーターの接続の状態を確認してください。

  が表示されていない場合は、プリンターの無線 LAN（Wi-Fi）の設定が有効になっていません。プリンターを無線 LAN（Wi-Fi）で使用する設定にしてください。

- ネットワーク名（SSID）、ネットワークキー（パスワード）などのネットワーク設定が、プリンターと Wi-Fi ルーターで一致しているか確認してください。

  Wi-Fi ルーターのネットワーク設定の確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

プリンターで現在設定されているネットワーク設定は、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

- プリンターの操作パネルに表示する。

  ➡ LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  ➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

参考

- パソコンをお持ちの場合は、ネットワーク設定アシスタントを利用するとネットワーク接続の診断と修復を行うことができます。

  以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

  ➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

  ネットワーク設定アシスタントの起動のしかたは、以下を参照してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

  - macOS をご使用の場合：

    ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

チェック 4 Wi-Fi ルーターとご使用のスマートフォン／タブレットのそれぞれのネットワーク設定が一致しているか確認してください

ネットワーク名（SSID）、ネットワークキー（パスワード）などのネットワーク設定が、Wi-Fi ルーターとスマートフォン／タブレットで一致しているか確認してください。

スマートフォン／タブレットのネットワーク設定の確認方法については、スマートフォン／タブレットに付属の取扱説明書を参照してください。

スマートフォン／タブレットのネットワーク設定が Wi-Fi ルーターの設定と異なる場合は、Wi-Fi ルーターの設定に合わせて変更してください。

チェック 5 プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけてみてください。

チェック 6 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

プリンターと Wi-Fi ルーターは、無線通信が可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質によりプリンターと Wi-Fi で通信できない場合は、壁を挟まない場所でプリンターをお使いください。

また、無線 LAN（Wi-Fi）で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

液晶モニターから、電波の状態を確認することができます。

➡ 液晶モニター画面と操作パネルの使いかた

参考

- Android 機器をお使いでウェブページを印刷することができない場合、無線ダイレクト接続に変更すると印刷できることがあります。

  ➡ 無線ダイレクト接続

Q 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

A

無線ダイレクト中のプリンターと通信できない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 プリンターとスマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください。

プリンターや各種機器の電源が入っていない場合は、電源を入れてください。

すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。

チェック 2 プリンターの液晶モニターに が表示されているか確認してください

表示されていない場合は無線ダイレクトが無効になっています。無線ダイレクトを有効にしてください。

チェック 3 ご使用のスマートフォンやタブレットなどの機器の設定を確認してください

スマートフォン／タブレットなどの機器が無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用できる設定になっているか確認してください。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）の設定のしかたについては、ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 4 ご使用の各種機器（スマートフォンやタブレットなど）で、接続先としてプリンターを選んでいるか確認してください

各種機器で、プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名（SSID）を選んでください。

ご使用の各種機器の接続先は、ご使用の機器から確認してください。

確認方法についてはご使用の機器の取扱説明書や、メーカーのホームページなどを参照してください。

プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名（SSID）は、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターの操作パネルに表示する。

  ➡ LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  ➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

チェック 5 プリンターに設定されている無線ダイレクトのパスワードを正しく入力しているか確認してください

プリンターに設定されているパスワードは、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターの操作パネルに表示する。

  ➡ LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  ➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

チェック 6 プリンターと各種機器の距離が離れすぎていないか確認してください

プリンターと各種機器の距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと各種機器を近づけてみてください。

チェック 7 6 台以上の各種機器をプリンターに接続しようとしていないか確認してください

無線ダイレクト使用時に接続できる各種機器は 5 台までです。

ネットワーク設定のトラブル

- ネットワークについてよくあるご質問
- プリンターの診断機能でネットワークトラブルを解決する
- プリンターのネットワークや各種機器との接続を切り替える
- ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない
- Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）／パスワードを確認したい
- ネットワークに関する設定を調べたい
- プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す
- スマートフォン／タブレットを Wi-Fi ルーターに接続できない
- スマートフォン／タブレットが選んでいる Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）を確認したい

ネットワークについてよくあるご質問

ネットワークに関してよくあるご質問です。

プリンターが見つからない

- ネットワークにプリンターが見つからない
- ［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）
- セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する

印刷／接続ができなくなった

- スマートフォン／タブレットから印刷できない
- AirPrint で印刷できない
- プリンターの診断機能でネットワークトラブルを解決する

LAN の設定について知りたい、LAN の設定を変更したい

- プリンターの接続方法
- LAN 設定
- 同じ名前のプリンターを検出したときは
- プリンターのネットワーク設定情報を印刷する
- ネットワークの状態と対処方法

プリンターの診断機能でネットワークトラブルを解決する

- プリンターと Wi-Fi ルーターが接続できている、またはプリンターとパソコンが USB 接続できているが、印刷できない場合:
  - ➡ オフラインになる（Windows）／通信できない（Windows）
- 上記以外の場合:
  - ➡ プリンターがネットワーク上で見つからない／印刷できない
  - ➡ 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

Q プリンターがネットワーク上で見つからない／印刷できない

A

ネットワーク設定情報を印刷する

以下の手順で、ネットワーク設定情報を印刷します。

ステップ 1 プリンター、Wi-Fi ルーターの電源が入っていることを確認する

Wi-Fi ルーターの電源を入れ直します。

約 5 分待って、プリンターの電源を入れ直してください。

ステップ 2 お使いのパソコン／スマートフォン／タブレットがインターネットに接続されているか確認する

各種機器と Wi-Fi ルーターが無線 LAN 接続 （Wi-Fi）で正しく接続され、インターネットが問題なく使用できるか確認してください。

ステップ 3 プリンターの Wi-Fi 設定が有効になっていること、Wi-Fi を表す が表示されていることを確認する

ステップ 4 プリンターと各種機器（パソコン／スマートフォン／タブレット）を、Wi-Fi ルーターの近くに移動する

プリンターと各種機器、Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと各種機器を Wi-Fi ルーターに近づけてみてください。

ステップ 5 ネットワーク設定情報を印刷する

お使いのプリンターで、ネットワーク設定情報を印刷してください。

- ➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

ネットワーク設定情報を確認する

印刷したネットワーク設定情報から、項目 2-2 の記載を確認します。

C-0

正常に接続されています。それでもネットワーク上にプリンターが見つからない、または印刷ができない場合は、以下のチェック項目を確認してください。

参考

- 項目「2-2」に「C-0」以外のコードが一緒に表示されている場合は、そちらのコードについての対応も参照してください。

チェック 1 パソコンのファイアウォール関連のセキュリティーソフトウェアが動作していませんか？

キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

セキュリティーソフトウェアを一度終了して、プリンターが認識／使用できるようになっているか確認してください。使用できるようになっている場合は、ファイアウォールの設定が原因です。ファイアウォールの設定を変更し、プリンターが認識／使用できるように設定してください。詳しくはセキュリティーソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック 2 プリンターのネットワーク名（SSID）と通信を行う Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）設定が一致していますか？

印刷したネットワーク設定情報の項目「3-2-6」と、接続したい Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）を確認します。一致していない場合、接続したい Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）とパスワードを確認した上で、手動でセットアップを行ってください。

チェック 3 Wi-Fi ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能が有効になっていませんか？

有効になっている場合は、セットアップを行う前にこれらの機能を無効にしてください。Wi-Fi ルーターの機能については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

チェック 4 プリンタードライバーはインストールされていますか（Windows）

Windows をお使いで、プリンタードライバーがインストールされていない場合は、インストールしてください。

➡ セットアップを行う

C-1

プリンターの Wi-Fi 設定が無効になっています。（プリンターの画面に Wi-Fi を表す が表示されていない状態です。）

プリンターの設定画面で Wi-Fi 設定を有効にしてください。

C-3

IP アドレスが割り振られていません。（印刷したネットワーク設定情報の項目「3-2-12」がブランクになっていることでも確認できます。）

以下のチェック項目を確認してください。

チェック 1 プリンターが IP アドレスを自動取得するように設定している、または Wi-Fi ルーター側から手動のアドレス設定が要求されていませんか？

お使いの Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照して、Wi-Fi ルーターの DHCP（自動取得）設定を有効にする、またはプリンター側で有効な IP アドレスを設定してください。

チェック 2 プリンターの IP アドレスを手動で設定している場合、正しい IP アドレスが設定されていない可能性があります

接続したい Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）とパスワード、IP アドレス適用範囲を確認した上で、プリンター側で適切な IP アドレスを入力してください。不明の場合は、プリンターの IP アドレスを自動（DHCP）に設定してください。

C-5

指定のネットワークに接続できていません。以下のチェック項目を確認してください。

チェック 1 プリンターとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）、パソコン／スマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください

Wi-Fi ルーターとの通信には、2.4GHz または 5GHz の周波数帯域のどちらか一方に合わせる必要があります。2.4GHz 周波数帯域のネットワーク名（SSID）と、5GHz 周波数帯域のネットワーク名（SSID）を組み合わせて使用することはできません。Wi-Fi ルーターの機種によっては、ネットワーク名（SSID）の末尾の数字や記号で周波数帯（2.4GHz または 5GHz）、用途（パソコン用またはゲーム機用）を区別している場合があります。

プリンターに設定されているネットワーク名（SSID）を、Wi-Fi ルーターの 2.4GHz または 5GHz 用ネットワーク名（SSID）に合わせてください。

チェック 2 Wi-Fi ルーターに設定されているパスワードと、入力したパスワードが一致していない可能性があります

パスワードは大文字／小文字も区別されます。

パスワードを正しく入力してください。

チェック 3 無線 LAN 接続（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

- プリンターと Wi-Fi ルーターは、無線通信が可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。
- 金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質によりプリンターと Wi-Fi で通信できない場合は、壁を挟まない場所でプリンターをお使いください。
- 設置場所を変更後、ネットワーク設定情報の印刷を再度行って、電波の状態を確認してください。印刷したネットワーク設定情報の「3-2-1」の数値を比較して、設置場所を確定してください。

チェック 4 パソコンで使用している Wi-Fi の無線チャンネル番号を確認してください

Wi-Fi ルーターに設定されている無線チャンネル番号が、確認した無線チャンネル番号に含まれていることを確認してください。Wi-Fi ルーターに設定されている無線チャンネル番号が含まれていない場合は、Wi-Fi ルーターの無線チャンネル番号を変更してください。

チェック 5 無線 LAN 接続（Wi-Fi）の場合、Wi-Fi ルーターでアクセスできるパソコンを制限していないか確認してください

Wi-Fi ルーターの設定で、同時に接続できる機器を制限している可能性があります。制限を解除または緩和してください。

Wi-Fi ルーターの接続や設定方法については、お使いの Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

参考

- パソコンの MAC アドレスや IP アドレスを確認する場合は、「パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい」を参照してください。

チェック 6 Wi-Fi ルーターが省エネモード時のみに問題が発生する場合は、Wi-Fi ルーターの省エネモードをオフにしてください

問題が突然発生するような場合は、Wi-Fi ルーターのファームウェアのアップデートなどで解決することがあります（キーの更新間隔、DHCP の更新間隔のマッチングの問題など）。詳細は Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

チェック 7 AirMac をご使用の場合、プリンターのネットワーク名（SSID）に半角英数字が使用されているか確認してください（macOS）

半角英数字以外の文字が入っていると、正しく接続されません。プリンターのネットワーク名（SSID）を半角英数字のみに変更してください。

C-4

デフォルトゲートウエイが設定されていません。

プリンターの IP アドレスを手動で設定している場合、有効なデフォルトゲートウエイの IP アドレスを入力してください。デフォルトゲートウェイが不明の場合、IP アドレスを自動設定にしてください。

C-7

電波の状態が悪い可能性があります。

以下のチェック項目を確認してください。

チェック 無線 LAN 接続（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

- プリンターと Wi-Fi ルーターは、無線通信が可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。
- 金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質によりプリンターと Wi-Fi で通信できない場合は、壁を挟まない場所でプリンターをお使いください。
- 設置場所を変更後、ネットワーク設定情報の印刷を再度行って、電波の状態を確認してください。印刷したネットワーク設定情報の「3-2-1」の数値を比較して、より数値の大きい場所にプリンターを設置してください。

参考

- 「C-7」と「C-9」は同時に表示されているケースがあります。その場合は両方の項目を参照してください。

C-8

接続しているクライアント数が多過ぎます。

無線ダイレクトで同時接続できる各種機器は、合計で 5 台までです。

各種機器を追加でプリンターに接続する場合は、使用していない機器の接続を解除してから追加してください。

C-9

プリンター以外の各種機器の影響でノイズレベルが高く、信号レベルとの差がありません。

- 無線 LAN（Wi-Fi）で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジ、外付けハードディスクドライブなどの USB3.0 機器）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。プリンターを電波発生源からできるだけ離して設置してください。
- プリンターの設置場所を変更後、電波の状態を確認してください。印刷したネットワーク設定情報の「3-2-2」の数値を比較して、より数値の大きい場所にプリンターを設置してください。

参考

- 「C-7」と「C-9」は同時に表示されているケースがあります。その場合は両方の項目を参照してください。

C-10

Wi-Fi ルーターから IP アドレスが割り当てられていません。

以下のチェック項目を確認してください。

チェック 1 Wi-Fi ルーターに設定されているパスワードと、入力したパスワードが一致していない可能性があります

パスワードは大文字／小文字も区別されます。

パスワードを正しく入力してください。

チェック 2 プリンターのセットアップを再度行って、Wi-Fi 接続し直してください

チェック 3 Wi-Fi ルーターの DHCP を確認してください。DHCP がオフになっている場合は、オンにセットしてください

詳細は Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

C-11

ネットワーク名（SSID）が初期値のままです（ネットワーク名（SSID）が設定されていません。）Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）を確認してください。

接続したい Wi-Fi ルーターの SSID とパスワードを確認した上で、手動でセットアップを行ってください。

参考

- ネットワーク設定アシスタントを利用するとネットワーク接続の診断と修復を行うことができます。

  以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

  ➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

  ネットワーク設定アシスタントの起動のしかたは、以下を参照してください。

  – **Windows をご使用の場合：**

    ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

  – **macOS をご使用の場合：**

    ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

以下のチェック項目をご確認ください

チェック 1 プリンターとパソコン／スマートフォン／タブレットなどの機器の電源を確認してください

プリンターや各種機器の電源が入っていない場合は、電源を入れてください。

すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。

チェック 2 ご使用のパソコン／スマートフォン／タブレットなどの機器の設定を確認してください

パソコン／スマートフォン／タブレットなどの機器が無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用できる設定になっているか確認してください。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）の設定方法については、ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 3 ネットワーク設定情報を印刷してください

プリンターがネットワーク上で見つからない／印刷できないの［ステップ 1］～［ステップ 5］を参照してください。

印刷したネットワーク設定情報の項目「2-2」が「C-8」になっていませんか。その場合、接続しているプリンターの数が多過ぎます。

無線ダイレクトで同時接続できる各種機器は合計で 5 台までです。

各種機器を追加で接続する場合は、使用していない機器の接続を解除してから追加してください。

チェック 4 ご使用の各種機器（パソコン／スマートフォン／タブレットなど）が、接続先としてプリンターを選んでいるか確認してください

各種機器で、プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名（SSID）を選んでください。

ご使用の各種機器の接続先は、ご使用の機器から確認してください。

確認方法についてはご使用の機器の取扱説明書や、メーカーのホームページなどを参照してください。

プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名（SSID）は、プリンターの操作パネルに表示して確認するか、プリンターのネットワーク設定情報を印刷することで確認できます。

- プリンターの操作パネルに表示する。
  - ➡ LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - ➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

チェック 5 プリンターに設定されている無線ダイレクトのパスワードを正しく入力しているか確認してください

プリンターに設定されているパスワードは、プリンターの操作パネルに表示するか、ネットワーク設定情報を印刷することで確認できます。

- プリンターの操作パネルに表示する。
  - ➡ LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  ➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

チェック 6 プリンターと各種機器の距離が離れすぎていないか確認してください

プリンターと各種機器の距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと各種機器を近づけてみてください。

プリンターのネットワークや各種機器との接続を切り替える

新しく LAN 接続したパソコンをプリンターにつないだり、接続方法を USB から LAN に変更する場合、無線 LAN（Wi-Fi）の接続方式を変更する場合は以下の項目を確認してください。

- 1.他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- 2.LAN の接続方法を切り替える
- 3.無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える

1.他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える

ネットワーク接続されたパソコンにプリンターを追加する場合や USB ケーブルでしているプリンターをネットワーク接続に切り替える場合には、ウェブページの「セットアップガイド」からセットアップを行ってください。

2.LAN の接続方法を切り替える

プリンターを LAN 接続で使用しているときに、接続方法を USB 接続に切り替える場合は、ウェブページの「セットアップガイド」からセットアップを再度行ってください。

3.無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える

- **プリンターを無線 LAN 接続（Wi-Fi）で使用しているときに無線ダイレクトに切り替えたい場合：**

  そのまま無線ダイレクト接続が可能です。無線ダイレクト接続と無線 LAN 接続（Wi-Fi）を併用できます。ただし、IEEE802.1X/EAP（WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ）をご使用の場合は併用できません。

  ➡ 無線ダイレクト接続

- **プリンターを無線ダイレクトで使用しているときに無線 LAN 接続（Wi-Fi）に切り替えたい場合：**

  初めて、パソコンやスマートフォンを Wi-Fi ルーター経由でプリンターに接続して印刷する場合や、プリンターと Wi-Fi ルーターの接続周波数を変更したい場合は、セットアップを実施してください。

  - **Windows をご使用の場合：**

    セットアップガイドの「接続モードの変更」を参照してください。

  - **macOS をご使用の場合：**

    ウェブページの「セットアップガイド」からセットアップを再度行ってください。

ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない

ネットワーク設定アシスタントを利用してネットワーク接続の診断と修復を行ってください。

以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールできます。

➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

ネットワーク設定アシスタントの起動のしかたは、以下を参照してください。

- **Windows をご使用の場合：**
  - ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する
- **macOS をご使用の場合：**
  - ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

ネットワーク設定アシスタントで診断と修復を行っても改善しない場合は、以下の項目を確認してください。

➡ WPA/WPA2/WPA3 を設定した Wi-Fi ルーターと接続できない（設定した Wi-Fi のパスワードを忘れてしまった）

➡ 暗号化の設定方法がわからない

Q WPA/WPA2/WPA3 を設定した Wi-Fi ルーターと接続できない（設定した Wi-Fi のパスワードを忘れてしまった）

A

Wi-Fi ルーターの設定を確認してください。確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと Wi-Fi ルーターが、その設定で通信できることを確認してください。

Q 暗号化の設定方法がわからない

A

WPA2 を含む暗号化を選択してください。

参考

- WPA3 対応 Wi-Fi ルーターの工場出荷時初期値は、WPA3 に設定されている場合があります。

パソコンと Wi-Fi ルーターが、選択した設定で通信できることを確認してください。確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

- **WPA2/WPA3 を設定する場合（Windows）**

  認証タイプや Wi-Fi のパスワード、動的暗号化の種類は、プリンターと Wi-Fi ルーターおよびパソコンで合わせる必要があります。

  Wi-Fi のパスワードは、Wi-Fi ルーターで設定したパスワードを入力してください。

動的暗号化の種類（暗号化方式）は、AES（強固な暗号化）が自動で選ばれます。

詳細については、「[WPA/WPA2/WPA3 詳細] 画面が表示された場合は」を参照してください。

参考

- 本製品でサポートしている暗号化方式は、「ネットワーク仕様」を参照してください。
  ➡ ネットワーク仕様
- IEEE802.1X/EAP（WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ）の設定には、認証（Radius）サーバーの設定も必要になります。

  詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）／パスワードを確認したい

Wi-Fi ルーターのメーカーによって、ネットワーク名（SSID）／パスワードの記載箇所は異なります。ご使用の Wi-Fi ルーターの取扱説明書や、メーカーのホームページなどを参照してください。

参考

- Wi-Fi ルーターの機種によっては、ネットワーク名（SSID）の末尾の数字や記号で周波数帯（2.4GHz または 5GHz）、用途（パソコン用またはゲーム機用）、暗号化種類を区別している場合があります。
- IEEE802.1X/EAP（WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ）の設定には、認証（Radius）サーバーの設定も必要になります。

  詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワークに関する設定を調べたい

- プリンターの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい
- パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい
- パソコンとプリンター、またはパソコンと Wi-Fi ルーターが通信可能かを確認したい
- ネットワーク設定情報を確認したい

Q プリンターの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい

A

プリンターの IP アドレスや MAC アドレスは、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- 操作パネルに表示する。
  - LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

Windows をご使用の場合はパソコンの画面で確認することもできます。

- ［Canon ネットワーク設定アシスタント］画面

Q パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい

A

パソコンに割り振られている IP アドレスまたは MAC アドレスを知りたいときは、以下の手順で確認してください。

- **Windows をご使用の場合：**

  1. ［スタート］から［コマンド プロンプト］を選ぶ

  2. 「ipconfig/all」を入力し、［Enter］キーを押す

  ご使用のパソコンの IP アドレスおよび MAC アドレスが表示されます。パソコンがネットワークに接続されていない場合、IP アドレスは表示されません。

- **macOS をご使用の場合：**

  1. Apple メニューから［システム設定］を選び、［ネットワーク］をクリックする

  2. ご使用のネットワークが選ばれていることを確認する

  ご使用のネットワークとして、無線 LAN 接続の場合は[Wi-Fi]が、有線 LAN 接続の場合は［Ethernet］が[接続済み]となっていることを確認してクリックします。

  3. IP アドレスを確認するときは［詳細］をクリックする

ご使用のパソコンの IP アドレスが表示されます。MAC アドレスを確認するときには［ハードウェア］をクリックします。

Q パソコンとプリンター、またはパソコンと Wi-Fi ルーターが通信可能かを確認したい

A

ping コマンドを実行して、通信ができているか確認します。

- **Windows をご使用の場合：**

  1. ［スタート］から［コマンド プロンプト］を選ぶ

  2. 「ping XXX.XXX.XXX.XXX」を入力し、［Enter］キーを押す

  XXX.XXX.XXX.XXX には、確認したいプリンターや Wi-Fi ルーターなどの IP アドレスを入力します。

  通信が正しく行われている場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

  XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数=32 時間=10ms TTL=255

  ［Request timed out］などが表示された場合は、正しく通信できていません。

- **macOS をご使用の場合：**

  1. 以下のように［ターミナル］を起動する

  Finder の［移動］メニューから［コンピュータ］を選び、［Macintosh HD］、［アプリケーション］、［ユーティリティ］、［ターミナル］の順にダブルクリックします。

  2. 「ping -c3 XXX.XXX.XXX.XXX」を入力し、［Enter］キーを押す

  XXX.XXX.XXX.XXX には、確認したいプリンターや Wi-Fi ルーターなどの IP アドレスを入力します。

  通信が正しく行われている場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

  64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=0 ttl=64 time=3.394 ms

  64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=1 ttl=64 time=1.786 ms

  64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=2 ttl=64 time=1.739 ms

  --- XXX.XXX.XXX.XXX ping statistics ---

  3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss

  以下のように表示された場合は、正しく通信できていません。

  PING XXX.XXX.XXX.XXX (XXX.XXX.XXX.XXX)：56 data bytes

  ---XXX.XXX.XXX.XXX ping statistics ---

  3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss

Q ネットワーク設定情報を確認したい

A

プリンターの LAN 設定は、プリンターの操作パネルに表示するか、設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターの操作パネルに表示する。

  ➡ LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  ➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す

重要

- 初期化を行うとプリンターのネットワーク接続情報がすべて削除され、ネットワーク経由の印刷ができなくなります。再度、プリンターをネットワーク接続でご使用になる場合は、ウェブページの「セットアップガイド」からセットアップをやり直してください。

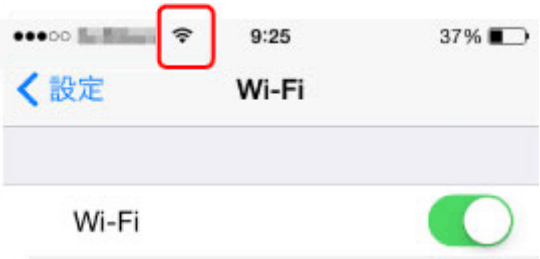
プリンターの操作パネルから LAN 設定をリセットしてください。

➡ 設定リセット

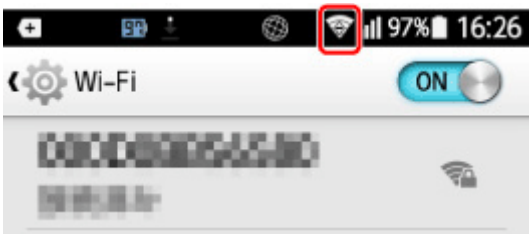
スマートフォン／タブレットを Wi-Fi ルーターに接続できない

チェック ご使用のスマートフォン／タブレットの画面に Wi-Fi のアンテナが表示されているか確認してください

- **iOS 機器の表示例：**



- **Android 機器の表示例：**



表示されていない場合は、ご使用の機器の Wi-Fi 機能が無効になっています。ご使用の機器の設定メニューから Wi-Fi 機能を有効にし、Wi-Fi ルーターに接続してください。機器の Wi-Fi 機能を有効にする手順や、Wi-Fi ルーターとの接続手順については、ご使用の機器の取扱説明書や、メーカーのホームページなどを参照してください。

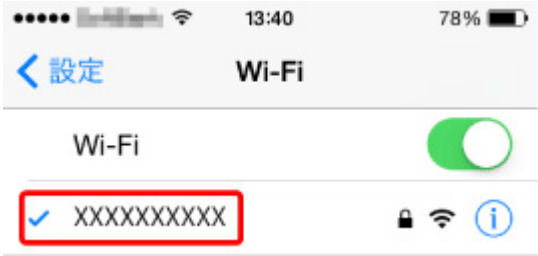
参考

- あらかじめパソコンでプリンターの無線 LAN セットアップを完了させておくと、スマートフォン／タブレットでのセットアップがしやすくなります。

スマートフォン／タブレットが選んでいる Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）を確認したい

ご使用のスマートフォン／タブレットが選んでいる Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）は、スマートフォン／タブレットの設定画面で確認することができます。

- **iOS 機器の表示例：**



- **Android 機器の表示例：**

設定画面の表示のしかたについてはご使用の機器の取扱説明書や、メーカーのホームページなどを参照してください。

重要

- プリンター、スマートフォン／タブレットのそれぞれが同じ Wi-Fi ルーターに接続されるように、各機器の設定を行ってください。

本体のトラブル

- 電源が入らない
- 電源が自動的に切れてしまう
- USB 接続トラブル
- 液晶モニターの表示が消えている
- プリンター状態の確認画面が表示されない（Windows）
- メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない
- カラーキャリブレーションしたら警告画面が表示される
- プリンターのファームウェアをアップデートしたい

電源が入らない

チェック 1 電源ボタンを押してみてください

➡ 電源を入れる／切る

チェック 2 プリンターと電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください

チェック 3 電源プラグをコンセントから抜き、3 分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないでプリンターの電源を入れ直してください

それでも回復しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

Q

電源が自動的に切れてしまう

A

チェック プリンターが自動的に電源を切る設定になっている場合は、設定を解除してください

自動的に電源を切る設定になっていると、設定した時間に応じてプリンターの電源は自動的に切れます。

1. ホーム画面で ［各種設定］を選ぶ
2. ［本体設定］を選ぶ
3. ［電源管理］を選ぶ
4. ［自動電源管理を使う］を選ぶ
5. ［自動電源オフ］を選ぶ
6. ［しない］を選ぶ

   自動的に電源を切る設定が解除されます。

参考

- 設定を変更すると、消費電力が多くなる場合があります。

USB 接続トラブル

パソコンと USB 接続したプリンターが認識されない場合は、以下の項目を確認してください。

➡ USB 接続が認識されない

USB 接続が認識されているにもかかわらず、以下の現象が発生する場合があります。

- 印刷速度が遅い
- Hi-Speed USB として動作しない
- ［さらに高速で実行できるデバイス］などの警告文が画面に表示される（Windows）

上記の場合は、以下の項目を確認してください。

➡ USB 接続が正常に動作しない

参考

- Hi-Speed USB に対応していない環境では、Full-Speed または Low-Speed でプリンターと接続します。この場合、プリンターは正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷速度が遅くなることがあります。

USB 接続が認識されない

チェック 1 プリンターの電源が入っているか確認してください

チェック 2 プリンターとパソコンから USB ケーブルを抜き、もう一度接続してください

USB ケーブル接続部は、下の図のようにプリンターの左側面にあります。

重要

- 「Type-B」コネクタの向きを確認し、プリンターに接続してください。詳細は USB ケーブルに付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 3 ［プリンターのプロパティ］画面の［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］にチェックマークが付いているか確認してください（Windows）

付いていない場合はチェックマークを付けて、双方向通信を行ってください。

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた

チェック 4 プリンターの設定を初期化してください

ホーム画面で ［各種設定］→［本体設定］→［設定リセット］→［すべてリセット］を選びます。

➡ 設定リセット

プリンターの設定を初期化したあとはプリンターの再セットアップが必要です。

ウェブページの「セットアップガイド」からセットアップをやり直してください。

USB 接続が正常に動作しない

チェック ご使用の環境が Hi-Speed USB に対応しているか、次の点を確認してください

- ご使用のプリンターによって、使用できる USB ケーブルの種類が異なります。プリンターの USB ケーブル接続部の形状を確認してください。

  ➡ USB ケーブルとは

- パソコンの USB ケーブル接続部は、Hi-Speed USB に対応していますか。
- USB ケーブルと USB ハブは、Hi-Speed USB に対応していますか。

  USB ケーブルは、かならず Hi-Speed USB 認証ケーブルをご使用ください。また、USB ケーブルは長さ 3 m（10 ft）以内のものをお勧めします。

- ご使用のパソコンで、Hi-Speed USB ドライバーが正しく動作していますか。

  最新の Hi-Speed USB 対応 USB ドライバーが正しく動作しているか確認して、必要に応じてアップデートをインストールしてください。

重要

- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USB ケーブル、USB ハブのメーカーにご確認ください。

液晶モニターの表示が消えている

- 電源ランプが消えているとき：

  電源が入っていません。電源コードが接続されていることを確認し、電源を入れてください。

  ➡ 電源を入れる／切る

- 電源ランプが点灯しているとき：

  液晶モニターが自動消灯しています。操作パネルのいずれかのボタンを押してください。

Q

プリンター状態の確認画面が表示されない（Windows）

A

チェック 1 プリンター状態の確認画面を使用する設定になっているか確認してください

プリンター状態の確認画面の［オプション］メニューの［ステータスモニタを使用］にチェックマークが付いているか確認してください。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

   ➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた

2. ［ユーティリティ］タブ、［プリンター状態の確認］の順にクリックする

3. ［オプション］メニューの［ステータスモニタを使用］にチェックマークが付いていない場合はチェックマークを付ける

チェック 2 Windows Update がすべて適用されていることを確認してください

Windows Update がすべて適用されていない場合、プリンター状態の確認画面が表示されません。すべての Windows Update を適用させてください。

メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない

交換した新しいメンテナンスカートリッジが認識されていません。

交換した新しいメンテナンスカートリッジを取り外し、再度しっかり差し込み直します。

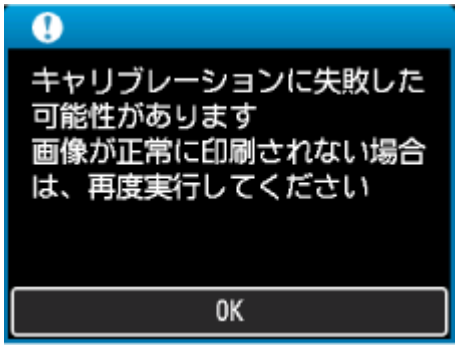
➡ メンテナンスカートリッジを交換する

カラーキャリブレーションしたら警告画面が表示される

以下の場合は、再度カラーキャリブレーションの実行、またはカラーキャリブレーションターゲットの作成を行ってください。

- カラーキャリブレーションを実行したときに警告メッセージが表示された
- カラーキャリブレーションターゲットを作成したときに警告メッセージが表示された
- キャリブレーションされた用紙で印刷したときに印刷結果に異常が見られた

警告画面の一例



このとき、以下のことに注意してください。

- ヘッドのノズルづまりがないこと
- 用紙に反りや折れ曲がりがないこと
- 用紙の裏表などが正しくセットされていること
- 用紙設定が正しく指定されていること
- キャリブレーション実行可能な用紙サイズであること

➡ カラーキャリブレーションを行う

プリンターのファームウェアをアップデートしたい

ファームウェアのアップデートのしかたは、以下を参照してください。

➡ ファームウェアをアップデートする

インストール／ダウンロードに関するトラブル

- プリンタードライバーがインストールできない（Windows）
- ネットワーク環境でプリンタードライバーをアップデートする（Windows）
- プリンター使用状況の送信を停止したい
- セットアップアプリで管理者ユーザー名とパスワードを聞かれた（Windows）
- 印刷できるパソコン／スマートフォン／タブレットを追加したい
- ネットワーク接続していないパソコンにプリンタードライバーをインストールしたい（Windows）
- Canon PRINT をダウンロードしたい

プリンタードライバーがインストールできない（Windows）

プリンタードライバーが正しくインストールできなかった場合、Windows Update がすべて適用されていることを確認してください。Windows Update がすべて適用されていない場合は、すべての Windows Update を適用させてください。

Windows Update の確認ができたら、以下の操作を行なってプリンタードライバーをインストールしてください。

1. **プリンタードライバーをアンインストールするための画面を開く**

   Windows 11 をご使用の場合：

   ［設定］から［アプリ］を選びます。

   ［アプリと機能］を選びます。

   Windows 10 をご使用の場合：

   ［設定］から［アプリ］を選びます。

2. **一覧に「Canon XXX series Drivers」または「Canon XXX series Printer Driver」がないか確認する**

   「XXX」には機種名が入ります。

3. **一覧にインストールしたいプリンターのプリンタードライバーが見つかった場合はアンインストールする**

   見つからなかった場合は次の手順へ進みます。

4. **パソコンを再起動する**

   再起動後、最新のプリンタードライバーをインストールします。

   重要

   - Windows をご使用の場合：

     パソコンを再起動する場合、シャットダウンではなく再起動を選んでください。

ネットワーク環境でプリンタードライバーをアップデートする（Windows）

あらかじめ新しいバージョンのプリンタードライバーをダウンロードしてください。

最新のプリンタードライバーを入手するには、キヤノンのホームページにあるソフトウェアダウンロードのページから、お使いの機種のドライバーをダウンロードします。

ダウンロードが完了したら、新しいバージョンのプリンタードライバーを所定のインストール手順に従って上書きインストールしてください。

参考

- プリンターに設定済みのネットワーク設定は変更されませんので、そのままプリンターをネットワーク接続で使用できます。

Q

プリンター使用状況の送信を停止したい

A

使用状況の送信はプリンターやパソコン、スマートフォン／タブレットなど、それぞれのデバイスで設定／管理されています。送信を停止するには、プリンターだけではなく、各デバイスからも停止してください。

重要

- 送信を停止する設定を行う前に、各デバイスがインターネットに接続されていることを確認してください。
- 送信可否を変更した結果がプリンターに反映されるまで、時間がかかることがあります。

➡ Windows をご使用の場合：
➡ macOS をご使用の場合：
➡ スマートフォン／タブレットのアプリ をご使用の場合：

Windows をご使用の場合：

セットアップを起動してプリンターの送信設定を変更します。

1. 設定を変更するパソコンがインターネットに接続されていることを確認する

2. セットアップを起動する

➡ セットアップを行う

3. ［セットアップをはじめましょう］画面で、［セットアップ開始］をクリックする

画面の指示に従いながら進み、［各種サービスをご利用いただく上でのお願い］の許諾画面が表示されるところまで進みます。

4. ［各種サービスをご利用いただく上でのお願い］の許諾画面で［同意しない］をクリックする

警告画面が表示されます。

5. 表示された画面で［OK］をクリックする

6. 画面の指示に従いながら進み、最後までセットアップを終了させる

7. 時間を置き、［各種サービスをご利用いただく上でのお願い］の許諾画面が再表示されたら、［同意しない］をクリックする

参考

- ご使用の環境によっては、許諾画面が再表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 許諾画面が再表示されるまで、プリンターの電源は切らないでください。

macOS をご使用の場合：

セットアップを起動してプリンターと macOS の送信設定を変更します。

1. セットアップを起動する

➡ セットアップを行う

2. ［セットアップをはじめましょう］画面で、［セットアップ開始］をクリックする

画面の指示に従いながら進み、［各種サービスをご利用いただく上でのお願い］の許諾画面が表示されるところまで進みます。

3. ［各種サービスをご利用いただく上でのお願い］の許諾画面で［同意しない］をクリックする

警告画面が表示されます。

4. 表示された画面で［OK］をクリックする

5. 画面の指示に従いながら進み、最後までセットアップを終了させる

6. 時間を置き、［各種サービスをご利用いただく上でのお願い］の許諾画面が再表示されたら、［同意しない］をクリックする

参考

- ご使用の環境によっては、許諾画面が再表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 許諾画面が再表示されるまで、プリンターの電源は切らないでください。

スマートフォン／タブレットのアプリ をご使用の場合：

アプリを使って、プリンターとスマートフォン／タブレットの送信設定を変更します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. アプリを起動する

3. 画面右下の［メニュー］をタップする

4. ［アプリについて］をタップする

5. ［情報送信の設定］をタップする

［情報送信の設定］の画面が表示されます。

6. 表示されるメッセージを確認して、送信を停止したい項目の［同意する］のチェックをはずし、［OK］をタップする

上から１つ目のチェックをはずしていた場合は、警告画面が表示されるので、［OK］をタップします。

アプリからの送信が停止します。

各項目の送信を再開する場合は、［同意する］のチェックをいれ、［OK］をタップします。

続いてプリンターからの送信を停止させます。

7. 画面左下の［ホーム］をタップする

送信設定を変更したいプリンターが表示されていることを確認します。

8. プリンターのアイコンをタップする

9.［情報送信の設定］をタップする

［情報送信の設定］の画面が表示されます。

10. 表示されるメッセージを確認して、送信を停止したい項目の［同意する］のチェックをはずし、［OK］をタップする

上から１つ目のチェックをはずしていた場合は、警告画面が表示されるので、［OK］をタップします。

プリンターからの送信が停止します。

各項目の送信を再開する場合は、［同意する］のチェックをいれ、［OK］をタップします。

参考

- スマートフォン／タブレットで設定変更が完了するまで、プリンターの電源は切らないでください。
- 複数のデバイスをプリンターに接続している場合は、すべてのデバイスで停止作業を行う必要があります。いずれかのデバイスが同意した状態になっていると、情報の送信は継続されます。

セットアップアプリで管理者ユーザー名とパスワードを聞かれた（Windows）

チェック ローカル管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力してください

パソコンでプリンターのセットアップアプリをインストールするときや起動するときに、管理者のユーザー名とパスワードの入力を求められる場合があります。その場合、今お使いのユーザー名とパスワードではなく、ローカル管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力してください。

ローカル管理者アカウントの情報がわからない場合は、パソコンの管理者にお問い合わせください。

印刷できるパソコン／スマートフォン／タブレットを追加したい

チェック 追加したい機器で、セットアップのためのソフトウェアを実行してください

プリンターとルーターが接続済で、パソコンやスマートフォン／タブレットの新規購入などによりプリンターと接続する機器を追加するには、追加する機器でセットアップのためのソフトウェアを実行します。

新たに追加したい機器で、以下のリンクにアクセスしてください。

- **Windows をご使用の場合：**

  ➡ パソコンとの接続

- **macOS をご使用の場合：**

  ➡ パソコンとの接続

- **スマートフォン／タブレットをご使用の場合：**

  ➡ スマートフォンとの接続

Q

ネットワーク接続していないパソコンにプリンタードライバーをインストールしたい（Windows）

A

チェック USB メモリや SD カード（リムーバブルメディア）を使ってプリンタードライバーをインストールしてください

ネットワーク接続している別のパソコンから USB メモリや SD カード（リムーバブルメディア）に、お使いの機種のプリンタードライバーをダウンロードします。ダウンロードが完了したら、ネットワーク接続していないパソコンにデータを移動、手順に従ってインストールしてください。

参考

- プリンタードライバーは、キヤノンホームページのソフトウェアダウンロードページにてダウンロードすることができます。

  ➡ ソフトウェアダウンロードのページ

Q

Canon PRINT をダウンロードしたい

A

スマートフォン／タブレットのアプリ は App Store や Google Play からダウンロードできます。

- iOS 機器の場合
- Android 機器の場合

iOS 機器をご使用の場合は、AirPrint を使用して印刷することもできます。

- iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）

Android 機器をご使用の方は、印刷用プラグインの Canon Print Service を使用して印刷することもできます。

- Canon Print Service

印刷のトラブル

- 印刷が始まらない
- 印刷が途中で止まる
- 通常使うプリンターが勝手に変わる（Windows）
- オフラインになる（Windows）／通信できない（Windows）
- Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows）

Q

印刷が始まらない

A

チェック 1 プリンターの電源が入っているか確認してください

プリンターの電源が入っていない場合は、電源プラグがしっかり差し込まれていることを確認し、電源を入れてください。

チェック 2 プリンターとパソコンが通信できる状態か確認してください

USB 接続（USB ケーブル）でプリンターをご使用の場合は、プリンターの USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USB ケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外してプリンターとパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

ネットワーク接続でプリンターをご使用の場合は、ネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

➡ ネットワークにプリンターが見つからない（Windows/macOS）

参考

- ネットワーク設定アシスタントを利用するとネットワーク接続の診断と修復を行うことができます。

  以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

  ➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

  ネットワーク設定アシスタントの起動のしかたは、以下を参照してください。

  - **Windows をご使用の場合：**

    ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

  - **macOS をご使用の場合：**

    ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

チェック 3 用紙の設定と、上トレイまたは手差しトレイに登録した用紙のサイズ、種類が一致しているか確認してください

用紙の設定と、上トレイまたは手差しトレイに登録した用紙のサイズ、種類が一致していない場合は、操作パネルにメッセージが表示されます。操作パネルに表示されているメッセージに従って操作してください。

参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する／表示しないように切り替えることもできます。
  - プリンターの操作パネルから印刷するときの表示設定を変更するには：

➡ 用紙関連の設定

– プリンタードライバーから印刷するときの表示設定を変更するには：

➡ プリンターの設定を変更する（Windows）
➡ プリンターの設定を変更する（macOS）

チェック 4 パソコンからの印刷で、不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください

- **Windows をご使用の場合：**

  ➡ 不要になった印刷ジョブを削除する

- **macOS をご使用の場合：**

  ➡ 不要になった印刷ジョブを削除する

チェック 5 給紙口カバーが開いていませんか

給紙口カバーが開いている場合は、ゆっくりと閉じてから、プリンターの OK ボタンを押してください。

チェック 6 手差しトレイが紙づまり処理位置になっていませんか

手差しトレイが紙づまり処理位置になっている場合は、標準の印刷位置に戻し、手差しトレイに用紙をセットし直してから、プリンターの OK ボタンを押してください。

チェック 7 タンクカバーが開いていませんか

印刷するときにタンクカバーが開いている場合は閉じてください。

チェック 8 プリンタードライバーで用紙の種類と用紙のサイズが正しく選ばれていますか

プリンタードライバーで用紙の種類を［写真用紙 プレミアムマット］、［プレミアムファインアート・スムース］、［プレミアムファインアート・ラフ］または［マットフォトペーパー］に指定しているときは、用紙サイズを以下の余白が大きいサイズに設定する必要があります。

- ［A4（余白 25mm）］
- ［レター（余白 25mm）］
- ［A3（余白 25mm）］
- ［A3 ノビ（余白 25mm）］
- ［A2（余白 25mm）］
- ［17x22（余白 25mm）］／［C（余白 25mm）］

重要

- 以下の方法で安全余白制限を解除し、通常の用紙サイズで印刷できます。
  - Windows をご使用の場合：

    プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］をクリックします。表示されるダイアログで［安全余白の制限を解除する］のチェックマークを付けます。
  - macOS をご使用の場合：

    プリントダイアログの［用紙の詳細設定］で［安全余白制限の解除］のチェックマークを付けます。

通常の用紙サイズで印刷した場合は、ご使用の環境によっては、用紙のこすれなどにより、用紙の汚れや印刷品質の低下が起こる可能性があります。余白が大きいサイズで印刷することをお勧めします。

チェック 9 印刷するときに、ご使用になっているプリンターのプリンタードライバーが選ばれているか確認してください

異なるプリンターを選んでいると、印刷は始まりません。

- **Windows をご使用の場合：**

  ［印刷］ダイアログで「Canon XXX series」（「XXX」は機種名）が選ばれていることを確認してください。

  参考

  - 複数のプリンターが登録されているときには、プリンターを［Windows で通常使うプリンタを管理する］に設定すると、常に同じプリンターが選ばれるようにできます。

    ➡ 通常使うプリンターが勝手に変わる（Windows）

- **macOS をご使用の場合：**

  プリントダイアログの［プリンタ］でご使用のプリンター名が選ばれていることを確認してください。

  参考

  - 複数のプリンターが登録されているときには、［システム設定］の［プリンタとスキャナ］で、プリンターを［デフォルトプリンタ］に設定すると、常に同じプリンターが選ばれるようにできます。

チェック 10 大きなファイルを印刷していませんか（Windows）

データのサイズが大きいファイルを印刷すると、印刷が開始されるまでに時間がかかります。

しばらく待ってもプリンターから印刷が開始されない場合は、［印刷オプション］のダイアログで、［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定してください。

詳しくは「［ページ設定］シートの画面説明」を参照してください。

重要

- ［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷が終了したら、［印刷データの欠落防止］を［オフ］に戻してください。

チェック 11 パソコンから印刷している場合、パソコンを再起動してみてください

パソコンを再起動した後、再度印刷してみてください。

重要

- Windows をご使用の場合：

  パソコンを再起動する場合、シャットダウンではなく再起動を選んでください。

Q

印刷が途中で止まる

A

チェック 1 用紙がセットされているか確認してください

プリンターに用紙が残っているか確認してください。

用紙がない場合は、用紙をセットしてください。

チェック 2 写真やイラストなどが多く入っている原稿や文書を印刷していないか確認してください

写真やグラフィックなど大容量のデータの印刷は、プリンターまたはパソコンによる処理に時間がかかるため、プリンターが動いていないように見えることがあります。

また、普通紙にインクを大量に使用する原稿を連続して印刷すると、プリンターが一時的に止まることがあります。どちらの場合も処理が終わるまでお待ちください。

参考

- 印刷する部分が多い原稿や文書の印刷、または 2 部以上の印刷を行うと、インクを乾かす時間をとるために印刷が止まることがあります。

チェック 3 長時間、連続してプリンターで印刷していないか確認してください

長時間、プリンターで連続して印刷していると、プリントヘッドなどの部品が過熱する場合があります。プリンターは、適宜自動停止してから印刷を再開するようになります。

その場合は、そのまましばらくお待ちください。それでも印刷が再開されない場合は、プリンターの電源を切ってください。しばらく待ってからプリンターの電源を入れて、印刷ができるか確認してください。

注意

- プリンター内部のプリントヘッド周辺の温度が非常に高くなる場合があります。プリントヘッドや周辺の部品には手を触れないでください。

通常使うプリンターが勝手に変わる（Windows）

Windows 10 から、通常使うプリンターの管理方法が変わりました。お使いの Windows に合わせて、次の項目を確認してください。

- Windows 11 をご使用の場合：
- Windows 10 をご使用の場合：

Windows 11 をご使用の場合：

［スタート］メニューにある［設定］から、通常使うプリンターの設定を変更します。

1. **プリンターとスキャナの設定を開く**
2. **［Windows で通常使うプリンタを管理する］を［オフ］にする**
3. **通常に使うプリンターに設定したいプリンターの機種名をクリックする**
4. **上部に表示される［既定として設定する］をクリックする**

   プリンターがデフォルトに設定されると、［既定］と表示されます。

Windows 10 をご使用の場合：

［スタート］メニューにある［設定］から、通常使うプリンターの設定を変更します。

1. **プリンターとスキャナの設定を開く**
2. **［Windows で通常使うプリンタを管理する］のチェックを外す**
3. **通常に使うプリンターに設定したいプリンターの機種名をクリックする**
4. **［管理］をクリックする**
5. **［既定として設定する］を選ぶ**

   プリンターがデフォルトに設定されると、［既定］と表示されます。

Q

オフラインになる（Windows）／通信できない（Windows）

A

プリンターがパソコンと通信できない場合は、印刷時に「オフライン」とエラー表示されることがあります。プリンターをオンラインに戻すには以下のことを試してください。

1. 接続（USB または Wi-Fi）を確認する

USB 接続の場合：

USB 接続したプリンターがパソコンで認識されていることを確認します。

Wi-Fi 接続の場合：

プリンターの液晶モニターに が表示されていることを確認します。

2. プリンターの電源を切ってから、再度電源を入れる

オフラインが解消されたか確認します。プリンターのオフラインが解消されない場合は、次のステップに進みます。

3. プリンタードライバーの名称を確認する

プリンターとプリンタードライバーの名称が一致しているか確認します。また、使用しているプリンターのプリンタードライバーを通常使うプリンターに設定してください。

➡ 通常使うプリンターが勝手に変わる（Windows）

オフラインが解消されたか確認します。プリンターのオフラインが解消されない場合は、次のステップに進みます。

4. プリンターが［プリンターをオフラインで使用する］モードに設定されていないことを確認する

Windows 11 をご使用の場合：

1. プリンターとスキャナの設定を開く
2. 設定したいプリンター名をクリックする
3. ［印刷設定］をクリックする

   印刷設定ウィンドウが開きます。
4. ［ユーティリティ］タブをクリックする
5. ［プリンター状態の確認］をクリックする

   Canon IJ Status Monitor のウィンドウが表示されます。

6. Canon IJ Status Monitor のウィンドウで、［印刷待ち一覧を表示］をクリックする

   印刷待ち一覧のウィンドウが表示されます。

7. 印刷待ち一覧のウィンドウで［プリンター］メニューをクリックする

   ［プリンターをオフラインで使用する］の項目が選択されていないことを確認します。

   項目が選択されている場合は、［プリンターをオフラインで使用する］をクリックして選択を解除します。

オフラインが解消されたか確認します。プリンターのオフラインが解消されない場合は、次のステップに進みます。

Windows 10 をご使用の場合：

1. プリンターとスキャナの設定を開く

2. 設定したいプリンター名をクリックし、［キューを開く］を選ぶ

   印刷待ち一覧のウィンドウが表示されます。

3. 印刷待ち一覧のウィンドウで［プリンター］メニューをクリックする

   ［プリンターをオフラインで使用する］の項目が選択されていないことを確認します。

   項目が選択されている場合は、［プリンターをオフラインで使用する］をクリックして選択を解除します。

オフラインが解消されたか確認します。プリンターのオフラインが解消されない場合は、次のステップに進みます。

5. Wi-Fi 接続の場合、ネットワーク設定アシスタントを使用して解決する

ネットワーク設定アシスタントを利用してネットワーク接続の診断と修復を行ってください。

以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールできます。

➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

ネットワーク設定アシスタントの起動のしかたは、以下を参照してください。

➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

オフラインが解消されたか確認します。プリンターのオフラインが解消されない場合は、次のステップに進みます。

6. プリンタードライバーを削除し、プリンタードライバーを再インストールする

お使いのプリンタードライバーのバージョンが古い、または破損していると、印刷できない場合があります。

オフラインが解消されたか確認します。プリンターのオフラインが解消されない場合は、次のステップに進みます。

7. パソコンを再起動する

何らかの原因でパソコンの動作が不安定になっている可能性があります。パソコンを再起動し、印刷ができるかお試しください。

重要

- パソコンを再起動する場合、シャットダウンではなく再起動を選んでください。

Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows）

プリンタードライバーを双方向通信で使用してください。

［プリンターのプロパティ］画面の［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けてください。

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた

用紙がうまく給排紙されない

- 用紙がつまったときの対処方法
- 用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する
- プリンタードライバーで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない（Windows）
- 正常に給紙／排紙されないときの対処方法

用紙がつまったときの対処方法

用紙がつまった場合は、つまった場所や原因に応じて用紙を取り除いてください。

参考

- 紙づまりしていない（サポート番号が表示されていない）のに正常に給紙／排紙されない場合は、「正常に給紙／排紙されないときの対処方法」を参照してください。

➡ 上トレイにセットした用紙がつまった場合：
➡ 手差しトレイにセットした用紙がつまった場合：
➡ プリンターの内部で用紙がつまった場合：

上トレイにセットした用紙がつまった場合：

1. 排紙口または上トレイ（引き出しやすい方）から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く

用紙を両手でしっかりと持ち、紙が破れないようにゆっくりと引き抜いてください。

参考

- 用紙が引き抜けない場合は、プリンターの電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。
- 印刷中につまった用紙を取り除くためプリンターの電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。
- 用紙が破れて排紙口または上トレイから引き抜けなくなった場合は、プリンターの内部から用紙を取り除いてください。

  ➡ プリンターの内部で用紙がつまった場合

2. 用紙をセットし直し、プリンターの OK ボタンを押す

印刷が再開されます。つまったときに印刷していたページが正しく印刷されなかった場合は、再度印刷を行ってください。

手順 1 で電源を入れ直した場合、プリンターに送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷は A5 サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5 サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

手差しトレイにセットした用紙がつまった場合：

1. 紙づまり処理用ボタンを押して、手差しトレイを紙づまり処理位置まで開く

2. 排紙口または手差しトレイ（引き出しやすい方）から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く

用紙を両手でしっかりと持ち、紙が破れないようにゆっくりと引き抜いてください。

参考

- 用紙が引き抜けない場合は、プリンターの電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。
- 印刷中につまった用紙を取り除くためプリンターの電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。
- 用紙が破れて排紙口または手差しトレイから引き抜けなくなった場合は、プリンターの内部から用紙を取り除いてください。

  ➡ プリンターの内部で用紙がつまった場合

3. 手差しトレイを元の位置に戻す

4. 用紙をセットし直し、プリンターの OK ボタンを押す

印刷が再開されます。つまったときに印刷していたページが正しく印刷されなかった場合は、再度印刷を行ってください。

手順 2 で電源を入れ直した場合、プリンターに送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。

プリンターの内部で用紙がつまった場合：

つまった用紙が破れて排紙口、上トレイまたは手差しトレイから取り除けないときや、プリンターの内部で用紙がつまっているときは、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

参考

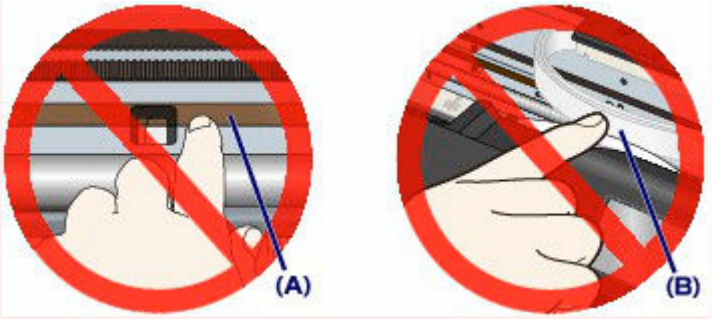
- 印刷中につまった用紙を取り除くためプリンターの電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

1. プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

2. トップカバーを開く

重要

- 透明のフィルム（A）や、白い帯状の部品（B）に触れないでください。

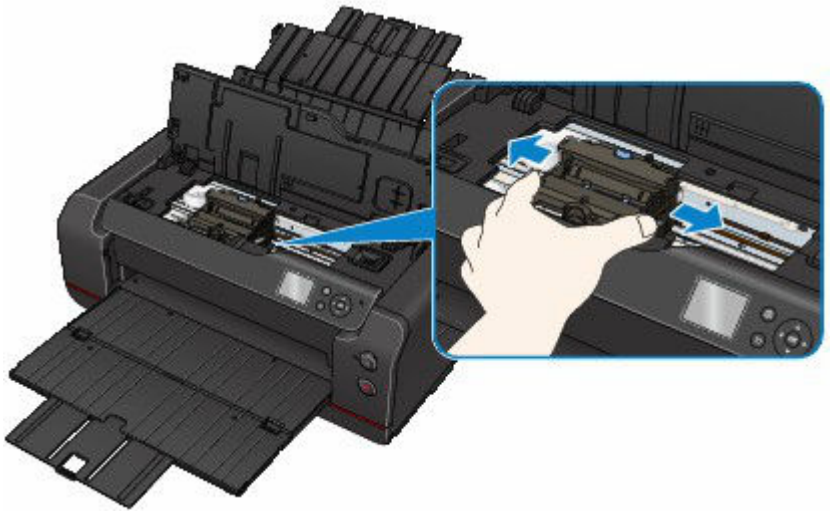


用紙や手が触れてこれらの部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

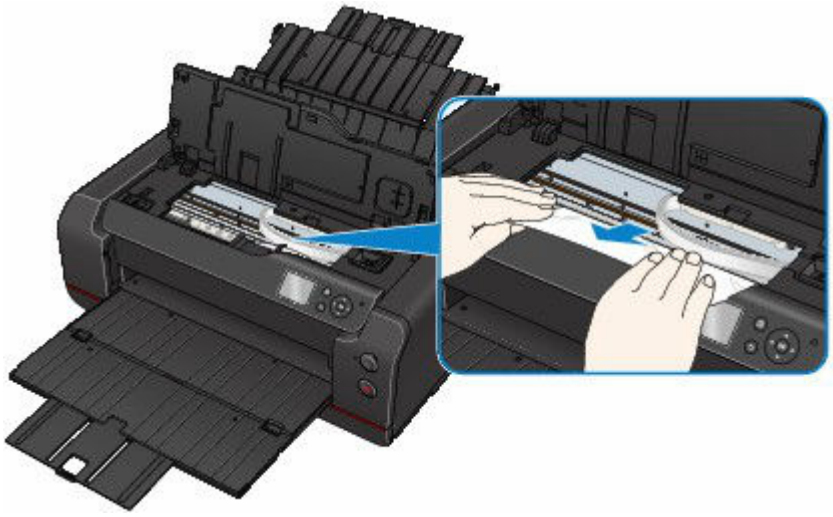
3. プリントヘッドホルダーの下につまった用紙がないか確認する

プリントヘッドホルダーの下につまった用紙があるときは、プリントヘッドホルダーを動かしやすい方向（右端または左端）へ動かして、用紙を取り除きやすくしてください。

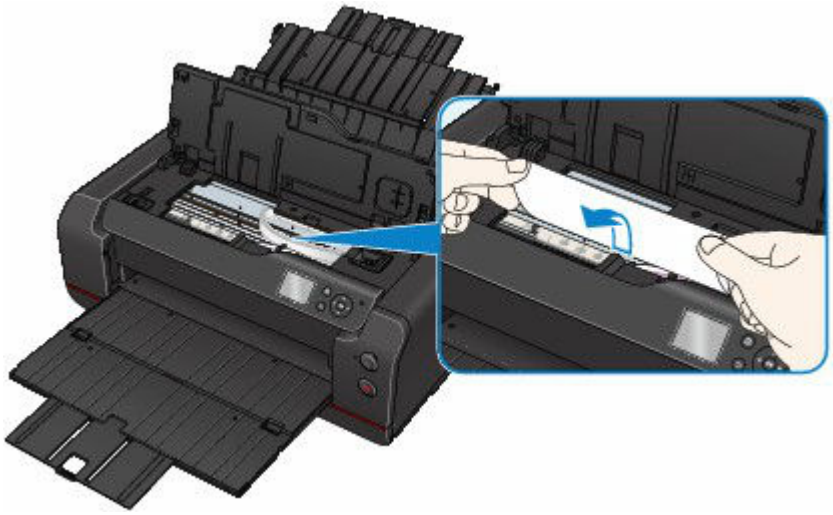
プリントヘッドホルダーを動かすときは、プリントヘッドホルダーの上部をしっかりとつかみ、右端または左端に、ゆっくりとスライドさせてください。



4. つまっている用紙を両手でしっかりとつかむ

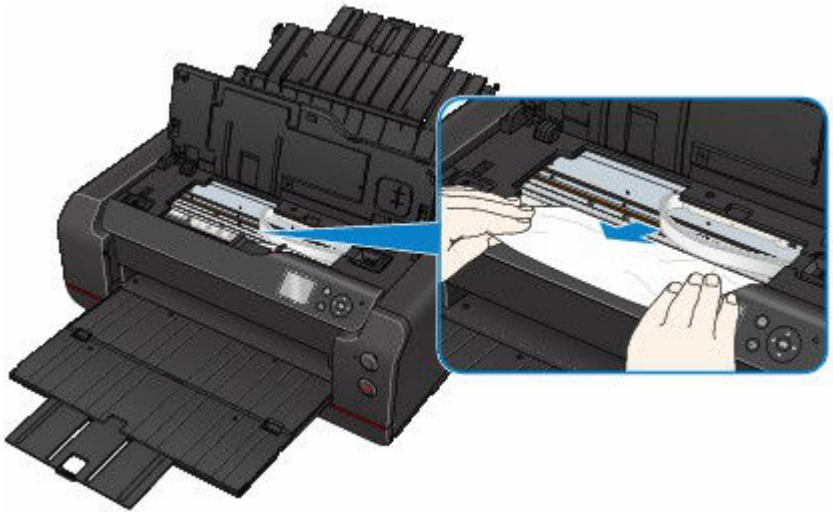


用紙が丸まっている場合は、用紙を引き出してください。



5. 破れないように、ゆっくり用紙を引き抜く

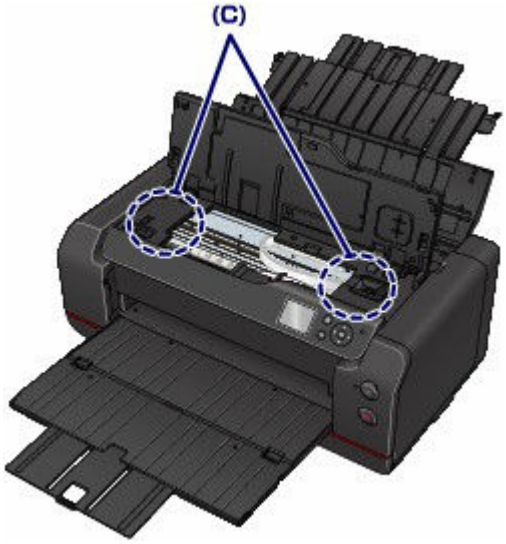
斜め 45 度ぐらいの角度でゆっくりと用紙を引き抜いてください。



6. つまった用紙がすべて取り除かれたことを確認する

引き抜いた用紙が破れている、または欠けている場合は、プリンターの内部に紙片が残っている可能性があります。次のことを確認して、紙片がある場合は取り除いてください。

- プリントヘッドホルダーの下に紙片が残っていないか
- 小さな紙片が残っていないか
- プリンター内部の左側／右側の空間(C)に紙片が残っていないか



7. トップカバーを閉じる

本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。つまった用紙をすべて取り除いたあとで印刷を再開したときに、紙づまりに関するメッセージがプリンターの液晶モニターやパソコンに表示される場合は、プリンターの内部に紙片が残っている可能性があります。その場合はもう一度プリンターの内部に紙片が残っていないか、確認してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

Q 用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する

A

チェック 1 用紙がセットされているか確認してください

- 上トレイに用紙をセットする
- 手差しトレイに用紙をセットする

チェック 2 次のことに注意して用紙をセットしてください

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙をよくさばいてからセットしてください。

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、最大積載枚数を超えないようにしてください。

  ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分以下に減らしてください。
- 印刷の向きに関わらず縦向きにセットしてください。

手差しトレイの場合：

用紙をセットするときは、1 枚ずつセットしてください。連続して印刷するときは、用紙が排紙されてから、次の用紙をセットしてください。

チェック 3 厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

- 使用できる用紙について

チェック 4 はがきをセットする場合は、次のことに注意してください

- はがき、往復はがきが反っていると、最大積載枚数以内の枚数をセットしていても、うまく送られないことがあります。

  はがき、往復はがきは、郵便番号欄を下向きにセットしてください。

チェック 5 給紙位置設定が合っているか確認してください

- 目的に合わせて給紙方法を切り替える（Windows）
- 目的に合わせて給紙方法を切り替える（macOS）

チェック 6 適切な重さの用紙を使用しているか確認してください

- 使用できる用紙について

チェック 7 上トレイや手差しトレイに異物が入っていないか確認してください

紙片が入っている場合は、「用紙がつまったときの対処方法」を参照してください。

上トレイや手差しトレイに物が入っている場合は、かならず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、落としたものを取り除いてください。

参考

- 給紙口カバーを開けた場合は、ゆっくりと閉じてください。

チェック 8 給紙ローラーのクリーニングを行ってください

➡ 給紙ローラーをクリーニングする

参考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

プリンタードライバーで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない（Windows）

チェック アプリケーションソフトで、プリンタードライバーと異なる給紙位置を指定していないか確認してください

アプリケーションソフトの設定をプリンタードライバーの設定に合わせるか、プリンタードライバーの［ページ設定］シートにある［印刷オプション］で［アプリケーションソフトの給紙設定を無効にする］を選択してください。

アプリケーションソフトで、プリンタードライバーと異なる設定をした場合は、アプリケーションソフトの設定が優先されます。

詳しくは「[ページ設定］シートの画面説明」を参照してください。

正常に給紙／排紙されないときの対処方法

紙づまりしていないのに正常に給紙されないときは、以下の順序で対処してください。

チェック 1 排紙口付近に異物はありませんか

チェック 2 上トレイまたは手差しトレイに異物は入っていませんか

上トレイや手差しトレイに物が入っている場合は、かならず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、落としたものを取り除いてください。

参考

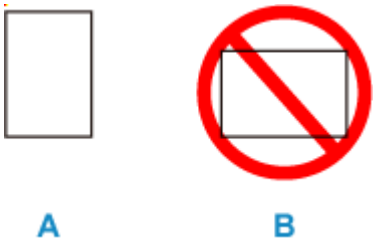
- 給紙口カバーを開けた場合は、ゆっくりと閉じてください。

チェック 3 反りのある用紙を使用していませんか

反りのある用紙は、反りを直してから使用してください。

チェック４ 用紙を正しくセットしていますか

用紙（往復はがきは除く）は縦向き（A）にセットしてください。横向き（B）にセットすると、給紙されなかったり、紙づまりの原因となります。



➡ 上トレイに用紙をセットする
➡ 手差しトレイに用紙をセットする

用紙設定のトラブル

- このプリンターで使用できる用紙の種類が知りたい

このプリンターで使用できる用紙の種類が知りたい

このプリンターで使用できる用紙については、「使用できる用紙について」を参照してください。

➡ 使用できる用紙について

インクに関連するトラブル

- インクが出ない
- インクが異常に消費される

Q

インクが出ない

A

チェック 1 インクの残量を確認してください

➡ インク残量を確認する

チェック 2 プリントヘッドが目づまりしていないか確認してください

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。

➡ ノズルのつまりをチェックする

チェック 3 正しいプリンタードライバーを選択していますか

ご使用のプリンターに合ったプリンタードライバーで印刷し直します。

上記のいずれにもあてはまらない場合、プリンターが故障している可能性があります。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

Q

インクが異常に消費される

A

チェック 1　全面カラーの多数の印刷物を印刷していませんか

写真など色を塗りつぶすような印刷物の場合、インクを多く消費します。異常ではありません。

チェック 2　［システムクリーニング］を頻繁に実行していませんか

［システムクリーニング］を実行すると、インクを多く消費します。異常ではありません。プリンターの輸送後、長期間プリンターを使用しなかった後、またはプリントヘッドのトラブル時以外は、できる限り［システムクリーニング］を実行しないことをお勧めします。

チェック 3　初期充填が行われていませんか

初めてプリンターを使用する場合やプリンターの輸送後に使い始める場合、インクタンクとプリントヘッド間でインクの初期充填が行われます。

このため、インクの残り容量の表示が少なくなる場合がありますが、異常ではありません。

チェック 4　プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルのつまりをチェックしてください。

➡ ノズルのつまりをチェックする

エラー発生時のサポート番号一覧

エラーが発生したときに、液晶モニターとパソコンにサポート番号が表示されます。

「サポート番号」とはエラー識別番号で、エラーメッセージと合わせて表示されます。

エラーが発生したときはサポート番号を確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

表示されるサポート番号

- **1000～1ZZZ**

  1000 1006 1062 1200 1201 1204

  1205 1206 1207 1208 1209 1250

  1261 1293 1300 1340 1401 1403

  1405 1406 1407 1408 1409 140A

  140B 140C 140D 140E 140F 1410

  1411 1412 1413 1414 1415 1416

  1417 1418 1419 141A 141B 1466

  1467 1491 1493 1500 1551 1552

  1570 15A1 15A2 15A3 1600 1660

  1681 1684 1720 1721 1722 1730

  1751 1752 1753 1880 1881

- **2000～2ZZZ**

  2102 2103 2114 2115 2500 2501

  2502 2503

- **3000～3ZZZ**

  3000 3250 3306 3310 3311 3312

  3313 3314 3315 3316 3317 3318

  3319 3413 3440 3441 3446 3447

  3454 3455

- **4000～4ZZZ**

  4103 4109 410E 4111 495A

- **5000～5ZZZ**

  5100 5110 5200 520A 520B 520C

  520D 5250 5400 5403 5700 5701

  5B16 5C00 5C01 5C10 5C11 5C12

  5C13 5C14 5C20

- **6000～6ZZZ**

  6000 6500 6502 6503 6700 6701

  6800 6801 6830 6831 6832 6833

  6900 6901 6902 6910 6920 6921

  6930 6931 6932 6933 6940 6941

  6942 6943 6944 6945 6946 6F00

- **7000～7ZZZ**

  7400 7401 7402 7500 7501 7600

  7601 7700 7701 7800 7801

- **8000～8ZZZ**

  8100 8200

- **A000～ZZZZ**

  B400 B505 B506 B507 B600 B801

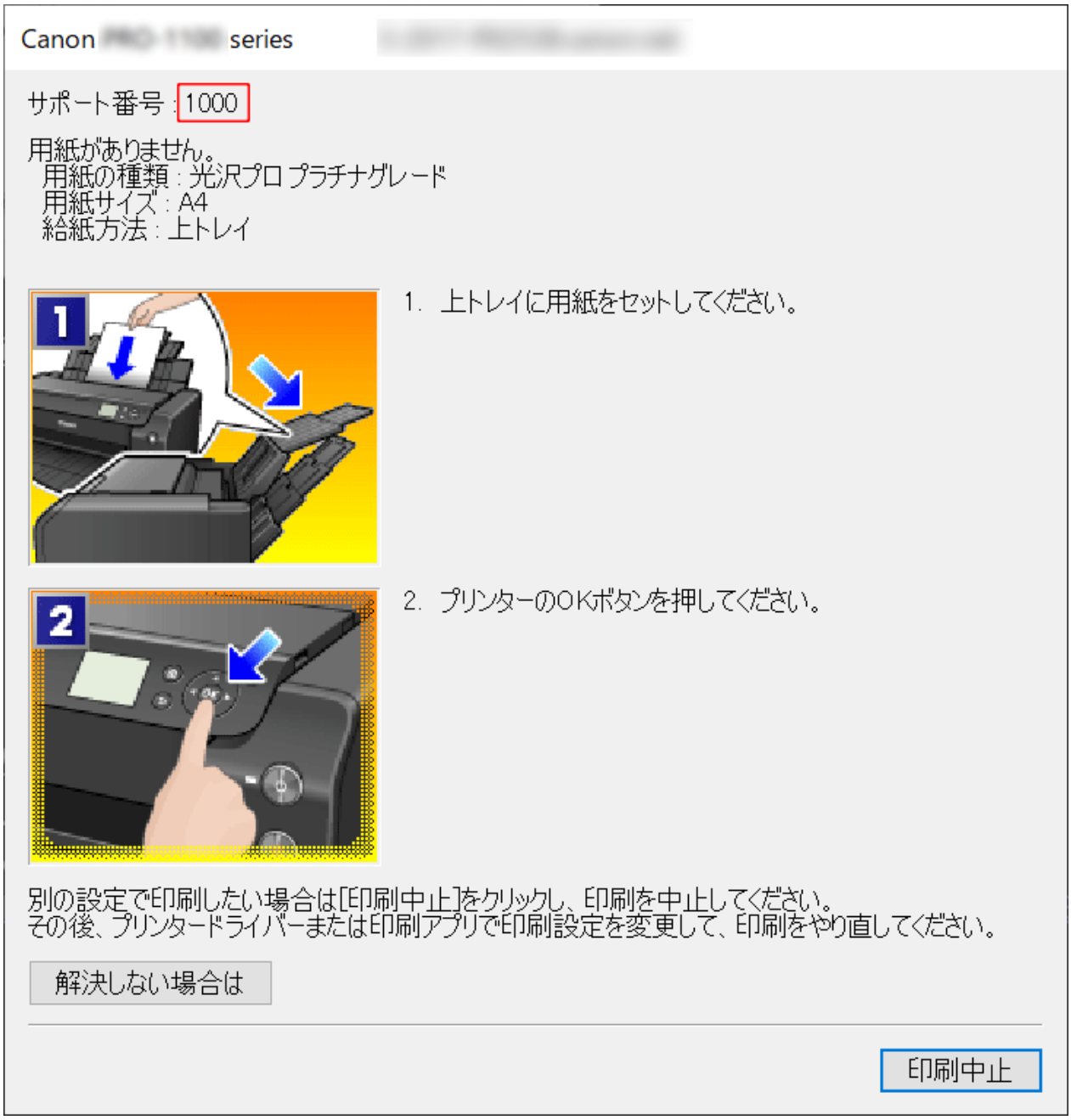
  B802 C100 C101

トラブルが発生したときは

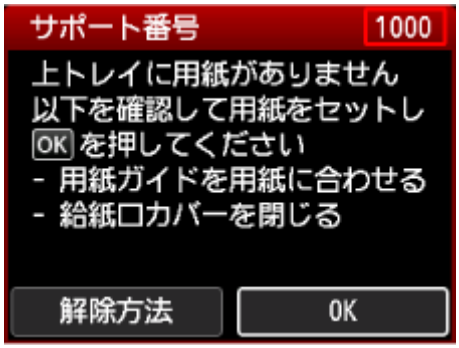
印刷中に用紙がなくなる、または紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法に従って操作してください。

トラブルが発生すると、メッセージやサポート番号（エラー識別番号）がパソコンまたはプリンターに表示されます。

パソコンにサポート番号とメッセージが表示される例（Windows）：



プリンターの液晶モニターにサポート番号とメッセージが表示される例：



サポート番号が表示されるトラブルの対処方法については、「エラーのサポート番号一覧」を参照してください。

1000

原因

以下の原因が考えられます。

- 上トレイに用紙がない
- 用紙が正しくセットされていない

対処方法

上トレイに用紙を正しくセットしたあと、プリンターの操作パネルに表示されているメッセージに従って操作してください。

➡ 上トレイに用紙をセットする

➡ 上トレイの中に異物が入っていた場合は、「正常に給紙／排紙されないときの対処方法」の チェック 1 を参照し、対処してください。

1006

原因

以下の原因が考えられます。

- 手差しトレイに用紙がない
- 手差しトレイに用紙が正しくセットされていない

対処方法

以下の対処を行ってみてください。

- 手差しトレイに用紙を 1 枚セットしてください。

  ➡ 手差しトレイに用紙をセットする
  ➡ 正常に給紙／排紙されないときの対処方法

  参考

  - 給紙箇所によって、セットできる用紙は異なります。詳細は、「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

- 手差しトレイの用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。

上記の対処を行ったあと、プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除してください。

参考

- 印刷を中止する場合は、プリンターのストップボタンを押してください。
- 連続して印刷する場合でも、前の印刷が完了してから次の用紙をセットしてください。

1062

原因

用紙サイズの設定が、プリンターにセットされている用紙の幅と合っていません。

対処方法

プリンターのストップボタンを押してエラーを解除したあと、以下の対処を行ってください。

Windows からプリンタードライバーを使用して印刷する場合：

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［用紙サイズ］で指定しているサイズの用紙をセットし、印刷し直してください。

プリンタードライバーで指定しているサイズの用紙をセットしていても、このエラーが発生する場合は、用紙の幅を検知しない設定にしてください。

用紙の幅を検知しない設定にするには、プリンタードライバーの［ユーティリティ］シートの［特殊設定］ダイアログを開き、［パソコンからの印刷時に用紙の幅検知を無効にする］の設定を［ON］にしてください。

➡ プリンターの設定を変更する

参考

- 印刷後は、［パソコンからの印刷時に用紙の幅検知を無効にする］を［OFF］にしてください。

macOS からプリンタードライバーを使用して印刷する場合：

ページ設定ダイアログの［用紙サイズ］で指定しているサイズの用紙をセットし、印刷し直してください。

ページ設定ダイアログで指定しているサイズの用紙をセットしていても、このエラーが発生する場合は、用紙の幅を検知しない設定にしてください。

用紙の幅を検知しない設定にする場合は、Canon IJ Printer Utility2（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ 2）のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［パソコンからの印刷時に用紙の幅検知を無効にする］にチェックマークを付けてください。

➡ Canon IJ Printer Utility2 の開きかた

参考

- 印刷後は、［パソコンからの印刷時に用紙の幅検知を無効にする］のチェックマークを外してください。

上記以外の場合:

プリンターにセットした用紙の用紙サイズと用紙種類をプリンターに正しく登録し、印刷し直してください。

➡ 用紙情報を登録する

正しい用紙情報を登録しても、このエラーが発生する場合は、用紙の幅を検知しない設定にしてください。

用紙の幅を検知しない設定にするには、プリンターのホーム画面から［各種設定］、［本体設定］、［用紙関連の設定］、［用紙の詳細設定］の順に選び、用紙の種類を選んだあと、［用紙の幅を検知する］を［しない］に設定してください。

参考

- 印刷後は、［用紙の幅を検知する］を［する］に戻してください。

1200

原因

トップカバーが開いています。

対処方法

トップカバーを閉じ、しばらくお待ちください。

プリントヘッドの交換などをしたあとは、トップカバーを確実に閉じてください。

1201

原因

タンクカバーが開いています。

対処方法

タンクカバーを閉じてください。

1204

原因

メンテナンスカバーが開いています。

対処方法

メンテナンスカバーを閉じ、しばらくお待ちください。

1205

原因

タンクカバーが開いています。

対処方法

タンクカバーを閉じ、しばらくお待ちください。

1206

原因

メンテナンスカバーが開いています。

対処方法

メンテナンスカバーを閉じ、プリンターの OK ボタンを押してください。

1207

原因

タンクカバーが開けられました。

対処方法

タンクカバーを閉じ、しばらくお待ちください。

1208

原因

メンテナンスカバーが開けられました。

対処方法

メンテナンスカバーを閉じ、しばらくお待ちください。

1209

原因

メンテナンスカバーが開けられました。

対処方法

メンテナンスカバーを閉じ、プリンターの OK ボタンを押してください。

1250

原因

排紙トレイが閉じられています。

対処方法

排紙トレイを開いてください。

1261

原因

手差しトレイが紙づまり処理位置になっています。

対処方法

手差しトレイを給紙位置に戻したあと、プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除してください。

1293

原因

タンクカバーが開いています。

対処方法

タンクカバーを閉じてください。

1300

原因

印刷中に用紙がプリンター内部でつまりました。

対処方法

以下の手順で、つまった用紙を取り除いてください。

1. 給紙箇所に応じて、つまった用紙を取り除く

   ➡ 用紙がつまったときの対処方法

2. 用紙をセットし直し、プリンターの OK ボタンを押す

   印刷が再開されます。つまっていたページが印刷されない場合は、印刷をやり直してください。

   手順 1 で電源を入れ直した場合は、プリンターに送信されていた印刷データは消去されていますので、印刷をやり直してください。

再び同じエラーが発生する場合は、プリンターが故障している可能性があります。キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

1340

原因

プリンターが正しく設置されていません。

本体が浮いている可能性があります。

対処方法

プリンターにはインク漏れを防止するため、本体の浮きを検知した場合にインクの供給を止める「インク供給ストッパー」が本体の底面にあります。

「インク供給ストッパー」がテーブルなど硬い平らな場所に正しく接地するように、プリンターを設置してください。

設置し直したら、プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除してください。

重要

- 次のような場所に設置すると、エラーが解除できない場合があります。
  - たわみやすい机、ワゴンなど
  - やわらかいマット、床など
  - 穴のあいている棚など
  - 段差のある場所

1401

原因

プリントヘッドを認識できません。

対処方法

トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付け直してください。

➡ プリントヘッドを交換する
それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

1403

原因

プリントヘッドを認識できません。

対処方法

トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付け直してください。

➡ プリントヘッドを交換する
それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

1405

原因

プリントヘッドが故障している可能性があります。

対処方法

トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付け直してください。

➡ プリントヘッドを交換する
それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

1406

原因

プリントヘッドにトラブルが発生した可能性があります。

対処方法

プリンターの電源を切ってから、再度入れ直してください。

それでもエラーが解決されないときは、プリントヘッドが故障している可能性があります。

プリントヘッドの交換が必要です。

➡ プリントヘッドを交換する

1407

原因

プリントヘッドにトラブルが発生した可能性があります。

対処方法

プリンターの電源を切ってから、再度入れ直してください。

それでもエラーが解決されないときは、プリントヘッドが故障している可能性があります。

プリントヘッドの交換が必要です。

➡ プリントヘッドを交換する

1408

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付け直してください。

➡ プリントヘッドを交換する

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

1409

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付け直してください。

➡ プリントヘッドを交換する

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

140A

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付け直してください。

➡ プリントヘッドを交換する

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

140B

原因

プリントヘッドを認識できません。

対処方法

トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付け直してください。

➡ プリントヘッドを交換する

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

140C

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

140D

原因

本製品と異なる機種に取り付けたことがあるプリントヘッドは取り付けられません。

対処方法

正しいプリントヘッドを取り付けてから、トップカバーを閉めてください。

140E

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、もう一度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

140F

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの OK ボタンを押し、新しいプリントヘッドに交換してください。

➡ プリントヘッドを交換する

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

1410

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1411

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1412

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1413

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1414

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1415

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1416

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1417

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1418

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1419

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

141A

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

141B

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

認識できてないインクタンクの色を液晶モニターで確認してください。

インクカバーを開け、その色のインクタンクをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1466

原因

プリンターがサポートできないプリントヘッドが取り付けられました。

対処方法

正しいプリントヘッドを取り付けてください。

1467

原因

プリントヘッドにトラブルが発生した可能性があります。

対処方法

プリンターの電源を切ってから、再度入れ直してください。

それでもエラーが解決されないときは、プリントヘッドが故障している可能性があります。

プリントヘッドの交換が必要です。

➡ プリントヘッドを交換する

1491

原因

プリントヘッドが目づまりしています。

対処方法

プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除したあと、プリントヘッドをクリーニングしてください。

➡ プリントヘッドをクリーニングする

1493

原因

メンテナンスカートリッジが正しく認識できません。

対処方法

メンテナンスカートリッジをいったん取り外し、再度取り付け直してください。

それでもエラーが出る場合は、正しいメンテナンスカートリッジを取り付けて、プリンターの OK ボタンを押してください。

1500

原因

インクが少なくなっています。

対処方法

新しいインクタンクをご用意ください。

1551

原因

過去に使用履歴のあるキヤノン純正インクタンクが検出されました。

対処方法

プリンターの OK ボタンを押すと、表示されたメッセージを解除できます。

1552

原因

キヤノン純正インクタンクが取り付けられました。

対処方法

プリンターの OK ボタンを押すと、表示されたメッセージを解除できます。

1570

原因

インクタンク内のインクがなくなりました。

対処方法

インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

15A1

原因

プリンターのセットアップが完了していません。

対処方法

プリンターの液晶モニターに表示されているメッセージに従って、セットアップを進めてください。

スマートフォン／タブレットからプリンターを操作していたときにこのエラーが発生した場合は、プリンターのセットアップを完了してから、再度操作してください。

15A2

原因

インクタンクが取り付けられていません。

対処方法

インクタンクを正しく取り付け、セットアップの手順を進めてください。

15A3

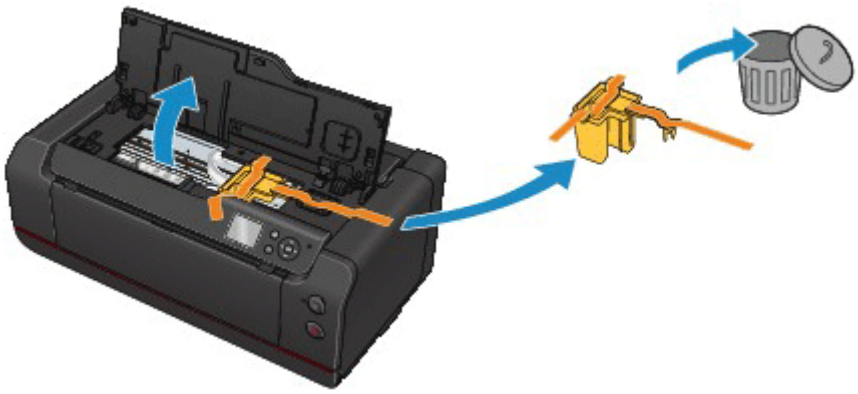
原因

プリントヘッドホルダーの固定部材やテープが取り付けられたままになっている可能性があります。

対処方法

トップカバーを開き、プリントヘッドホルダーの固定部材やテープが取り付けられたままになっていないか確認してください。

固定部材やテープが取り付けられたままになっている場合は、取り除いてから、トップカバーを閉じてください。



はじめてプリンターをセットアップする場合は、以下のページから製品名を選択のうえ、画面の指示に従ってください。

➡ セットアップを行う

1600

原因

印刷を続けると、インクがなくなる可能性があります。

対処方法

インクタンクを交換することをお勧めします。

印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたままプリンターの OK ボタンを押すと、印刷を続けることができます。この場合、印刷中にインクがなくなると、ページの途中でも印刷を中断して排紙されます。

1660

原因

インクタンクが取り付けられていません。

対処方法

インクタンクを正しく取り付けてください。

➡ インクタンクを交換する

1681

原因

同じ色のインクタンクが複数セットされています。

対処方法

各色のインクタンクの取り付け位置に、正しいインクタンクがセットされていることを確認してください。

1684

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

インクタンクが正しく取り付けられていないか、プリンターがサポートできないインクタンクが取り付けられているため、印刷できません。

正しいインクタンクを取り付けてください。

印刷を中止する場合は、プリンターのストップボタンを押してください。

1720

原因

メンテナンスカートリッジが満杯になりました。

メンテナンスカートリッジの交換が必要です。

対処方法

メンテナンスカートリッジを交換してください。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

1721

原因

メンテナンスカートリッジが取り付けられていません。

対処方法

メンテナンスカートリッジを取り付け、プリンターの OK ボタンを押してください。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

1722

原因

メンテナンスカートリッジの種類が違います。

対処方法

正しいメンテナンスカートリッジを取り付けてください。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

繰り返しこのエラーが表示される場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

1730

原因

キヤノン純正インクが使い切られたインクタンク、または模倣品の可能性があります。

対処方法

印刷を行うためには、インクタンクを交換するか、インク残量検知機能を無効にする必要があります。

➡ インクタンクを交換する

インク残量検知機能を無効にする場合はプリンターのストップボタンを 5 秒以上押してから離してください。

この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。キヤノン純正品以外のインクタンク、またはキヤノン純正品以外のインクを使用したことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えません。

参考

- インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。

模倣品について報告する場合は、下記リンクより、キヤノンのサイトにアクセスしてください。

➡ 模倣品の報告

1751

原因

インクがなくなりました。

このまま印刷を続けるとプリンターに損傷を与えるおそれがあるため、印刷を中断し、排紙しました。

対処方法

タンクカバーを開け、インクタンクを交換してください。次のページから印刷を再開します。

➡ インクタンクを交換する

1752

原因

インクがなくなりました。

このまま印刷を続けるとプリンターに損傷を与えるおそれがあるため、印刷を中断し、排紙しました。

対処方法

タンクカバーを開け、インクタンクを交換してください。次のページから印刷を再開します。

➡ インクタンクを交換する

1753

原因

インクの残量を正しく検知できません。

対処方法

インクタンクを交換してください。印刷を再開します。

➡ インクタンクを交換する

一度空になったインクタンクが取り付けられています。

印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。

無効にする場合は、プリンターのストップボタンを 5 秒以上押してから離してください。

この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。

インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障、またはインクの補充が原因の故障については、キヤノンは責任を負えない場合があります。

1880

原因

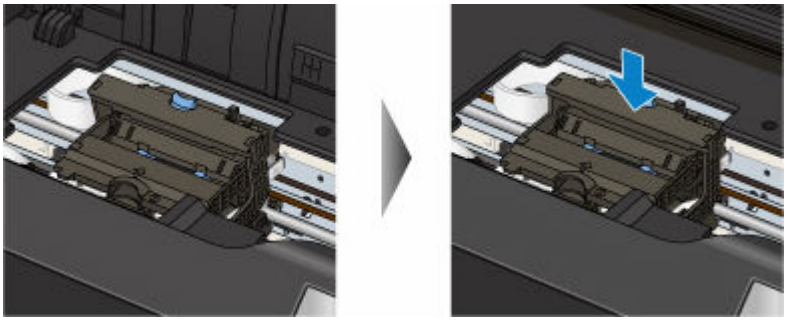
ジョイントレバーが正しく閉じられていません。

対処方法

以下の手順でジョイントレバーを閉じてください。

1. **トップカバーを開く**

2. **ジョイントレバーをしっかりと押し込む**



参考

- ジョイントレバーは「カチッ」と音がするまで、押し込んでください。

3. **トップカバーを閉じる**

1881

原因

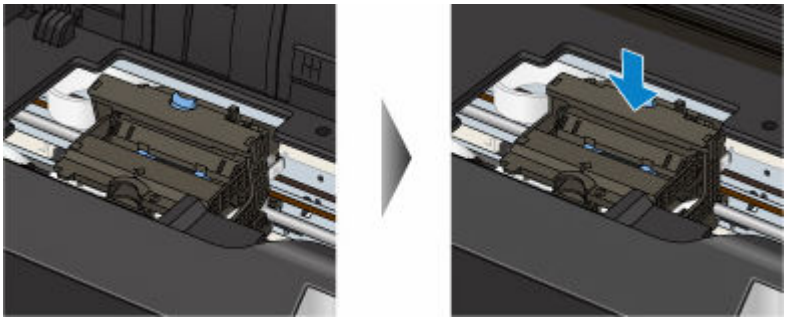
ジョイントレバーが正しく閉じられていません。

対処方法

以下の手順でジョイントレバーを閉じてください。

1. **トップカバーを開く**

2. **ジョイントレバーをしっかりと押し込む**



参考

- ジョイントレバーは「カチッ」と音がするまで、押し込んでください。

3. **トップカバーを閉じる**

2102

原因

用紙が片寄って給紙されたことを検知しました。

対処方法

用紙を上トレイまたは手差しトレイの中央にセットし、用紙ガイドを用紙の両端に合わせてください。

プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除してください。

印刷をやり直しても再度このエラーが出る場合は、プリンターの操作パネルまたはプリンタードライバー、リモート UI で用紙の幅を検知しない設定にしてください。

参考

- プリンターの操作パネルで用紙の幅を検知しない設定にする方法は、以下を参照してください。

  ➡ 用紙関連の設定

- 用紙の種類によっては、用紙サイズを検知できない場合があります。

  また、印刷中にトップカバーを開くと、用紙サイズを検知できない場合があります。

2103

原因

用紙サイズを検知できませんでした。

対処方法

プリンターのストップボタンを押してエラーを解除したあと、印刷をやり直してください。

印刷をやり直しても再度このエラーが出る場合は、プリンターの操作パネルまたはプリンタードライバー、リモート UI で用紙の幅を検知しない設定にしてください。

参考

- プリンターの操作パネルで用紙の幅を検知しない設定にする方法は、以下を参照してください。

  ➡ 用紙関連の設定

- 用紙の種類によっては、用紙サイズを検知できない場合があります。

  また、印刷中にトップカバーを開くと、用紙サイズを検知できない場合があります。

2114

原因

印刷するときに指定した用紙設定が、プリンターに登録した上トレイの用紙情報と異なります。

参考

- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（macOS）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（macOS）
- プリンターに用紙情報を登録する方法については、以下を参照してください。
  - 用紙情報を登録する

例えば、以下のように、印刷するときに指定した用紙設定と、プリンターに登録した上トレイの用紙情報が異なると、プリンターの液晶モニターにメッセージが表示されます。

- 印刷するときにプリンタードライバーで指定した用紙設定：

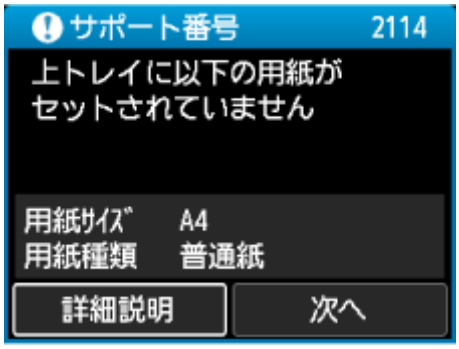
  用紙サイズ：A4

  用紙種類：普通紙

- プリンターに登録した上トレイの用紙情報：

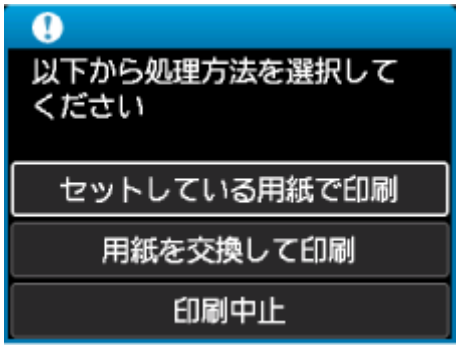
  用紙サイズ：A3

  用紙種類：普通紙



対処方法

プリンターの液晶モニターに表示されている［次へ］を選ぶと、以下の画面が表示されます。



処理方法を選んでください。

参考

- 設定によっては、以下の処理方法が表示されない場合があります。

セットしている用紙で印刷

印刷するときに指定した用紙設定のままで、印刷する場合に選びます。

例えば、印刷するときに指定した用紙サイズが A4 で、上トレイの用紙情報は A3 と登録していた場合に、この選択肢を選ぶと、上トレイにセットされている A3 用紙に A4 設定のままで印刷します。

用紙を交換して印刷

上トレイの用紙を交換してから印刷する場合に選びます。

例えば、印刷するときに指定した用紙サイズが A4 で、上トレイの用紙情報は A3 と登録していた場合に、この選択肢を選ぶと、上トレイの用紙を A4 に交換した後に印刷を開始します。

用紙を交換すると、上トレイの用紙情報登録画面が表示されます。セットした用紙の用紙情報を登録してください。

参考

- 上トレイにセットする用紙の用紙サイズと用紙種類が分からない場合は、戻るボタンを押して前の画面に戻り、表示される用紙サイズと用紙種類を確認してください。
- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。

➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（macOS）
➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（macOS）

印刷中止

印刷を中止します。

印刷するときに指定した用紙設定を変更する場合に選びます。用紙設定を変更し、印刷をやり直してください。

2115

原因

印刷するときに指定した用紙設定が、プリンターに登録した手差しトレイの用紙情報と異なります。

参考

- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（macOS）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（macOS）
- プリンターに用紙情報を登録する方法については、以下を参照してください。
  - 用紙情報を登録する

例えば、以下のように、印刷するときに指定した用紙設定と、プリンターに登録した手差しトレイの用紙情報が異なると、プリンターの液晶モニターにメッセージが表示されます。

- 印刷するときにプリンタードライバーで指定した用紙設定：

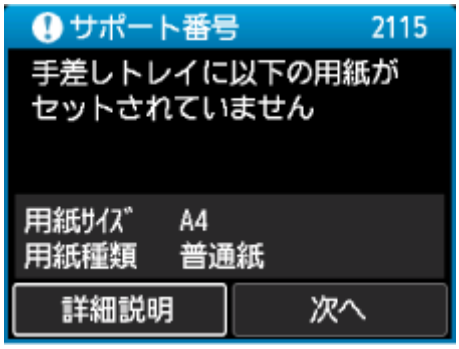
  用紙サイズ：A4

  用紙種類：普通紙

- プリンターに登録した手差しトレイの用紙情報：

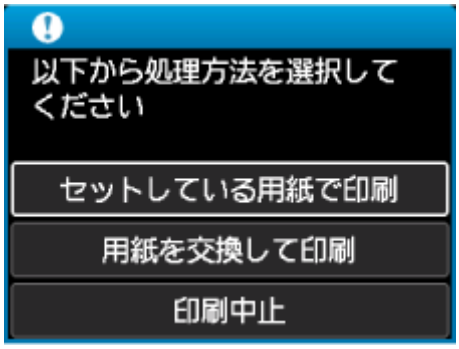
  用紙サイズ：A3

  用紙種類：普通紙



対処方法

プリンターの液晶モニターに表示されている［次へ］を選ぶと、以下の画面が表示されます。



処理方法を選んでください。

参考

- 設定によっては、以下の処理方法が表示されない場合があります。

セットしている用紙で印刷

印刷するときに指定した用紙設定のままで、印刷する場合に選びます。

例えば、印刷するときに指定した用紙サイズが A4 で、手差しトレイの用紙情報は A3 と登録していた場合に、この選択肢を選ぶと、手差しトレイにセットされている A3 用紙に A4 設定のままで印刷します。

用紙を交換して印刷

手差しトレイの用紙を交換してから印刷する場合に選びます。

例えば、印刷するときに指定した用紙サイズが A4 で、手差しトレイの用紙情報は A3 と登録していた場合に、この選択肢を選ぶと、手差しトレイの用紙を A4 に交換した後に印刷を開始します。

用紙を交換すると、手差しトレイの用紙情報登録画面が表示されます。セットした用紙の用紙情報を登録してください。

参考

- 手差しトレイにセットする用紙の用紙サイズと用紙種類が分からない場合は、戻るボタンを押して前の画面に戻り、表示される用紙サイズと用紙種類を確認してください。
- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。

➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（macOS）
➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（macOS）

キャンセル

印刷を中止します。

印刷するときに指定した用紙設定を変更する場合に選びます。用紙設定を変更し、印刷をやり直してください。

2500

原因

以下の原因によって、縦線のゆがみや色ずれの自動調整に失敗した可能性があります。

- ノズルが目づまりしている
- 用紙サイズが正しくない
- プリンターの排紙口内に強い光が当たっている

対処方法

プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除したあと、以下の対処を行ってみてください。

- ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。
- 正しいサイズの用紙をセットしてください。
- 排紙口内に光が当たらないように調整してください。

上記の対処を行ったあと、再度、縦線のゆがみや色ずれの自動調整を行ってください。

それでもエラーが解決しない場合は、プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除したあと、手動で縦線のゆがみや色ずれの調整を行ってください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

2501

原因

以下の原因によって、カラーキャリブレーションに失敗した可能性があります。

- ノズルが目づまりしている
- 用紙が汚れている、または用紙サイズが正しくない
- プリンターの排紙口内に強い光が当たっている

対処方法

プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除した後、以下の対処を行ってみてください。

- ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。

  パターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドノズルがつまっています。プリントヘッドをクリーニングしてください。
- きれいで正しいサイズの用紙をセットして、再度カラーキャリブレーションを行ってください。
- 排紙口内に光が当たらないように調整してください。

2502

原因

キャリブレーションを実行できませんでした。

対処方法

プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除した後、再度キャリブレーションを行ってください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

2503

原因

印刷が正しく開始されませんでした。

対処方法

プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除した後、再度印刷を開始してください。

3000

原因

プリントヘッドの調整が実行されていません。

対処方法

［ヘッド位置調整－自動］の実行をお勧めします。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

参考

- このメッセージは［ヘッド位置調整－自動］を実行するまで表示されます。

3250

原因

メンテナンスカートリッジが満杯に近づきました。

対処方法

このままプリンターを使い続けるとエラーになる可能性がありますので、新しいメンテナンスカートリッジをご用意ください。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

3306

原因

プリンターの用紙情報が壊れているため、用紙情報を正しく認識できません。

対処方法

［Media Configuration Tool］を起動して、用紙情報を復旧してください。

➡ Media Configuration Tool ガイド

［Media Configuration Tool］でプリンターを選び［OK］をクリックすると、［Media Configuration Tool］は復旧モードになります。

用紙情報のバックアップファイルを指定し、読み込んでください。

用紙情報のバックアップファイルがない場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

3310

原因

印刷データが正しくありません。

パラメーターの個数が不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3311

原因

印刷データが正しくありません。

パラメーターの個数が不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3312

原因

印刷データが正しくありません。

省略不可の項目が省略されています。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3313

原因

印刷データが正しくありません。

データが範囲外です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3314

原因

印刷データが正しくありません。

解像度の値が範囲外です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3315

原因

印刷データが正しくありません。

圧縮方法の値が範囲外です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3316

原因

印刷データが正しくありません。

データ形式（色順序、ビット数）のフォーマットが不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3317

原因

印刷データが正しくありません。

解像度とイメージデータフォーマットの組み合わせが不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3318

原因

印刷データが正しくありません。

パラメーターの個数が不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3319

原因

印刷データが正しくありません。

パラメーターの個数が不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3413

原因

用紙のこすれ改善が設定されています。

対処方法

用紙のこすれ改善が設定されていると、印刷速度が遅くなる場合があります。

このまま印刷を続ける場合は、プリンターの◄ ►ボタンで［はい］を選び、OK ボタンを押してください。

設定を解除する場合は、［いいえ］を選び、OK ボタンを押したあと、ホーム画面から［各種設定］、［本体設定］、［印刷設定］の順に選び、［用紙のこすれ改善］を［しない］に設定してください。

3440

原因

PC/スマホでかんたん接続が失敗しました。

対処方法

プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除したあと、PC/スマホでかんたん接続をやり直してください。

それでも同じエラーが発生する場合は、他の方法で Wi-Fi のセットアップを行ってください。

3441

原因

PC/スマホでかんたん接続が失敗しました。

対処方法

プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除したあと、PC/スマホでかんたん接続をやり直してください。

それでも同じエラーが発生する場合は、他の方法で Wi-Fi のセットアップを行ってください。

3446

原因

IP アドレスまたはサブネットマスクの設定が競合しています。

対処方法

プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除してください。

無線ダイレクトを無効に設定するか、または Wi-Fi のネットワーク設定を変更してください。ネットワーク設定を変更する場合は、無線ダイレクトと Wi-Fi のサブネット範囲が重複しないように設定してください。

ネットワーク設定の変更については、お使いの Wi-Fi ルーターの説明書をご覧ください。

3447

原因

無線ダイレクトで通信中または待機中にエラーが発生しました。

対処方法

プリンターの OK ボタンを押してエラーを解除してください。

プリンターの電源をいったん切り、電源を入れ直してください。

3454

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

修理が必要です。問い合わせ窓口にご連絡ください。

3455

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

早急な対応が必要な事象が確認されました。問い合わせ窓口にご連絡ください。

4103

原因

現在の印刷設定では印刷ができません。

対処方法

プリンターのストップボタンを押して、いったん印刷を中止してください。

印刷するときに指定する印刷設定を変更し、印刷をやり直してください。

4109

原因

手差しトレイから印刷できない用紙サイズが指定されています。

対処方法

プリンターのストップボタンを押していったん印刷を中止し、手差しトレイにセットできる用紙サイズを確認してください。

➡ 手差しトレイに用紙をセットする

印刷するときに指定する用紙サイズを変更し、印刷をやり直してください。

参考

- 上トレイからのみ印刷できる用紙に印刷したい場合は、用紙を上トレイにセットし直したあと、プリンターに用紙情報を登録してください。

410E

原因

現在の用紙サイズと用紙種類の組み合わせでは印刷できません。

対処方法

プリンターのストップボタンを押して印刷を中止してください。

長尺専用の用紙種類に変更して、再度印刷を行ってください。

- 長尺印刷を行う（Windows）
- 長尺印刷を行う（macOS）

4111

原因

プリンターが対応していない用紙種類が指定されています。

対処方法

プリンターのストップボタンを押して印刷を中止してください。

用紙種類の設定を確認して、再度印刷を行ってください。

495A

原因

Wi-Fi で通信中または待機中にエラーが発生しました。

対処方法

プリンターの電源をいったん切り、電源を入れ直してください。

5100

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

印刷中の場合は、プリンターのストップボタンを押して印刷を中止したあと、プリンターの電源を切ってください。

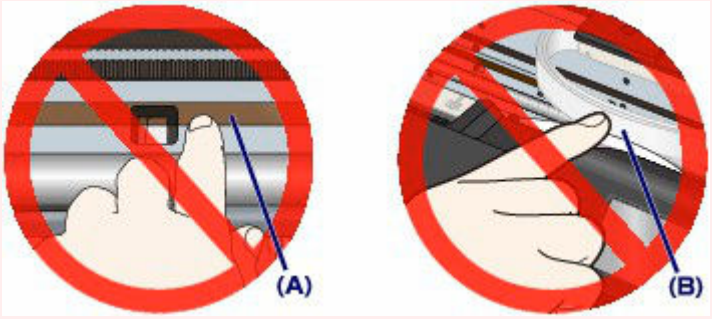
続いて、以下のことを確認してください。

- キャリッジの固定部材やつまった用紙など、キャリッジの動きを妨げているものがないか

  キャリッジの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

  重要

  - プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、透明のフィルム（A）や、白い帯状の部品（B）に触れないよう、十分注意してください。

    用紙や手が触れてこれらの部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

最後に、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはキヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

5110

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5200

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

520A

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

520B

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

520C

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

520D

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5250

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5400

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5403

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5700

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5701

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5B16

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5C00

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5C01

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5C10

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5C11

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5C12

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5C13

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5C14

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

5C20

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6000

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6500

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6502

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6503

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6700

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6701

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6800

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6801

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6830

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6831

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6832

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6833

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6900

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6901

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6902

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6910

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6920

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6921

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6930

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6931

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6932

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6933

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6940

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6941

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6942

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6943

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6944

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6945

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6946

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

6F00

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7400

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7401

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7402

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7500

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7501

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7600

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7601

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7700

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7701

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7800

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

7801

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

8100

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

8200

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

B400

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

B505

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

B506

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

B507

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください。

次に、プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

B600

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

B801

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

B802

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントに差し、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも解決しない場合は、キヤノンへ修理をご依頼ください。

C100

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

ただちに使用を中止し、問い合わせ窓口にご連絡ください。

C101

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

ただちに使用を中止し、電源コードを抜いたうえで、問い合わせ窓口にご連絡ください。

製品情報

- 安全ガイド
- 取り扱い上のご注意
- 仕様

安全ガイド

- 安全にお使いいただくために
- 法規制情報

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の事項を必ずお守りください。また、本製品の取扱説明書に記載されていないことはしないでください。火災・感電など思わぬ事故の原因になります。各安全マーク/宣言文は、それぞれ該当する国/地域の電圧/周波数にのみ有効です。

⚠ 警告

- **心臓ペースメーカーをお使いの方へ**

  本製品からは微弱な磁気が出ています。異常を感じた場合は、本製品から離れ、医師にご相談ください。

- **以下の場合はすぐに電源を切ってください**

  そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。すぐに電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上、修理を依頼してください。

  - 本体内部に異物（金属片や液体など）が入った。
  - 発煙した、異臭がする、異音がする。
  - 電源プラグや電源コードが、発熱している、錆びている、曲がっている、擦れている、損傷がある。

- **守ってください（火災・感電・けがの原因）**

  - 本製品をアルコール、シンナーなどの可燃性溶剤の近くに設置しない。
  - 本製品を分解、改造しない。
  - 付属のケーブル類を使用する。また、付属のケーブル類を他の機器に転用しない。
  - 指定された電源電圧や周波数以外で使用しない。
  - 電源プラグを確実にコンセントの奥まで差し込む。
  - 電源プラグは濡れた手で抜き差ししない。
  - 電源コードやケーブル類を傷つけない／加工しない／引っ張らない／束ねない／結ばない／無理に曲げない。
  - 電源コードに重いものをのせない。
  - 1 つのコンセントに複数の電源プラグを差し込まない。延長コードを複数接続しない。
  - 近隣で雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜き、本製品を使用しない。
  - 清掃するときは、ケーブル類と電源プラグは必ず抜き、アルコール、シンナーなどの可燃性の高いスプレーや液体は使用しない。
  - 電源プラグや電源コードは 1 か月に 1 度コンセントから抜いて、ほこりがたまっていないか、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂のような異常な状態になっていないかを確認する。

⚠ 注意

- プリンターの内部に物が入らないように注意してください。故障の原因になります。

- 印刷中はプリンター内部に手を入れないでください。
- 印刷直後、プリントヘッドの金属部分に手を触れないでください。

- **インクについて**
  - 乳幼児の手の届く場所にインクタンクを放置しない。
  - 誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ 1、2 杯の水を飲ませてください。万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
  - インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。

- **プリンターを運ぶときは**
  - プリンターの左右を 2 人で持ってください。重量で腰などを痛める原因になります。

設置場所について

- 不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。
  使用環境については、「仕様」を参照してください。
- 毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。
  毛やほこりなどが製品の内部に入り込むことがあります。
- プリンター背面を壁につけて置かないでください。
- 設置には十分なスペースを確保することをお勧めします。
- 強い磁気を発生する機器の近くや磁界のある場所には設置しないでください。
- 設置環境などによっては、動作音が気になることがあります。
  その場合は、離れた場所（別室など）に設置することをお勧めします。

電源について

- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
  コードを引っ張ると、電源コードが傷つくことがあります。
- 延長電源コードは使用しないでください。

取扱いについて

- 印刷中はプリンターの中に手を入れないでください。
- プリンターを使用するときや輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- 本製品は、エコマークに基づく揮発性物質の放散基準を満たしていますが、より快適な環境を保つため、部屋の換気を行うようにしてください。

プリントヘッド／インクタンク／メンテナンスカートリッジについて

- お子様の手の届かないところに保管してください。
  誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ 1、2 杯の水を飲ませてください。万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
- インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。
  熱くなっている場合があります。
- インクタンクやメンテナンスカートリッジを火中に投じないでください。
- プリントヘッドやインクタンク、メンテナンスカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。
- プリントヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジを落としたり振ったりしないでください。

法規制情報

電波について

使用上の注意

- 本製品を医療用の装置や電子機器の近くで使用しないでください。電波の干渉により、それらの装置や機器の動作や性能に影響を与えることがあります。
- 本製品には電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線装置に貼付されています。
- 本製品は屋外での使用を禁止しております。

電波干渉に関するご注意

本プリンターの使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本プリンターを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本プリンターから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてキヤノンお客様相談センターへご相談ください。
3. その他、本プリンターから移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、キヤノンお客様相談センターへお問い合わせください。

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（SDS）につきましては、キヤノンのウェブサイト（canon.jp/ecology）にてご覧いただけます。

使用済み製品の廃棄について

ご家庭で使用された場合は、お住まいの地方自治体のルールに従い、一般廃棄物として廃棄をお願いいたします。
業務上使用された場合は、産業廃棄物として廃棄をお願いいたします。
キヤノンのウェブサイト（canon.jp/ecology）でも処理についてのご案内をしておりますので、ご確認ください。

取り扱い上のご注意

- プリンターの修理依頼・貸与・譲渡・破棄をするときの注意
- 原稿を印刷するときの注意事項
- インクについて知っておきたいこと

プリンターの修理依頼・貸与・譲渡・破棄をするときの注意

プリンターに個人情報を登録したり、各種パスワードなどのセキュリティ情報を設定したりしたときは、それらの情報がプリンター内に残っている可能性があります。

情報の漏洩をさけるため、プリンターを修理・貸与などで一時的に手放すときや、譲渡または破棄するときは、すべての設定をリセットしてください。

➡ 設定リセット

原稿を印刷するときの注意事項

以下を原稿として複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

インクについて知っておきたいこと

インクは印刷以外にも使われています

意外かもしれませんが、インクは印刷以外にも使われることがあります。

付属のセットアップ用インクタンクを取り付けて初めてプリンターをご使用になる際には、プリントヘッドにインクを満たして印刷可能な状態にするためインクを消費します。このため、セットアップ用インクタンクで印刷できる枚数が、2 回目以降に取り付けるインクタンクが印刷できる枚数より少なくなります。

カタログなどに記載されている印刷コストは、プリンターの初期セットアップに使用したインクタンクまたはインクカートリッジではなく、2 回目以降に取り付けたインクタンクまたはインクカートリッジを使用して算出しています。

きれいな印刷を保つためにインクが使われることもあります。本製品には、インクがふき出されるノズルを自動的にクリーニングし、目づまりを防ぐ機能が付いています。クリーニングでは、ノズルからインクを吸い出すため、わずかな量のインクが使用されます。

また、本製品では通常のクリーニングを行っても、すじが発生する、インクがまったく出なくなるなど、印字不良が改善されない場合の対応として、システムクリーニングが用意されています。このシステムクリーニングは多くのインクを使用するため、インク残量が少ない場合はシステムクリーニングが行われないことがあります。液晶モニターの画面に表示されるメッセージに従って、新しいインクタンクに交換してください。システムクリーニングのために取り外されたインクタンクには、多少のインクが残ります。

重要

- 消費されたインクは、メンテナンスカートリッジに排出されます。メンテナンスカートリッジは満杯になると交換が必要です。満杯が近づいたことを知らせるメッセージが表示された場合は、速やかに新しいメンテナンスカートリッジをご用意ください。

  ➡ メンテナンスカートリッジを交換する

- プリンターの性能を維持するために定期的に自動で実施される印刷準備動作、インク流路内の泡抜き、プリントヘッドのクリーニング等でインクが消費されます。また、これに伴い、メンテナンスカートリッジも使用されます。
- 付属のインクタンクを取り付けて初めてプリンターをご使用になる際には、プリンターを印刷可能な状態に設定するために、インクを消費します。このため、付属のインクタンクで印刷できる枚数が、2 回目以降に取り付けるインクタンクで印刷できる枚数よりも少なくなります。また、その際に消費されたインクがメンテナンスカートリッジに排出されることによって、メンテナンスカートリッジが 5 割程度使用された状態となり、メンテナンスカートリッジの交換時期が通常使用時よりも早くなります。

カラーインクはモノクロ印刷でも使われています

モノクロ印刷でも、印刷する用紙の種類やプリンタードライバーの設定によってブラック以外のインクが使われることがあります。モノクロでしか印刷していなくてもカラーインクが減るのはそのためです。

参考

- CO（クロマオプティマイザー）インクは、光沢系用紙の印刷面に塗布して光沢感を調整するために使用されます。ただし、本製品はプリンターの性能を維持するための自動メンテナンスにも CO インクを使用します。印刷時以外でもインクが使用されるため、他のインクより多く消費されることがあります。

- 本製品は、顔料インクを使用して印刷します。顔料インクの特性上、印刷した面をこすったり、引っかいたりすると、インクがはがれる場合がありますので、ご注意ください。

仕様

- **仕様**
- **印刷領域**
  - 印刷できる範囲について
  - 定型サイズの用紙
  - 余白 25 mm の用紙サイズ

仕様

重要

- 使用環境によって、下記の数値と異なる場合があります。

装置の概要

電源	AC 100～240 V（50/60 Hz） （付属の電源コードはお買い求めの国・地域専用です。）
消費電力	**印刷時（USB 接続時）：**約 38 W **スリープ時（USB 接続時）：**約 1.2 W *1 **スリープ時（すべてのポート接続時）：**約 2.3 W *1 **電源 OFF 時：**約 0.1 W *2 *1 スリープへの移行時間は変更できません。 *2 電源をオフにした状態でも、若干の電力が消費されます。電力消費量を 0 にする場合は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
動作環境	**温度：**5 ～ 35 ℃ **湿度：**10 ～ 90 % RH（結露しないこと） ※温度・湿度条件によっては、プリンターの性能を発揮できず、印刷品質の低下が起きる場合があります。 推奨環境は、以下のとおりです。 **温度：**15 ～ 30 ℃ **湿度：**10 ～ 80 % RH（結露しないこと） ※写真印刷用紙などの温度・湿度条件については、用紙のパッケージまたは用紙に付属の取扱説明書を参照してください。
保存環境	**温度：**0 ～ 40 ℃ **湿度：**5 ～ 95 % RH（結露しないこと）
寸法（幅 x 奥行 x 高さ mm）	723 x 435 x 285 mm ※トレイ類を格納した状態
質量	約 32.4 kg ※プリントヘッドとインクタンクを取り付けた状態
印刷解像度（dpi）	2400 dpi（横）* x 1200 dpi（縦） * 最小 1/2400 インチのドット（インク滴）間隔でプリントします。
プリントヘッド/インク	18432 ノズル（MBK / PBK / C / M / Y / PC / PM / GY / PGY / R / B / CO 各 1536 ノズル）
メモリー	1 GB

インターフェイス

USB とネットワークは同時に使用することができます。

Wi-Fi と有線 LAN を同時に使用することはできません。

プリンター接続部	Hi-Speed USB * * Hi-Speed USB でのご使用は、パソコン側が Hi-Speed USB に対応している必要があります。また、Hi-Speed USB インターフェイスは USB 1.1 の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェイスが USB 1.1 でも接続してご使用いただけます。
LAN 接続部	**有線 LAN：**IEEE802.3ab（1000BASE-T） / IEEE802.3u（100BASE-TX） / IEEE802.3（10BASE-T） **Wi-Fi：**IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b / IEEE802.11a / IEEE802.11ac

ネットワーク仕様

通信プロトコル	SNMP、HTTP、TCP/IP（IPv4/IPv6）
有線 LAN 部	**対応規格：**IEEE802.3ab（1000BASE-T） / IEEE802.3u（100BASE-TX） / IEEE802.3（10BASE-T） **伝送速度：**10 Mbps/100 Mbps/1000 Mbps（自動切替） **セキュリティ：**IEEE802.1X（EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP）
Wi-Fi 部	**対応規格：**IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b / IEEE802.11a / IEEE802.11ac **周波数帯域：**2.4 GHz 帯 / 5 GHz 帯 *1 **チャンネル：** 2.4 GHz 帯：1-11 または 1-13 *1 5 GHz 帯：W52、W53、W56、W58 *1 *1 ご使用可能な周波数帯域とチャンネルは、国や地域によって異なります。 **有効範囲：**屋内 50 m（164 feet）*2 *2 環境条件により異なります。 **セキュリティ：** WPA-PSK(AES) WPA2-PSK(AES) WPA3-SAE(AES) WPA-EAP(AES) *3 WPA2-EAP(AES) *3 WPA3-EAP(AES) *3 *3 IEEE802.1X（EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP）対応 **セットアップ：** WPS（プッシュボタン方式/PIN コード方式） PC/スマホでかんたん接続

用紙

プリンターに対応する用紙の種類、サイズ、重さ／厚さについては、「使用できる用紙について」を参照してください。

印刷できる範囲については、「印刷領域」を参照してください。

動作条件

OS の動作条件が高い場合はそれに準じます。

Windows

対応 OS	Windows 11、Windows 10、Windows 8.1、Windows 7 SP1 注）対応 OS がプレインストールされているコンピューター .NET Framework のインストールが必要です。 プリンタードライバー、IJ Printer Assistant Tool は以下の OS に対応しています。 Windows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022
ドライバーをインストールするのに必要な容量	1.5 GB 以上 容量は予告なく変更となる場合があります。

macOS

対応 OS	macOS Big Sur 11.7.10 - macOS Sonoma 14
ドライバーをインストールするのに必要な容量	1.5 GB 以上 容量は予告なく変更となる場合があります。

その他

iOS、iPadOS、Android、Chrome OS ご利用頂ける機能等に制限があります。

- オンラインマニュアルの使用には、インターネット接続が必要です。
- Windows OS でご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、CD-ROM ドライブまたはネットワーク接続が必要になります。
- macOS でご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、ネットワーク接続が必要になります。

印刷領域

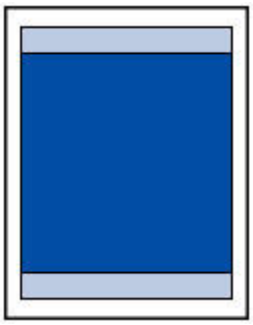
- 印刷できる範囲について
- 定型サイズの用紙
- 余白 25 mm の用紙サイズ

印刷できる範囲について

印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。

印刷推奨領域 ■：この範囲に印刷することをお勧めします。

印刷可能領域 □：印刷できる範囲です。



参考

- ［用紙の詳細設定］の［フチなし印刷時のはみ出し量］で、フチなし全面印刷のはみ出し量を設定することができます。

  ➡ 用紙関連の設定

- フチなし全面印刷を設定すると、余白のない印刷が可能になります。
- フチなし全面印刷を行うと、画像は用紙全体に印刷されるように拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- フチなし全面印刷には、以下の用紙をご使用ください。
  - キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［クリスタルグレード］
  - キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］
  - キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド
  - キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター
  - キヤノン写真用紙・絹目調
  - マットフォトペーパー*1
  - キヤノン写真用紙・プレミアムマット*1
  - プレミアムファインアート・スムース*1
  - プレミアムファインアート・ラフ*1
  - インクジェットはがき

  *1 印刷設定によっては、フチなし全面印刷はできません。フチなし全面印刷を行う場合は、余白の制限を解除する必要があります。

  ➡ ［印刷オプション］ダイアログボックス（Windows）
  ➡ 用紙の詳細設定（macOS）

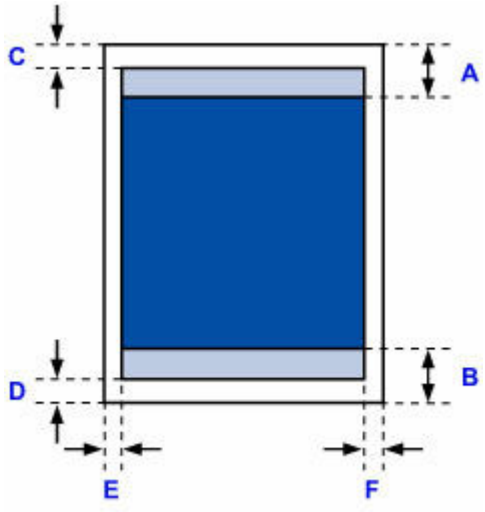
  上記以外の用紙では印刷品質が著しく低下したり、色味が変わったりすることがあります。

- A5、B5、B3、11x17、7x10、9x13、11"x14"、US フォト (16"x20")、12x12 サイズの用紙と、普通紙、はがき、インクジェットはがき（あて名面）、往復はがきにはフチなし全面印刷はできません。

- 用紙の種類によっては、フチなし全面印刷を行うと、用紙の上端や下端の印刷品質が低下することがあります。また、厚い用紙にフチなし全面印刷を行うと、用紙の表面または裏面が汚れることがあります。

定型サイズの用紙

サイズ	印刷可能領域（幅 x 長さ）
レター	203.2 x 271.4 mm（8.00 x 10.69 in.）
リーガル	203.2 x 347.6 mm（8.00 x 13.69 in.）
11 x 17	272.6 x 423.8 mm（10.73 x 16.69 in.）
17 x 22	425.0 x 550.8 mm（16.73 x 21.69 in.）
A5	141.2 x 202.0 mm（5.56 x 7.95 in.）
A4	203.2 x 289.0 mm（8.00 x 11.38 in.）
A3	290.2 x 412.0 mm（11.43 x 16.22 in.）
A3 ノビ	322.2 x 475.0 mm（12.69 x 18.70 in.）
A2	413.2 x 586.0 mm（16.27 x 23.07 in.）
B5	175.2 x 249.0 mm（6.90 x 9.80 in.）
B4	250.2 x 356.0 mm（9.85 x 14.02 in.）
B3	357.2 x 507.0 mm（14.06 x 19.96 in.）
KG	94.8 x 144.4 mm（3.73 x 5.69 in.）
5 x 7	120.2 x 169.8 mm（4.73 x 6.69 in.）
7 x 10	171.0 x 246.0 mm（6.73 x 9.69 in.）
9 x 13	221.8 x 322.2 mm（8.73 x 12.69 in.）
11 x 14	272.6 x 347.6 mm（10.73 x 13.69 in.）
13"x19"(Super B)	323.4 x 474.6 mm（12.73 x 18.69 in.）
US フォト (16"x20")	399.6 x 500.0 mm（15.73 x 19.69 in.）
17 x 25	425.0 x 627.0 mm（16.73 x 24.69 in.）
六切	196.4 x 246.0 mm（7.73 x 9.69 in.）
四切	247.2 x 296.8 mm（9.73 x 11.69 in.）
半切	348.8 x 423.8 mm（13.73 x 16.69 in.）
210 x 594 mm	203.2 x 586.0 mm（8.00 x 23.07 in.）
L 判	82.2 x 119.0 mm（3.24 x 4.69 in.）
2L 判	120.2 x 170.0 mm（4.73 x 6.69 in.）
12 x 12	298.0 x 296.8 mm（11.73 x 11.68 in.）
はがき	93.2 x 140.0 mm（3.67 x 5.51 in.）
往復はがき	193.2 x 140.0 mm（7.61 x 5.51 in.）



印刷推奨領域

A：57 mm（2.2 in.）
B：55 mm（2.2 in.）

印刷可能領域

レター、リーガル

C：3.0 mm（0.12 in.）
D：5.0 mm（0.20 in.）
E：6.4 mm（0.25 in.）
F：6.3 mm（0.25 in.）

レター、リーガル以外

C：3.0 mm（0.12 in.）
D：5.0 mm（0.20 in.）
E：3.4 mm（0.13 in.）
F：3.4 mm（0.13 in.）

余白 25 mm の用紙サイズ

余白 25 mm の用紙サイズを選択すると、上下端 25 mm（0.98 in.）には印刷しないように制限がかかります。印刷を行う前に印刷内容をプレビュー画面に表示させて印刷範囲を確認することをお勧めします。

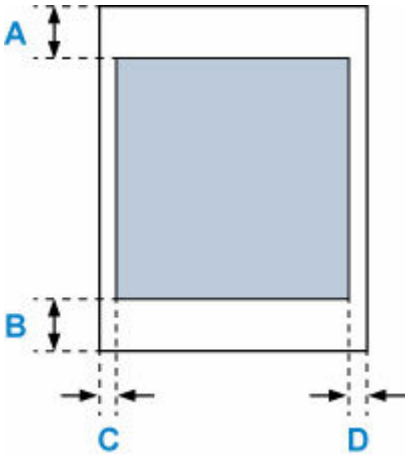
余白 25 mm の用紙サイズは、用紙の上下端にプリントヘッドが擦れて汚れが発生する場合に使用することをお勧めします。

以下の用紙をご使用の場合、印刷設定によっては余白 25 mm の用紙サイズでの印刷となります。それ以外の用紙サイズに印刷を行う場合は、余白の制限を解除する必要があります。

- マットフォトペーパー
- キヤノン写真用紙・プレミアムマット
- プレミアムファインアート・スムース
- プレミアムファインアート・ラフ

➡ ［印刷オプション］ダイアログボックス（Windows）
➡ 用紙の詳細設定（macOS）

サイズ	印刷可能領域（幅 x 長さ）
レター（余白 25mm）	203.2 x 229.4 mm（8.00 x 9.03 in.）
11 x 17（余白 25mm）	272.6 x 381.8 mm（10.73 x 15.03 in.）
17 x 22（余白 25mm）	425.0 x 508.8 mm（16.73 x 20.03 in.）
A4（余白 25mm）	203.2 x 247.0 mm（8.00 x 9.72 in.）
A3（余白 25mm）	290.2 x 370.0 mm（11.43 x 14.57 in.）
A3 ノビ（余白 25mm）	322.2 x 433.0 mm（12.69 x 17.05 in.）
A2（余白 25mm）	413.2 x 544.0 mm（16.27 x 21.42 in.）



印刷可能領域

レター

A : 25.0 mm（0.98 in.）
B : 25.0 mm（0.98 in.）
C : 6.4 mm（0.25 in.）
D : 6.3 mm（0.25 in.）

レター以外

A : 25.0 mm（0.98 in.）
B : 25.0 mm（0.98 in.）
C : 3.4 mm（0.13 in.）
D : 3.4 mm（0.13 in.）

付録

- オンラインマニュアルについて
- 本文中の記号
- 商標
- ライセンス

オンラインマニュアルについて

本マニュアルのイラスト／動画は、ご使用の機種と異なる場合があります。

操作説明で使用している画面について

Windows をご使用の場合：

本マニュアルでは、おもに Windows 10 operating system（以降、Windows 10）をご使用の場合に表示される画面で説明しています。

macOS をご使用の場合：

本マニュアルでは、おもに macOS Ventura 13 をご使用の場合に表示される画面で説明しています。